

2013(平成25)年度
事業報告書



学校法人 日本大学

目 次

あいさつ	1
I 法人の概要	
1 日本大学沿革	3
2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)	4
3 設置する学校	5-7
4 学生・生徒数(入学定員・収容定員・現員)	8-10
5 事務組織	11-12
6 研究所組織	13
7 役員・教職員の概要	14-18
II 事業の概要	
1 主な事業の概要	19-21
2 部科校別の事業の概要	22-69
III 事業の概要(データ編)	
1 一般入学試験志願者数	71
2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数	72-73
3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数	74-78
4 学内奨学金制度	79-82
5 就職状況	83
6 保健体育審議会所属競技部の主な成績	84
7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業	85-87
8 公開講座	88-91
9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産	92-94
10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数	95-96
IV 財務の概要	
1 平成 25 年度資金収支計算書	97
2 資金収支計算書の概要	98-99
3 平成 25 年度消費収支計算書	100
4 消費収支計算書の概要	101
5 貸借対照表(平成 26 年 3 月 31 日現在)	102-103
6 貸借対照表の概要	104
7 財産目録(平成 26 年 3 月 31 日現在)	105
8 参考資料	
①平成 21 年度～平成 25 年度 財務比率の推移	106
②平成 21 年度～平成 25 年度 資金収支決算の推移	107
③平成 21 年度～平成 25 年度 消費収支決算の推移	108
④平成 21 年度～平成 25 年度 貸借対照表の推移	109
大学施設等所在地一覧	110-111

あ い さ つ

学校法人日本大学理事長 田中英壽

今年で創立125周年を迎える日本大学は、創立130周年に向けた諸施策を進めており、教育・研究環境整備が着々と整備されていることを御報告いたします。

全国から広く学生を集めることを目的とした学生寮が、町田市、松戸市、世田谷区赤堤及び世田谷区宮坂に計4棟完成し、すでに約250名の新入生が新生活をスタートさせております。学生寮の建設は、学生に対する経済的支援を拡充する観点からも、大きな意味があり、文字通り「日本の大学」への転換の始点となる重要な施策であると考えております。10月に開院予定である駿河台の「日本大学病院」は、高度専門医療を可能にする最先端の大型医療機器を備え、引き続き災害拠点病院として貢献できるよう準備を進めております。11月には、大学院法務研究科の三崎町移転が行われます。これにより、法務研究科と法学部との連携がより緊密となり、相乗効果が期待されます。来年4月に開校する「日本大学藤沢小学校」は、英語や情報通信技術を活用した教育に力を入れるとともに、生物資源科学部のキャンパスを利用した体験学習を実施するなど、地域の他の小学校にはない特色を持たせております。また、世田谷に設置する新学部は、キャンパス建設が進み、新学部設置の理念に基づいた具体的な教育内容の検討に入っております。

教学面では、本学初となる全学共通科目である初年次教育科目の設置検討を進めているほか、大学統一入試であるN方式を9学部及び短期大学部5学科に拡充し、2年連続志願者の増加を実現しました。付属高等学校においても、卒業前教育の実施や全付属高等学校共通の問題で実施する基礎学力到達度テストを導入するなど計画した事業を着実に実行しております。

本報告書は、法人の概要のみならず、事業の概要を部科校別に掲載していることを特徴としており、データ編についても内容を充実させ、平成25年度に実施した事業をより分かりやすく、見やすい構成としております。

計画、実行、点検評価、改善というPDCAサイクルの忠実な実行は大学の維持に不可欠です。教職員の皆さんにおかれましては、ここで得られた結果を次の計画に反映させ、今後の中長期計画の策定に御活用くださるようお願いいたします。

日本大学は「日本一教育力のある大学」を目指しておりますが、教職員全員が今一度、本学の教育の理念・目的である「自主創造」の精神に立ち返り、「思いを一つ」にして日本大学飛躍のために取り組んで参りたいと考えております。

今後とも皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

I 法人の概要

1 日本大学沿革

明治 22 年(1889)	10 月	日本法律学校(現・法学部)創立 学祖は山田顕義(時の司法大臣) 初代校長に金子堅太郎(後の司法大臣)就任				業経営学科(後の第一工学部, 現・生産工学部)設置		
明治 23 年(1890)	9 月	皇典講究所で開校式举行				3 月 農学部にて獣医学科を増設し、農獣 医学部と改称		
明治 26 年(1893)	12 月	第 2 代校長(後に学長、総長)に松 岡康毅(後の農商務大臣)就任 校友会を結成	昭和 29 年(1954)	4 月	歯学部付属歯科技工士養成所を 設置(現・歯学部付属歯科技工専 門学校)	8 月 豊山高校・中学校を合併		
明治 29 年(1896)	5 月	神田三崎町に初の校舎落成	昭和 32 年(1957)	12 月	三島高校を設置			
明治 31 年(1898)	3 月	高等専攻科を設置	昭和 33 年(1958)	1 月	文学部に中国文学科、地理学科、 数学科、物理学科を増設し文理学 部と改称			
明治 34 年(1901)	10 月	高等師範科(現・文理学部)設置				工学部にて物理学科を増設し理工 学部と改称		
明治 36 年(1903)	8 月	日本大学と改称				4 月 歯科衛生士養成所を設置(現・歯 学部付属歯科衛生専門学校)		
明治 37 年(1904)	3 月	商科(現・経済学部ならびに商学 部)設置				6 月 会頭に古田重二良就任		
	4 月	専門学校令による大学となる				第 5 代総長に永田菊四郎就任		
大正 2 年(1913)	2 月	中学校を設置(現・一高、一中)	昭和 34 年(1959)	9 月	「日本大学の目的および使命」を 改定			
大正 3 年(1914)	4 月	「建学の主旨及綱領」を制定				昭和 35 年(1960)	4 月 明誠高校を設置	
大正 9 年(1920)	4 月	大学令による大学となる				昭和 37 年(1962)	11 月 山形第一高校を合併(現・山形高)	
	6 月	高等工学校を設置(現・理工学部)				昭和 41 年(1966)	1 月 第一工学部を生産工学部と改称 第二工学部を工学部と改称	
大正 10 年(1921)	3 月	美学科(現・芸術学部)設置					3 月 豊山女子高校を設置	
	4 月	東洋歯科医学専門学校を合併(創 立は大正 5 年、現・歯学部)				昭和 44 年(1969)	9 月 第 6 代総長に鈴木勝就任 会長に古田重二良就任 理事長に高梨公之就任	
大正 11 年(1922)	3 月	初代総長に松岡康毅就任					昭和 46 年(1971)	2 月 日本大学松戸歯科大学を設置 (現・松戸歯学部)
大正 12 年(1923)	11 月	第 2 代総長に平沼騏一郎(後の総 理大臣)就任				昭和 47 年(1972)	9 月 理事長に永澤滋就任	
大正 14 年(1925)	3 月	専門部医学科(現・医学部)設置				昭和 49 年(1974)	3 月 松戸歯科大学付属歯科衛生専門 学校を設置(現・松戸歯学部付属 歯科衛生専門学校)	
昭和 2 年(1927)	3 月	第二中学校を設置(現・二高、二 中)					10 月 総長鈴木勝理事長を兼任	
	12 月	幼稚園を設置				昭和 50 年(1975)	10 月 日本大学松戸歯科大学を廃止し、 松戸歯学部を設置	
昭和 4 年(1929)	3 月	工業学校を設置(現・習志野高)				昭和 53 年(1978)	12 月 国際関係学部を設置	
	10 月	赤坂中学校を合併(現・三高、三 中)				昭和 56 年(1981)	9 月 理事長に柴田勝治就任	
昭和 5 年(1930)	3 月	第四中学校を設置(現・日大高、 中)				昭和 57 年(1982)	6 月 市ヶ谷に日本大学会館が落成	
昭和 7 年(1932)	1 月	医学科付属看護婦養成所設置 (現・医学部付属看護専門学校)				昭和 59 年(1984)	9 月 第 7 代総長に高梨公之就任	
昭和 8 年(1933)	8 月	第 3 代総長に山岡萬之助就任				昭和 62 年(1987)	12 月 薬学部を設置	
昭和 18 年(1943)	5 月	農学部を神奈川県藤沢市に設置 (現・生物資源科学部)				平成 2 年(1990)	9 月 第 8 代総長に木下茂徳就任	
昭和 21 年(1946)	1 月	第 4 代総長に呉文炳就任				平成 5 年(1993)	9 月 第 9 代総長に瀬在良男就任、理事 長を兼任	
	6 月	三島予科を静岡県三島市に開設					平成 7 年(1995)	12 月 農獣医学部を生物資源科学部に 改組
	7 月	理事長に圓谷弘就任				平成 8 年(1996)	9 月 第 10 代総長に瀬在幸安就任	
	9 月	理事長に佐藤運雄就任					9 月 理事長に森田賢治就任	
昭和 22 年(1947)	3 月	専門部工科(現・工学部)を福島県 郡山市に移転				平成 11 年(1999)	4 月 大学院総合社会情報研究科(通信 制大学院)、大学院グローバル・ビ ジネス研究科を設置	
昭和 23 年(1948)	11 月	通信教育部を設置				平成 16 年(2004)	4 月 大学院法務研究科設置	
昭和 24 年(1949)	2 月	新学制に移行(第一部の 7 学部 34 学科)				平成 17 年(2005)	4 月 大学院総合科学研究科(総合研究 大学院)設置	
	3 月	同 (第二部の 4 学部 15 学科)					9 月 第 11 代総長に小嶋勝衛就任、理 事長を兼任	
	4 月	農林高校を設置(現・藤沢高)				平成 19 年(2007)	6 月 教育理念を「自主創造」とし、新ロ ゴ及びキャッチフレーズを決定	
	12 月	「日本大学の目的および使命」を 制定				平成 20 年(2008)	9 月 第 12 代総長に酒井健夫就任 理事長に田中英壽就任	
昭和 25 年(1950)	2 月	理事長に古田重二良就任				平成 23 年(2011)	9 月 第 13 代総長に大塚・兵衛就任	
	2 月	世田谷高校を設置(現・櫻丘高)				平成 25 年(2013)	4 月 総長制から学長制に移行し、学長 に大塚吉兵衛就任。	
	3 月	短期大学を設置(現・短期大学部)						
昭和 26 年(1951)	2 月	東北工業高校を設置(現・東北高)						
	4 月	大学院を設置						
	10 月	東京獣医畜産大学付属高等学校 を合併、鶴ヶ丘高校と名称変更						
	11 月	農学部にて東京獣医畜産大学を合 併						
昭和 27 年(1952)	2 月	医学部医学科、歯学部歯学科が 新学制に移行 工学部にて薬学科(現・薬学部)、工						

2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)



学祖 山田顕義

日本大学の前身である日本法律学校は、明治22年(1889)に創立された。同年は大日本帝国憲法が公布され、また欧米の近代法を取り入れた刑法・民法・商法などの諸法典も整備されつつある時期であった。

この頃、司法大臣で本学学祖となる山田顕義は、欧米諸国の法律を学ぶことが主流の法学教育に疑問を持ち、日本の伝統・慣習・文化を踏まえた日本法律を教育する学校構想を抱いていた。同時期、帝国大学教授宮崎道三郎や憲法起草にあたった金子堅太郎などの若き法律学者たちも、日本法学教育の必要性を認識し、日本法律学校設立構想を進めていた。それを知った山田顕義は、彼らを全面的に支援し、明治22年10月4日、日本法律学校は創立されるに至ったのである。

日本法律学校の創立目的は「日本法律学校設立主意書」に記されている。要約すると、日本の法律は新旧を問わず学ぶ、海外の法律を参考として長所を取り入れる、日本法学という学問を提唱するという3点であり、欧米法教育が主流な時代にあって、大いに独自性を発揮することとなった。

明治36年(1903)には、校名を日本大学として改組し、翌37年、専門学校令による認可を受けた。大正3年(1914)、「建学の主旨及び綱領」が制定され、本学の建学の理想と教学方針が示された。大正9年(1920)、大学令による大学となり、総合大学への道を歩むこととなる。

昭和24年(1949)、新制大学として再スタートした本学は、「建学の主旨及び綱領」をあらためて「日本大学の目的および使命」を制定した。しかし、この「目的および使命」は、教育基本法に準じたものではあるが本学の伝統から離れており、私学の独自性が発揮されないという意見が出された。そのため改訂の検討がなされ、数年間の審議を経て、昭和34年(1959)、本学70周年を迎える際に、現在の表現に改訂した。

〔目的および使命〕

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしな
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする



日本大学会館2階の学祖立像と歴代総長・理事長胸像

平成18年(2006)、企画検討委員会において、現在の社会状況に即応し、かつ本学の総合性を発揮することを目的として、新しい理念及び目的が検討された。その結果、平成19年、本学の教育の理念と目的は「自主創造」と定められた。

3 設置する学校

※平成25年4月1日現在





※1：下記以外は博士前期及び後期課程を設置。

*1：文学研究科史学専攻は博士前期課程。日本史専攻及び外国史専攻は博士後期課程。人文地理学専攻(学生募集停止中)は修士課程。

*2：芸術学研究科文芸学専攻, 映像芸術専攻, 造形芸術専攻, 音楽芸術専攻及び舞台芸術専攻は博士前期課程。芸術専攻は博士後期課程。

*3, *4, *5, *6, *7：医学研究科, 歯学研究科, 松戸歯学研究科, 獣医学研究科及び薬学研究科は博士課程。

*8：グローバル・ビジネス研究科は修士課程。

*9：総合社会情報研究科国際情報専攻, 文化情報専攻及び人間科学専攻は博士前期課程。総合社会情報専攻は博士後期課程。

*10, *11：法務研究科及び知的財産研究科は専門職学位課程。

*11：総合科学研究科は5年一貫制博士課程。

※2：総合科学研究科人間開発科学専攻, 環境科学専攻及び生命科学専攻は平成23年4月から学生募集停止。

※3：薬学研究科薬学専攻博士後期課程は平成24年4月から学生募集停止。

※4：法学部第二部新聞学科, 政治経済学科は平成19年4月から学生募集停止。

※5：経済学部第二部経済学科は平成22年4月から学生募集停止。

※6：国際関係学部国際関係学科, 国際文化学科, 国際交流学科及び国際ビジネス情報学科は平成23年4月から学生募集停止。

※7：山形中学校は平成24年4月から生徒募集停止

○準付属校の取扱いに関する契約を締結した学校法人の設置する高等学校・中学校等

法人名	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
学校法人日本大学第一学園	日本大学第一高等学校, 千葉日本大学第一高等学校	日本大学第一中学校, 千葉日本大学第一中学校	千葉日本大学第一小学校	
学校法人日本大学第二学園	日本大学第二高等学校	日本大学第二中学校		
学校法人日本大学第三学園	日本大学第三高等学校	日本大学第三中学校		
学校法人大垣日本大学学園	大垣日本大学高等学校			
学校法人土浦日本大学学園	土浦日本大学高等学校, 岩瀬日本大学高等学校	土浦日本大学中等教育学校		土浦日本大学附属幼稚園
学校法人宮崎日本大学学園	宮崎日本大学高等学校	宮崎日本大学中学校		
学校法人佐野日本大学学園	佐野日本大学高等学校	佐野日本大学中等教育学校		
学校法人長崎日本大学学園	長崎日本大学高等学校	長崎日本大学中学校		
学校法人長野日本大学学園	長野日本大学高等学校	長野日本大学中学校		
学校法人札幌日本大学学園	札幌日本大学高等学校	札幌日本大学中学校		

4 学生・生徒数（入学定員・収容定員・現員）

※平成25年5月1日現在

※（ ）内は女子内数

大学院研究科(博士前期・修士課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
法 学	75	150	29	44	73 (22)
新 聞 学	10	20	7	14	21 (17)
文 学	140	280	85	70	155 (66)
総合基礎科学	20	40	46	44	90 (20)
経 済 学	30	60	31	40	71 (24)
商 学	90	180	31	37	68 (41)
芸 術 学	75	150	42	64	106 (70)
国 際 関 係	10	20	12	5	17 (6)
理 工 学	420	840	461	480	941 (86)
生 産 工 学	140	280	172	126	298 (42)
工 学	140	280	88	101	189 (5)
生物資源科学	115	230	74	120	194 (58)
グローバル・ビジネス	0	50	2	32	34 (17)
総合社会情報	90	180	77	49	126 (64)
計	1,355	2,760	1,157	1,226	2,383 (538)

大学院研究科(博士課程(5年一貫制))

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
総合科学	0	80	0	0	0	0	1	1 (0)

大学院研究科(博士後期・博士課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法 学	12	42	5	9	8		22 (4)
新 聞 学	3	3	1	0	0		1 (1)
文 学	30	90	12	9	28		49 (20)
総合基礎科学	4	12	1	2	1		4 (2)
経 済 学	6	18	0	3	4		7 (2)
商 学	13	39	3	0	3		6 (3)
芸 術 学	8	24	5	3	11		19 (11)
国 際 関 係	3	9	0	2	4		6 (3)
理 工 学	79	237	18	22	42		82 (10)
生 産 工 学	21	63	6	8	8		22 (2)
工 学	12	36	2	4	7		13 (1)
医 学	64	256	41	36	32	23	132 (30)
歯 学	30	144	34	38	26	46	144 (45)
松 戸 歯 学	30	140	23	27	15	18	83 (36)
生物資源科学	26	78	9	9	14		32 (6)
獣 医 学	6	24	5	6	7	10	28 (6)
薬 学	5	14	2	3	13	0	18 (5)
総合社会情報	9	27	9	5	9		23 (10)
計	361	1,256	176	186	232	97	691 (197)

大学院研究科(専門職学位課程)

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
法 務	80	240	36	45	20	101 (17)
知的財産	30	60	14	18		32 (9)

学部(第一部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	1,400	5,600	1,658	1,576	1,687	2,041			6,962 (2,207)
文 理	1,810	7,060	2,034	2,156	2,144	2,327			8,661 (3,345)
経 済	1,400	5,600	1,637	1,619	1,545	1,888			6,689 (1,818)
商	1,200	4,800	1,413	1,492	1,408	1,645			5,958 (1,997)
芸 術	840	3,360	988	1,027	1,010	1,126			4,151 (2,697)
国 際 関 係	650	2,600	745	698	792	891			3,126 (1,223)
理 工	2,020	8,080	2,285	2,103	2,156	2,836			9,380 (1,090)
生 産 工	1,400	5,600	1,633	1,565	1,538	1,812			6,548 (859)
工	1,030	4,120	1,198	912	1,092	1,316			4,518 (325)
医	120	720	128	136	117	118	119	108	726 (210)
歯	130	900	133	166	108	136	108	131	782 (322)
松 戸 歯	130	900	147	129	96	112	121	124	729 (258)
生 物 資 源 科	1,410	5,880	1,651	1,611	1,761	1,795	135	143	7,096 (3,112)
薬	240	1,440	294	273	263	221	229	260	1,540 (843)
計	13,780	56,660	15,944	15,463	15,717	18,264	712	766	66,866 (20,306)

学部(第二部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	300	1,200	235	164	244	371			1,014 (173)
経 済	0	0	0	0	0	41			41 (2)
計	300	1,200	235	164	244	412			1,055 (175)

通信教育部

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法	3,000	12,000	119	120	193	699	1,131 (344)
文 理	3,000	12,000	239	244	739	2,481	3,703 (2,049)
経 済	1,500	6,000	64	67	138	391	660 (108)
商	1,500	6,000	94	104	190	640	1,028 (401)
計	9,000	36,000	516	535	1,260	4,211	6,522 (2,902)

短期大学部

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
ビジネス教養	80	160	78	95	173 (86)
食物栄養	120	240	112	101	213 (188)
建築・生活デザイン	80	160	90	87	177 (56)
ものづくり・サイエンス総合	60	120	68	65	133 (18)
生命・物質化	40	80	44	41	85 (44)
生物資源	150	300	160	166	326 (174)
計	530	1,060	552	555	1,107 (566)

短期大学部専攻科

専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
食物栄養	20	40	22	20	42 (32)

高等学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	600	1,800	459	472	576	1,507 (617)
櫻 丘	602	1,806	477	453	464	1,394 (648)
鶴ヶ丘	450	1,350	481	471	414	1,366 (766)
藤 沢	520	1,560	549	492	376	1,417 (749)
豊 山	585	1,755	484	485	483	1,452
豊山女子	240	720	247	266	236	749 (749)
三 島	760	2,280	681	635	650	1,966 (976)
明 誠	440	1,320	293	274	338	905 (261)
山 形	450	1,550	387	447	437	1,271 (413)
習 志 野	400	1,170	450	502	427	1,379 (572)
東 北	480	1,440	447	433	482	1,362 (559)
計	5,527	16,751	4,955	4,930	4,883	14,768 (6,310)

中学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	400	1,200	251	268	312	831 (335)
藤 沢	120	280	122	94	134	350 (178)
豊 山	200	600	189	211	229	629
豊山女子	160	480	128	138	161	427 (427)
三 島	70	210	55	57	66	178 (92)
山 形	60	60	-	-	17	17 (8)
計	1,010	2,830	745	768	919	2,432 (1,040)

幼稚園

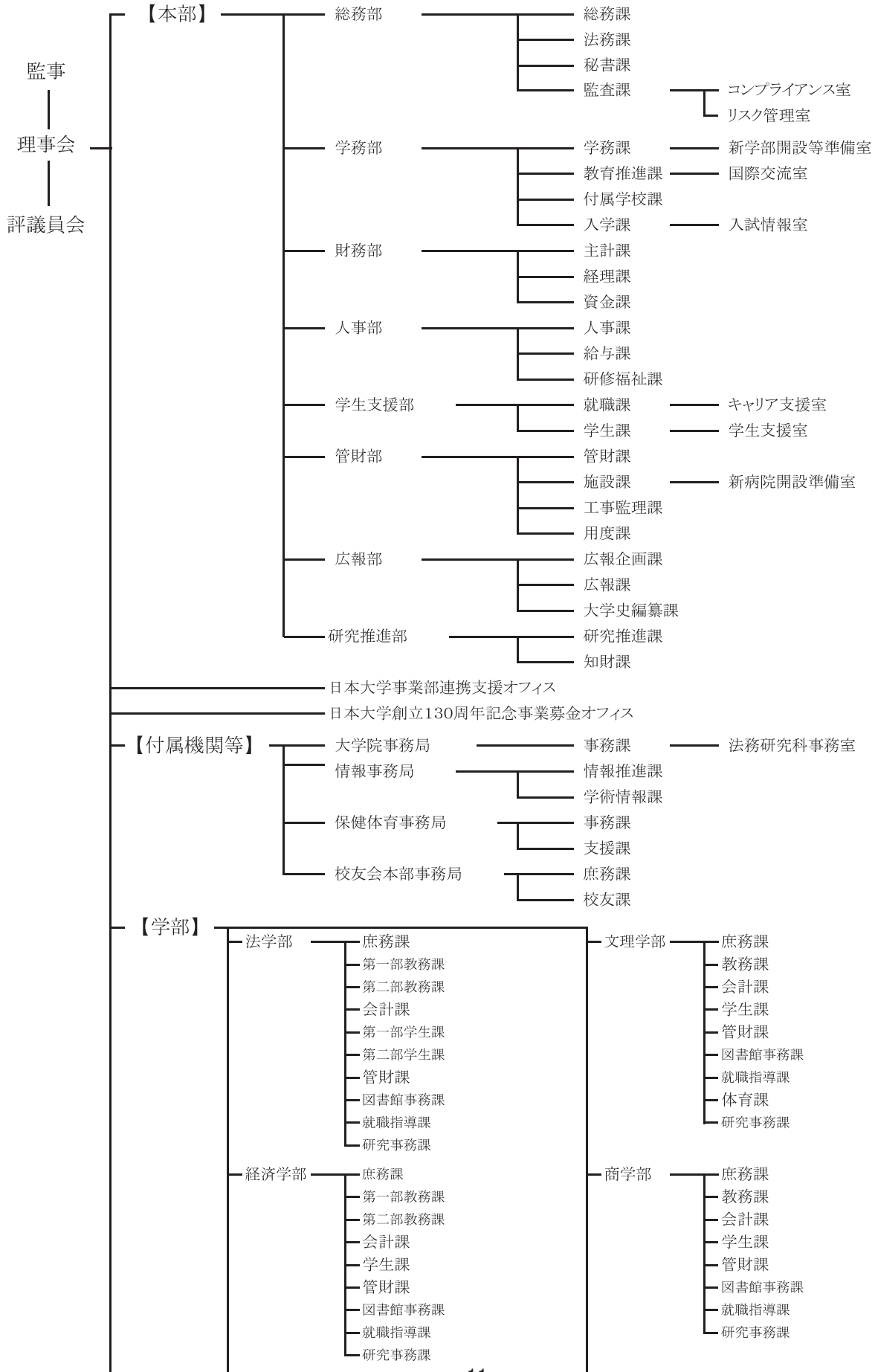
学 校	入園定員	収容定員	3歳児	4歳児	5歳児	計
日 本 大 学	3歳児70, 4・5歳児105	280	73	48	56	177 (87)

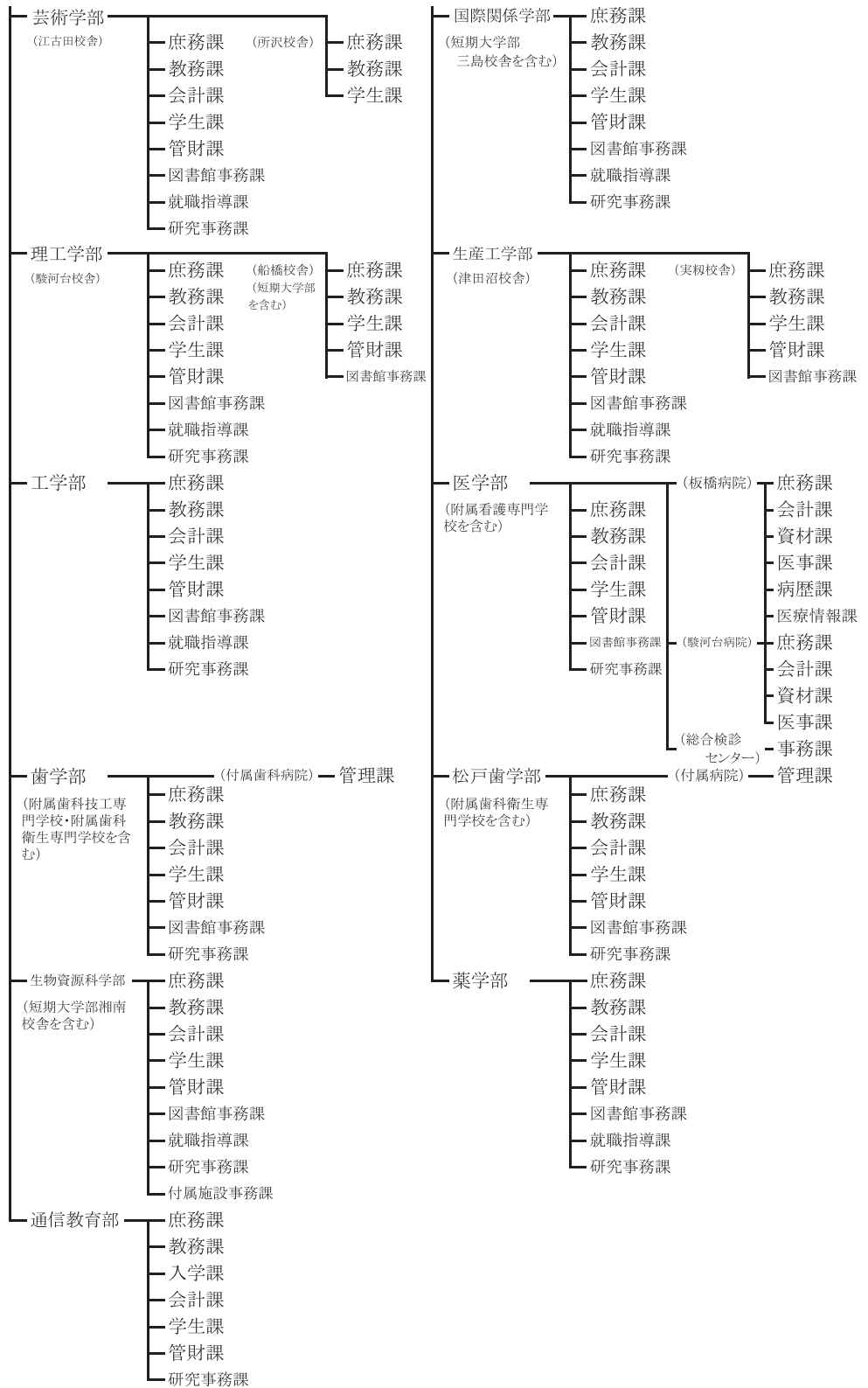
専修学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
医学部附属看護専門学校	80	240	98	85	100	283 (266)
歯学部附属歯科技工専門学校	35	105	20	17	16	53 (15)
歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	46	31	40	117 (117)
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	55	44	47	146 (146)
計		195	585	219	177	203 (544)

5 事務組織

※平成26年3月31日現在





【高等学校・中学校・幼稚園】

- ※ 櫻丘高校は文理学部併設
- ※ 鶴ヶ丘高校、藤沢高校・中学校は生物資源科学部併設
- ※ 三島高校・中学校は国際関係学部併設
- ※ 習志野高校は理工学部併設
- ※ 東北高校は工学部併設

- 日本大学高等学校・中学校
- 日本大学櫻丘高等学校
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校
- 日本大学藤沢高等学校・中学校
- 日本大学豊山高等学校・中学校
- 日本大学豊山女子高等学校・中学校
- 日本大学三島高等学校・中学校
- 日本大学明誠高等学校
- 日本大学山形高等学校・中学校
- 日本大学習志野高等学校
- 日本大学東北高等学校
- 日本大学幼稚園

- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務課

6 研究所組織

大学付置研究所

総合科学研究所	(昭和25年7月7日設置)
量子科学研究所	(昭和38年12月3日設置)
教育制度研究所	(昭和31年10月1日設置)
精神文化研究所	(昭和33年4月1日設置)
人口研究所	(昭和55年5月23日設置)

学部付置研究所

法学部法学研究所	(昭和31年10月1日設置)
法学部政経研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部比較法研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部新聞学研究所	(平成19年3月9日設置)
法学部国際知的財産研究所	(平成19年3月9日設置)
文理学部人文科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部自然科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部情報科学研究所	(昭和58年3月11日設置)
経済学部経済科学研究所	(昭和52年4月1日設置)
経済学部産業経営研究所	(昭和52年4月1日設置)
商学部商学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部会計学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部情報科学研究所	(昭和57年6月4日設置)
芸術学部芸術研究所	(昭和44年4月1日設置)
国際関係学部生活科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
国際関係学部国際関係研究所	(昭和55年7月4日設置)
理工学部理工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
生産工学部生産工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
工学部工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
医学部総合医学研究所	(昭和52年5月13日設置)
歯学部総合歯学研究所	(昭和51年5月14日設置)
松戸歯学部口腔科学研究所	(昭和49年10月18日設置)
生物資源科学部総合研究所	(昭和42年4月1日設置)
生物資源科学部国際地域研究所	(昭和51年5月14日設置)
生物資源科学部生命科学研究所	(平成11年4月2日設置)
薬学部薬学研究所	(平成元年4月7日設置)
通信教育部通信教育研究所	(昭和59年2月3日設置)

7 役員・教職員の概要

① 役員等

※平成26年3月31日現在

	定数	実数	氏名
理事長	1人	1人	田中 英 壽
学長	1人	1人	大塚 吉兵衛
副学長	3人以内	3人	牧村 正 治 滝 戸 俊 夫 加藤 直 人
常務理事	(若干名)	6人	田中 範 男 成澤 文 明 高松 雄 行 板橋 文 男 古屋 尚 進 石井 進

理事 (定数:25人以上32人以内 実数:32人(常勤26人,非常勤6人))

選任区分(寄附行為第8条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚 吉兵衛
理事長の推薦した者	1人以上2人以内	2人	加藤 了 内田 正 人
日本大学本部及び日本大学各学部の教職員評議員のうちから選出された者	13人以上15人以内	15人	大工原 孝 加藤 直 人 小関 勇 佐藤 三武朗 松井 勇 片山 容 一 渋谷 鑛 草間 貞 杉本 稔 小柳 治 宣 野田 慶 人 滝戸 俊 夫 出村 克 宣 越川 憲 明 河野 英 一
この法人の設置する学校の校友評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	石井 進 高松 雄 行 中村 克 夫 若女井 光 男 高野 和 雄 田中 英 壽 馬場 邦 明
この法人の学識経験評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	板橋 文 男 小野沢 元 久 成澤 文 明 牧村 正 治 小澤 一 郎 田中 範 男 古屋 尚

監事 (定数:3人以上5人以内 実数:4人(うち2人は常任監事))

選任区分(寄附行為第18条)	定数	実数	氏名
監事	3人以上5人以内	4人	越智光昭(常任) 小磯 一 男 齋藤 貢(常任) 佐藤 正 弘

評議員（定数：98人以上120人以内 実数：117人）

選任区分(寄附行為第24条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚吉衛 杉本治 小野慶 滝俊 出克 越憲 河英
日本大学各学部長	12人以上14人以内	14人	加藤宣人 小佐松夫 佐松宣明 片洪一 洪草一
日本大学本部部長のうちから選出された者	1人以上3人以内	2人	藤原孝 野英 吉治
日本大学本部教職員のうちから選出された者	2人	2人	内田正人 渡邊喜好
日本大学各学部, 日本大学通信教育部及び日本大学短期大学の教員のうちから選出された者	14人以上17人以内	17人	船山泰範 藤宮本訓 山永沢誠 前嶋野誠 長谷川正 福島田弥 島田正文 三秋夫 邦和卓 直俊英 哲保雄 則
日本大学各学部及び日本大学通信教育部の職員のうちから選出された者	12人以上15人以内	15人	小瀬向井 小加野 三藤 若井 滝松 金井
日本大学付属高等学校の教職員のうちから選出された者	2人	2人	小松実 野澤拓夫
この法人の設置する学校を卒業した者で, 年齢25年以上のものの中から選出された者	30人以上36人以内	35人	相綾信 石東 内洋 江太 岡輝 神匡 鈴光 高俊 田義 筒隆 中繁 中克 奈豊 早清 吹山 若女 板野 小勝 唐野 上澤 佐滝 清藤 鈴木水 田木 西中 平村 堀澤 川本 松澤 森邊
この法人に関係ある学識経験者のうちから選出された者	24人以上30人以内	29人	次子進一郎 信東俊輝 洋太郎 太一 輝匡 光俊 義隆 繁克 清範 義盛 男男 久元 武正 徹文 典秀 範美 正末 芳広 和枝 子知 子男 明子

② 教員数

※平成25年5月1日現在

大学院研究科

研究科	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
総合科学	13	2	0	0	0	15	0	0
法学							4	20
新聞学							0	6
文学							5	50
総合基礎科学							1	17
経済学							54	27
商学							32	12
芸術学							0	54
国際関係学							0	9
理工学							197	158
生産工学							145	28
工学							92	41
医学							385	0
歯学							96	0
松戸歯学							64	0
生物資源科学							152	13
獣医学							34	0
薬学							44	0
グローバル・ビジネス	8	2	0	0	0	10	3	35
法務	22	1	0	4	0	27	5	38
総合社会情報	7	1	0	0	0	8	39	44
知的財産	8	2	0	0	0	10	1	9
計	58	8	0	4	0	70	1,353	561

学部等

学部	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
法(一部)	90	23	1	8	5	127	21	302
法(二部)	7	4	0	0	0	11	4	48
文理学	168	44	5	20	70	307	24	607
経済(一部)	70	28	6	9	3	116	102	303
経済(二部)	2	0	0	0	0	2	1	0
商	50	31	9	7	0	97	8	231
芸術	76	22	5	6	42	151	9	506
国際関係	43	13	0	14	4	74	1	123
理工	150	78	34	62	46	370	7	429
生産工	102	66	7	34	8	217	5	262
工	66	52	10	19	0	147	2	149
医	56	71	55	192	111	485	17	80
歯	31	32	38	68	3	172	59	43
松戸歯	33	30	54	26	14	157	19	42
生物資源科	108	66	27	32	55	288	4	220
薬	32	18	5	17	2	74	2	19
小計	1,084	578	256	514	363	2,795	285	3,364
通信教育部	9	3	1	0	0	13	93	167
計	1,093	581	257	514	363	2,808	378	3,531

研究所

研究所	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助手	助教	計		
総合科学研究所	2	5	0	0	0	7	2	0
量子科学研究所	1	0	1	0	0	2	7	0
教育制度研究所	0	0	0	0	0	0	1	0
精神文化研究所	0	0	0	0	0	0	1	0
人口研究所	0	0	0	0	0	0	6	0
計	3	5	1	0	0	9	17	0

短期大学部

学 科	専 任 教 員						兼担教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
ビジネス教養	6	2	0	1	0	9	0	} 26
食物栄養	7	3	0	0	3	13	0	
建築・生活デザイン	5	4	1	1	1	12	0	} 131
ものづくり・サイエンス総合	4	3	3	0	4	14	0	
生命・物質化学	2	1	2	1	1	7	0	
生物資源	6	2	3	1	2	14	0	15
計	30	15	9	4	11	69	0	172

高等学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	51	43	94
櫻 丘	54	32	86
鶴 ヶ 丘	54	38	92
藤 沢	55	44	99
豊 山	55	40	95
豊 山 女 子	31	26	57
三 島	72	84	156
明 誠	42	29	71
山 形	52	38	90
習 志 野	52	42	94
東 北	55	43	98
計	573	459	1,032

中学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	27	27	54
藤 沢	16	5	21
豊 山	26	21	47
豊 山 女 子	17	18	35
三 島	7	19	26
山 形	4	1	5
計	97	91	188

幼稚園

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	8	8	16

専修学校

学 校	専任教員	兼務(学内)	兼務(学外)	計
医学部附属看護専門学校	16	84	25	125
歯学部附属歯科技工専門学校	6	33	2	41
歯学部附属歯科衛生専門学校	5	66	13	84
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	5	83	10	98
計	32	266	50	348

③ 職員数

※平成25年5月1日現在

学部等

学部等	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
本部	218	72	3	0	0	2	7	0	6	4	234	78	312
法	50	27	3	0	0	2	0	0	2	0	55	29	84
文理	50	25	2	1	0	2	2	2	1	0	55	30	85
経済	44	29	1	0	0	2	0	0	0	0	45	31	76
商	38	20	0	0	0	1	0	0	0	0	38	21	59
芸術	38	20	2	0	0	2	14	1	1	0	55	23	78
国際関係	40	16	2	2	0	1	0	1	0	0	42	20	62
理工	66	42	0	0	0	4	14	8	2	0	82	54	136
生産工	36	27	4	0	0	2	18	0	0	0	58	29	87
工	41	8	2	0	0	2	0	0	2	0	45	10	55
医療	87	150	3	7	280	1,511	13	21	16	59	399	1,748	2,147
歯	35	29	0	0	11	48	4	3	1	1	51	81	132
松戸歯	36	27	2	0	14	52	3	2	3	2	58	83	141
生物資源科	46	19	4	0	0	2	20	1	6	0	76	22	98
薬	26	12	0	0	0	1	5	0	0	0	31	13	44
通信教育部	34	13	0	0	0	0	0	0	0	0	34	13	47
計	885	536	28	10	305	1,634	100	39	40	66	1,358	2,285	3,643

短期大学部

校舎	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
三島	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3
船橋	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	4
湘南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	0	0	0	0	1	0	1	0	5	2	7

高等学校

学 校	専任職員数
日本大学	10
櫻丘	8
鶴ヶ丘	8
藤沢	8
豊山	11
豊山女子	8
三島	6
明誠	10
山形	13
習志野	6
東北	7
計	95

中学校

学 校	専任職員数
日本大学	5
藤沢	0
豊山	2
豊山女子	3
三島	1
山形	0
計	11

幼稚園

学 校	専任職員数
日本大学	5

専修学校

学 校	専任職員数
医学部附属看護専門学校	0
歯学部附属歯科技工専門学校	1
歯学部附属歯科衛生専門学校	1
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	1
計	3

Ⅱ 事業の概要

1 主な事業の概要

平成25年度 予算編成基本方針(抜粋)

「教学施策と連携した積極的な環境整備」に関する事項

① 自主創造型パーソン（日大人）の育成・輩出

- (1) 全学共通の初年次教育・教養教育・キャリア教育プログラム導入及び自校教育の充実による日本大学版教育スタンダードの構築
- (2) 卒業前教育及び入学前教育の充実などによる全学統一高大連携の促進
- (3) FD活動の全学的・組織的推進
- (4) N方式入試の拡充などによる全学的入試制度の構築
- (5) 大学院制度の検討による体系的な大学院教育の充実
- (6) グローバル化社会に対応する人材の育成に向けた検討
- (7) 基礎学力到達度テストの導入に向けた検討

② ビジョンに基づく施策の推進

- (1) 生活習慣病の診療に重点を置いた日本大学病院開院の推進
- (2) 「社会の安全」と「ひとの健康」をデザインし「安心社会」の形成に寄与する人間総合科学部開設の推進
- (3) 初等教育からの一貫教育を実現する小学校開設の推進
- (4) 地方出身者を支援する学生寮建設の推進
- (5) 「司法の日大」の復活に向けた教育の改善・充実及び大学院法務研究科校舎移転の推進
- (6) 「スポーツの日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実

③ 「就職に強い日大」の推進・強化

- (1) 全学共通の情報提供推進などによる就職支援・指導体制の整備並びに強化
- (2) 公務員試験支援センター強化等による各種国家試験対策充実への戦略的取組

④ 研究力の向上

- (1) 研究所（産官学連携知財センターを含む）の改編及び研究推進機構の開設による全学を挙げた連携研究の推進
- (2) 研究成果向上に寄与する研究費配分への取組
- (3) 大学の質的評価の向上に貢献する経常費補助金・科学研究費助成事業、企業との共同研究、受託研究など学外研究資金の積極的確保
- (4) 科学研究費助成事業等研究費の適正使用の徹底

⑤ 安心・安全なキャンパス実現

- (1) 大学の公共性を考慮した省エネルギー及び地球温暖化対策への積極的取組
- (2) 情報管理、著作権保護、個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範、社会的要請との調和）の徹底
- (3) リスク発生の予防、緊急事態発生時の迅速対応などを目途とする危機管理及びリスク管理体制の構築
- (4) 学生・生徒等の就学環境及び教職員の就業環境維持向上への取組

主な事業の進捗状況

○危機管理体制の構築

自然災害や人為的な事故等、本学の継続的運営に支障を来すような様々なリスクに対し、平常時の未然防止及び緊急事態発生時において、迅速かつ組織的な対応をするため、「日本大学危機管理規程」を策定し、危機管理体制の構築を図った。

○日本大学版教育スタンダードの構築

「N. グランドデザイン」に基づく日本大学版教育スタンダードの構築のうち、全学共通初年次教育科目に係る授業科目名（「自主創造の基礎1」、「自主創造の基礎2」）及び「日本大学全学共通初年次教育科目設置要項」を決定した。また、教養教育等については、平成25年10月以降、教学戦略委員会内に設置した教育支援プログラム検討WGにおいて「全学共通教育プログラム」（仮称）の構築に向けた検討を開始している。

○FD活動の推進

3か年にわたるFD推進センター基本計画（中期計画：①日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（FDer）の在り方の検討、②学生参画型FD活動の整備・強化）の初年度として、FDerとなり得る人材養成のための「全学FDワークショップ」及び学生が主体となり企画・運営し教員・職員・学生が三位一体で臨む全学的な学生FDイベント「日本大学 学生FD CHAmiT」を初めて開催し、本学におけるFD活動の全学的・組織的な一層の推進に向けて、より具体的な展開を開始した。

○卒業前教育の実施

卒業生の質の保証を目的に、付属推薦制度により日本大学へ進学する生徒を対象に、全付属高等学校等25校共通テキストによる卒業前教育を実施する。平成25年度は、国語、英語、数学（文系・理系）の共通テキストを使用し、卒業前教育を実施した。付属推薦制度で日本大学へ進学する生徒を含む約5,400名の生徒が受講し、日々の授業により身に付けた基礎学力の維持と、大学入学後の専門教育に円滑に移行できるよう知識の復習を行った。

○付属校に対する基礎学力到達度テストの導入

基礎的な知識の修得を目的に、全付属高等学校等25校共通問題で高校3年間に4回のテストを実施する。平成25年度は、1年入学生を対象に平成25年4月18日に国語、外国語（英語）、数学の3教科について実施した。試験結果は、生徒個人に周知するとともに、分析した報告書を各付属校に配布し、今後の教育の参考とした。

○藤沢小学校の開校

初等教育からの一貫教育を実現するため、日本大学藤沢小学校を平成27年4月に開校する。日本大学生物資源科学部の湘南キャンパスに藤沢高等学校・中学校とともに併設する。藤沢小学校の教育理念は、大学の教育理念・目的である「自主創造」の基礎を小学校から育成することを目指し、

「自主性と創造性の芽を育む」とする。男女共学で1学級は定員を36名とし、1学年2学級、総定員432名を予定している。

○一般入試（N方式）の拡充

従来3月に実施していたN方式（法・経済・商の3学部が参加）に加え、初めて一般入試解禁日である2月1日に9学部及び短期大学部5学科が参加する大学統一（法人）入試として実施した。全国17試験場で実施し、複数の学部学科併願を可能としたことで受験生への利便性が向上し、全体で6289名の志願者を集め、2年連続志願者増の大きな要因となった。

○公務員試験対策講座の充実

今年度から公務員試験支援センターの主催講座として、駿河台（理工学部）・湘南（生物資源科学部）各ランチで1・2年生を対象とした公務員講座を開講した。この講座は公務員という職種について学生に興味を持たせ、公務員試験受験希望者を増やすことを目的に、前期と後期の2回行い、合計257名が受講した。

○就職支援体制の強化

現在運用中のNU就職ナビに就職活動の有効な進め方について紹介する「就活ガイド」、「就活羅針盤」のコンテンツを追加し、学生が自身の進路を決める際に直面する様々な悩みを手助けするものとなった。

○学生寮建設の推進

バンデリアン松戸（70名収容）、レガーマリアン赤堤（48名収容）、レガーマリアン宮坂（31名収容）、バンデリアン町田（100名収容）を開寮した。各地での進学説明会でも問い合わせが多く、入寮希望も多かったことから地方の優秀な学生を獲得し、同学生たちへの経済支援に繋がった。

○ソーシャルメディアポリシーの策定

本学公式ソーシャルメディアアカウントの運用及び教職員・学生等が個人でソーシャルメディアを利用する際のポリシーを定め、本学ホームページで公開した。

○研究支援体制の整備・強化

全学的連携により学術研究の新たな飛躍を図るため、平成26年4月1日付けで「日本大学研究推進支援機構」を設置することが決定した。また、同日付けで本部付置研究所のうち、総合科学研究所の見直しと教育制度研究所及び精神文化研究所の休止も決定した。

○学外研究費・競争的資金の積極的な獲得

産業界等との受託・共同研究の実施や外部研究支援機関からの競争的資金の獲得について、産官学連携知財センターにおける受託・共同研究は、件数・金額ともに前年度実績を上回った。また、競争的研究資金については、前年度に比べて件数は、若干下回ったが、金額においては前年度を上回る結果となり、積極的な資金獲得に向けた活動

成果が得られた。

○研究費の適正使用の徹底

本学において研究費の不適切な使用が発覚したことから、二度と同様の事態が起こらないよう再発防止の徹底を図る取組みとして、「日本大学不正行為防止宣言」を策定し、学内外に公表することにより本学が研究活動に対し厳正な姿勢を持って臨むことを明らかにした。4～6月にかけて、本部が全学部を訪問し、研究不正防止に関する説明会を実施した。

○情報管理等の徹底

ソフトウェアの不正使用・不正コピーを防止し、適正な管理を効率的に実施するため、管理ツール等を利用してソフトウェアの棚卸しを実施し、不正がないことを確認する。マイクロソフトについて、全部科校統一の包括契約を締結し、大幅な経費削減をする。また資産管理ソフトとウィルス対策ソフトの使用可能のため、全部科校のソフトウェア及びパソコン等の一元管理をする。

また、情報資産の適正な管理・運用を図るために、国際規格である情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)認証 ISMS (ISO27001)の第三者機関による監査・評価プログラムを実施する。25年度は3年に一度のISMS 認証の再認証審査を受け再認証を取得する。

○セキュリティ対策の強化

重要な情報システムを外部データセンターやクラウド`利用することにより、想定されるリスクからの保護やセキュリティ対策を講じる。

2 部科校別の事業の概要

達成度については、A:「おおむね達成」、B:「具体的実施中」、C:「検討中」、D:「未実施」として表示

総合科学研究科

【教育研究】

- 事業計画:コミティ(集団指導体制)の構築
事業概要:本研究科の目的である学問の統合・融合を具現化するために、学生の研究課題に対し、指導教授を中心としながらも多領域からなるコミティを編成し、多方面からアプローチできるシステムを構築する。
進捗状況:コミティ構成教員が指導にあたる「プロジェクト特別講義Ⅰ・Ⅱ」及び「プロジェクト特別研究Ⅰ・Ⅱ」の研究指導科目を修得後も、修了までの間、博士学位論文の作成等指導をコミティで行った。(達成度:A)
- 事業計画:研究指導体制及び研究環境の維持
事業概要:平成23年度からの学生募集停止後においても、本研究科学生の在学期間中は、学生が教育・研究を受けるために必要な研究指導体制や研究・生活環境を維持する。
進捗状況:研究指導は問題なく行われており、実験実習費等も十分活用された。また、生活環境にも十分に配慮し、論文作成のため、学生に対して一人一室を用意した。1名の在籍学生が博士学位を取得して修了した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:学外団体における委員活動を通じた社会貢献
事業概要:政府・地方自治体の審議会及び委員会等に積極的に参画し、教員の専門を活用することにより本研究科の社会貢献を目指す。
進捗状況:多数の教員が学外の学会や公共団体の委員を委嘱され、各専門分野において環境問題、社会問題の解決に貢献している。(達成度:A)
- 事業計画:NUBICとの連携
事業概要:大学の産官学連携の方針を受け、NUBICと連携する。
進捗状況:組織的な連携実施に向けさらに検討中である。(達成度:C)

【財政・各種基金】

- 事業計画:外部資金の獲得
事業概要:外部資金を獲得する
進捗状況:積極的な外部資金獲得に努めた結果、科学研究費補助金全7件、受託研究1件を獲得した。(達成度:A)

グローバル・ビジネス研究科

【教育研究】

- 事業計画:FDの実践(講義評価の実施と公表、教員研修会等の実施)
事業概要:組織的なFD推進を図るに当たり、本研究科における教育・授業等に関する現状及び問題点の把握並びにその改善方法等について、共通の知識等を習得することを目的として実施する。
進捗状況:講義評価の実施と公表及び教員研修会を計画どおり実施した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:諸経費の見直しを行う。

- 事業概要:平成26年度予算については、平成25年度予算比マイナス5%を目標に見直しを行った。
進捗状況:平成26年度予算は、平成25年度予算に対し、大幅に削減した。(達成度:A)
- 事業計画:外部資金の戦略的な獲得と補助金への対応を行い、資金調達に積極的に取り組む。
事業概要:研究委員会から専任教員へ積極的な外部資金調達を依頼した。
進捗状況:平成26年度科学研究費補助金申請者は2名である。また、平成25年度の新規採択者はいなかったが、継続して交付を受けた者は2名である。引き続き専任教員の意識向上に努めている。(達成度:A)

総合社会情報研究科

【教育研究】

- 事業計画:新カリキュラムの実施
事業概要:学術研究の高度化、多様化及びグローバル化に伴う社会の要請に応えるため、大学院教育プログラム全般を見直し、「専門分野で指導的な立場に立つ職業人の養成」及び「諸科学間の有機的な関連を獲得できる独創的な発想を持つ学問研究者の養成」に資するよう教育課程を変更した。
進捗状況:新カリキュラム導入年度入学生となる平成25年度入学試験において博士前期課程で76名(前年度比32名増)の候補者を得ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:奨学金(日本大学大学院総合社会情報研究科坂東奨学金)の給付
事業概要:本研究科修了生からの寄付金を基に、本研究科独自の奨学金を給付する。

- 進捗状況:博士前期課程1名、博士後期課程2名、計3名に給付した。(各20万円)(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:福島県いわき市への児童図書送付ボランティア活動の支援
事業概要:いわき市在住の同窓生を中心としたボランティア活動を支援
進捗状況:同窓会を中心に支援活動を展開し、いわき市の児童へ844冊の図書を贈ることができた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:博士前期課程入試の実施回数(年1回→年2回)
事業概要:出願機会増による出願者増を図る。

- 進捗状況:平成 26 年度博士前期課程第 1 期出願者 24 名(前年度比 2 名増), 博士前期課程第 2 期出願者 40 名(前年度比 18 名減)計 64 名(前年度比 16 名減) (達成度:A)
- 事業計画:人間科学専攻の教員採用(専任)
事業概要:教育内容の充実を目的とする。
進捗状況:人間科学専攻の専任教員 1 名を採用し, この教員の志願者 8 名が入学した。(達成度:A)
- 事業計画:国際情報専攻の教員採用(院専任)の検討
事業概要:教育内容の充実を図る。
進捗状況:平成 26 年度より, 国際情報専攻の院専任教員を 1 名採用する。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:学生の個人所有パソコンの取扱い開始
事業概要:従前, パソコンを大学で購入し, 全員に貸与していたが, 希望者のみに貸与することにより, 購入台数を減らし, 経費削減を図った。
進捗状況:平成 25 年度のパソコン購入台数は 30 台であり(前年度比 50 台減), 大幅な経費削減ができた。(達成度:A)
- 事業計画:学生への貸与ソフトウェアの変更
事業概要:個人所有パソコン利用に伴い, 統計処理用ソフトウェアを「エクセル統計 2012」に変更する。
進捗状況:該当ソフトウェアについて, 47 名の希望者に貸出しを行った。(達成度:A)

法務研究科

【教育研究】

- 事業計画:修了生の就職支援
事業概要:修了生の就職支援体制を構築する。全修了生の進路状況調査を行う。相談ができる体制を整備し, 就職支援を実施する。
進捗状況:平成 24 年度から, 新たに学生生活・就職委員会を設立し, またその中に就職ワキングチームを設置し一般企業・公務員等への就職への支援を開始したほか, 学内の就職相談を実施している。また, 昨年度から全修了生を対象に就職動向調査を行い, その回答を集計し, 今年度も就職動向調査を引き続き行う予定である。(達成度:A)
- 事業計画:奨学金制度の充実
事業概要:平成 25 年度以降の入学者を対象に奨学金を大幅に拡充した。これにより, 入学時から修了時までの奨学金支給や本学出身者への奨学金支給, 更に入学時に奨学生にならなかった成績優秀な在学生への支給を行い, 志願者数の増加と優秀な学生の確保, 司法試験合格者数の増加を図る。
進捗状況:平成 25 年度採用人数は, 特別奨学金(年額 50 万円)4 名, 日本大学大学院法務研究科奨学金第 1 種(年額 98 万円)7 名, 第 2 種(年額 50 万円)12 名, 第 4 種(年額 50 万円)2 名である。(達成度:A)
- 事業計画:カリキュラム改正
事業概要:共通的な到達目標については, 科目毎に学生の到達状況を確認し, 授業で取り上げる項目の見直しを行っている。この結果を踏まえて, カリキュラムポリシーに基づき, カリキュラムの抜本的な改正を行う。
進捗状況:平成 26 年度にカリキュラム改正を行うため, 平成 24 年度末にカリキュラム改正検討ワキンググループを立ち上げ, 抜本的な見直しを行った。この結果, 法律基本科目, 法律実務基礎科目, 基礎法学・隣接科目, 展開・先端科目をバランス良く履修できるカリキュラムとなり, 平成 26 年度から適用することとなった。(達成度:A)
- 事業計画:入試制度の改革
事業概要:志願者数を多く集め, 優秀な入学者を確保するため, 平成 26 年度入学試験より, 選抜方法の変更, 特別選抜入試の導入など, 入試制度改革を実施する。
進捗状況:平成 26 年度入学試験について, 第 3 期の入学試験を新設して, 未修者コースに「全国統一適性試験第 4 部(表現力を測る問題)」を利用した試験を導入し, 既修者コースとの併願受験を可能とした。また, 既修者コース第 1 期及

び第 2 期に「特別選抜入学試験」を導入し, 出願要件を平成 24 年または平成 25 年司法試験予備試験において, 短答式試験に合格した者とし, 合格者について第 1 種奨学生として, 授業料全額を給付する。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:授業(クリニック・ローリング)の一環として無料法律相談の実施
事業概要:無料法律相談を通じて地域・社会に貢献する。従来の新聞折り込みに加えて, 千代田区役所及び神保町出張所を通じて相談者を募り, 広く地域社会に貢献する。
進捗状況:「クリニック・ローリング」として開講したが, 受講者がおらず, 科目として閉講となり無料法律相談は実施できなかった。(達成度:D)

【経営・人事】

- 事業計画:専任教員組織の充実
事業概要:法令上の必要教員数を安定的に維持できるよう法律基本科目担当者の後任補充を計画的に実施する。具体的には, 若手の研究者等の教員を採用し, 長期・継続的に教育研究を担当することにより法務研究科の教員組織の充実, 年齢構成の適正化, 教育研究水準の維持向上及び活性化を図る。
進捗状況:平成 25 年 4 月 1 日付けで民事系教授 1 名, 刑事系教授 2 名, 合計 3 名採用した。さらに平成 25 年 9 月 1 日付けで刑事系教授を 1 名採用した。今後も, 定年を迎える教員の充足を行うため, 若手研究者教員を採用し, 教員組織の充実, 教育研究の向上を図るための採用計画を継続して実施する。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:お茶の水キャンパス総合開発検討委員会の中間答申に基づき, 大学院法務研究科校舎を水道橋の通信教育部校舎へ移転する。
事業概要:「司法の日大」の復活に向けた法学部との更なる連携強化が目的で, 図書館や模擬法廷, 学生ホール等は法学部の施設を共用して, 施設の効率的運用を図る。
進捗状況:平成 26 年 11 月上旬予定の校舎移転に向け, 効率的運用を図るため平成 26 年 4 月 1 日から校舎移転(引越)委員会を設置することとした。また, 各関係部署と連携を図りながら業務遂行中である。(達成度:A)

○法学部

【教育研究】

- 事業計画:学生相談室の整備・充実
事業概要:学生相談室内の設備備品等を更新する。
進捗状況:学生相談室内の空調、窓サッシ等をリフォームし、デスク、キャビネット、パーティション、ワゴン等を更新した。(達成度:A)
- 事業計画:貴重書データの登録
事業概要:図書館システムに、貴重書の書誌・所蔵情報を登録する。
進捗状況:所蔵情報の登録は完了し、平成24年度に引き続き書誌情報を登録している。(達成度:B)
- 事業計画:キャリア教育講座の充実
事業概要:自己の進路を熟考するための各種講座・講演を実施する。
進捗状況:就職(進路)指導委員会と連携の下、ニュース検定試験・日本語検定、日経講座「ビジネスの基本語」、キャリアコンサルタントによるキャリア教育講座の実施など、就職以外の選択肢について学生に熟考させる機会を種々提供した。(達成度:A)
- 事業計画:各種就職関係行事の充実
事業概要:就職がイタズ、企業セミナー、OB・OG 相談会、各種対策試験の充実を図る。職業意識の養成・進路選択意識の向上を目標とし、「就職に強い日本大学」を推進・強化していく。
進捗状況:総合就職がイタズを始めとし、就職活動における基礎的知識、業界・職種研究、企業研究さらにはSPI等の筆記試験、個人・集団面接試験対策などについて、近年の最新動向を見計らいながら、就職(進路)指導委員・就職指導課員・外部招へい講師・OB・OG 等による各種対策がイタズを実施した。(達成度:A)
- 事業計画:保護者への情報提供の強化
事業概要:「保護者のための就職活動応援ブック」の配布対象を拡充する。従前、後援会総会時のみ配布していた冊子を就職希望の全3年生の保護者へも配布することで、大学・家庭の双方からより多くの学生を支援し、学生の就職への意識を高める。
進捗状況:後援会総会において、外部招へい講師及び就職指導委員長による、近年の就職戦線や採用情報等について講演を実施し、その後相談コーナーにおいて個別に就職相談に応じるとともに、「保護者のための就職活動応援ブック」を全3年生の保護者に郵送した。(達成度:A)
- 事業計画:図書館の日曜開館
事業概要:年度内に日曜開館を21日実施することにより、①学生の学術研究環境の向上、②定期試験、資格試験時に学生に対して利便を図ることができる。
進捗状況:当初の計画に従い、年度内に21日開館し、1日あたりの延べ入館者数は約150人～370人、年度合計では5,168人であった。学生の学術研究環境の向上や定期試験、資格試験時に学生に対して利便を図ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:貴重書の電子化
事業概要:ブックスキャナーを利用し、貴重書の電子化を行うことにより、①デジタルデータによる貴重書・特別書の有効利用及び教員の研究環境の拡充を図る、②資料原本が劣化・破損することを防止し、将来的に資料保存の効果が期待できる。

進捗状況:平成24年度に引き続き、専門領域の教員の協力を得て、スキャンする貴重書の優先順位を決定し、電子化作業を進めている。(達成度:B)

- 事業計画:授業ポータルシステムの導入
事業概要:WEBによるお知らせ機能・携帯メールへの告知機能・レポート提出機能を有するシステムを導入し、学生の利便性を向上させる。また、非常時でも安否確認等対応できるように構築を行う。
進捗状況:WEBによるお知らせ機能・携帯メールへの告知機能・レポート提出機能を有するシステムを導入した。これにより、学生に対する情報配信等に効果的であり、利便性が向上した。(達成度:A)
- 事業計画:学務システムの導入
事業概要:新カリキュラムの導入に伴い、WEB履修や学生カルテ等現在のニーズにあったシステムの導入を検討する。学務システムの導入により、学生情報の共有化及び早期に履修を確定することで、教育効果をより一層向上させることが可能となる。
進捗状況:新カリキュラムの導入に伴い、WEB履修や学生カルテ等現在のニーズにあったシステムの導入を進めている。学務システムの導入により、学生情報の共有化及び早期に履修を確定することで、教育効果をより一層向上させることが可能となる。(達成度:A)
- 事業計画:新カリキュラムの導入
事業概要:平成26年4月より、セメスター制度の導入を主軸にした新カリキュラムを導入し、より一層の教育効果向上を目指す。これにより、留学等国際交流にも柔軟に対応でき、国際的な視野を持つ、より優秀な学生の育成が可能となる。
進捗状況:平成26年4月より、グローバル化に対応した教育システム、基礎的な教育の強化・充実、体系的な教育の拡充など、多様化する社会情勢への対応を目的とした新カリキュラムを導入する。(達成度:A)
- 事業計画:FD活動の充実
事業概要:現在実施している授業アンケート結果の学生への情報公開及び教員アンケートの実施等、教育のより一層の向上を目指した検討を行う。
進捗状況:学生へのアンケート結果の公開には至らなかったが、教育のより一層の向上を目指し、法学部FD委員会において、授業アンケートの集計項目の見直しを行い、より細分化した項目での集計を可能とした。また、授業改善に向けたアクションプラン導入の検討が行われた。(達成度:B)
- 事業計画:電子データベースの導入
事業概要:法学部の学生・教職員に必要なデータベースを導入し、学術情報を収集できる環境を整備する。
進捗状況:現在13種類のデータベースを保有しており、本部総合学術情報センター等が提供している電子情報とともに、本学部ホームページの図書館ページにリンクして利用できるようにしている。(達成度:B)
- 事業計画:政経塾の開催
事業概要:政治家を招き、政経塾を開催し、法学部OBの政治家等と交流することで、学生自身の政治に対する関心や意欲を高め、より多く政治に関わる人材を育成する。
進捗状況:政経研究所による、法学部出身の政治家と交流する機会を設けることにより、学生の政治に対する関

心や志を高め、政治に関わる人材育成の機会を創出した。
(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:法律相談会・行政相談会の開催
事業概要:無料法律相談会(定期・巡回)、行政相談会を行うことで、地域社会との交流活動を推進する。
進捗状況:定期無料法律相談会を本学部3号館において年間8回開催した。また、群馬県高崎市において巡回無料法律相談会を開催、計9回の無料法律相談会を開催した。また、行政相談会として学部祭期間中に「行政なんでも相談」窓口を3日間開催し、各種の相談に応じた。これら事業を通じ、一般社会への研究成果の社会的還元を行うと同時に、地域社会との交流を行い、大きな成果を上げると同時に、社会的に高い評価を得た。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:受験生への積極的広報活動
事業概要:「受験生向けモバイルサイト」及び「受験生向けホームページ」のコンテンツ充実化を図ることでより一層、法学部の魅力を受験生に伝えていくことで、志願者・入学者増加が期待できる。
進捗状況:ホームページ・モバイルサイトともにアクセス数が年々増加しており、引き続きコンテンツの充実化を図り、受験生へのきめ細やかな情報提供を行っていく。(達成度:A)
- 事業計画:法曹資格取得希望学生への対応
事業概要:司法試験の受験資格である法科大学院への進学又は司法試験予備試験の合格を目的とした講座を充実させることで、本学部・本学法科大学院進学希望者の増加が期待できる。
進捗状況:法科大学院進学や司法試験予備試験合格及び司法試験予備試験合格者(現役)を輩出しており、法曹資格取得希望学生に対し、法曹資格を取得するための講座を実施し、更なる充実を図っている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:本館リニューアル工事
事業概要:老朽化した本館外壁のバネ貼による改修及び汚損の著しい教室・大講堂の内装(床面・壁面)を改修し、建物の耐久性の強化を図り、学生にとって快適な教育環境を拡充するとともに校舎外観の美的向上による志願者・入学者の増加を図る。
進捗状況:平成25年度に外壁バネ貼による改修及び西側トイレ及び大講堂の内装を改修した。平成26年度に東側トイレ及び教室の内装改修を行い、完了する予定である。(達成度:B)
- 事業計画:3号館新築工事
事業概要:老朽化した5階建講堂棟(昭和38建設)を地階付8階建講堂・食堂・体育兼大講堂棟に改築し、耐震・防災機能の強化を図り、教育・研究・厚生面における学生サービスを拡充させる。
進捗状況:当初の計画に従い、平成26年度より設計業務を開始する予定である。(達成度:B)
- 事業計画:5号館新築工事
事業概要:老朽化した4階建学生ホール棟(昭和41建設)を、地階付9階建、講堂、研究施設棟に改築し、耐震・防災機能の強化を図り、教育・研究・厚生面における学生サービスを拡充させる。
進捗状況:設計業務を完了し、現在工事発注手続きを進めており、平成26年4月着工予定である。(達成度:B)
- 事業計画:6号館新築工事
事業概要:老朽化した3階建研究室棟(昭和27建設)を、地階付6階建学生厚生施設棟に改築し、耐震・防災機能の強化を図り、学生にとって安全かつ快適な課外活動スペースを確保。
進捗状況:平成25年7月に新6号館が竣工し、完了した。(達成度:A)

文理学部・文学研究科・総合基礎科学研究科

○文理学部

【教育研究】

- 事業計画:高大連携教育の拡充
事業概要:付属高校の教員に対して、教材となりうる基礎データをネットワーク上に提示し、高校教員の教材作成の支援を行う。
進捗状況:教材の提示は一定数の確保が終了しているが、高校教員側がどの程度それを活用しているかの検証がなされていない。今後、アクセス数のチェック等確認体制を強化していく。(達成度:B)
- 事業計画:ホームcomingデーの開催
事業概要:卒業生に大学を開放するとともに、とりわけ教職に就いた卒業生を招待したホームcomingデーを開催し、教職志望の在學生と交流させる。
進捗状況:学部祭開催期間中の平成25年11月2日(土)に教職に関する交流イベントを中心としたホームcomingデーを実施し、550名の参加があった。(達成度:A)
- 事業計画:外国語教育センターにおける外国語能力の向上
事業概要:学生の所属学科を問わず外国語運用能力を向上させるため、課外講座の開催、ネイティブ教員による英会話カブンの実施、留学等に関する相談・指導などの学習支援を行う。平成24年度より新たに「アドバイザー制度」を設け、留学経験のある在學生が同目線である学生に生きたアドバイスをを行うことができる機会を設けた。さらに英語科目についてはセンター主導で統括することを検討する。留学生対策、研究・教育上の国際交流についても統括的な部署となることを目指す。
進捗状況:課外講座、英会話カブンの各種外国語検定情報、団体受験機会の提供、留学等の相談・指導を予定どおり行った。また、留学経験や各種資格高スコアの学生をアドバイザーとして採用し、学生間で気軽に相談できる機会を設けた。(達成度:A)
- 事業計画:教職志望者への支援
事業概要:平成22年度から教職指導室を設置し、教職志望者に対し、試験対策講座の開催、個別相談に応じている。平成23年度からは現任教諭を招き、採用試験を受験する学生に対し、一次試験の論作文・面接対策や二次試験対策を個別指導している。
進捗状況:3年生に対し、1年後の一次試験を見据え、段階的に対策を実施した。また、一次試験合格者を対象に、現任教諭(公立中学校の校長先生)を招き、二次試験の対策を実施した。なお、11月からは、教職指導室での指導と教員試験対策を融合させる形で、教職支援センターを発足させて、前述の対策を体系的に集約させることに着手し、日本大学桜師会の支援も受けながら2回の研修会を実施した。(達成度:A)

- 事業計画:教育の質の向上への取組
事業概要:文理学部 FD 委員会に専門委員会を設置し、「学生FDワーキンググループ」による文理学部FD活動の環境整備を行い、活動を支援する。
進捗状況:学生FDWGの学生を、8月に立命館大学、3月に東洋大学において開催された学生FDサットに派遣を行った。また、本部主催の学生CHAmmiTに、メンバーとして参加し、運営の中心的役割を担い、終了後には学部内で報告会を実施した。また、学部内で行われたFDカフェ、FD講演会にも積極的に参加、聴講し、意見交換を行ったほか、プロジェクト教育科目において、初めての学生提案型授業「これから『日本の未来』の話しよう」を企画・開講し、多くの受講生から好評を得た。FD委員会は、学生FDWGの活動に対し、財政的支援を行ったほか、提案の実効性に資する支援を行った。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育に関する講座の開講
事業概要:平成23年度から、大学設置基準の改正により、キャリア教育が義務化された。これに伴い、次回カリキュラム改正までの対応として、総合教育科目のうち、「プロジェクト教育科目」(既存の科目などでは学習できない多様な教育内容に関して、自由に企画できる科目)の一科目として開講していた特定業界の講座を発展させて、キャリア教育に関する講座として開講し、開講コマ数も拡大する。
進捗状況:平成25年度は、総合教育科目のうち、「プロジェクト教育科目」の特別枠として開講コマ数を拡大し、キャリア教育科目に対して配慮した開講形態とした。(達成度:A)
- 事業計画:経済的困窮者に対する奨学金制度の充実
事業概要:後援会奨学金の運用
進捗状況:後援会奨学金について、平成24年度より主たる家計支持者給与所得の制限を設け、経済困窮者50名に対し、計12,000,000円を給付した(達成度:A)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:授業料等の減免措置
進捗状況:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置に関する規程に基づき、対象者50名に対して授業料を減免した。(達成度:A)
- 事業計画:就職意識の高い学生への選抜就職支援
事業概要:就職意識の高い3年生を選抜し「本気就職塾」を実施。学年をリードする学生を育成する。
進捗状況:意識の高い学生72名に早期に就職のノウハウを提供できたことで、参加者は難易度の高い企業にも挑戦している。また昨年度の塾生は就職行事にも協力し後輩の就職支援に積極的に当たっている。(達成度:A)
- 事業計画:OB・OG懇談会の実施
事業概要:民間企業・教員・公務員で働くOB・OGを招聘し、仕事体験・就職活動体験を聞く。
進捗状況:OB・OGという社会人に初めて触れることで、働くイメージを高められた。仕事を理解することで、これからの学生生活の過ごし方や就職活動に役立っている。(達成度:A)
- 事業計画:優良企業合同セミナーの実施
事業概要:OB・OGが在籍し、業界シェアを有する優良企業に特化した合同説明会の実施。
進捗状況:セミナーに参加した企業のほぼ全てから毎年内定者が出ている。中には複数の内定者を出す企業もあり、学生にとっても優良企業の探し方が理解できた。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部学術出版助成制度

事業概要:専任教員の研究成果を公開するため、出版が困難と認められる学術論文等の出版に対し、助成を行う
進捗状況:平成25年度は申請がなかったが、制度自体は平成22年度に整備完了しており、今後も本学部の研究成果を広く社会に還元していくことを目指す。(達成度:A)

- 事業計画:科学技術振興・戦略的創造研究推進事業
事業概要:地圏熱環境の変化が地下物質循環や微生物生態系に及ぼす影響を考慮した地下水・地圏熱利用のための環境影響評価ツールの開発を行う
進捗状況:平成25年度は、地圏熱利用ヒートポンプシステム稼働観測で得られたデータ分析により、本課題最終目標である「地圏熱利用の地下水管理」に関する研究が深化した。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部科学研究費再申請支援研究費
事業概要:科学研究費への申請で当該年度に不採択となった研究課題に対して、研究者が継続的な取組を行うことで、研究力を強化・充実させるために必要な経費を支給する
進捗状況:平成25年度に新設し、不採択課題者への研究支援を行ったが、その結果が現れるのは平成26年度であるため、効果への検証はまだ来ていない。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:公開講座の実施
事業概要:平成25年度は、社会福祉学科開設記念として、1年間を通して「社会福祉を拓く」を統一テーマに講座を実施する。社会福祉学科の専任教員が、各方面から「社会福祉」について考えていく。
進捗状況:平成25年度は、予定どおり年間を通して「社会福祉」についてのテーマにて開講した。5月～11月に16回開講し、受講者は148名であった。(達成度:A)
- 事業計画:地域貢献事業の実施
事業概要:文理学部心理臨床センターにおいて、地域貢献事業の一環として「桜っ子カフェ」を開催し、近隣に居住する子育て世代の支援を行う。
進捗状況:平成25年度は、保護者21名、幼児23名の参加登録があり、各回9～20組の参加のもとグループ活動を実施し、地域の子育て支援に貢献できた。(達成度:A)
- 事業計画:資料館企画展の実施
事業概要:人文科学・社会科学・自然科学といった文理学部の教育研究分野に関する資料の収集、保管、調査研究並びに展示を行い、教職員、学生及び一般の利用に供し、合わせて本学における教育、研究成果を社会に還元する。
進捗状況:平成25年度は4回の企画展を開催し、入場者数は、延べ5,083名であった。(達成度:A)
- 事業計画:桜上水駅内京王ほっとネットワークでのイベントの共催
事業概要:地域向け講習会の開催
進捗状況:平成25年度については、京王ほっとネットワークが他団体のイベント等開催により実施に至っていない。(達成度:C)

【経営・人事】

- 事業計画:オープンキャンパス等の実施・拡充
事業概要:オープンキャンパスを7月及び9月に実施し、附属高等の生徒を対象とした体験授業を9月に実施する。企画内容については、広報委員会で協議し、受験生が求める情報を提供できるよう準備する。

進捗状況:7月21日(日)に夏季オープンキャンパス,9月22日(日)に秋季オープンキャンパスを実施した。夏季は6,766名,秋季は2,625名の来場があった。また,9月21日(土)には付属高等学校生徒向けに体験授業を実施した。実施月の違いにより受験生の意識が異なるため,夏季オープンキャンパスでは,学科企画を重視し,多くの学科を見学してもらうことで,本学部への興味を喚起した。一方,推薦入学試験や志望校の絞込みが迫った時期に実施した秋季オープンキャンパスでは,進学相談コーナー等での対応を重視することで,本学部への進学の動機付けを喚起した。(達成度:A)

○事業計画:防災備蓄

事業概要:災害発生に備え,カンパン・飲料水 6,000名分を確保する。

進捗状況:平成25年度はスーパー保存水(500ml),カンパン110g,学生用帰宅セットを1,200セット購入したのに加えて,レスキューBOX型(5個),タールと滑り止め軍手圧縮加工セット(200個),ヘルメット(30個),マホール型トイレ(2個)を別途購入した。(達成度:A)

○事業計画:キャンパスマスタープランの構築。老朽化の著しい5号館・6号館等の建替えを中心として,限られたキャンパスの有効活用を図るべく将来に向けた基本構想を構築する。

事業概要:①老朽化著しい5号館・6号館及び本館の代替施設を建築することにより,学生の安全確保を図るとともに,より充実した教育・研究環境を提供する。②計画的な施設(建物)更新計画の履行により,キャンパスの有効活用を図る。

進捗状況:委員会(計6回開催)において,キャンパス全体の整備計画の中で検討を進めている。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:メディアラボ(コンピュータ実習室)機器更新。現有機器に対するメーカーからのサポート(保守)対象期間が終了し,また陳腐化も著しいことから,最新機器への更新を行う。

事業概要:最新機器への更新により,学生にはそれらの取扱いへの習熟を通してコンピュータリテラシーの高度化を図り,また講師にはe-learningの活用を通じてより一層高い情報教育の実践を図る。

進捗状況:メディアラボ(コンピュータ実習室)機器更新が完了(4月)し,使用開始した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:文理学部施設設備整備資金への組入れ

事業概要:建物の建替え及び内部改修のため,毎年度5億円を文理学部施設設備整備資金(第2号基本金)に組み入れ,自己資本の充実を図る。

進捗状況:組入計画に基づき,5億円を引当資産に組み入れた。(達成度:A)

○事業計画:文理学部後援会奨学基金への組入れ

事業概要:経済的理由により学費等の支弁が困難な学生へ奨学金の給付を行うため,毎年度1,000万円を文理学部後援会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。
進捗状況:組入計画に基づき,1,000万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○文学研究科,総合基礎科学研究科

【教育研究】

○事業計画:大学院生への研究支援

事業概要:従前の奨学金制度を見直し,特に博士後期課程の大学院生の研究活動に対する支援を充実させる。

進捗状況:博士後期課程在籍学生に対し,研究活動を直接的に支援する制度を制定し,運用を継続している。大学院生の研究活動への直接的な財政的支援体制を充実するとともに,研究奨励費の申請・報告手続きの過程を通じ,将来,学外研究費を獲得するための手続きに習熟する機会としての間接的な効果も期待できる制度で運用を継続している。(達成度:B)

○人文科学研究所,自然科学研究所,情報科学研究所共通

【教育研究】

○事業計画:学内における競争的研究費

事業概要:応募採択制による同一学科内の複数の専任教員による共同研究と複数学科の専任教員による総合研究を設け,研究費の効率的助成を行う

進捗状況:平成23年度から3研究所で実施したこの助成制度は研究の活性化に貢献している。今後は学外への大型研究資金獲得へと発展できるような体制づくりを目指していく。(達成度:A)

○事業計画:研究成果の公開

事業概要:講演会・シンポジウムを開催及び研究紀要等の発行

進捗状況:人文科学研究所では講演会,情報科学研究所ではシンポジウム等を開催し,また各研究所において研究紀要等の発行を予定通りに行なったが,一部においてはシンポジウム開催には至らなかった。(達成度:B)

○自然科学研究所

【教育研究】

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

事業概要:本学部の特色を活かした研究を行うため,その拠点としての研究基盤を形成する。「構造制御および電子状態制御に基づく新物質の開発」

進捗状況:昨年度に引き続き,本学部が研究拠点となり,学外の研究者とも協力して行うことなどにより,当初の目標を達成しながら,大学のイメージアップにも寄与できた。(達成度:A)

経済学部・経済学研究科

○経済学部

【教育研究】

○事業計画:経済的困窮者への奨学金給付

事業概要:経済的困窮者に対して,学部又は学部後援会奨学金の給付を行う。貸与型奨学金を受けてなおかつ経済的に厳しい学生に対して,学部奨学金又は学部後援会

等の奨学金を給付することにより,安心して学業に専念できる環境を維持確保する。

進捗状況:経済的困窮者に対して,学部第3種奨学金(9名採用),学部後援会第1種奨学金(30名採用)を給付し,経済的支援を行った。(達成度:A)

○事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)被災者への奨学金給付

事業概要:被災者に対して、学部又は学部後援会奨学金の給付を行う。東日本大震災及び原発被災者に対して、学部奨学金又は学部後援会等の奨学金を給付することにより、安心して学業に専念できる環境を維持確保する。

進捗状況:1年生には申請者全員に学部第3種奨学金(5名採用)、2年生以上は家計基準に照らして選考した者に学部後援会第1種奨学金(2名採用)を給付し、経済的支援を行った。(達成度:A)

○事業計画:学業成績優秀者への奨学金給付

事業概要:学業成績優秀で人物が優れている者に対して、学部校友会奨学金の給付を行う。学生の学習意欲の向上を図るとともに、卒業後における校友としての帰属意識を高める。

進捗状況:特待生に準じた成績を修めた学部2年生以上の学生に対して、学部校友会奨学生として10名を採用した。(達成度:A)

○事業計画:海外提携校の拡大

事業概要:海外提携校の拡大に向けて大学を視察し、また、すでに覚書を提携している提携校では長期プログラム実施に向けた調査を行う。グローバル化社会に対応する人材の育成には、語学力の向上が不可欠となる。海外の提携校並びに長期留学プログラムを拡大することにより、留学先の選択肢が増え留学参加学生の増加につながるとともに、将来、世界を舞台として活躍する人材の育成となる。

進捗状況:長期留学プログラムの派遣先大学を3大学増やし、また、派遣交換留学先として現在海外の3大学と交渉中である。(達成度:A)

○事業計画:初年次教育の充実

事業概要:少人数対話型授業「基礎研究」の授業内容統一化。新入生全員を対象に、「基礎研究」を開講する。本科目は少人数対話型の授業である。20名程度のクラス(基礎研究クラス)において、4年間の大学教育を受ける上で最低限必要となる基礎的な知識を学びながら、在学中はもとより卒業後の将来に向けた目的意識を高めることを目標とする。

進捗状況:共通シラバスを作成して、授業内容の均一化を図り、本学部専任教員が授業を担当した。95コマが開講され、1クラス当たり約17名の少人数対話型授業が実施された。(達成度:A)

○事業計画:入学前教育の充実

事業概要:A0・校友子女入試、推薦入試(保体審第2期を除く)による入学予定者全員を対象に、費用を学部が負担し実施する『文章作成能力向上プログラム』と、国・数・英の学力向上を目指す者に自己負担で参加してもらう『基礎学力向上プログラム』を実施する。これにより、高大連携の一環として大学入学のための準備学習の実現と基礎学力の向上を図る。

進捗状況:『文章作成能力向上プログラム』は789人を対象として実施し、全員から課題が提出された。『基礎学力向上プログラム』には168人の申込みがあった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:地域住民への図書館閲覧サービス

事業概要:平成24年度に引き続き、千代田区民で経済・経営分野を研究テーマとする方への開架資料の閲覧サービスを提供する。地域住民へ開室することにより、大学への関心を集めるとともに、教育・研究機関としての役割を広く周知し、本学部への理解を深めてもらうことができる。

進捗状況:平成26年2月28日現在の利用登録者数は1名、延べ入室者数は1名である。(達成度:B)

【経営・人事】

○事業計画:入試日程の変更

事業概要:一般入試A方式第1期試験日の変更(2月5日から2月3日へ)。併願大学との入試日の重複を避け、本学部志願者への受験機会を広げる。

進捗状況:平成26年度一般入学試験A方式第1期試験を、平成26年2月3日(月)に実施した。志願者は5,058人となり、前年比558人(12.4%)増となった。(達成度:A)

○事業計画:オープンキャンパスの複数回の実施(7月中旬及び11月初旬)

事業概要:従来から実施している7月中旬のオープンキャンパスに加え、学部祭と同時開催の進学相談会を発展的に廃止して、第2回目のオープンキャンパスを新たに実施し、出願直前の受験情報の提供や、高等学校低学年生徒への本学部志望の動機づけを行う。

進捗状況:第1回目を7月14日(日)、第2回目を11月2日(土)の2回実施し、各々3,509人、513人の来場者があった。第2回目の来場者数は従前実施の進学相談会の約3倍となった。(達成度:A)

○事業計画:就職指導支援事業

事業概要:①就職支援では、学部3年生を主対象に行う就職支援セミナーの内容を見直し、約30種90回開講するとともに4年生の就職支援は実施回数を増やす。学部3年生を対象に就職活動前の講座を数多く開講することにより、就職試験に向けた準備が進むことと学部4年生の就職支援を手厚くすることで就職率の向上が図られる。②資格取得支援講座では、教員採用試験対策講座を新たに追加し、学内講座6種及び学外講座5種を実施する。資格の取得を目指す学生のために学内・学外での講座を開講することにより、資格取得の実績向上が図られ、有利な就職活動につながる。

進捗状況:①3年生を対象とした就職活動支援講座は、40種101回を実施し、さらに、12月と2月に企業研究会を開催した。4年生には、内定獲得支援講座等を新たに実施した。②資格取得支援講座11種を開講。延べ270名が受講し、検定試験の結果が出ている講座の合格者数は、日商簿記検定2級7名、証券外務員(二種)5名、販売士2級29名である。(達成度:A)

○事業計画:キャリア形成支援事業

事業概要:①学部2・3年生を対象にインターンシップを正課授業「キャリア形成論」として実施する。インターンシップを通じて職業観・人生観を醸成し、さらにその後の学習意欲の向上が図られる。②学部1年生全員の履修科目「基礎研究」において「キャリア教育」を2コマ実施する。また、学部1・2年生を対象としたキャリア講座に加え、女子学生には、ワークライフバランス講座を実施する。低学年からキャリアデザインの基礎及びモチベーションを向上させる講座を受講することにより、職業意識・職業理解及び社会観等を深め、さらに人生設計を主体的に行えるようになり、就業力の向上が図られる。

進捗状況:①「キャリア形成論」におけるインターンシップは、ビジネスコース48名、行政コース22名が実施、それを通して、社会人基礎力等が養われ、大学での学修意欲の向上等が図られた。②1年生科目「基礎研究」でのキャリア教育は、5月20日から2週間にわたり合計8回実施、高い評価が得られた。1・2年生対象のキャリア講座は、8回実施したが、参加者数は年々下回る傾向にある。(達成度:A)

○事業計画:受験生ポータルサイトの充実

事業概要:情報機器の変化に伴い、受験生の多くがスマートフォンやタブレットなどによって情報収集している。新しい機器での表示対応及び学部最新情報の提供を行うために受験生サポート体制の充実を図る。
進捗状況:4月にポータルサイトをリニューアルした。スマートフォンやタブレットなどに合わせた画面構成となり、タップの操作で簡単に出来るようになった。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:情報機器の更新

事業概要:CAL(パソコン)教室及び学生系サーバを更新する。教室内の常設パソコンは、平成20年度に導入したものであり、OSやソフトウェアも古いものを使用している。そこで、最新機種に入れ換え、ソフトウェアもバージョンアップを図り、コンピュータを利用した授業等に支障のないよう対応することにより、授業環境の整備を図る。
進捗状況:夏季休暇期間中に機器の更新及びソフトウェアのバージョンアップを行った。後期授業開始から新しいサーバ及びパソコンにて、授業を行っている。(達成度:A)

商学部・商学研究科

○商学部

【教育研究】

- 事業計画:コンピュータ実習用教室の増設
事業概要:2号館地下1階にコンピュータ教室を2室増設する。
進捗状況:平成26年3月、2号館地下1階にコンピュータ教室2室が完成し、同年4月から授業にて利用を開始する。(達成度:A)
- 事業計画:出席管理システムの導入
事業概要:学生証を利用した出席管理システムを導入する。
進捗状況:平成26年3月、カトリック教室設置、同年4月から運用開始。学生カレッジ・ポートフォリオとともに学修支援に活用する。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育支援
事業概要:1年次から大学生活に対する意識付けを行い、就職意識向上を図る。
進捗状況:初年次教育と2年次対象のキャリア講座の連携を図った。就職行事は、具体的な就職対策まで体系的に設置した。(達成度:A)
- 事業計画:在校生を活用したオリエンテーションの実施
事業概要:在校生を活用しオリエンテーションを実施する。
進捗状況:平成25年度後学期「リーダーシップ養成講座」を開設、オリエンテーション等でリーダー活動ができる学生の教育を行った。(達成度:B)
- 事業計画:海外大学等との交流事業拡大等
事業概要:学生の海外留学促進のため、海外大学等との交流事業拡大を検討する。
進捗状況:新たな交流提携大学の検討を進めているが、具体的な選定に至っていない。短期研修は、他学部共催実施で調整を図っている。(達成度:C)
- 事業計画:横断的プロジェクト共同研究実施
事業概要:研究所等の枠を超えた学際的な共同研究により、研究活動を活性化させ、大型外部資金獲得が可能なプロジェクトへの発展を目指す。

進捗状況:「持続可能な経済・社会の構築とエネルギー政策の統合的研究」を実施した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:広報活動の強化
事業概要:中期広報戦略による体系的・統合的な情報発信により、商学部及び日本大学全体の社会的価値を高める。
進捗状況:中期広報戦略に基づき広報活動を実施した。(達成度:B)
- 事業計画:学生会館(契約学生寮)入館費補助事業
事業概要:民間学生会館の一部を一括契約し、入館料を補助し地方出身学生の経済的負担を軽減する。
進捗状況:新入生28名に対し、合計2,920,000円の補助を行った。(達成度:A)
- 事業計画:オープンキャンパスの実施
事業概要:商学部を広く社会に周知し、志願者数の増大を目的とする。
進捗状況:ミニオープンキャンパス(5回)は1,263名、オープンキャンパス(1回)は2,485名が来場した。(達成度:A)
- 事業計画:ホームシングデーの実施
事業概要:校友を母校へ招き、教職員と校友相互の旧交を温め、母校との絆を強くする。
進捗状況:300名以上が来場。昭和61年度卒業生で東証一部上場企業の代表取締役社長に就任した校友を招き講演会等を実施した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:砧キャンパス新本館(管理・研究棟)(仮称)建設工事
事業概要:耐震強度不足と診断された3・4号館に代り、建設する。
進捗状況:平成24年9月工事開始。平成26年9月供用開始に向け、予定どおり工事を実施した。(達成度:A)

芸術学部・芸術学研究科

○芸術学部,芸術学研究科共通

【経営・人事】

- 事業計画:学部主催による合同企業説明会の充実
事業概要:多くの学生が就職を希望する業種・職種の企業を招いた合同企業説明会を開催し、学部生及び大学院生の就職活動支援を強化する。
進捗状況:平成25年12月19日に本学部大ホールにおいて企業24社を招いた合同企業説明会を実施し、他学部を

含めて昨年度を上回る450名の参加があった。(達成度:A)

- 事業計画:任期制教授の採用と客員教授の委嘱
事業概要:著名な研究者の任期制教授任用で、特に大学院教育の充実を図り、顕著な業績を有する客員教授の委嘱で教育研究の充実を図る。
進捗状況:大学院において論文指導が可能な理論系任期制教員1名を採用した。また、第一線で活躍する俳優・テ

が1人等計3名を新たに客員教授に委嘱した。(達成度:A)

○芸術学部

【教育研究】

- 事業計画:芸術教養課程を含む新カリキュラムの実施
事業概要:本学部が教育目標に掲げる芸術創造教育並びに芸術総合教育の成果を高める。
進捗状況:平成24年度より学則変更によって芸術教養課程が開始されたことで、真の芸術総合教育が促進された。(達成度:A)
- 事業計画:芸術総合講座の実施
事業概要:芸術総合学部としての特色を教育・研究両面において反映できる。
進捗状況:6講座を実施した。いずれも学生への教育効果が高かった。(達成度:A)
- 事業計画:募集定員のバランスを考えた調整
事業概要:多様化した入試のバランスを考えて入学者の調整を行う。
進捗状況:3学科で入試区分毎の募集人数を変更した。(達成度:A)
- 事業計画:教員の教育力の向上を目指すためのFD
事業概要:教育に関する教員評価の実施と活用方法を情報として公表。
進捗状況:学生からの授業評価アンケートを教育力向上に活用。(達成度:B)
- 事業計画:地震等に対する特別措置に係る授業料等免除
事業概要:東日本大震災による被災者への継続的経済支援
進捗状況:21名の被災学生に対し授業料免除を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:海外交流の活性化【米国ワシントン州立大学サマースクール】
事業概要:心身の健康とバランスの重要性を英会話によって実践的に体験する。
進捗状況:最低募集人員に達せず、受入校と協議の上、取り止め。(達成度:B)
- 事業計画:海外学術交流資金給付規程の見直し
事業概要:海外交流に関わる事業(研究・研修・サマースクール・視察・派遣等)における海外渡航者への経済的補助を柔軟に対応できるように、給付規定の見直しを図る。
進捗状況:現行の海外学術交流資金の基盤となる基金果実の減少から、本給付規程に基づく補助は現状維持に努めるとともに、学生交流の支援を目的とする第4種奨学金を設置した。(達成度:A)
- 事業計画:芸術学部第3種奨学金制度の設置
事業概要:自然災害によって修学が困難になった学生に対して対応できるように新たに芸術学部第3種奨学金制度を設置する。
進捗状況:日本大学芸術学部奨学金規程を改正し、同第3種奨学金を新設した。(達成度:A)
- 事業計画:芸術学部図書館運営の活性化
事業概要:「顔の見える図書館」方針に基づき、カクガ誌「世界の中の林芙美子」と「日本のマンガ家つげ義春」並びに「日藝・図書館案内」を刊行し活動内容を広く周知する。
進捗状況:上記のカクガ誌2誌と「日藝・図書館案内」2誌の刊行により学内外から反響を得ることができ、日藝図書館の活動に対する理解と利用の促進につながった。(達成度:A)

- 事業計画:学部研究費(個人・共同)の確保と研究・創作成果の発信の支援
事業概要:学部における研究及び創作活動の成果を公表することで社会貢献をする。これにより、本学部の社会的な評価を高めるとともに、研究・創作意欲の向上を図る。
進捗状況:学部研究活動は、個人研究92件を採択し、従来レベルを維持。また、本学部における創作研究成果を社会に向けて積極的に発信するため、6件の創作研究活動に対して支援した。(達成度:A)
- 事業計画:学科単位の研究活動支援(学部長指定研究)
事業概要:各学科の特徴を活かした高度な研究拠点を形成し、研究活動の活性化と他大学との差別化を図る。
進捗状況:学部長指定研究として『「Then and Now」—アート・教育プロジェクト—』、「演劇専門大学における実演教育プログラムの検証と開発」等5件の研究を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:補助金獲得を視野に入れた研究活動支援
事業概要:学外研究資金(特に芸術分野の外部資金)の獲得を視野に入れ、本学部の研究活動を活性化するとともに、若手研究者の育成を図る。
進捗状況:科学研究費補助金の説明会を開催し申請を促した結果、新規6件を含む12件が採択され、前年度の9件から増加した。また、新規で文化庁の補助・委託事業に3件が採択された。(達成度:A)
- 事業計画:学科横断的かつ情報発信型の研究活動支援(日藝アートプロジェクト)
事業概要:芸術総合学部の特徴を活かした日芸らしい研究を実施し、本学部の研究活動を学外に対し積極的に公表するとともに、若手研究者の育成を図る。
進捗状況:今年度は日藝アートプロジェクトの採択はなかったが、文化庁の補助事業・委託事業の実施により複数大学による演劇人材育成等の事業を実施し、広く成果を発表した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:日藝賞の授与及び記念講演会の開催
事業概要:第7回日藝賞受賞記念講演会(小説家のよしもとばなな氏、作曲家の森田周一氏)の開催並びに第8回日藝賞受賞者(歌手の松崎しげる氏、写真家の坂田栄一郎氏)の投票選出
進捗状況:第7回受賞記念講演会については、両氏共に200名弱の来場者を迎え大盛況となった。第8回受賞者選出投票では、昨年を上回る最多投票率を更新し、日藝賞授与式への本人の出席及び受賞記念講演会を実施することが内定している。(達成度:A)
- 事業計画:江古田・所沢両校舎にて公開講座を実施
事業概要:地域(練馬区・所沢市)への教育研究成果の還元と交流の促進を図れる。
進捗状況:①練馬区との共催で江古田校舎公開講座実施(前期)304名②所沢校舎公開講座(後期)受講生124名(達成度:A)
- 事業計画:江古田校舎にて「日藝の卒展」を実施
事業概要:日藝の芸術総合力を社会にアピールするため、8学科合同の卒展を実施。
進捗状況:平成26年3月17日～23日に開催し、プロジェクトチームを中心に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:卒業生の活動支援
事業概要:学部出身OB・OGが企画するTV番組制作、映画撮影への積極的な協力。

進捗状況:OB・OG が企画する様々な企画を積極的に協力することにより、広報効果が得られている。(達成度:A)

- 事業計画:各学科の得意な分野を社会貢献として還元
事業概要:被災地での映画上映貢献活動、音楽や演劇の芸術療法等による貢献。

進捗状況:芸術学部らしい取組と多くの貢献活動を社会に還元し、教育効果も高めている。(達成度:A)

- 事業計画:芸術学部図書館からの情報発信強化
事業概要:芸術資料館で「世界文学の中の林芙美子」展を、またアートギャラリーで「日本のマンガ家つげ義春」展を開催し多くの来場者を迎え、各研究者・関係者たちとの交流をはかる。

進捗状況:「林芙美子」展では延べ 836 名、また「つげ義春」展では延べ 548 名の来場者をそれぞれ迎え、各研究者、関係者たちとの交流を存分に図ることができた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:江古田校舎通年化
事業概要:教育の通年化に向けた計画。一貫教育の実現及び経費削減を目指す。

進捗状況:学部長の諮問を受け「江古田通年化実行委員会」において、通年化に必要な施設の規模・事業費などにつき検討を重ね、重要整備計画を申請した。(達成度:B)

- 事業計画:入試対策室の設置
事業概要:学部長直轄で入試・広報対策を多角的に検討。「日芸」の魅力を積極的に発信する。

進捗状況:専任教員が芸術の楽しさの中・高校生に講義する「Meet the Arts」を立ち上げたほか、学科が別々に開催してきた卒業制作発表会を「日藝の卒展」として合同で開催した。(達成度:A)

- 事業計画:入試用広報物の刷新
事業概要:日芸らしい教育内容を新たな視点で伝えるとともに、就職や奨学金等の情報を拡充する。新たな受験生層の開拓を目指す。

進捗状況:学部案内を刷新し、表紙に日藝賞受賞者「爆笑問題」の写真を「はみだすカラ。」と題して掲載。既成概念にとらわれない「自主創造」の精神をもった在学生、卒業生を紹介した。(達成度:A)

- 事業計画:芸術学部ホームページの刷新
事業概要:情報発信力を強化し、芸術総合学部ならではの存在感ある HP を作成することで、学内情報伝達の円滑化及び、ブランド力向上を目指す。

進捗状況:特に受験生の利便性を考え、フロントページから学科の情報を閲覧しやすいように、各学科のタグを象徴的な写真とともに新設した。また、「日藝の卒展」などのパネルを視覚的に設けた。(達成度:A)

- 事業計画:広報専属スタッフの配置
事業概要:広報業務全般を専属で担当するスタッフ 2 名を配置することで、情報発信強化を含む戦略的広報活動を展開する。

進捗状況:庶務課に広報専属のスタッフを 2 名配置し、各種広報物の進行管理及び教育関係情報の収集を行い、学部ホームページの更新を担当することで、広報力の強化を図った。(達成度:A)

- 事業計画:危機管理体制の構築
事業概要:大規模災害に備えた防災備蓄品を調達し、災害時における学生・教職員の安全管理を図る。

進捗状況:災害時に学生及び教職員の帰宅困難者に配布する非常用防災袋の調達を 3 年計画で実施し、完了した。また、東京都帰宅困難者対策条例に基づく食料品等の備蓄も実施した。(達成度:A)

- 事業計画:補充採用を原則とした若手教員の採用
事業概要:年齢構成の適正化及び適正な人材配置を行い、人事バランスに基づく人件費の抑制を図る。

進捗状況:教授 1 名、准教授 1 名、助教 2 名を採用した。若手教員の補充で人件費を抑制できた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:所沢校舎自動火災報知設備更新事業
事業概要:機器の更新を機に、現在キャンパス内複数の建物内に点在する受信機を守衛所に集約するシステムに変更し、防災機能の向上を図る。

進捗状況:防災機能の向上のため設備及びシステムの更新工事を行い、9 月に完了した。(達成度:A)

- 事業計画:館山セミナーハウス D-2 棟改築工事
事業概要:老朽化し耐震性に問題がある管理人棟(木造)を改築し、管理人の住環境を整備する。
- 進捗状況:管理人の住環境を整備するため管理棟を改築し、12 月に竣工した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:編入試験の全学科実施
事業概要:全学科対象に試験を実施し、学生数の増化を図る。

進捗状況:平成 25 年度の入学者は 24 名で、過去 3 年間で比べると 3 倍程増えている。(達成度:A)

- 事業計画:第 3 号基本金引当資産(奨学金)への組入れ
事業概要:学生が安心して学業等に専念出来る様、奨学金の充実を図る。

進捗状況:計画どおり、2 千万円を組入れし、基金残高は 8 億 3 千万円となった。(達成度:A)

○芸術学研究科

【教育研究】

- 事業計画:教員情報を掲載した芸術学研究科案内冊子 GSA の継続作成

事業概要:大学院広報誌として情報を公開するとともに、FD 活動においても重要な役割を果たす。

進捗状況:教員の研究内容を公表することによる FD 活動を推進中。また、受験希望者への送付により受験生のより深い研究科への理解が得られている。(達成度:A)

- 事業計画:芸術学研究科博士課程研究誌「芸術・メディア・コミュニケーション」の継続発行

事業概要:芸術学研究科博士課程在籍者の研究発表の場として重要な役割を果たす。

進捗状況:後期課程在学者の研究発表の場が欲しいとの声に応じて進められた計画で、図書館・国会図書館でも閲覧できるようになっている。(達成度:A)

- 事業計画:博士論文審査創作成果発表会の開催
事業概要:博士論文(創作系)の審査に加味するため、作品の展示・上映などの発表の場を設ける。

進捗状況:創作系の対象が無かったため、開催せず。(達成度:B)

国際関係学部・国際関係研究科・短期大学部(ビジネス教養学科,食物栄養学科,専攻科食物栄養専攻)

○国際関係学部,国際関係研究科,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:国際交流プログラム(受入れ)実施
事業概要:①交換留学生(1年又は6か月),②短期研修生(1か月程度)
進捗状況:①交換留学生1年1名,6か月17名を受け入れた。(達成度:A)②スウェーデン・ストックホルム大学より20名,コリア大学より5名を受け入れた。(達成度:A)
- 事業計画:国際交流プログラム(送り出し)実施
事業概要:①交換留学生(1年),②中期留学生(6か月程度),③海外研修生(1か月程度),④ティーチング・インターシッパ・プログラム(8週間),⑤ジョイント・ティカグループプログラム(最低2年),⑥認定留学生(期間は学生により異なる)
進捗状況:①(1)国際関係学部派遣交換留学—ウイスコンシン大学サウト校(米国)1名,同済大学(中国)3名,静宜大学(台湾)3名,(2)本部派遣交換留学—ストックホルム大学(スウェーデン)2名,鄭州大学(中国)1名,高麗大学校(韓国)3名の学生が留学した。(達成度:A),②セント・ノバート・カレッジ(米国)20名,北京大学(中国)11名,コリア大学(インド)6名の学生が留学した。(達成度:A),③スウェーデン・ストックホルム大学(米国)9名,TIEC(米国)41名,ハワイ大学(米国)(夏期)15名,(春期)15名,WITT(ニュージーランド)24名,アンジエカトリック大学(フランス)3名,フライング大学(ドイツ)3名,トロント大学(カナダ)10名の学生が参加した。(達成度:A),④米国1名,オーストラリア4名,ニュージーランド4名の学生を派遣した。(達成度:A),⑤スウェーデン・ストックホルム大学(米国)へ2名の学生を派遣した。(達成度:A),⑥米国4名,韓国1名,台湾1名,フランス2名,スペイン2名の学生が留学した。(達成度:A)
- 事業計画:学部指定学生寮の確保
事業概要:土地・建物は業務委託先の学生寮運営業者からの提供によるもので学部指定学生寮として紹介する。
進捗状況:三島市内に学生寮5棟(143室)を確保し満室である。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学三島後援会特別奨学金
事業概要:三島後援会から支援を受け,自宅通学不能な者に対しては「下宿補助」,また,新幹線通学者に対しては「新幹線通学補助」奨学金として春期,秋期の年2回,選考の上奨学金を給付する。
進捗状況:平成25年度日本大学三島後援会特別奨学金給付者は,「下宿補助」146名(内訳:大学院生2名,学部生130名,短大生14名)及び「新幹線通学補助」55名(学部生のみ)の合計201名であった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:図書館内の国際機関資料室の市民への開放,国連デーやEUフレンドシップウィーク企画展示,上田彦次郎がラス乾板写真展「昭和30年頃の伊豆箱根」を開催する。
事業概要:市民を対象とした国連・EUを理解するための展示会や所蔵資料の公開展示を開催することにより,市民の国際理解や地域の歴史理解を図る。
進捗状況:日・EUフレンドシップウィーク:「フランスとイタリアのツーリズム～1920年代のウインター旅行広告展～」(来場者3,638名)/国連デー:「国際水協力年展示」(来場者4,973名)/上田彦次郎がラス乾板写真展「昭和30年頃の伊豆半島温泉

旅館」(来場者208名)(達成度:A)

- 事業計画:北口校舎の地域貢献
事業概要:公的機関主催の各種講演会やイベントを同校舎で行い,地域住民に貢献する。
進捗状況:三島市をはじめ,三島青年会議所などの地域関連団体にも三島駅北口校舎を貸し出し,市民を対象とした講演会等が開催された。立地条件がよく,多くのニーズがある。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:寄付金募集
事業概要:「日本大学国際関係学部教育振興募金」の募集
進捗状況:平成26年3月12日現在,校友,在校生の父母から189件367万5千円,企業から5件111万円の寄付金を受けた。(達成度:B)

○国際関係学部,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:海外セミナー実施
事業概要:教員が自ら取り組む海外の地域研究において学生を引率し,現地調査等を実施した。
進捗状況:10のセミナーが14か国で実施し,計153名が参加した。(達成度:A)
- 事業計画:ステディ・スキルズ及びキャリアデザイン科目の実施
事業概要:初年次教育としてのステディ・スキルズ及びキャリアデザインを必修科目として設置する。
進捗状況:1年次設置の必須科目として開講した。複数回の学術講演会も交え,学生のキャリア形成に向けて計画的に授業を実施した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:産学協同事業への参加
事業概要:①フィリピンでの国際貢献と三島近郊の地場産業振興を同時に実現する。②地域貢献を目的として,地元の企業や団体,行政等と室伏セミナーが連携し,地域の産物を使用したお菓子,お茶,お酒などの開発を行う。
進捗状況:①フィリピン・セブ島での教育支援を実施するため,現地での聞き取り調査や視察,支援活動を実施するNGOへのインタビュー調査を行った。(達成度:A)②地域と連携開発したドレッシングなど,地域の魅力をアピールできる製品を広めて地域振興を図っている。また,静岡県内等で開催された各種イベントに出店した。(達成度:A)
- 事業計画:市民公開講座・エクステンション講座の実施
事業概要:市民公開講座は,近隣市町の後援を得て年2期・各期5講座を開講する。エクステンション講座は,年2期外国語講座等を開講する。
進捗状況:上期市民公開講座(平成25年5月29日より5回,統一テーマ「世界の文学と『世界文学』」)下期市民公開講座(平成25年10月2日より5回,統一テーマ「豊かな社会を考える」)を開催した。また,エクステンション講座は,春期6講座・秋期5講座を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:エコキャップ運動の推進
事業概要:ペットボトルのキャップ収集を行い,再資源化を促進し,その売却益でボリウチンを寄贈する。
進捗状況:平成26年2月現在キャップ収集総数25,585個,ボリウチン29.8人分(達成度:B)

- 事業計画:環境問題への取組
事業概要:省エネ・節電・ゴミの分別及び古紙等回収・資源再利用。
進捗状況:校内節電を実施し、ゴミの分別及び古紙等資源を再利用した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:就職率向上を図るための事業計画
事業概要:①筆記試験対策講座の実施②書類選考・面接試験対策講座の実施③公務員試験対策講座の実施④合同業界研究会の実施⑤未内定者へのフォローアップ
進捗状況:①模擬試験は674名が受験、SPI試験対策講座は233名が受講し全国レベルでの実力確認やレベルアップを行った。(達成度:A)②延べ2,918名が各種講座を受講し、自己PR、志望動機の作成を学んだ。また、内定者報告会において先輩から就職活動の実体験を聞き、より具体的な就職活動のイメージをもって本番を迎えた。(達成度:A)③本部主催の3年生向け教養講座を中心に、低学年向けの基礎講座、国家公務員一般職を目指す専門講座、冬季休暇と夏季休暇を利用した3年生のための集中講座を実施した。(達成度:A)④11月下旬に5日間で延べ1,094名が参加、食物栄養学科と専攻科を対象とした研究会も2月上旬に実施し、88名が参加した。いずれも学生の業界に関する見地を高めた。(達成度:A)⑤大手企業の選考が一段落した7・9・10月に企業説明・選考会を実施した。期待していた程学生の参加はなかったが、参加した学生の中には採用に結びつく学生もいた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:陸上グラウンド整備
事業概要:劣化の進んだグラウンドの整備を行い、安心・安全な教育環境の整備を行う。
進捗状況:平成25年5月に改修工事を完了した。(達成度:A)

○国際関係学部

【教育研究】

- 事業計画:入学前学習支援プログラム実施
事業概要:A0入試や推薦入試等、入試選抜の早期化に対応し、入学者に対する事前学習支援プログラム(国語及び英語)を課す。
進捗状況:年内の推薦入試等合格者519名に対して入学前教育を実施し、453名が受講した。内容としては、国語及び英語(A0入学試験合格者には日本語読解力の課題を追加)の課題を課した。(達成度:A)
- 事業計画:国際関係学部学期末英語統一テスト
事業概要:「英語I～X」を履修している学生を対象に、前期末と後期末に統一試験を実施する。
進捗状況:年2回実施し、前期は1,084名、後期は978名の学生が受験した。前年度と同様の問題を使用することでスコアを比較し、学力向上の度合いが図れた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:退学者を減少させるための対策
事業概要:各学科主任を中心とする対策委員会を組織し、新入生を対象とする学部行事の実施
進捗状況:平成25年度は、1年生を対象にウォークター、球技大会を実施し、学生同士の親睦を図った。また、文化祭での模擬店出店を募り3クラスが出店した。(達成度:A)
- 事業計画:平成25年度は教授1名、教授(任期制)2名、助教6名を採用。教授1名を割愛予定である。

- 事業概要:平成24年度退職した教員の補充。
進捗状況:教授2名、教授(任期制)2名、助教6名を採用した(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:15号館空調設備改修工事
事業概要:15号館の情報管理施設における空調設備の改修を行い、情報教育等の環境の維持整備を行う。
進捗状況:平成25年5月に改修工事を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:13号館LL教室
事業概要:13号館LL教室のパソコン等の機器の更新により語学教育環境の整備を行う。
進捗状況:平成25年4月にLL教室の機能を三島駅北口校舎の情報処理教室へ移行し、機器の導入及び改修工事を完了した。(達成度:A)

○短期大学部

【教育研究】

- 事業計画:商経学科名称変更
事業概要:平成25年度から学科名称を「ビジネス教養学科」に変更した。
進捗状況:平成25年度は75名が入学した。(達成度:A)
- 事業計画:交換留学生との英会話授業実施
事業概要:交換留学生等数名にボランティアTAとしてネイティブ教員の英語授業に参加してもらい、小グループによる英会話授業を行う。
進捗状況:平成25年度は、ネイティブ教員の退職により実施しなかった。(達成度:D)
- 事業計画:管理栄養士国家試験対策室設置
事業概要:専任教員全員がそれぞれの専門の講師となり、講義を実施する。前期は基礎学力の向上、後期は実践的な試験対策として様々な模試を行う。
進捗状況:週4日、90分の講義を実施した。(前期5月～7月、後期10月～翌年3月)基礎講座、模試及び解説等に加え3月23日の試験日を前に直前対策を実施した。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:11号館屋上防水・西側外壁改修工事
事業概要:劣化の進んだ11号館の屋上防水・外壁改修の整備を行い、安心・安全な教育環境の整備を行う。
進捗状況:平成25年12月に改修工事を完了した。(達成度:A)

○生活科学研究所

【教育研究】

- 事業計画:学術講演会開催及び『生活科学研究所報告』の発行
事業概要:有識者を招へいし、学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表の場として『生活科学研究所報告』を発行する。
進捗状況:平成25年12月4日に学術講演会(演題:哲学は目の前にある)を開催した。平成25年12月12日～20日にポスター発表による研究発表会を開催した。平成26年3月に『生活科学研究所報告』第35号を発行した。(達成度:A)

○国際関係研究所

【教育研究】

- 事業計画:①国際シンポジウムの開催、②学術講演会開催及

び『国際関係研究』の発行

事業概要:①国内外から研究者を招き、国際諸問題に沿ったテーマで国際シンポジウムを開催する。②有識者を招へいし、学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表の場として『国際関係研究』を発行する。

進捗状況:①平成 25 年 9 月 26・27 日に米国・ウィスコンシン州セント・ノーマート・カレッジにおいて開催された「NIHON UNIVERSITY- ST. NORVERT COLLEGE 6TH JOINT FACULTY

CONFERENCE」に本学部から教員 5 名を派遣し、「East Asia in the Twenty-First Century:」Issues and Challenges”(21 世紀の東アジア:問題と課題)というテーマで発表・討論を行った。また、平成 25 年 11 月 30 日にシンポジウム(テーマ:蕨山反射炉と幕末の国際関係)を開催した。(達成度:A)、②平成 25 年 10 月に『国際関係研究』第 34 巻第 1 号、平成 26 年 2 月に『国際関係研究』第 34 巻第 2 号を発行した。(達成度:A)

理工学部・理工学研究科・短期大学部(建築・生活デザイン学科,ものづくり・サイエンス総合学科,生命・物質化学科)

○理工学部,理工学研究科,短期大学部,理工学研究所共通

【教育研究】

○事業計画:理工学研究所施設の充実

事業概要:理工学部研究施設でのリサーチ&開発・プロダクト体制の強化,研究部門の利活用

進捗状況:理工学研究所は,研究開発領域,研究支援領域,実験領域での 8 研究施設を有し,研究開発,研究支援体制の強化を図っている。また,共同利用などの有効な活用によって,本学部のもつ研究資源の利活用に努めた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:産学官連携研究

事業概要:委託研究・共同研究推進による産学官連携研究,東葛テクノラヂへの参加等

進捗状況:平成 23 年度から地域産学官共同研究拠点「千葉大学サイエンスパークセンター」へ参加し,船橋校舎が所在する千葉県産学官連携・交流を図っている。また,千葉エリア産学官連携オープンフォーラム 2013 では研究成果の紹介を通じて広く企業や地域社会に公開した。(達成度:A)

○理工学部,理工学研究科,短期大学部共通

【教育研究】

○事業計画:理工学部学術講演会の開催

事業概要:第 57 回理工学部学術講演会

進捗状況:本年度は,12 月 7 日(土)に開催した。5 年前から導入したポスター発表も定着し,理工学部及び理工学研究科学生を主として発表件数は 627 件に達した。また,優秀発表者に対する表彰を後日実施して,成功裡に終了した。(達成度:A)

○事業計画:理工学部学術賞等表彰式の開催

事業概要:第 36 回理工学部学術賞等表彰式

進捗状況:本年度は,11 月 21 日(木)に開催した。学術の発展に顕著な功績があり,本学部における学術の振興と学術水準の向上に資する者として,理工学部学術賞受賞者を表彰したほか,優れた研究業績を挙げて国内外の学会・協会等の学術団体からの表彰者等を表彰した。(達成度:A)

○事業計画:研究推進戦略の確立

事業概要:理工学部各種研究費の充実

進捗状況:理工学部シブレット・プロジェクト形成支援事業を実施して本学部の学術の核となる研究推進を図った。東日本大震災復興支援研究プロジェクトを実施して研究成果に基づき被災地復興・復旧への技術貢献を図った。他にも,

理工学部プロジェクト研究助成金,理工学部基礎科学研究助成金等,本年度から理工学部応用科学研究助成金を実施して各種研究費の充実に努めた。外部資金の獲得に繋がる研究を支援することにより,本学部の研究に対する総合力の向上を図った。(達成度:A)

○事業計画:キャリア支援のための講座等の充実

事業概要:昨年度から本格的に取り組んでいるコンピテンシー診断結果をもとに,学生自身がコンピテンシー(能力・強み)を活かして,具体的に将来の行動計画をたてられるような講座を,1 年生中心に増設。

進捗状況:1 年生次からキャリアサポート体制を充実させることでキャリアデザインを段階的に描けるように導いた。その結果,学生が学業と社会とのつながりを考えるきっかけを与えることができた。(達成度:A)

○事業計画:就職対策講座の開催

事業概要:女子学生支援講座の一環としてメイクアップ講座を増設

進捗状況:実際にメイクアップを体験することで印象の違いを知り,面接や会社訪問時における第一印象の重要性を理解し,自らの自信にもつなげることができた。(達成度:A)

○事業計画:未内定者のための個別企業説明会及び企業紹介・相談会の充実

事業概要:多種多様な就職機会の提供のため,既存の合同企業説明会(10 月,12 月)及び全 17 回開催の個別企業説明会に加え,新たに求人紹介・就職相談会を 2 回(7 月,11 月)実施した。

進捗状況:7 月開催の求人紹介・就職相談会には 58 名が参加し 36 名内定,11 月開催時には 13 名が参加し 5 名内定を受け,約 60%の内定率となった。(達成度:A)

○事業計画:上位層向け就活プログラムの新設

事業概要:自己分析及びマインドを鍛えるハイクセミナーの開催,業界・企業分析講座の開催

進捗状況:大手企業人事に採用したいと思わせる対話力,思考力,投資家視点による企業分析力を,討議や発表,データ作成等のグループワークで学ばせ,参加者から高い評価が得られた。(達成度:A)

○事業計画:教員希望者への支援強化

事業概要:専門の論作文対策講座(5 月),面接対策講座(5 月),模擬面接(7 月),私学教員対策講座(2 月)を増設。進捗状況:論作文・面接対策といった実践系講座を新たに取り入れるとともに,現職私学教員による就業条件,就業環境に関する講座を実施したことで,より具体的な教職の理解が図られた。(達成度:A)

○事業計画:国家公務員総合職合格者増に向けたプログラムの充実

事業概要:国家公務員総合職1次合格者増加を目標として夏期集中講座を新設。また、面接強化のために各種面接対策講座を増設し、総合職合格者増を図った。

進捗状況:夏期集中講座(9月)を設置することで継続した学習の場を提供し、個々の良質な学習時間を拡大できた。また、面接対策講座から個別面接カード添削、個別模擬面接(5~7月)、論作文添削(5月)を増設することで採用試験対策の充実に繋がった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)の千代田区民への開放及び日本大学理工学部図書館(船橋)の船橋市民への開放

事業概要:大学図書館の地域住民への利用開放

進捗状況:館内閲覧及びセルフコピーサービスの実施(達成度:B)

○事業計画:日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催

事業概要:日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催

進捗状況:①第9回特別展「日大理工のちからV「電気工学科のあゆみ展-過去から未来への継承-」を平成24年7月23日から平成25年6月末まで1ヶ月延長して開催。②第10回特別展「日大理工のちからVI「精密機械工学科未来へ向けて」を平成25年7月22日から平成26年6月30日まで開催。(達成度:A)

○事業計画:地球温暖化防止への取組

事業概要:キャンパス毎の電力使用抑制計画に基づき実行することにより、地球温暖化対策(二酸化炭素削減)に寄与する。

進捗状況:キャンパス毎に設置した電力使用量(デマンド)計での監視や空調運転方法の見直しをするなど、省エネギン化を図った。(達成度:A)

○事業計画:地球温暖化防止への取組

事業概要:キャンパス毎の電力使用抑制計画に基づき実行することにより、地球温暖化対策(二酸化炭素削減)に寄与する。

進捗状況:キャンパス毎に設置した電力使用量(デマンド)計での監視や空調運転方法の見直しをするなど、省エネギン化を図った。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:駿河台校舎及び船橋校舎各建物耐震補強工事関係

事業概要:駿河台校舎及び船橋校舎の既存建物の耐震診断を実施し、校舎の耐震化を推進する。

進捗状況:平成23年度に策定した耐震補強工事実施順位計画に従い、駿河台校舎においては、8号館の第Ⅱ期耐震補強工事を実施、船橋校舎においては、10号館・11号館の耐震補強工事を完了した。(達成度:B)

○事業計画:駿河台校舎及び船橋校舎キャンパス内改修・補修工事

事業概要:両校舎ともに、築年数が多い建物を中心に改修・補修を実施し、より良い教育環境を提供する。

進捗状況:駿河台校舎においては、約260件、船橋校舎においては約400件の修繕工事等を実施した。(達成度:A)

進捗状況:本学学術研究戦略プロジェクトは、本学部教員を研究代表者として「ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求」を研究テーマに学部連携のもと平成21年度から5年計画の5年目を実施した。研究計画に掲げた目標を概ね遂行して、多岐にわたる分野での研究成果が得られた。(達成度:A)

○事業計画:FDの取組の推進

事業概要:ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会をFDの取組の推進における主たる委員会として、FD研修会及び授業改善のためのアンケートなどを実施している。

進捗状況:授業改善のためのアンケートは、実施後のアンケート結果を組織的に公表し、授業改善へ繋げられるように検討を進めている。また、アンケートの実施方法は、前年と変更していないが、回答率を上げるため広く周知を行っており、その結果、回答率の改善が見られる。(達成度:B)

○事業計画:学生証のICカード化

事業概要:学生証を磁気カードからICカードに変更

進捗状況:平成25年度全学生の学生証をICカード化し、学内船橋校舎図書館の入退館管理、自動証明書等発行機能等への利用を開始した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)公開講座の開催

事業概要:図書館蔵書資料に基づく学部教員による公開講座の実施

進捗状況:①「美しく、誰もが暮らしやすく、訪れたいなるまちをつくるために」6月に開催、②「究極の3Dディスプレイを目指して-日本のホログラムの発展-」12月に開催(達成度:A)

○事業計画:夏休み自由研究教室の開催

事業概要:地域社会への還元を目的として、小学生を対象として理工系の面白さを体験してもらおう機会を設ける

進捗状況:千代田区の後援を受け、近隣の小学校及び児童館を通じた周知並びに区のホームページ等にて周知を図った結果、参加者が大幅に増え、理工系の面白さをより多くの人に体験してもらえた。(達成度:A)

○事業計画:八海山セミナーハウスの有効活用

事業概要:セミナーハウスの利用者が増加し、収支改善が図れる。また、地元小中高生が利用することにより、「日本大学理工学部」の存在感をアピールできる。

進捗状況:本学部と関係の深い学校の生徒(計291名)が、当セミナーハウスに宿泊した(前年度比94名増)。また、天文台施設利用者は100名いるなど、本学部の存在感をアピールできた。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:駿河台キャンパス整備事業

事業概要:老朽化した建物及び実験施設等の建替えにより、学生・教職員への安全・安心なキャンパスを形成するとともに、周辺住民の災害時の一時避難場所など地域貢献という大学の社会的使命を果たす。

進捗状況:駿河台校舎5・6・9号館の建替えによる南棟(仮称)建設実行委員会が設置され、実施設計中である。(達成度:B)

○理工学部,理工学研究科共通

【教育研究】

○事業計画:学術研究戦略事業の推進

事業概要:日本大学学術研究戦略プロジェクトの遂行

○理工学部,短期大学部共通

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:理工学部及び短期大学部(船橋校舎)共催による、公開市民大学講座の開催

事業概要:全7講座のうち3講座は学術的な要素を取り入れたものとし、2講座はスポーツ教室(テニス教室,ゴルフ教室)を、2講座はパソコン教室(Word教室,Excel教室)を実施。日本大学理工学部、短期大学部(船橋校舎)が有する人的・知的財産等を地域社会の市民に提供し、大学の自己実現及び社会貢献のために、10月12日(土)、19日(土)、26日(土)に合計7講座を開催した。

進捗状況:平成25年度第52回のテーマは、「理工学部ものづくり最先端技術」とし、「宇宙エレベーター」、「超小型人工衛星」、「自動車の安全性向上技術」の分野で講演を行った。今年度は、講師の都合によりパソコン教室をExcel初級編のみとしたほか、ゴルフ教室が雨天のため中止となったが、全講座とも好評のうちに終了した。受講人数合計274名。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:広報活動の転換・充実

事業概要:高校生とその保護者対象の広報手段の見直し。在学生とその保護者対象の理工サーキュラー(学部広報誌)の見直し。社会人及び卒業生対象に様々な広報媒体との連携。高校生へのダイレクトメール発送。オープンラボ(公開イベント)の充実。

進捗状況:イベント来場者へのダイレクトメール発送や、AR(Augmented Reality)を使用した広報を実施。学科独自で行うイベント(オープンラボ)も充実させ、オープンキャンパスの来場者は初めて10,000人を突破し、年間10,981人となった。(達成度:A)

○事業計画:新教員人事制度の施行

事業概要:65歳定年制厳守に関する経過措置期間終了後、定年に達した教授の再雇用は行わず、特任教授(月手当)としての委嘱を限定的に行うこととし、順次、教員組織を若返らせ、教員の年齢構成をバランスよくすることによって効率的な人件費支出を図る。

進捗状況:理工学部教員人事委員会内規により、教員組織・人事計画を組織的に検討する体制を整え、理工学部教員資格審査に関する内規により、平成28年度以降は、専任教員は65歳以下の者のみで構成することとしている。また、平成32年度までの人事計画を定め、当該計画に基づき採用等を行っている。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:船橋校舎校地の建築基準法に基づく敷地分割
事業概要:資産の適正な管理と建築基準法に基づく確認申請が必要な新規事業計画における阻害要因の排除に推進する。

進捗状況:平成23年9月から測量を実施し、平成25年3月末までに分割案作成の完了。確認申請物件の完成、検査後に敷地分割を精査し届出する。(達成度:B)

○理工学部

【教育研究】

○事業計画:教育方法の改善

事業概要:インセンティブ科目及びステディ・スキルズ科目の授業内容の見直し、卒業達成度評価科目の授業内容の見直し
進捗状況:平成20年度入学生より開設している初年次教育であるインセンティブ科目及びステディ・スキルズ科目については、平成25年度から学生生活の安全・健康学に関する講座の導入を進め、学生の大学教育へのより円滑な導入を図った。また、全学で導入予定である全学共通初年次教育科目を見据えた検討を学務委員会にて開始した。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:資源ごみの有効利用

事業概要:資源の有効な利用の確保を図るとともに廃棄物の発生の抑制及び環境保全に寄与できる。

進捗状況:駿河台校舎及び船橋校舎の資源ごみの回収を行っている。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:防災体制の充実

事業概要:学生及び教職員の防災意識の向上を図る。非常時に効果的な災害援助ができる体制づくりの構築。

進捗状況:消防計画に則り、12月に防火・防災訓練を実施(駿河台・船橋両校舎)。(達成度:A)

○短期大学部

【教育研究】

○事業計画:学生支援(経済的)

事業概要:経済的な事由により退学する学生に対し、主な奨学金情報をホームページ等に掲載し保護者を含め周知することにより、学業の継続が可能となる。

進捗状況:学生課掲示板、ポータルサイト、ホームページ等こまめに情報を開示している(達成度:B)

○事業計画:学生生活満足度調査

事業概要:キャンパスアンケートを実施し、学生生活の現状把握及び施設改善等の検討資料に活用している。集計結果は毎年開示している。

進捗状況:前年度同様に実施したが、来年度は設問の見直し及び集計方法も再検討する予定である。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:オープンカレッジ「ものづくり&サイエンス・スクール」の開催

事業概要:短期大学部(船橋校舎)のPR活動の一環として、大学施設を利用した体験学習の場を提供し、小学生から大人まで参加できるようなものづくりの面白さが体験できる催しを実施し、社会貢献に寄与する。11月3日(日)に船橋校舎において建築・環境系、機械系、電気系、サイエンス系、健康系分野の9プログラムによるものづくり体験が実施された。

進捗状況:いずれのプログラムも子供から大人まで大勢の地域住民(合計199名)の参加があり、計画どおり遂行した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:高等学校訪問

事業概要:短期大学部(船橋校舎)の特色をアピールするために、教職員が年数回、入学実績校、指定高校、オープンキャンパス参加校、沿線高校などの訪問を行う。第1回(6・7月)、第2回(1・2月)と年2回高等学校を訪問し、進路指導教員を通じて受験生に短大の情報を伝える。

進捗状況:第1回95校、第2回60校を訪問した。(達成度:A)

○事業計画:学校説明会

事業概要:短期大学部(船橋校舎)の新教育課程をアピールするために高校教員向けの説明会を行う。5月18日(土)船橋校舎で入試個別相談・学科別相談会を開催し、大学施設・設備等の環境面を実際に見てもらえる機会を設け本学の理解の場を提供する。

進捗状況:16校が参加した。(達成度:B)

○理工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:理工学部理工学研究所講演会の開催
事業概要:第9回理工学部理工学研究所講演会
進捗状況:本年度は、12月7日(土)に理工学部学術講演会と同時開催し、理工学部ソホリック・プロジェクト形成支援事業をテーマにした講演を行い、4年目を迎えたプロジェクトの研究成果の一端を報告し、盛況であった。(達成度:A)
- 事業計画:学術研究戦略事業の推進

事業概要:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の遂行
進捗状況:本事業は、文部科学省の採択により本年度から5年計画で、理工学部研究施設を利活用し、本学部の特色を活かした研究を推進する。「超短時間光・物質相互作用の理解・制御が切り開く新材料・物性・デバイス」の探索と創生」を研究テーマに初年度を実施した。研究計画に掲げた目標を概ね遂行した。(達成度:A)

生産工学部・生産工学研究科

○生産工学部,生産工学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:内規・要項で定めている独自の奨学制度による積極的な奨学援助
事業概要:学業成績・人物ともに優秀な者。あるいは優良な資質を持ちながら経済的事情により学費等の支弁が困難な学生・大学院生並びに私費外国人留学生に対し、独自の奨学助成制度により就学援助を行う。
進捗状況:学部生・大学院生あわせて37名に1,530万円(生産工学部第1種奨学生9名,生産工学部第2種奨学生9名,生産工学部第3種奨学生2名,生産工学部校友会奨学生17名,大学院前期課程から後期課程進学者奨学生3名)を給付した。(達成度:B)
- 事業計画:学生相談支援体制の強化
事業概要:学生相談の対応として、相談室(サポートセンター)へのカウンセラーの派遣,更に日本大学学生相談研修会へ教職員の参加を促しインテーカー認定者の増員を行い、学生相談に対する体制強化を図る。
進捗状況:カウンセラーの派遣は、津田沼校舎に週3回,実籾校舎に週1回である。更にインテーカー認定者増員のため日本大学学生相談研修会への教職員の積極的な参加を促し、潜在的クライアントの早期発見・対応への体制強化を図っている。(達成度:B)
- 事業計画:WINCOM(風力発電コンペ)の実施
事業概要:自然環境エネルギーを効率よく利用するための風力発電装置を作製し、発電量やデザインを競う風力発電コンペ WINCOM を実施した。
進捗状況:発電量部門・ホープン参加の部に3学科・専攻の学生による4チームが参加した。なお、高校生を対象とした発電量部門・高校の部に23チームの参加があった。(達成度:B)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除9名,住居半壊:授業料等半額免除16名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期3名・後期3名(達成度:A)※大学院については該当者無し。
- 事業計画:研究基盤の強化
事業概要:研究プロジェクト形成プログラム(研究装置購入費・研究費補助)及び若手研究者を交付対象とする研究費補助プログラムの推進。研究基盤の強化を図るため、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究費獲得のシーズ育成及び若手研究者の研究のステップアップを目的とした研究費を生産工学研究所で交付する。
進捗状況:研究プロジェクト形成プログラムは導入機器の稼働を高め多くの成果を上げた。若手研究者支援研究費では、10名に研究費(各50万円)を交付した。(達成度:A)

- 事業計画:科学研究費補助金受領者に対する特別研究費交付

事業概要:科学研究費補助金受領者に対し、当該年度補助金額(直接経費)の30%の額を研究費として交付する。研究者にインセンティブを与え、外部資金獲得へのモチベーション向上を図る。
進捗状況:平成25年度科学研究費補助金受領に対して「文部科学省科学研究費補助金受領者に対する研究費」を31名に交付した。(達成度:A)

○生産工学部

【教育研究】

- 事業計画:JABEE(日本技術者教育認定機構)への対応
事業概要:電気電子工学科,土木工学科,応用分子化学科及び数理情報工学科にJABEE認定コースを設置し,プログラム修了者は「修習技術者」となり,申請により「技術士補」の資格を取得することができる。この認定を受けることにより,本学部の技術者教育の質の高さと卒業生の質の保証を学外に広め,国際的に通用する技術者に必要な基礎教育の要求水準を満たしていることとなる。
進捗状況:新カリキュラムにおいてもJABEE認定コースを設置し,さらに新設科目も含め認定を受けている。(達成度:A)
- 事業計画:入学者及び在学生の学業並びに学生生活面等支援の取組
事業概要:①入学前教育,入学後教育及び新入生プレテストの実施。本学部で作成の問題集を郵送し入学予定者に各自で基礎学力を確認できるように促している。基礎学力が不足していると感じている入学予定者には委託業者によるDVD教材による学習や入学前数学補習への参加を促し入学までの基礎学力の向上又は維持できるように対応している。また入学後に基礎学力の状態を把握するためプレテストを実施して,その結果を基に,基礎学力が不足していると思われる学生に対しては数学補習を開講して入学当初のつまづきを低減する対応を行っている。さらに,授業でのクラス分けやJABEEコース在籍への選考等,学修指導に活用している。②新2年生学力テストの実施。入学して1年経過後の学修成果を確認する。試験の内容は,物理学,化学,数学及び英語に関して1年生で学修した基礎的な内容で出題する。今後は3年生終了時においても同様の学修成果を確認する試験等を検討しており,教育の質を維持することに努める。③新入生TOEIC Bridge IPテストの実施。英語の習得レベルを学生本人に認識させるとともに,習熟度を把握し学修指導や進路指導等に活用することを目的としている。また英語運用能力向上を喚起するために実施している。④アカデミックドバイザー制度の導入。「勉強の仕方がわからない」「何がわからないのかが,わからない」など学習関連のあらゆることに対応している。また専用の部屋を設け,授業期間中の指定時間内であれば事前連絡なしで利用できる

ように学生の視点に立った運営を行っている。⑤ピアサポートシステムの導入。新入生に対し、大学での授業等で困っていること、また学生生活上で悩んでいることを上級生がサポートする。⑥キャンパスイノベーションの創出。学内に学生のための就労の場を設け、そこで収入を得て修学の資とするとともに、就労経験を経ることにより社会人としての基礎力の養成を図る。

進捗状況：①入学前・入学後数学補習の実施により、基礎学力の低下を防いでいるが、工学系科目を受講していくに当たり、さらなる補習内容をきめ細かく、また継続的に受講させる工夫等、学生の現状を把握しながら対応することが必要である。(達成度:A)②平成23年度より実施してきた2年生の学力テストで学修成果を確認することにより、上級学年での履修に関して学生本人はもとより、教員からも客観的に学修効果を確認できるようになっている。(達成度:A)③新入生の9割以上が受験して、その結果を本人・教員間で共有して学修指導に役立てている。また、TOEIC団体試験の受験者が増加している。(達成度:A)④専属のアドバイザーによる大学で直面する学習上の問題に対して、きめ細やかなサポート体制で対応を行っており、学修指導に一定の成果がある。(達成度:A)⑤大学院生、学部4年生157名がピアリーダーになり、教員の補助として学部1年生の修学及び学生生活に関する相談・アドバイスをを行っている(達成度:B)⑥清掃業務等を希望した学生が月曜日～土曜日週2日・1日2時間以上、学内の清掃業務等に就いている。(達成度:B)

○事業計画:新カリキュラム施行後の運用に関する検討

事業概要:教養と基礎科学科目と専門教育科目へのシームレスな連携を図り、教育の質の保証をより高めるとともに、社会の要請に応えられる卒業生を輩出するため今年度カリキュラム改訂を行った。また、教育方法の充実を図るとともに、学生の習熟度を向上させる方策や単位未修得者を減らす方策を継続的に講じていく。

進捗状況:従来からの科目群を教養科目、基盤科目、生産工学系科目及び専門教育科目に再編した。新しい科目群の科目に関しては、学生への周知・理解を求める資料やシラバスを準備している。また、カリキュラム改訂の理念に沿うような運用ができるよう学務幹事会、学務委員会で継続的に検討を行っている。(達成度:B)

○事業計画:出席管理システム構築及び学生証のICカード化

事業概要:授業における出席状況の把握はもとより、個々の学生動向を早期に把握できるため、不登校や退学予備群への速やかな指導を可能とし、退学者・卒業延期者の減少させるための一助とする。また、保護者からの出席状況に関する問合せが増加しており、迅速な対応が可能となる。さらに、本システムの構築に伴い、ポータルサイト強化にも目を向け、管理面のみならず学生の利便性の向上を目指す。また出欠管理では学生の本人認証を行うため、認証の時短や耐久性を考慮して学生証のICカード化を行う。

進捗状況:平成25年度は、学生証のICカード化、授業教室への出欠管理用の端末の取付工事など、インフラ整備を行った。(達成度:A)

○事業計画:一般入学試験N方式の参加

事業概要:日本大学統一入学試験として平成26年度入学試験から新たに導入された「一般入学試験N方式(第1期)」に参加。2月1日(日)に全国14箇所において試験を実施。

進捗状況:生産工学部の志願者数は665名(総志願者数6,147名)であった。本入学試験に参加したことが、一般

入学試験志願者数増加のひとつの要因となった。(達成度:A)

○事業計画:父母懇談会の津田沼校舎(9月実施予定)及び地方7都市(10月実施予定)での開催

事業概要:個々の学生の修学状況及び授業出席状況について、より多くの保護者と情報の共有を図り、本学部と保護者の連携により教育効果の強化を図ることができる。

進捗状況:平成25年度は、9月28日(土)に津田沼校舎で実施し、1,020名の保護者と431名の学生の参加があった。一方10月26日(土)に地方7都市(札幌、山形、郡山、新潟、長野、名古屋、福岡)で実施し、233名の参加があった。(達成度:A)

○事業計画:教員に対する教育貢献賞の授与

事業概要:個々の教員の教育活動の点検、継続的な教育改善への取組の促進、優れた教育活動の共有化などを通して教育能力の向上、教育活動の活性化並びに意識の向上を図る。

進捗状況:教育貢献賞選考に関する申し合わせに基づき、各学科・系から選考した。また受賞者は1年以内に講演会を行うことになっている。(達成度:A)

○事業計画:東邦大学理学部との協定に基づく単位互換の実施

事業概要:隣接している東邦大学理学部との単位互換を推進することによって、学生の学問に対する興味に応じた、幅広い視野と能力を育むとともに、学生への便宜を図る。

進捗状況:平成25年度本学部から東邦大学理学部へは秋期に5名5科目の受講希望者がいた。また、東邦大学理学部から本学部へは前期、後期合せて10名22科目の受講希望者がいた。(達成度:B)

○事業計画:ケント州立大学(米国)との覚書に基づく派遣留学及び短期語学研修の実施

事業概要:派遣留学は、ケント州立大学の授業を正規学生として受講し単位を修得することにより、国際的な物事への考え方並びに学生の学問に対する興味に応じた幅広い視野と能力を育むことができる。一方、短期語学研修は、多くの学生が米国の大学における授業を体験することにより、総合的な英語力が修得でき、特に日常会話等において、リスニングやヒヤリングなど、語学力の向上がなされ、国際的なコミュニケーション能力の向上を図ることができる。

進捗状況:派遣留学は、定員2名のところ2名が参加した。短期語学研修は、8月3日より24日までの22日間に9名の学生が参加した。(達成度:A)

○事業計画:中国科技大学(台湾)との覚書に基づく交流の推進

事業概要:中国科技大学管理學院で実施する日本の事情視察に関するプログラム(短期)試行のため、管理學院の学生に本学部マネジメント工学科に設置している授業科目の一部受講等をさせる。また、本学部建築工学科の卒業設計審査会と規制設計學院の同審査会にお互いの教員をゲスト審査員として参加し交流を図る。これらの交流により、本学部の学生と中国科技大学との交換留学を視野に入れながら、国際的視野に立ち、グローバル化する知識基盤社会の一員として社会で活躍できる人材を養成するためのプログラムの構築及び実現が期待される。

進捗状況:中国科技大学管理學院の学生受入れの合意書を作成し、これに基づいて平成26年度に本学部マネジメント工学科に受け入れる体制を整えている。また、平成26年2月の本学部建築工学科の卒業設計審査会に規制設計

計學院教員 2 名が来日、審査会に加わった。本学部からは平成 25 年 6 月に規劃設計學院の卒業設計審査会に建築工学科の教員、及び平成 26 年 3 月に 2 週間管理學院客員教授としてマシナリ工学科の教員を派遣した。(達成度:A)

○事業計画:千葉県工業系高大連携の協定に基づく交流の推進

事業概要:千葉県における工業教育の振興を図るために相互に協力・連携し、教育・研究活動を発展させることを目的として、千葉県の工業高等学校との連携教育における包括的協力協定の締結を行った。これを基に協定に加盟している高等学校 8 校との交流を推進することにより、大学進学への契機となることが期待される。

進捗状況:高大連携情報交換会への参加、工業高等学校での本学部学生の教育実習生の受入れ及び本学部と工業高等学校との研究協力事業を行った。(達成度:B)

○事業計画:FD 取組の推進

事業概要:①教育開発センター委員会の活動強化及び活動報告書の刊行。FD を中心とした大学教員の意識改革及び教育能力の向上を図っている。また、平成 25 年度より、これまでの教育開発センター委員会から教育開発運営委員会に名称を変更して、従来から取り組んでいる内容をさらに強化し、時代のニーズに応えられるような取組を行っていく。②FD 講演会、新任教員 FD 研修会の開催及び外部 FD 研修会の参加。生産工学科の「教育に関する啓発活動の一環」として外部講師を招いて『授業改善』を中心とした FD 活動の重要性を対する教員の意識を深める。また新任教員に対する FD 研修会は、毎年 4 月下旬に教務事項、学生生活事項、研究事項についてオリエンテーション及びワークショップを実施する。さらに日本私立大学連盟教育研究委員会をはじめとする FD 関係講演会・研修会へ教職員の積極的な参加を促している。③授業アンケート実施方法の改善。授業アンケートの実施結果に基づき、授業方法の改善を行い、授業内容・水準に努めてきたが、大学本部から要請がある項目を含め設問項目・内容の変更、現行のマークシートによる実施から、WEB で実施可能か委員会で検討を重ねている。

進捗状況:①教育開発センターが核となり、FD の推進(FD 講演会、新任教員向け FD 研修会、外部 FD 講演会・研修会への参加等)を行っている。また、授業アンケートを実施し、その結果を授業改善、教育改善に反映させるための方策を策定している。(達成度:A)②平成 25 年度は FUJITSU エンバシテック研修グループ講師を招いて「企業が求める人材像について」と題した講演会を開催した。新規採用教員は全員参加することで効果的な研修会を実施している。1 年間通し開催される FD 関係講演会・研修会に教職員が積極的に参加している。(達成度:A)③WEB による実施に向けて、当該委員会で慎重かつ十分な検討がされている。(達成度:B)

○事業計画:新入生に対する学外オリエンテーションの実施

事業概要:新入生がスムーズに大学生活をスタートできるように、入学直後に一泊二日の学外オリエンテーションを学科単位で実施。更に、フォローアップとして 9 月の後期がダグンス時にクラス担任による個人面談を実施している。

進捗状況:平成 25 年度は 4 月に 7 学科、5 月に 2 学科が実施した。全学科平均の参加率は 90%を超え、学生生活を送る上でのきっかけとして機能している。(達成度:B)

○事業計画:課外活動への経済支援

事業概要:課外活動が人格形成、並びに社会経験への効果を期待できることから、課外活動の重要性を認め積極的な支援を行う。

進捗状況:サークル活動助成として、基本助成金(一律 3 万円)を 53 団体、総額 159 万円。27 万円を上限とした特別助成金を 39 団体、総額 495 万円を支給した。また、特定行事助成金として 1 団体に 30 万円を支給した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:近隣住民への図書館開放

事業概要:近隣住民へ図書館サービスを提供する。

進捗状況:平成 5 年度から実施しており、閲覧及び複写サービスを提供している。(達成度:A)

○事業計画:公開講座・公開セミナーの開催

事業概要:6 月頃から土曜日を中心に公開講座・公開セミナーを開講していく。公開講座として時代を映したテーマによる講演を、公開セミナーとしては本学部教員によるスポーツやコンピュータをテーマとした企画を実施する。また、毎年本学部と習志野市の共催で開催している「防災講座」を平成 25 年度も開催する。

進捗状況:公開講座では①防災講座 2013、②高齢期の健康と体力、③ボランティア体験記の 3 講座を、公開セミナーでは①パソコン講座、②生涯スポーツ(ゴルフ)、③ロボットで遊ぼう、④生涯スポーツ(水泳)、⑤少年野球教室の 5 セミナーを開催した。参加者総数は 760 名であった。(達成度:A)

○事業計画:「夢・化学 21」の開催

事業概要:学園祭期間中(11 月 3 日)に、平成 25 年度子どもゆめ基金「夢・化学 21」の助成事業として、「夢・化学 21-理科教室への招待」を近隣の小学生を対象に実施する。

進捗状況:「理科教室への招待」-大学の実験室で実験してみませんか」と題し、各 40 名(小学生)の募集人員の 3 部構成で小学生等を招待し、小学生 88 名、父母兄弟 74 名、合計 162 名に理科実験を体験してもらった。(達成度:A)

○事業計画:地球温暖化防止への取組

事業概要:カーボンフットプリントを導入し、温度設定管理(冷房温度 28℃以上暖房温度 20℃以下)を励行するとともに、WINCOM(風力発電コパ)を実施し、39 号館へは太陽光発電装置を設置する。

進捗状況:地球温暖化対策を推進し、CO₂などの温室効果ガスの排出量の削減を図り、熱・電気等のエネルギー使用量が削減できた。太陽光発電装置の設置及び WINCOM を実施し、エコロジーな学部として社会的な評価を得ることができた。(達成度:A)

○事業計画:「母校を訪ねる会」の開催

事業概要:学園祭期間中に本学部と本学部校友会の共催により、卒業生並びに退職した教職員を招き「母校を訪ねる会」を開催する。

進捗状況:卒業経過年数が 50 年・40 年・30 年・20 年・10 年を経過した卒業生と教員 OB 並びに在籍教職員により 11 月 3 日に開催した。(達成度:A)

○事業計画:AED 講習会の実施

事業概要:AED 講習会を学部内で行うことにより、緊急時に対応する能力を教職員が培えるようにし、学部内の安全衛生環境の向上を目指す。

進捗状況:AED 講習会を 3 月 5 日(水)に大会議室で開催し、30 名が参加した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:教員の定年制厳守及び再雇用制度導入に係る基本方針に基づき、教員の再雇用の為の教育評価基準の策定を行う。
事業概要:「再雇用教員に関する規程」及び「再雇用教員の資格審査に関する内規」が制定され、教育業績についても再雇用の評価対象とされたことにより、教育評価基準の策定を行う。
進捗状況:人事委員会等において、教員の評価基準に関する検討を行い、複数の案について検討した。(達成度:B)
- 事業計画:適正な教職員採用及び人員配置等の人事計画の検討を行う。
事業概要:①多数の教職員が定年退職を迎える中で、後任の補充を必要最小限に抑えることにより、人件費を抑制する。②特色ある科目に重点を置いて教員を配置することにより、学部の特徴をアピールする。
進捗状況:①各学科の教員数・年齢構成の適正化を図った人事計画に基づき、教員の採用を行った。②教員の採用に当たり、新学科に新たに設置した特色ある科目を担当する教員を採用した。(達成度:A)
- 事業計画:キャリアデザイン講座の構築
事業概要:就職指導課で実施しているキャリアデザイン講座と正課授業としての講義、さらには生産実習(インターシップ)との連携を図る。
進捗状況:正課授業としての講義と生産実習(インターシップ)との連携により、キャリアデザインに対する学生の自覚を促し、人材育成が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:生産実習(インターシップ)の実施
事業概要:本学部の特徴である生産工学系科目の必修科目として生産実習(インターシップ)を継続して実施する。
進捗状況:仕事を体験的に理解することで理論と実践の相乗的な教育効果が得られ、社会人基礎力の向上が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:就職対策講座の実施
事業概要:採用試験の多様化に対応した就職講座を実施する。
進捗状況:企業の採用スケジュールに対応した講座を具体的かつ効果的に実施することにより、学生の就職活動の支援ができた。(達成度:A)
- 事業計画:SPI 講座の実施
事業概要:全国で多数の企業が導入している SPI 適性検査について、模擬試験及び対策講座のほか、教育効果検証作業を実施する。
進捗状況:対策講座では、言語・非言語系問題の解法スキルの修得が図られ、受講生の正解率が上昇した。なお、前年度の受講生の就職状況を調査した結果、未受講生に比べて内定率が高いことが判明した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部就職セミナーの実施
事業概要:本学部学生の採用実績がある優良企業を、4日間で約400社(1日約100社)招き、学生と直接面談する機会を設ける。
進捗状況:4日間で401社が参加し、具体的できめ細かい面談が行われた。また、面接に関する実践講座をセミナー直前に開催し、採用担当者による講評が行われた。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部合同企業セミナーの実施
事業概要:未内定学生のためのフォローアップセミナーを実施する。

進捗状況:今年度の就職決定率(学部)は、毎月前年度比プラスで推移したため、特にセミナーは実施せず、各学科での説明会等で対応した。(達成度:B)

- 事業計画:公務員試験対策講座の実施
事業概要:国家公務員、地方公務員、警察、消防等の志望者を対象とする講座を「実践」、「直前」の2段階で設置。
進捗状況:基礎科目や専門科目の一次試験だけでなく、面接や論文の二次試験までを範囲とした総合的カリキュラムにより、公務員への意識改革及び支援ができた。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:キャンパス整備計画の策定
事業概要:キャンパス整備計画を策定し、教育・研究・施設のより良い教育研究環境の提供を行う。
進捗状況:キャンパス整備計画並びに修繕計画の策定を行い、教学及び管理運営の将来計画との整合性を図り教育研究環境のよりよい提供を行う基礎作りができた。(達成度:A)
- 事業計画:テニスコートの改修
事業概要:正課授業及び課外活動における修学環境の向上を図るため、クレートからオムコートへの改修を行う。
進捗状況:クレートから全天候型コートへの改修工事を実施し、雨天後の即時使用も可能となり就学環境の向上が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:多目的コートの改修
事業概要:正課授業及び課外活動における修学環境の向上を図るため、多目的コートの改修を行う。
進捗状況:遮熱コートへの改修工事を実施し、雨天後の即時使用も可能となり、また、夏季における反射熱の抑制を図り就学環境の向上が図られた。(達成度:A)
- 事業計画:学部史料展示コーナーの新設
事業概要:学部史に関する資料及び学部広報資料のデジタルコンテンツを取集し、展示及び発信する。
進捗状況:3月に図書館M2階に設置した。(達成度:A)
- 事業計画:AVブースの新設
事業概要:学部史料展示コーナーの新設に伴い、新たに別の場所に設置する。
進捗状況:3月に図書館1階に設置した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:寄付金の募集
事業概要:新校舎建設及び教育研究に要する経常的資金を確保するため日本大学生産工学部創設60周年記念事業募金を募集する。
進捗状況:平成22年度から寄付金の募集を継続して行っている。(達成度:A)

○生産工学研究科

【教育研究】

- 事業計画:就職セミナー及びキャリアデザイン教育の積極的参加
事業概要:大学院生を対象とした社会人教育を行い、即戦力となるよう養成する。
進捗状況:社会人として即戦力となるための取組の一環として、学部就職セミナーへの積極参加、修士論文研究に関する国内及び海外インターシップとしての学外派遣を行った。学部主催の就職セミナーについては平成26年2月に企業401社が参加して開催し、延べ参加者数2,749名があり大学院生も多く参加した。修士論文研究は、5名を5社の企業・研究機関へ派遣し、国内インターシップは13社の企業・研究機関へ13名を派遣し、それぞれ実施した。また海外

インターシップは、慶尚大学校工科大学に1名(平成26年2月)、台湾中国科技大学規劃與設計學院に8名(平成25年9月)、同大学管理學院と資訊學院にそれぞれ1名ずつ(平成26年3月)の計11名が海外インターシップを実施した。これは大学院生の交流に向けた取組を推進させることとなり、大学院生の社会人教育のための基盤の構築に一定の成果を得た。(達成度:A)

- 事業計画:特徴ある大学院教育の実施のための教員参加
事業概要:若手教員の登用並びに教養・基礎科学系教員の参画等を図り魅力のある領域の講義・研究指導を実施。

進捗状況:新たに生産工学研究科共通の生産工学系科目群の設置を含んだ新カリキュラムを実施した。生産工学系科目は基盤科目、発展科目、実習科目で構成し、より研究科を特色づける内容とした。新たに登用された専門学科、教養・基礎科学系の若手教員が専攻の垣根を越えて大学院教育の充実に寄与することとなった。(達成度:A)

- 事業計画:ワークショップの実施
事業概要:大学院カリキュラム改訂を踏まえて、マップを作成する作業を行うことにより、科目間の連動性など教育効果の高いカリキュラム作成を目指す。
進捗状況:博士前期課程と後期課程との一貫教育を明確にするとともに、履修モデルを作成することにより、教育効果の向上を目指すことができた。(達成度:A)

- 事業計画:博士後期課程入学者の関連教員に対するインセンティブ

事業概要:博士後期課程入学者の関連教員に対し、入学時に研究費の補助を行うことで、博士後期課程入学者の研究活動へ専念できる環境を整備する。

進捗状況:社会人特別選抜入学者4名及び内部進学入学者2名、計6名の関連教員に対し、申請により指導研究費の交付を行った。実験材料や学会出張費など研究活動に携わる様々な費用に充当させた。(達成度:A)

- 事業計画:学部在学生の大学院科目履修
事業概要:大学院へ進学を予定している学部在学生に対し、科目等履修生として大学院科目を履修させることにより、学部と大学院との連携を図る。

進捗状況:学部在学時より大学院を強く意識させることとなるだけでなく、入学後に認定されることで勉強意欲向上にもつながった。(達成度:A)

- 事業計画:大学院の教育・研究充実と定員充足率の向上
事業概要:博士後期課程入学者の指導教員に対して指導研究費を支給し、定員充足率の向上と研究指導の充実を図る。

進捗状況:平成25年度は、社会人特別選抜入学者4名と学内選考及び一般入試入学者2名に対し、合計260万円の指導研究費をそれぞれ支給し、定員の確保につながることも研究指導の金銭的サポートを行った。(達成度:A)

- 事業計画:広報活動による入学志願者増と大学院定員充足率の向上

事業概要:ポスターやパンフレット、動画サイトを充実させ、入学者の増加を図る。

進捗状況:広報活動に当たってワーキンググループを立ち上げたものの、願書配布までにまとめることができなかったため、今年度は作成せず、次年度の配布に向けて準備を進めることになった。(達成度:C)

- 事業計画:シラバスの充実による国際化
事業概要:ホームページ上のシラバスを英語表記にすることにより、留学生の増加を図る。

進捗状況:すべての授業科目に英語科目名を併記し、任意ではあるが授業のねらいや講義内容にも併記することでシラバスの充実を図ることに成功した。(達成度:B)

- 事業計画:大学院担当教員の増員による教育・研究の多様化及び経常費補助金の増額獲得

事業概要:横断的分野の演習科目を設けることで大学院担当教員を増員し、教育の充実を図るとともに補助金の増額を図る。

進捗状況:生産工学系科目を中心に各学科の若手教員や教養・基礎科学系の教員が加わったことで、専任教員に占める大学院教員に割合が50%前後から75%程度に増加したことで補助金が増額され、教育・研究のこれまで以上の多様化が進むことになった。(達成度:A)

- 事業計画:学位取得見込者を対象とした助手(特別枠)の採用による後期課程定員の充足

事業概要:博士後期課程に在籍し、学位を取得見込みの者を助手(特別枠)として採用する制度を設けることで後期課程の定員充足率向上を図るとともに、本学大学院出身の研究者の養成と教育・研究活動の活性化を図る。

進捗状況:平成25年度は、電気電子工学専攻1名と建築工学専攻1名の計2名が博士後期課程を修了し学位を修得した後、助手(特別枠)に採用され新たに研究者として歩むことになり、本学大学院出身者の進路選択の1つになっていることで、継続した研究活動を続けることができた。(達成度:A)

○生産工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:生産工学研究所の研究成果に関する報告書刊行

事業概要:研究所員の研究成果を「所報」により、研究所員を含む生産工学部教職員の成果を「研究報告A(理系)」、「研究報告B(文系)」として刊行し、研究活動を広く社会にアピールする。

進捗状況:所報を2月、研究報告Aを6月、12月に、研究報告Bを12月に刊行し、国内外の研究機関に送付した。(達成度:A)

- 事業計画:生産工学部学術講演会の開催

事業概要:専任教員の日頃の研究成果を公表する場を設け、教育の向上と研究の発展を図り、また、企業や学外研究機関等共同研究者との交流の場とすることにより、新たな外部資金導入を図る。

進捗状況:12月に津田沼校舎で開催。生産工学部専任教員・大学院学生、学外研究機関所属者等により、分野別で330余件の研究発表が行われた。(達成度:A)

- 事業計画:学協会賞等受賞研究者への生産工学部学術賞及び学術賞(奨励賞)の授与

事業概要:生産工学部の専任教員が学術的業績等によって学協会賞等を受賞し、生産工学部の研究部門における社会的名誉を著しく高めた場合に、選考により生産工学部学術賞を授与する。

進捗状況:学会賞等を受賞した専任教員5名に生産工学部学術賞を授与した。(達成度:A)

- 事業計画:情報関係施設(研究センター入出力室)を利用した研究の実施

事業概要:研究センター入出力室設置の研究機器等を利用した研究を行う。既存の研究機器の更なる活用により、生産工学部の研究活動の一層の活性化を図る。

進捗状況:生産工学研究所研究センター入出力室に設置の画像処理関係機器を、研究のための使用に供した。(達成度:A)

- 事業計画:自動車工学リサーチセンターによる自動車工学研究の推進

事業概要:生産工学研究所に自動車工学リサーチセンターを設置し、本学部の特色ある研究を推進することにより、研究活動の一層の活性化を図る。

進捗状況:自動車を軸に各学科の教員・学生・学外の研究者が参集し共同で各施設を利用に供しており、委託・共同研究を受け入れるとともに、研究成果報告会を開催した。(達成度:A)

- 事業計画:委託・共同研究の受入れ

事業概要:企業や官公庁からの委託・共同研究を受け入れ研究基盤の維持強化を図り、また、産官学連携により

人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を図る。

進捗状況:平成 25 年度の委託・共同研究の受入状況は、受入件数約 40 件であった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:研究・技術交流センターによる産官との研究・技術交流

事業概要:産官との連携により研究・技術交流を推進し、生産工学部の人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を行うとともに、地域社会へ貢献する。

進捗状況:県等主催の企業交流会での講演・技術相談の実施、広報誌「CERT REPORT」の刊行(7月)及び「研究・技術フォーラム(津田沼)」の開催(3月)等を通じ、地元企業との連携を図った。(達成度:A)

工学部・工学研究科

○工学部

【教育研究】

- 事業計画:大規模災害に対するキャンパス連絡網の整備
事業概要:大規模災害に備え大学-学生間の連絡・通信網の整備・構築を図る。

進捗状況:防災マニュアルの整備及び震災備品の計画的購入を行った。防災マニュアルを全学生へ配布し、Eメールおよび書面による安否報告の仕方を周知した。(達成度:A)

- 事業計画:土木工学科における JABEE(日本技術者教育認定機構認定プログラム)の継続

事業概要:平成 21 年度に土木工学科が JABEE 受審。

進捗状況:土木工学科において JABEE を継続し、教育システムの見直し及び改善に努めている。なお、平成 26 年度に JABEE 継続受審の予定である。(達成度:A)

- 事業計画:平成 25 年度から機械工学科及び電気電子工学科に臨床工学技士課程を新たに設置

事業概要:臨床工学技士課程を新たに設置する。

進捗状況:平成 25 年度にカリキュラムの改訂を行い、機械工学科及び電気電子工学科に臨床工学技士課程が設置認可され、カリキュラムをスタートさせた。(達成度:A)

- 事業計画:リメディアル教育等による基礎学力の向上

事業概要:履修歴の異なる新入生の基礎学力向上を目指し、入学前教育及びリメディアル教育を行う。

進捗状況:入学直後にプレテスト(国語、英語、数学、物理、化学)を実施し、テスト結果と習熟度によるクラス分けを行い、正課授業と初年次教育(リメディアル演習授業)を連携させて開講している。(達成度:A)

- 事業計画:高大連携教育の推進

事業概要:日大東北高校をはじめ、協定校である工業科を有する福島県立高等学校 12 校との連携事業を充実させて、志願者確保に努める。

進捗状況:県内連携高校(12校)との高大連携講座では 8 講座、隣接する東北高校とのオフソ講座では 7 講座を開講し、延べ 1,000 名の高校生が受講した。これにより、工学への理解及び進路選択の一助となった。(達成度:A)

- 事業計画:工学部独自の奨学金制度の充実

事業概要:平成 25 年度は工学部独自の奨学金制度を充実させる。

進捗状況:基金からの果実減少により奨学生数が減少した。今後、基金の増額等を行い、更に奨学制度の充実を図りたい。(達成度:B)

- 事業計画:社会人として必要な能力を備えさせるための学生支援システムの構築

事業概要:社会人として必要な能力を備えさせるため、学生と教員の接点が多くなるようなシステムを構築する。

進捗状況:体育祭、外国人留学生懇親会等の当初の予定行事を終了し、学生支援システムを構築できた。(達成度:A)

- 事業計画:グローバルエンジニア育成のためのヨーロッパ研修旅行の実施

事業概要:全学生を対象に参加者を募り、約 2 週間の日程で、ヨーロッパ諸国を視察する。

進捗状況:学生 40 名の参加を得て、第 43 回ヨーロッパ研修旅行を平成 26 年 2 月 22 日～3 月 7 日の 14 日間にて実施した。(達成度:A)

- 事業計画:インターシップの拡充

事業概要:企業等学外の様々な機関で実務実習を行わせる。

進捗状況:学生からの申込人数は 48 名(昨年度 42 名)であり、申込件数は 50 件(昨年度 51 件)であった。一方、受入企業数は 35 社(昨年度 33 社)、受入人数は 43 名(昨年度 38 名)であった。インターシップがイタズを通しインターシップの有用性を学生に周知しており、学生自らが受入企業を探してくる傾向にある。また、専門性を活かした実習を行うことにより参加学生の満足度は高い。(達成度:A)

- 事業計画:図書館利用者の利便性向上のための在館管理システムの導入

事業概要:正確な利用実態を把握するため、システムを導入する。

進捗状況:平成 25 年 5 月にシステムを導入し、利用実態を把握することができたとともに、在館の状況及び利用者の特定が図れ、セキュリティ面を強化することができた。(達成度:A)

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)被災学生に対する学費減免特別措置の実施

事業概要:被災した学生に対する学費の減免措置を実施し、経済的支援を行う。

進捗状況:「東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置に関する規程」に基づき、平成 25 年度においても住居被害及び原発事故の対応として、学費減免特別措置を実施した。(達成度:A)

- 事業計画:学科構成を含めたキャンパス将来像の検討

事業概要:工学系志願者層の現状と現行学科の学問分野における社会情勢を見据え、新学科設置を検討する。
進捗状況:学内で郡山キャンパスの将来像について検討委員会を立ち上げ、具体化に向け検討を行っている。(達成度:C)

- 事業計画:ICT 利用の学習支援システムの充実及び学生サービス環境改善
事業概要:「学習支援システム」の充実及び「証明書自動発行機」の導入により学生サービスの向上を図る。
進捗状況:平成 22 年からスタートさせた学習支援システムによる教育活動が展開されている。また、「証明書自動発行機」の導入により、一部の証明書は即日発行が可能になり学生サービスが向上した。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:教養講座の実施
事業概要:各界の著名人を講師として招き、講演会を開講し、一般市民にも開放する。工学部の伝統的文化行事の一つ。
進捗状況:「創」を総合テーマとして、4 名の講師を招き、5 月に全 4 回の日程で開催した。聴講者は述べ 2,931 名であり、そのうち市民の聴講者は述べ 102 名であった。(達成度:A)
- 事業計画:市民公開講座の実施
事業概要:小・中学生を対象とした体験型理科講座。市民(主に小・中学生)を対象とした理科教育事業への支援を行う。
進捗状況:小・中学生にものづくりや実験を通して理科や工学を身近に感じてもらうことを目的として、小・中学生対象に理科実験教室を 2 回開催し、25 名の生徒が参加した。(達成度:A)
- 事業計画:キャンパス内の放射線への安全・安心環境の把握
事業概要:キャンパス内の放射線量低減化に向けたシステムを構築する。
進捗状況:キャンパス内の空間放射線量を定期的に測定し公開した。学内の上水道水及び学生食堂で提供する食材等を定期的に測定し公開した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:震災・原発事故に伴う風評・不安払拭のための広報活動の展開
事業概要:原発事故による風評・不安を払拭する広報活動を展開する。
進捗状況:原発事故の風評被害払拭のため、テレビ番組やオープンキャンパス告知 CM の放映、ラジオ CM の放送、外部広告の掲出を行い、志願者数回復に大きな効果をもたらした。(達成度:A)
- 事業計画:入試広報の充実
事業概要:業者に委託している Web 学生募集広告をはじめ、雑誌広告、学部パンフ等の内容の充実を図る。またテレビ CM、高校訪問等を積極的に展開する。
進捗状況:様々なメディアを活用し広報の充実を図った。特に、オープンキャンパスへの参加者増加策として、告知テレビ CM を放映して福島隣県 5 県から無料送迎バスを運行した。(達成度:B)
- 事業計画:各種国家試験対策の充実
事業概要:公務員試験対策講座を充実させる。
進捗状況:1・2 年対象の基礎講座、3 年対象の実践講座①②③、4 年対象の直前完成講座のほか、春期・夏期にも集中講座を開講した。ほぼ年間を通して計画的に講座を開講し、基礎・専門科目だけでなく面接・集団討論、論文

指導までを対象とした系統的な構成により公務員志望学生への支援を行った。このほか、国家公務員一般職専門試験学習のために、解答の解説を作成し、CSNavi で公開し、学生が、いつでもどこでも自由に閲覧可能とした。(達成度:A)

- 事業計画:多様な分野への就職を可能にする各種講座の実施
事業概要:原発事故の影響で平成 25 年度課外英会話講座は中止となり、ほかに各種資格取得講座を検討、実施する。
進捗状況:学科独自で開講している資格取得講座への受講を推奨した。また、教員志望の学生のために教員採用試験対策講座を開講した。受講者は前年に比べ減少した結果となったが、2 年生から本講座を継続している学生 3 名が今年度の一次試験に合格するなど、一定の効果が確認できた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:キャンパスの安全・安心及びアメニティー改善のための施設改修
事業概要:鉄筋コンクリート造 4 階建校舎(昭和 46 竣工)の耐震補強及び便所他工事を行う。
進捗状況:当該校舎(製図棟)の耐震補強及び便所等改修工事については、実施設計に基づき、年次計画どおり工事を実施した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:東京電力株式会社に対する賠償請求等の申請
事業概要:原発事故の風評による逸失利益の賠償請求を申請する。
進捗状況:第 2 回目の賠償金請求を行ったが、算定金額を不服として、原子力損害賠償紛争解決センターへの申立ての準備を進めている。(達成度:B)
- 事業計画:学外研究資金の積極的獲得に向けた施策の展開
事業概要:科学研究費補助金、企業等からの研究奨励寄付金・委託研究費を積極的に獲得する。
進捗状況:工学部では、科学研究費公募説明会を開催するなど、採択を目指した取組を実施した。その結果、科研費が学部過去最高の結果を出すなど、外部資金を積極的に獲得することができた。(達成度:A)
- 事業計画:財政基盤の持続的安定化と資金の効率的運用
事業概要:冗費節減に努め、資金の効率的運用を図る。
進捗状況:重点的広報活動により、志願者数・入学者数も回復基調にあり、今年度は予算計上数以上の入学者を確保し、増収により本部総合運用制度に 1 億円繰り入れることができた。(達成度:A)

○工学研究科

【経営・人事】

- 事業計画:大学院進学支援事業の推進
事業概要:収容定員充足に向けて、入学試験制度の見直しや、教授方法の改善を図る。
進捗状況:入試制度等の見直しを平成 26 年度においても継続して協議し、成績優秀者等の大学院進学を喚起することに努める。(達成度:C)

○工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:戦略的研究基盤形成支援 1

事業概要:循環型環境共生社会の実現に向けた「災害に強く自立共生が可能な住環境のデザインに関する研究」の推進。文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の対象事業として「ハスの研究」を推進する。

進捗状況:当該プロジェクトは、研究期間 2 年目(研究期間 3 年)を迎えて、当初の予定のとおり順調に研究が進捗した。また、平成 25 年 6 月 6 日、平成 24 年度研究成果報告会を開催した。(達成度:A)

○事業計画:戦略的研究基盤形成支援 2

事業概要:医療工学系大型プロジェクトの推進。文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の対象事業として医療工学系の 2 つの大型プロジェクトを展開する。

進捗状況:当該プロジェクトは、研究期間 5 年間の最終年度となり、当初の予定のとおり順調に研究が進捗した。また、平成 25 年 12 月 24 日、平成 24 年度研究成果報告会を開催した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:産学官連携事業推進による地域貢献

事業概要:産学官連携の下、ものづくり系の新事業創出を支援する。

進捗状況:工学部は、地域連携に基づき、学部構内のイノベーションセンターに対し運用協力した。また、地域機関との共催で技術者養成講座の開講など、ものづくり系新事業創出を支援した。(達成度:A)

医学部・医学研究科・医学部附属看護専門学校

○医学部

【教育研究】

○事業計画:臨床研究中核病院整備事業の申請

事業概要:国際水準の質の高い臨床研究及び難病等の医師主導型治験研究を推進し、医療の質の向上を図る。①厚生労働省からの 5 億円を限度とする補助金により、治験研究の基盤整備を図る。②疾病の新たな治療方法及び診断方法の開発が期待される。③企業からの受託研究の増加が期待でき、増収が見込まれる。

進捗状況:平成 25 年度は不採択であったが、平成 26 年度の再申請に向けて準備を行っているところである。なお、平成 26 年度は上限額が 3 億円程度に減額される見込みである。(達成度:C)

○事業計画:東日本大震災に伴う特別措置

事業概要:被災し、経済的に修学が困難になった学生に対し、学費を減免する。

進捗状況:被災した学生 3 名に対して、被災状況により学費の全額及び半額の減免を行った。(達成度:A)

○事業計画:医学部特定医療奨学金など奨学金等制度の整備

事業概要:有益な人材の育成、確保を通して医療の質の向上を図り附属病院の医師不足の解消を図る。

進捗状況:平成 25 年度は、新規採用者 1 名。(達成度:B)

○事業計画:臨床実習時間延長の検討

事業概要:米国のECFMG受験資格と関連する臨床実習時間の増加についての課題と、臨床実習の充実を図るため、それに伴うカリキュラム改変等についての検討を行う。

進捗状況:臨床実習の時間的・質的な充実を図ることに重点を置き、カリキュラム改編に着手している。既に基本方針の骨子を定め、詳細について検討中であり、平成 27 年度入学者から適用する予定である。(達成度:B)

○事業計画:選択臨床実習の充実

事業概要:臨床実習(BSL)の充実を図るため、平成 23 年度より 6 年次において選択臨床実習を開始した。学内外共に多数のコースを設置しているが、更なる充実を図る。

進捗状況:平成 25 年度は学内及び学外コースを拡充して実施した一方で、平成 26 年度に向けてコース内容や過年度実績等を総合的に精査し、再編成を行った。(達成度:A)

○事業計画:医学英語教育の充実

事業概要:本学部では医学英語教育を重視し、実践的な英語を使える医師の養成を行っており、1 年次から 6 年次までの一貫した医学英語教育の充実を図る。

進捗状況:並行して実施している医学教育カリキュラムに即した医学英語教育を行っているため、継続的に授業内容の見直しを図っている。平成 25 年度は医療面接のほかに身体所見・患者教育にも重点を置いた授業を展開した。(達成度:A)

○事業計画:外部資金・公的研究資金の獲得を意識した研究活動

事業概要:新たな研究資金の獲得につなげるため、外部資金・公的研究資金の獲得を目指した研究プロジェクトを遂行する。

進捗状況:従来の公的研究資金に加え、科研費では採択件数が増加したこともあり、新たな外部資金や継続的な公的研究資金の獲得につながる研究を遂行したことで、研究活動の裾野が広がった。(達成度:A)

○事業計画:戦略的研究基盤形成支援事業の遂行による先端的医学研究の実践

事業概要:最先端の研究のための基盤的整備とその実施により、新たな研究拠点を形成する。

進捗状況:戦略的研究基盤形成支援事業として継続の 3 課題が選定されており、各プロジェクトの研究年度に対応して研究拠点が形成されてきている。(達成度:A)

○事業計画:大学の総合性を活かした研究プロジェクトへの参画

事業概要:研究テーマの設定によっては、学際的研究の導出及び研究活動の新たな創成が期待されるため、そのスケールメリットを活かす。

進捗状況:理事長特別研究・学長特別研究の継続により、学部間連携に基づく学際的研究を遂行し、研究活動の新たな創成を模索している。(達成度:A)

○事業計画:外国人研究員の受入れによる国際的研究交流の推進

事業概要:人的な交流に基づき、国内外の知識・技術を互いに供与し合うことで、インタラクティブな国際的研究の推進につなげる。

進捗状況:本学研究員制度等の活用による外国人研究者の受入れに加え、日本学術振興会外国人特別研究員の新規採択があり、国際的研究交流による新たなインタラクションをもたらした。(達成度:A)

○事業計画:研究活動の更なる活性化に向けた医学研究支援部門における利用環境の充実

事業概要:研究コースを考慮した共用機器及び利用案内等を検討することにより、利用環境の充実と学内共同利用への対応を目指す。

進捗状況:学内研究ニーズに基づき,利用案内等をリニューアルすることで,学内共同利用を促進の上,利用環境の充実が図られ,学部間連携の一例を示すことができた。(達成度:A)

- 事業計画:研究成果の公開における研究紀要の役割に関する検討

事業概要:研究紀要の内容を継続的に検討し,研究所での研究成果を広く社会に公開することで,大学の社会的説明に寄与する。

進捗状況:研究紀要の掲載に合わせて新規ホームページを構築し,研究所での研究成果を改めて学外に情報発信したことで,研究紀要の果たす役割と位置付けが明確化された。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:学生サークル活動の一環として保育園・幼稚園での保健教育活動を実施

事業概要:保育園及び幼稚園での保健教育の普及を図る

進捗状況:近隣の保育園及び幼稚園並びに学園祭の企画において,人形を遣ったりして子供たちに医療に対する親しみや,手洗いなど公衆衛生の重要性を意識してもらい,併せてその保護者に対して小児保育の普及に努めた。本年度は,附属病院小児病棟に入院している子供たちにも同様の活動を行った。(達成度:A)

- 事業計画:徳澤診療所における奉仕活動

事業概要:山岳部が主として夏期休暇中に登山者に対して傷病対応をボランティアで行う。

進捗状況:本年も平成25年7月20日から平成25年8月18日まで,長野県上高地の徳澤で診療所を開設し,登山者の傷病対応を行った。(達成度:A)

- 事業計画:学園祭企画で,来場者への健康チェック及び救命処置の体験

事業概要:来場した近隣住民に対して,血圧・骨密度・肺機能・脈波・血管年齢・BMI等の検査を実施し,健康に対する意識の向上を図る。

進捗状況:平成25年度学園祭(翠心祭)企画である「一日総合病院」を2日間にわたり開催し,423名の来場者に対して各種検査を行った。心臓マッサージやAEDの操作体験等も実施し,救命処置の普及に努めた。(達成度:A)

- 事業計画:NUBICとの更なる連携による技術移転の促進
事業概要:技術移転等における研究ニーズと社会ニーズとのマッチングの促進により,その応用・実用化を通じて社会貢献を目指す。

進捗状況:NUBICとの更なる連携の結果,企業等による新たな外部資金の獲得があり,今後の応用・実用化に向けた研究プロジェクトを開始することができた。(達成度:A)

- 事業計画:寄附講座及び共同研究・受託研究の推進による産官学連携の活性化

事業概要:産官学連携の活性化は,すなわち,大学としての社会貢献の増大をもたらすことから,寄附講座による研究及び共同研究・受託研究を推進する。

進捗状況:可変的スケールによる産官学連携の活性化を見据えて,共同研究・受託研究の積極的に受け入れながら,既存の寄附講座での研究との連携について模索している。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:志願者増を図るための事業計画

事業概要:医学部主催のオープンキャンパスの更なる充実及び大学主催の進学相談会や日本私立医科大学協会主催の進学相談会への積極的な参加を行う。

進捗状況:オープンキャンパスの実施,各種進学相談会への参加を通じ,受験生への直接的なアピールが奏功し,前年度に引き続き平成26年度入学試験志願者数も4,000名を超える結果となった。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:板橋キャンパス整備計画の策定準備

事業概要:老朽化が進んでいる学部・附属病院の施設・設備等の整備充実に向けた施策を講じる。再整備の具体化に向けて,費用対効果の面を含め,諸環境を検討し,実現性の高い計画の策定準備に着手する。

進捗状況:医学部板橋キャンパス整備計画検討委員会を立ち上げ,核となる基本構想の検討が進められた。(達成度:B)

- 事業計画:医学部再配置整備改修工事

事業概要:大学院棟一部解体に伴う医学部各講座の再配置に基づく整備改修。再配置により,各学系・分野の居室,スペースについて,学系内での統合に努め,業務の効率化を図る。

進捗状況:再配置による整備改修工事を実施完了したことにより,旧来各棟に分散していた各学系・分野の統合が進展した。(達成度:A)

- 事業計画:体育館棟の耐震診断実施

事業概要:体育館棟は昭和49年度の建築であり,新耐震基準の施行以前の建物であるため,耐震診断を実施する。

進捗状況:耐震診断を実施し,今後の耐震計画の指針となる耐震診断結果を得た。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:臨床研究中核病院整備事業

事業概要:日本発の革新的な医薬品・医療機器の創出等を目的に,国際水準の臨床研究,難病等の医師主導治験及び市販後臨床研究等の中心的役割を担う「臨床研究中核病院」を整備する事業。採択されると,財政面では,厚生労働省からの5億円を限度とする補助金及び企業からの受託研究の増加が期待でき,増収が見込まれる。

進捗状況:平成25年度は不採択であったが,平成26年度の再申請に向けて準備を行っているところである。なお,平成26年度は上限額が3億円程度に減額される見込みである。(達成度:C)

○医学研究科

【教育研究】

- 事業計画:横断型医学専門教育プログラムの充実

事業概要:平成20年度に開設した,大学院教育と並行して専門医資格取得に必要な指導を行う横断型医学専門教育プログラムの推奨及びコース内容の充実を図る。

進捗状況:履修要項に日本専門医制評価・認定機構が認定する専門医資格以外に指導可能な資格リストを明記し,内容の充実を図った結果,平成25年度は本プログラムを選択した入学者が前年度より増加した。(達成度:A)

- 事業計画:大学院指導教員の充実

事業概要:大学院担当教員の増員を図り,大学院教育の充実を図る。

進捗状況:研究指導補助員を増員したことにより,より専門的な研究指導を行うことが可能となった一方で,豊富な人材を有効に活用するため,学系分野横断的な指導体制を構築している。(達成度:A)

○医学部附属看護専門学校

【教育研究】

○事業計画:新カリキュラム(平成21年度実施)の教育体制,教育内容に対する評価を実施し,評価結果に基づいた改善・充実を図る。また,看護の実践者を育成する教育環境の整備強化を行う。

事業概要:①校内実習時のモデル人形等実習機材を充実させ,演習時間を増やし,臨床実践能力の向上を図る。②講義・実習共に授業評価を実施し,教育内容・方法の改善を図り,看護実践能力の充実を更に図る。

進捗状況:①実習関連のモデル人形や教材を東京都補助金で購入し,常時活用できるようにした。またモデル機材の老朽化により計画的に予算化が必要である。②講義担当者及び実習場に開示し,教員間や実習場で共有し,講義や実習指導に反映している。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:付属病院臨床指導者勉強会,東京都看護教員養成研修生の演習講義,教育実習生への指導,日本大学通信教育部生への介護体験指導等の実施。

事業概要:①付属2病院の臨床指導者勉強会及び日本大学通信教育部講義を年2回実施。②東京都看護教員養成研修の講義を2名の教員が実施。また,2名の教育実習生を3週間受け入れた。

進捗状況:①付属病院の勉強会を実施することで教育目標や実習目標を共有でき,密接な連携が可能となっている。②外部への講義は専門領域の充実と当校の広報活動につながった。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:①入学試験日程を3期に分け実施することで,入学志願者の増加を図る。②付属高校のみならず日本大学短期大学部及び文系学部へ広報活動の拡大を図る。

事業概要:本校の学校説明会,付属高校及び一般高校や予備校主催の説明会に参加するとともに,ホームページでも学校案内を充実させた。

進捗状況:本校での学校説明会を2回,付属高校10校,予備校主催5回実施。ホームページは学校行事等随時更新した。入試志願者は昨年度とほぼ同数である。(達成度:A)

歯学部・歯学研究科・歯学部附属歯科技工専門学校・歯学部附属歯科衛生専門学校

○歯学部,歯学研究科共通

【施設設備】

○事業計画:3号館受変電設備改修工事

事業概要:経年劣化に伴う機能不良箇所があり,法定点検時に指摘されているため整備する。

進捗状況:工事は平成25年12月15日に着工し,同日に完成。(達成度:A)

○事業計画:3号館カリガ昇降部品工事

事業概要:法定点検時に指摘されているため整備する。

進捗状況:工事は平成26年2月22日に着工し,平成26年2月23日に完成。(達成度:A)

○事業計画:3号館2,3階廊下照明器具(LED)改修工事

事業概要:照明器具をLED化することにより省エネを図る。

進捗状況:1号館講堂系統冷温水機の故障が絶えず,修理費用も嵩むため,また,安定した空調運転を維持するため個別空調方式へ移行した。この事業を優先したため本事業は先送りすることとした。(達成度:D)

○事業計画:1号館講堂系統冷温水機一次ポンプインバート制御化工事

事業概要:冷温水機ポンプのインバート制御化により省エネを図る。

進捗状況:1号館講堂系統冷温水機の故障が絶えず,修理費用も嵩むため廃止した。なお,これにかわる空調運転は個別空調方式を採用した。(達成度:B)

○事業計画:特殊建物定期調査

事業概要:1・2・3号館の構造強度について劣化・損傷状況等の調査を行い,外壁等の落下事故を未然に防止する。

進捗状況:検査は平成25年11月7日に実施し,東京都及び千代田区に報告した。(達成度:A)

○事業計画:歯学系共用試験への対応と実践(臨床実習開始前における共用試験の実施と環境設備の整備)

事業概要:臨床実習開始前に共用試験を実施し,臨床実習時の学生の知識・技術の担保を行う。

進捗状況:共用試験を第4学年の後期に実施し,知識・技術の担保ができた。(達成度:A)

○事業計画:歯科医療人養成の基礎教育プログラムの実践

事業概要:従前の医療人間科学による教育プログラムに加え,国際化を視野に入れた外国語の選択制度を導入する。

進捗状況:外国語は,必修の英語に加え,ドイツ語・中国語・韓国語からの選択必修により実施している。(達成度:A)

○事業計画:歯科医師国家試験の臨床実地問題への対応と実践

事業概要:従前,第6学年において学修していた臨床実地問題について,臨床実習とリンクさせ,第5学年時から学修機会を提供する。

進捗状況:8~12月に各診療科(領域)別試験・解説,1月下旬に総合試験を実施し,早い段階で臨床実地問題の考え方を身に付けさせることができた。(達成度:B)

○事業計画:全学共通の初年次教育の導入

事業概要:全学で検討している共通初年次教育プログラムを導入する。

進捗状況:他学部にも先駆けて試験導入し,アクティブラーニングによる教育効果が確認できている。(達成度:B)

○事業計画:東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う特別措置

事業概要:東日本大震災により,学費支弁者の居住する家屋が全壊・半壊等になった者及び福島第一原子力発電所事故により,学費支弁者の居住する家屋が警戒区域・計画的避難区域内に含まれる者に対する授業料等の免除措置。

進捗状況:全壊等に伴う特別措置4名,半壊等に伴う特別措置6名,原発事故に伴う特別措置1名(達成度:A)

○歯学部

【教育研究】

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(口腔感染を誘因とする難治性全身疾患発症機序の解明と疫学調査拠点形成)

事業概要:歯周病を誘因とする難治性全身疾患の発症機序の解明とその治療法の開発,東南アジアにおける疫学調査を実施する。

進捗状況:口腔細菌がインフルエンザウイルス感染及び重症化に関与する事を示した。EBV の歯周疾患への関与と新規潜伏感染機構を解明した。唾液でエイズ検査ができるキットを用いて疫学調査を開始した。(達成度:A)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(細胞移植による口腔感覚機能回復を目指した基礎研究の拠点形成)

事業概要:口腔顔面領域の外傷,外科的な侵襲,腫瘍あるいは慢性炎症等に伴う神経の退行性変化によって引き起こされる様々な神経性口腔感覚機能障害に対して多分化機能を有する移植細胞を樹立し,この細胞を移植することによって口腔感覚障害の再生治療を目指す。

進捗状況:初年度は下槽槽神経損傷モデルラットを用いて,損傷神経再生に必要な候補分子の同定を行った。2月12日にシンポジウムを開催してグループごとの研究成果について討論した。(達成度:A)

○事業計画:本大学の海外学術交流協定校である山東大学との「研究者・大学院生の派遣及び受入れに関する申し合わせ」による学術交流の推進

事業概要:学生及び研究者の学術交流の推進を行う。

進捗状況:①学術交流に関する協議会の開催(平成25年5月7日(金)),②教員の研修受入れ(10月(歯科保存学第Ⅲ講座受入れ)及び11月(歯科保存学第Ⅱ講座受入れ))。(達成度:A)

○事業計画:学内研究費による研究活動の推進

事業概要:学内研究費である佐藤研究費,上村安男・治子研究費を給付することにより,研究活動の推進を支援する。

進捗状況:佐藤研究費は27件に総額2,150万円,上村安男・治子研究費は4件に総額600万円を給付。なお,受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:公開講座(年2回)の実施

事業概要:身近な話題や時事をテーマとして選定することにより,歯科医療の枠にとらわれない講演会の実施が可能となり,多数の地域住民から好評を得ている。

進捗状況:講演テーマは「根の治療でも手術が必要?～歯を残すための最新の外科的治療法～」(平成25年6月実施,参加人数120名),「歯科医師がする肩こり健康法」(平成25年11月実施,参加人数82名)(達成度:A)

○事業計画:生涯学習講演会(年2回)の実施医療従事者を対象とした卒業後における継続的な学習機会の提供

事業概要:医療従事者を対象とした卒業後における継続的な学習機会を提供している。

進捗状況:講演テーマは「要介護高齢者に対する食事支援～かかりつけ歯科医院でおこなうケアとリハビリテーション～」(平成25年10月実施,参加人数26名),「がん患者の口腔ケアと医療連携その1 口腔がんの早期診断-予防と治療-」(平成26年3月実施,参加人数47名)(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:歯学部新校舎建設工事

事業概要:老朽化した歯科病院(昭和39年取得)及び1号館(昭和31年取得)を,歯学部創設100周年事業として建て替える。建替場所は駿河台日本大学病院跡地と現2号館跡地。

進捗状況:平成26年1月16日に基本設計が承認され,現在は実施設計中である。ほぼ計画どおり進行している。(達成度:B)

○事業計画:2号館空気圧縮機(コンプレッサ)用台数制御盤更新工事

事業概要:老朽化した制御盤を交換することにより,安全性が向上し,耐用年数が延びる。

進捗状況:工事は平成26年3月6日に着工し,平成26年3月17日に完成。(達成度:A)

○事業計画:医療コンピュータシステム開発

事業概要:①電子カルテシステムプログラムの強化,②老朽化端末,サーバの更新,③USBメモリーセキュリティソフトの導入

進捗状況:年次計画により,電子カルテシステムのプログラムならびに老朽化端末,サーバの更新を完了した。(達成度:A)

○歯学研究科

【教育研究】

○事業計画:大学院歯学研究科研究費における競争的研究の推進

事業概要:大学院歯学研究科研究費を専任教員に対し給付することにより,研究活動の推進を支援する。

進捗状況:大学院総合歯学研究科研究費(共同研究費B)は5件に総額1,000万円給付。なお,受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。(達成度:A)

○事業計画:大学院歯学研究科研究費における大学院研究費による研究の推進

事業概要:大学院歯学研究科研究費を大学院生に給付することにより,学生の研究活動の推進を支援する。

進捗状況:大学院歯学研究科研究費(学生研究費)は39件に,総額1,365万円を給付。なお,受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。(達成度:A)

○歯科技工専門学校,歯科衛生専門学校

【教育研究】

○事業計画:歯科技工専門学校の学則改正の効果

事業概要:各教科を単位制とし,卒業後,大学への編入学を容易にする。

進捗状況:大学への編入学が容易になった。また,歯学部歯学科へ科目等履修生として入学し,学士(口腔保健学)の学位を取得するための履修科目・単位の選定も容易になり,所定単位修得の一助となった。第3学年の臨床模型実習では,一部が午後3時から授業開始となったことで,附属歯科病院において患者の担当医師からの直接指示を受けることが可能となり,教育効果が向上した。(達成度:A)

○事業計画:歯科技工専門学校及び歯科衛生専門学校の奨学金給付制度の充実

事業概要:人材優秀な学生に佐藤奨学金を給付する。

進捗状況:両専門学校の第2・第3学年2名ずつ,計4名の人材優秀な学生に佐藤奨学金給付を行った。(達成度:A)

○事業計画:歯科衛生専門学校同窓会奨学金の給付

事業概要:人材優秀な学生に同窓会奨学金を給付する。
進捗状況:新たに「同窓会奨学金」が設置され、第3学年
の人材優秀な学生2名に奨学金給付を行った。(達成
度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:歯科衛生専門学校生の小学校、幼稚園での歯科衛生教育の実践
事業概要:小学校、幼稚園において歯科衛生教育を行い、教育効果を社会に還元する。
進捗状況:千代田区、練馬区の小学校で「ガムを用いて咀嚼能力を測定する方法」を用いて健康教育を行った。また、練馬区の幼稚園では、保護者に対し、「歯の仕上げ磨き指導」を行い、幼稚園と家庭への連携を図った。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:歯科技工専門学校及び歯科衛生専門学校の志願者増を図るための方策
事業概要:進学相談会の実施
進捗状況:歯科技工専門学校では年間8回、歯科衛生専門学校では年間5回実施したほか、個別の学校見学者対応も積極的に行い、入学者確保に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:歯科技工専門学校の志願者増を図るための方策
事業概要:①高等学校訪問等の実施②入学試験制度の検討③学習支援金制度の導入
進捗状況:①東京・神奈川・埼玉・千葉の高等学校(夏期44校、冬期28校)を訪問し、生徒への本校紹介を依頼す

るとともに、訪問校、関東の同窓会員、技工所等に、入学希望者の紹介を依頼した。(達成度:A) ②入学試験制度を検討し、平成27年度入学試験(平成26年度実施)から新たに「A0入学試験」、「指定校推薦入学試験」制度を導入することとした。(達成度:A) ③学生の学習活動支援を目的として、学習支援金制度の導入を検討し、平成27年度新入学生から給付を行うこととした。(達成度:A)

○総合歯学研究所

【教育研究】

- 事業計画:総合歯学研究所研究費における研究費(A)、研究費(B)の給付による研究の推進
事業概要:研究費(A)は競争的資金としての性格を持たせることにより、研究者の研究レベル向上に寄与する。研究費(B)は各講座における研究活動の推進を支援する。
進捗状況:研究費(A)は3件に総額505万円を給付。研究費(B)は各講座1件を採択し、23件に総額1,175万円を給付。なお、受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:総合歯学研究所における委託研究費の積極的受入れと特許権の取得の推進について
事業概要:NUBICと連携し、企業との委託研究による製品開発、特許申請等研究成果の社会への還元を図る。
進捗状況:本学部のロイヤリティ実績は7,000万円超となっている。(達成度:A)

松戸歯学部・松戸歯学研究科・松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

○松戸歯学学部、松戸歯学研究科、松戸歯学部附属歯科衛生専門学校共通

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:①学部一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除3名、住居半壊:授業料等半額免除5名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名。②大学院一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名、住居半壊:授業料等半額免除0名、原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名。③衛生専門学校一住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除1名。(達成度:A)

○松戸歯学部

【教育研究】

- 事業計画:教育・学習総合センター
事業概要:学生教育の質を高めるため、学習者の理解を促進するシステムを構築し、教育上必要かつ有効な情報及び教材を作成、提供する。また、教育・学習の基礎データを分析し、結果を教員並びに学生に還元する。
進捗状況:①平成25年度カリキュラム編成のためのカリキュラム編成会議を立ち上げ、従前のカリキュラムの修正点を洗い出しカリキュラムを改善。②現コアカリと新コアカリ、歯科医学教授要綱のすり合わせ。③各学年歯科医学総合講義の総合試験及び再

試験の問題作成、印刷、採点及び集計の簡略化。④定期試験問題等を解析し、出題内容の改善に努め国家試験合格率上昇を目指す。⑤学生個々の成績分布作成。⑥学生連絡メールアドレスの管理。⑦授業出席状況調査の強化。⑧学習カルテシステム構築のための調査研究。(達成度:A)

- 事業計画:学習支援システムの構築
事業概要:学生個人の様々な情報をデータ化し、それを解析し、教員に学生学習支援の資料として提供するとともに、学生にもフィードバックし、自らの不得意分野を把握させ、勉学意欲を向上させるためのシステム。
進捗状況:学習カルテシステム、シラバス入稿システム、作問システム等の平成26年度からの稼働に向けて開発した。(達成度:A)
- 事業計画:特別研究生制度
事業概要:既卒者で歯科医師国家試験不合格者の学習をサポートする制度。
進捗状況:特別研究生在籍者のうち、平成17年度7人中7人、平成18年度3人中2人、平成19年度7人中6人、平成20年度17人中14人、平成21年度19人中8人、平成22年度11人中8人、平成23年度9人中8人、平成24年度14人中10人、平成25年度14人中6人と毎年度約半数の合格者を輩出しており、既卒者合格率のアップに貢献している。(達成度:A)
- 事業計画:平成25年度～平成29年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
事業概要:口腔疾患の発症メカニズム及び全身への影響の解明と分子機構に基づく再生治療の開発を行う。

進捗状況:文部科学省の平成 25 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択結果が不採択となり,事業計画は実行できなかった。(達成度:D)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:生涯研修
事業概要:生涯研修コース・セミナーの定期的開催。
進捗状況:平成 25 年度は 12 回開催。(達成度:A)
- 事業計画:公開講座
事業概要:年 2 回開催
進捗状況:6 月「再生医療を用いた歯科治療」92 名受講。
10 月「インプラント治療の疑問に答えます! ~インプラントの良い点と不安な点~」69 名受講。(達成度:A)
- 事業計画:市民まつりへの参加
事業概要:毎年1回10月に開催される「松戸まつり」へ本学部のブースを出展。
進捗状況:「お口の悩み よろず相談コーナー」と題し, 歯科医師による「よろず相談コーナー」及び歯科衛生士, 附属歯科衛生専門学校生による「歯磨き相談コーナー」を実施し, 10 月 5 日・6 日の 2 日間で 716 名来場。(達成度:A)
- 事業計画:松戸市こども発達センターの摂食指導
事業概要:同センターの摂食指導事業に対する歯科医師の派遣。
進捗状況:月 2 回定期的に歯科医師を派遣。(達成度:A)
- 事業計画:教職員・学生等への節電・節水の啓蒙
事業概要:空調の設定温度に対する基準の設定(夏季 28℃, 冬季 20℃), 夏季期間の軽装(ノーネクタイ)の義務付けなど
進捗状況:教職員, 学生全員で取り組んだ。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:教員定員数の削減
事業概要:5 年計画(平成 23 年度から)に基づき, 平成 27 年度末までに教員定員数を現在の 162 名から 149 名にする。
進捗状況:新規採用専任教員の抑制に努めた。(達成度:B)
- 事業計画:諸会議資料のペーパーレス化
事業概要:iPad を導入し, 教授会等の資料を無くし, コスト削減を図る。

進捗状況:教授会のほか, 研究科委員会等にも iPad 導入した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:第 3 号基金組入れ
事業概要:教育研究基金等の組入れ
進捗状況:すべて目標額に達している。(達成度:A)

○松戸歯学部, 松戸歯学部附属歯科衛生専門学校共通

【施設設備】

- 事業計画:廃水処理施設改修工事
事業概要:竣工後 30 年近くが経過し, 老朽化が著しいため改修工事を実施する。
進捗状況:本事業は平成 25 年度から 27 年度までの中期計画であり, 本年度は設計のみ行う。(達成度:B)

○松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

【教育研究】

- 事業計画:実習用エットの整備
事業概要:基礎実習室の実習用エットを増設する。
進捗状況:予算の関係からエットの増設はできなかったが, 故障中のエットの修理を実施し, 稼働台数を増やした。(達成度:B)
- 事業計画:高等学校訪問
事業概要:各高等学校への積極的な啓蒙活動の実施。
進捗状況:松戸市近郊の高等学校を訪問し, 進学説明会・進路がたずね(模擬授業)を行った結果, 多くの受験生を集めた。(達成度:A)
- 事業計画:臨地実習現場の開拓
事業概要:幼稚園・小学校・中学校・保健センター等での実習実施。
進捗状況:実際の現場で保健指導を幅広く経験することで, 医療従事者としての自覚を身に付け, 歯科衛生士として必要な知識と技術を修得させることを目的として, 新たな臨地実習現場の開拓のため, 幼稚園・保健センター等を訪問し, 実習先の拡充を図った。(達成度:B)

生物資源科学部・生物資源科学研究科・獣医学研究科・短期大学部 (生物資源学科)

○生物資源科学部

【教育研究】

- 事業計画:入試制度の改善と大学偏差値の向上
事業概要:入学者選抜方法の点検改善, 広報活動の強化, 入学センターの機能充実, 入学定員の見直しと適切な学生数確保
進捗状況:基礎学力を重視した推薦入学試験に切り替え入試の難化を図った。また, 入学センターでは積極的に個人見学を受け入れ, きめ細かい対応を行った。結果, 一部予備校の調査では獣医, 動物・畜産, 水産の分野において入試難易度が私大トップとなり, 受験生確保も順調に進んでいる。(達成度:A)
- 事業計画:特色ある教育・フィールドサイエンス教育の充実
事業概要:生物資源科学フィールドサイエンス実習(新入生対象)の充実によるモチベーション維持向上教育

進捗状況:平成 18 年度から導入されている「生物資源科学フィールド実習」において, 本学部の付属施設である農場, 下田臨海実験所, 演習林及び富士自然教育センターを活用し, 学科と分野を超える実体験型教育を実施している。参加者も増加し, 今後も一層の充実を図る。(達成度:A)

- 事業計画:学術協定校との単位互換や海外学術交流の促進
事業概要:藤沢市内 4 大学との協定締結と単位互換制度の拡大, 海外学術交流協定の促進による海外フィールド実習の促進
進捗状況:単位認定制度の拡大は行わなかったが, 交流は活性している。(達成度:B)
- 事業計画:教育内容の再検討と改善
事業概要:各学科のカリキュラムの見直しと学科名称・研究室名称の変更

進捗状況:動物資源科学科,食品ビジネス学科,森林資源科学科,生物環境工学科,国際地域開発学科においてカリキュラム改正を行った。また一部の学科名称変更の検討を行った。(達成度:A)

○事業計画:教育組織の改編・充実

事業概要:教育組織改革の推進と教育内容・方法の改善
進捗状況:平成 27 年度に向けて新学科増設の検討を行い,文部科学省へ届出を行った。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:教育環境の整備

事業概要:60 周年記念棟(仮称)の新築および 1~3 号館の改築,農場本館棟付属研修施設(仮称)の新築
進捗状況:農場研修センターが竣工し,60 周年記念棟の改築工事は予定どおり進行している(達成度:A)

○生物資源科学研究科,獣医学研究科

【教育研究】

○事業計画:大学院の改善

事業概要:TA システムの改善と経済的支援の強化,PD 制度の

充実,大学院組織の改組を目的とした検討

進捗状況:TA の採用・配属方式を改善し,運用及び管理体制の強化を図った。また,経済的支援の強化及び大学院組織についても引き続き検討を重ねている。(達成度:B)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への計画的申請

事業概要:学部大型研究プロジェクトによる研究の高度化と,それを基盤として研究拠点形成のための支援事業への申請,若手研究者の養成による後継者育成
進捗状況:研究拠点を形成する研究に 1 件新規申請,継続分も 1 件申請し,それぞれ採択された。(達成度:A)

○短期大学部

【教育研究】

○事業計画:教育組織の改編・充実

事業概要:教育組織改革の推進と教育内容・方法の改善
進捗状況:今後のあり方について検討し,平成 27 年度に募集停止とする。(達成度:A)

薬学部・薬学研究科

○薬学部

【教育研究】

○事業計画:薬剤師教育センターの設置,運営

事業概要:薬剤師の養成及び薬学教育の効果的な実施
進捗状況:薬剤師生涯教育,実務事前実習,早期体験実習及び薬学実務実習の運営を行う。(達成度:A)

○事業計画:実務実習連絡システムの運用

事業概要:薬学実務実習における学生,教員,実習施設の連携を図るため,実務実習進捗ネットワークを活用
進捗状況:web, Fax により,薬学実務実習における学生,教員,実習施設間の連携と進捗状況の把握と実習生の指導に使用(達成度:A)

○事業計画:CBT 対策講座

事業概要:共用試験 CBT の合格に向けた学力充実のための対策
進捗状況:4 年生を対象に CBT 対策講座を実施(達成度:A)

○事業計画:薬剤師国家試験対策講座

事業概要:6 年次各期にわたり新薬剤師国家試験に向けた対策講座を実施
進捗状況:国家試験対策講座と国家試験模擬試験を実施(達成度:A)

○事業計画:教育支援システム

事業概要:共用試験 CBT 及び薬剤師国家試験合格率向上のため,システムを導入して演習を実施
進捗状況:学生自身の端末からアクセスし演習を実施。また,学外からの自習にも使用。(達成度:A)

○事業計画:就職支援のためのメンター会の開催

事業概要:企業の情報収集及び業界研究を行い,企業と接することにより就職の意識を高揚させる。
進捗状況:企業等 48 社,学生延 1,380 名が参加し,企業・業界等の研究を充分学ぶことができた。(達成度:A)

○事業計画:文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

事業概要:プロジェクト名「生活習慣病治療薬開発に向けた研究基盤形成」。学術フロンティア推進事業等で構築・解明され

た成果を発展させて発症メカニズムに迫り,生活習慣病の発症・進展の阻止を図ることが期待される。

進捗状況:文部科学省へ申請したが残念ながら不採択となり,実施に着手できていない。平成 26 年度に事業内容・実施体制を見直して,新規プロジェクトを申請する。(達成度:D)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:薬学生涯教育講座

事業概要:薬剤師に高度化・多様化する医療に対して即応し得る生涯研修の場と情報を提供するための講座を開催
進捗状況:日本大学薬学生涯教育講座開催及び認定薬剤師制度実施(達成度:A)

○事業計画:薬草教室の開催,薬用植物園の公開

事業概要:地域住民に対し,薬用植物の知識を広めるとともに,地域貢献及び開かれた大学を目指す。
進捗状況:春と秋に薬草教室を開催し,オープンキャンパス等で薬用植物園を公開することができ,多数の参加者があった。(達成度:A)

○事業計画:エコキャップの回収

事業概要:学生,教職員のリサイクル意識を高めるとともに,地球環境保護への関心を醸成する。
進捗状況:1 年間でエコキャップ 個数約 20,000 個(50kg ワクチン 25 本分)を集めた(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:防災用食料,備品の購入

事業概要:消防計画に基づく非常用物品等を購入する。
進捗状況:飲料水及びアルファ米を購入し,前年度までの備蓄食料と合わせて 3 日分を確保することができた。また,防災備品を購入し,装備を補充した。(達成度:A)

○事業計画:SD の取組

事業概要:管理運営,教育研究支援を担う職員の資質向上を図るための研修会を実施する。

進捗状況:学祖をテーマとしたSD研修会を開催し、学祖の生涯と大学の黎明期を学ぶことができた。(達成度:A)

- 事業計画:体験入学の実施
事業概要:高校生に対してより詳細に本学部や薬学の学問分野について紹介する。
進捗状況:オープンキャンパスの一環として事前登録制の体験入学を企画し、定員枠を超える申し込みがあり実施した。少人数なのでよりきめ細かく学問と学部の紹介を行うことができた。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤師教育センター運営強化のための職員の充実
事業概要:平成24年度専任職員を1名配置し、平成25年度は嘱託1名を採用する。
進捗状況:専任職員を任期制職員として1名採用し、さらに学内異動により1名をセンターに配属した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:4号館空調設備改修工事

事業概要:経年劣化した4号館(分析センター)の空調機器(PAC-5・6)の更新

進捗状況:平成25年11月～平成26年2月に実施、完了した。(達成度:A)

- 事業計画:実験動物センター外壁改修工事
事業概要:経年劣化した実験動物センターの外壁を年次計画により補修
進捗状況:平成25年12月～平成26年2月に実施、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:中庭タイル補修工事
事業概要:破損、浮きの進行した中庭タイルの補修
進捗状況:平成25年7月～平成25年9月に実施、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:排水処理施設整備工事
事業概要:法令の規制に適合した排水処理施設の維持
進捗状況:平成25年6月～平成25年9月に実施、完了した。(達成度:A)

通信教育部

○通信教育部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:被災した学生に対し、授業料等の減免措置を実施した。
進捗状況:被災した学生が学業を継続している。(達成度:A)
- 事業計画:スクーリング開講形態等の改善
事業概要:各種スクーリングにおける、開講形態や開講時期等の見直し
進捗状況:平成25年度は、短期集中型スクーリングをゴールデンウィーク期間に増加し、社会人学生や地方在住学生の受講機会を増やし学生のニーズに対応した。英語圏の海外スクーリングをハワイ大学マア校で実施し、ハワイにおける日米交流史を学び国際交流の輪を広げた。(達成度:A)
- 事業計画:メディア授業の改善と充実
事業概要:メディア授業の修得機会の実施策
進捗状況:平成25年度は、社会人学生や地方在住学生の受講機会を増加するため、スクーリング単位をメディア授業だけで必要単位数を修得できるように学則変更した。平成26年4月より実施。(達成度:B)
- 事業計画:学生用サポートデスクの改善
事業概要:ポータルサイトからの各種申込手続きの充実
進捗状況:これまで、科目修得試験、スクーリング及びメディア授業の申込みや、単位修得状況の確認などの機能を充実してきた。年を追うごとに学生の利用率も上がっていることから、学生の利便性向上と業務の効率化に効果をもたらした。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:生涯学習公開講座事業
事業概要:公開講座の開講
進捗状況:平成25年度は、歴史・文学・文化・哲学・芸術・健康・心理学・社会・政治・ライブラリ・国際・語学の分野の講座を、前期12講座、後期11講座、計23講座を開講し、延べ621名が受講した。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:入学説明会及び学校訪問
事業概要:入学生募集のための説明会及び学校訪問の実施
進捗状況:入学者数の増加には繋がらなかったが、本学での説明会、単独の主要都市説明会及び高校訪問の回数を増やした。継続的な実施で次年度以降の入学者増につなげる。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:1号館5階トイレ水圧改修工事
事業概要:1号館5階トイレの頻繁に起こるつまりを解消するために水圧を上げる工事を実施する。
進捗状況:改修工事が予定どおり完了し、問題を解消した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:第3号基本金への組入れ
事業概要:通信教育部研究基金4億円を目標に、平成24年度3千万円、平成25～28年度(毎年度)2千万円を組入れする。
進捗状況:組入計画に基づき、平成25年度に2千万円を組入れし、基金残高は3億4千万円となった。(達成度:A)

○通信教育研究所

【教育研究】

- 事業計画:『研究紀要』投稿原稿に関する査読審査等の導入
事業概要:『研究紀要』投稿原稿に関する査読審査の導入
進捗状況:「日本大学通信教育部『研究紀要』発行に関する取扱」及び「『研究紀要』の査読に関する基準」に基づき、平成25年度『研究紀要』から査読制度を用いた投稿原稿の募集を開始した。(達成度:B)

付属高等学校・付属中学校・幼稚園

○日本大学高等学校,日本大学中学校 共通

【教育研究】

- 事業計画:日本大学各学部による進学相談会
事業概要:中学から高校まで全学年を対象に実施し、本学への理解を深めさせ、帰属意識を醸成する。
進捗状況:早期の進路意識を喚起させ、本学への本意進学に向けたサポートとして機能した。(達成度:A)
- 事業計画:卒業生による進路説明会
事業概要:40名を超える卒業生に受験体験・大学生活について、説明させることで、在校生の学習意欲、進路意識を高めさせる。
進捗状況:既に本説明会を経験した卒業生が説明に当たっているため、説明内容の充実が図れた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:施設の貸出し
事業概要:近隣幼稚園の運動会、英語検定試験、国及び地方選挙投票の会場として施設を貸出し。地域社会との融和を図る。
進捗状況:運動会、英語検定試験、選挙投票の会場貸出しを行った。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:業務(部署間の連携等)の見直し
事業概要:業務の内容、分担・連携、人事配置の見直し。
進捗状況:人事異動等により業務改善を図ったが、年度末に欠員状態が生じ、一部の係に負担がかかることとなった。(達成度:C)
- 事業計画:安全衛生委員会活動の更なる強化
事業概要:安全衛生委員による職場巡視、生徒相談室利用状況、インフルエンザ及びノロウイルスの感染状況等を委員会にて検討し、職場における安全環境の向上を図る。
進捗状況:学校行事や夏季期間等で開催不能な月を除き、ほぼ毎月開催することができた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:防火シャッター安全バー取付工事
事業概要:防火シャッターに安全バーを取り付け、万一の誤作動等を防止し、生徒の安全を図る。
進捗状況:無事工事が終了し、生徒の安全を図ることができた。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:消耗品支出の節減
事業概要:消耗品の購入管理を推進し、支出を節減する。
進捗状況:物品調達に当たって規格の共通化・統一化及び一括購入などによる購入単価の低廉化を積極的に図った。(達成度:A)
- 事業計画:修繕費支出の削減
事業概要:修理箇所の再点検による支出削減
進捗状況:省エネルギーと長期的な電気料金削減の観点から、決算見込みでの修繕費支出予算残を見込んで、急遽臨時的にグラウンド・アリーナ照明のLED化工事を予算外で行った。(達成度:A)
- 事業計画:業務委託費支出の削減
事業概要:警備、用務等の業務委託見直しによる支出削減

進捗状況:見直しを検討したが、実施することができなかった。(達成度:C)

- 事業計画:印刷製本費の削減
事業概要:印刷部数の再検討及び会議資料の見直しによる支出削減
進捗状況:生徒会誌と作文集(桜苑)を統合し支出削減を達成した。(達成度:A)

○櫻丘高等学校

【教育研究】

- 事業計画:国際化に対応した語学教育研修制度
事業概要:ネイティブスピーカーによる週22コマの授業を実施する。夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修を実施する。
進捗状況:ネイティブスピーカーによる週22コマの授業を1学年に対して実施した。希望者に対して、夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修(7/21~8/5)を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:教員研修制度
事業概要:外部機関の実施する研修会に本校教諭を派遣する。今年度より、英語教諭対象に教育能力の向上を目指し海外への研修派遣(英語教授法スキルアップ研修会)を実施する。
進捗状況:外部機関の実施する研修会へは、夏期などの休暇期間を中心に各教科により個別に実施した。本部主催の英語教授法スキルアップ研修会(7/22~8/8)に今年度、英語科教員1名が参加した。(達成度:A)
- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:文理学部併設校の利点を生かし、1年生全員に体験授業(年一回)を実施する。2年生から大学の講義の一部を科目等履修生として受講する。
進捗状況:体験授業は、1年生全員及び2・3年生の希望者を対象に、9月21日に文理学部で実施した。高大連携教育に関する協定を結んでいる文理学部、法学部及び経済学部へ2・3年生の希望者が登録・受講した。(達成度:A)
- 事業計画:本校教諭及び外部講師による講習
事業概要:①本校教諭による夏期講習(夏期休暇期間中の前半(7月下旬))を実施する。②外部講師による特別講習(夏期休暇期間中の後半(8月下旬))を実施する。③本校教諭による基礎学力養成講習を夏期休暇期間中の前半(7月下旬)に3日間、冬期休暇直前の2日間に実施する。
進捗状況:①全学年の希望者を対象に7月21日~7月31日に実施した。②3年生の希望者を対象に8月20日~8月30日に実施した。③1・2学年の希望者を対象に7月21日~7月23日及び12月19日・20日に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:習熟度別授業の実施
事業概要:英語と理系コースの数学で、生徒の習熟度に合わせた少人数クラスを編成し授業を行う。
進捗状況:理系コースの2・3年生を対象に数学及び英語で実施した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:文化祭模擬店収益金の寄付
事業概要:文化祭模擬店の収益金及び募金活動によるエッチ協会・東日本大震災復興支援等複数の団体への協力を行う。
進捗状況:今回は台風の直撃もあり、文化祭が1日のみ

の実施となったが、東日本大震災復興支援、社会福祉法人のほか、毎年実施している複数の団体への協力を行った。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:教務・学納金システムの変更

事業概要:新システムを導入し業務の効率化を実現する。教務システムと学納金システムは、別々のパッケージソフトを利用して構築したため、学納金システムの一部は、今回で構築を終了する。

進捗状況:学納金システムは、システムの仕様及び運用方法の構築が終了し、今年度からの稼働が実現した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:キャンパスマスタープランの構築

事業概要:平成25年度予算原案への計上が認められ、今後、重要整備計画に沿って新館・新体育館建設に係る具体的な策定を行う。

進捗状況:新館建設委員会等において、基本設計に向けてどのような機能を盛り込んだ教育環境の構築をするかの検討段階に入った。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金への組入れ

事業概要:生徒へ奨学金の給付を行うため、毎年度100万円を櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。

進捗状況:組入計画に基づき、100万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○鶴ヶ丘高等学校

【教育研究】

○事業計画:コースの特色に応じた学習計画

事業概要:コースごとの学習指導計画を考え、実践・展開する

進捗状況:シラバスを詳細に作成し、実践した(達成度:A)

○事業計画:海外留学などの内規・指導方法を立案

事業概要:帰国後、履修状況を確認し進級させられるか委員会で判断する。

進捗状況:交換留学の制度も計画中である(達成度:A)

○事業計画:キャリア教育の充実

事業概要:高大連携教育の実施。総合学習での読書、論理エンジョン実施

進捗状況:今後、学校全体の取り組みとしてキャリア教育を計画し、実施する(進捗状況:B)

○事業計画:自己点検・自己評価・学校評価結果の活用

事業概要:結果票に基づき、振り返りを実施

進捗状況:他の機関の研修など、積極的に参加し、研鑽を深めた(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:地域との連携と貢献

事業概要:和泉小学校への勉強サポートボランティア、地域防災訓練の参加

進捗状況:地域での連携はかなり進んでいる(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:入試改革の推進

事業概要:推薦入試合格者に対して、新入生招集日に実力テストを実施する

進捗状況:都内の入試状況を研究し、また本校の入試結果を分析する(達成度:A)

○事業計画:教員組織の構成の適正化

事業概要:中・長期的な計画採用、専任、非常勤のバランスの適正化

進捗状況:学校経営をみながら、計画し採用する(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:研修寮耐震補強工事

事業概要:研修寮耐震補強工事。

進捗状況:工事費用が予算超過のため未実施。(達成度:D)

○事業計画:給排水改修工事(体育館系統)

事業概要:体育館系統の給排水改修工事。

進捗状況:平成25年8月に給排水改修工事(体育館系統)完了。(達成度:A)

○事業計画:体育館地下女子更衣室改修工事。

事業概要:体育館地下女子更衣室の改修工事。

進捗状況:平成25年4月に体育館地下女子更衣室改修工事完了(達成度:A)

○藤沢高等学校,藤沢中学校共通

【教育研究】

○事業計画:基本的生活習慣の実施

事業概要:基本的生活習慣の実践、挨拶指導、躾教育の実践

進捗状況:学校の指針に「しつけ教育の徹底」を掲げ、生活指導部を中心に熱心な指導を実施している。(達成度:A)

○事業計画:国際感覚の育成

事業概要:少人数教育、海外語学研修、学術交流の充実及び英語検定受験の奨励。

進捗状況:英会話の授業では少人数クラスによる細やかな運営を行い、語学研修は中学校と高校の両方により実施した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:課外活動及び社会貢献の推進

事業概要:クラブ活動の奨励による心身の育成

進捗状況:クラブ活動の入部を積極的に奨励し、活性化を図り、全国大会等に出場した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:小学校校舎新築その他工事

事業概要:小学校校舎の新築及び高校・中学グラウンドの建設工事

進捗状況:グラウンドは平成25年12月に竣工し、使用を開始している。小学校校舎新築工事は平成26年6月の竣工予定。(達成度:B)

○藤沢高等学校

【教育研究】

○事業計画:基礎学力の養成と大学進学率の向上

事業概要:授業等におけるきめ細かな個人指導の充実。

進捗状況:夏季・冬季休暇中の希望者対象の講習、成績不振者への補習、3年生対象夏期勉強合宿等を実施した。(達成度:A)

○藤沢中学校

【教育研究】

- 事業計画:農業体験の実施
事業概要:農場でのフィールドワークの実施
進捗状況:生物資源科学部に隣接する里田を活かし、大学の施設や設備を用いた体験授業を行っている。(達成度:A)

○豊山高等学校,豊山中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:中高6か年一貫システムの推進
事業概要:個々の適性にあったカリキュラムの構築
進捗状況:発展期(中3)に特進クラスを設置。向上期(高1)には特進クラスのほかに体育クラスを設置。また、応用完成期には文系・理系の科目について個々の能力に応じた指導により学力の充実・強化を図った。(達成度:A)
- 事業計画:教育・研究活動の推進
事業概要:自己点検・自己評価を踏まえた、各教科の研究授業の充実と教授法等指導体制の確立
進捗状況:各教科の指導目標を策定し、年間指導計画を作成している。教員の研修意欲高揚・授業教授法のスキルアップを企図し、授業へ反映させる観点から、平成25年度は3名に海外研修の機会を与え、世界的視野・見識を持った教員の育成を図っている。また、全教科でシラバスを作成し、4月当初に保護者及び生徒へ配付し授業内容の明確化を図り、保護者から授業に対する信頼を得た。(達成度:A)
- 事業計画:学力向上推進プロジェクト
事業概要:国・数・英の学力向上対策として、インターネットの利用や教授法の改革
進捗状況:英語はホームページ、DVDを中高生とも利用しており、各単元の教材を開発、着実に不得意分野の克服に向け、個別対応システムを構築している。数学の高3文系進学クラスにおいては、学習到達度別授業を实践。徐々にではあるが平均偏差値は向上している。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:近隣小学校との交流
事業概要:学校行事における近隣との交流
進捗状況:例年、本校の吹奏楽部が近隣小学校へ出向き、児童に対し、音楽指導を行い交流を深めている。また、文化祭(豊山祭)において学校説明会場を設け、受験生以外にも広くPR活動をしている。(達成度:A)
- 事業計画:ボランティア活動の推進
事業概要:通学路の交通整理活動及び学祖墓所の清掃等
進捗状況:護国寺駅前階段、駅前交差点等の交通整理等の功績に対し、警視庁大塚警察署長より本校の交通安全委員会生徒が表彰を受けた。本校生徒会美化委員会の活動として護国寺境内の学祖墓所等の清掃は、年間を通し定期的に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:体育館・温水プール等の施設の貸出し
事業概要:地元住民との融和
進捗状況:部活動で使用しない時にプールを地元住民へ貸し出し、コミュニケーションや融和に努めた。また、財団法人日本英語検定協会本会場及び有名私塾の試験会場として施設の貸出しを行った。(達成度:B)
- 事業計画:同窓会との連携強化
事業概要:同窓会奨学金制度の充実
進捗状況:同窓会会長・理事長の学校行事への招待などの相互関係により、学校支援に協力をいただいている。平成25年度においては、同窓会奨学金を受給した経済困窮給付者が1名であった。(達成度:A)

- 事業計画:地域社会との連携強化
事業概要:交通安全キャンペーン活動、文京福祉センター祭への参加
進捗状況:大塚警察署との連携により生徒会役員等の生徒で組織した「日大豊山大塚ヒューマンズ」が交通安全キャンペーン活動を展開した。また、近隣施設との連携として祭りの準備や手伝いを通じて地域住民との融和・交流を図った。(達成度:A)
- 事業計画:防災対策
事業概要:大規模災害等不測の事態に備えた積極的な活動
進捗状況:護国寺との連携による生徒避難訓練並びに自衛消防隊による放水訓練等の活動を充実させ、生徒のみならず、教職員の防災意識を高めた。(達成度:A)
- 事業計画:環境教育における他校との連携
事業概要:生徒及び教員が環境体験学習の活動に参加
進捗状況:東京環境教育実践研究会に所属し、本年度の環境体験学習として「高エネルギー加速器研究機構」、「サイエンススクエアつくば」、「筑波宇宙センター」へ3校65名が参加。本校からは15名が参加し見学後、意見交換及び情報交換会を実施した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:志願者増対策及び広報活動の拡充
事業概要:学校説明会及び募集広告等の見直し、近県都下をターゲットとした広報活動
進捗状況:受験生確保が困難な背景ではあるが、中学入試を4回に増やし志願者の質的向上を図った。ホームページの充実等による効果、校長自ら塾訪問するなど学校説明の積極的活動を実施した結果、中学は昨年度比185.1%の増となった。平成25年度は、併設中学校からの高校進学(内部進学)者222名を含め、高校新入生475名、中学新入生231名を確保した。(達成度:A)
- 事業計画:適正な教員採用
事業概要:教員の定年退職に対する後任補充の適切な人員配置
進捗状況:教員の年齢構成バランスや教科の構成人数を総合的に判断し、5名の退職に対し、3名の補充に留め、計画的な採用計画を推進し、人件費の抑制に努めた。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:キャンパス整備事業
事業概要:新校舎の建設及び既存校舎の解体
進捗状況:平成26年度末の新校舎竣工に向け、順調な工事進捗状況といえる。なお、平成27年度より既存校舎の解体及び中庭等の整備に着手予定である。(達成度:A)

○豊山高等学校

【教育研究】

- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:法学部・経済学部・生産工学部の単位を入学後に修得認定。
進捗状況:法学部は平成24年度1名が受講、平成25年度は0名。経済学部は平成24・25年度については受講者0名。生産工学部は平成24年度25名、平成25年度13名が履修。(達成度:B)

○豊山中学校

【教育研究】

- 事業計画:3年生特進クラスの増設
事業内容:発展的な内容で高レベルな知識を身に付けさせる。
進捗状況:平成25年度も特進クラスを2クラスとし、学力の向上を図っている。また、中3終了時には英検2級3名、準2級55名が合格した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:学校説明会実施時期等の見直し
事業内容:学校説明会の実施時期を早め開催回数を増やす。
進捗状況:4回であった学校説明会を1月に1回増やし、5回実施した。志願者に対し、部活動体験等を実施するなど受験意欲を高める工夫を行った。出願方法を見直し、コンビニ出願制度を導入した結果、志願者増へ繋がった。(達成度:A)

○豊山女子高等学校,豊山女子中学校 共通

【教育研究】

- 事業計画:ｽﾏｰ教室
事業概要:志賀高原でのｽﾏｰ教室実施
進捗状況:12月21日～23日(3日間)中1～高2までの希望者(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:秋桜祭
事業概要:募金・ﾊﾞﾝﾈｰを9月に実施
進捗状況:9月21日～22日入場者数5,061名、募金・ﾊﾞﾝﾈｰ-収益金・食堂部門利益寄付、板橋区福祉協議会ほか(達成度:A)
- 事業計画:ﾘｻｲｸﾙ運動
事業概要:エコｷｯﾌﾟ運動を実施
進捗状況:ﾊﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙｷｯﾌﾟを日常的に回収し、ﾘｻｲｸﾙしている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:教員採用
事業概要:新規で1名の専任教員採用を実施した。平成26～29年度に8名の定年退職者があるので、順次対応する。
進捗状況:新規採用教員1名(達成度:A)

○豊山女子高等学校

【教育研究】

- 事業計画:校外学習
事業概要:校外学習(全学年)
進捗状況:5月2日(1年-八景島ｼﾞﾊﾟﾗｸﾞｲｽ,2年-横浜,3年-東京ﾃﾞｲｽﾞﾆｰﾗﾝﾄﾞ)(達成度:A)
- 事業計画:芸術鑑賞
事業概要:伝統芸能鑑賞
進捗状況:6月3日歌舞伎「紅葉狩」(国立劇場)(達成度:A)
- 事業計画:講演会・講習会
事業概要:防犯講演会,制服セミナー,STI(性感染症)講習会,ﾃｰﾌﾞﾙﾏｰ講習会,普通救命講習会の実施
進捗状況:4月9日防犯講演会(高校1年生対象),7月12日STI予防講習会(高校2年生対象),7月16日ﾃｰﾌﾞﾙﾏｰ講習会(高校1年生対象),12月13日普通救命講習会(高校1年生対象)(達成度:A)

- 事業計画:理数科特別授業
事業概要:理数科対象に特別授業を実施
進捗状況:4月20日高1理科-理化学研究所訪問(達成度:A),7月11日高1理科-筑波宇宙センター(JAXA)訪問(達成度:A)7月17日高1数学-理工学部より講師招聘(達成度:A),7月19日高2理科-生物資源科学部訪問(達成度:A),12月12日高2数学-文理学部より講師招聘(達成度:A),2月22日高2理科-薬学部訪問(達成度:A)
- 事業計画:海外英語研修
事業概要:ｶﾀﾞでの語学研修の実施
進捗状況:7月22日～8月8日(18日間)(達成度:A)
- 事業計画:修学旅行(高2)
事業概要:沖縄での平和学習(4泊5日)
進捗状況:11月11日～15日に実施した(達成度:A)
- 事業計画:特別講座
事業概要:1月～2月中に4回実施(高3対象)
進捗状況:平成26年1月10日-法学部より講師招聘,1月20日-理工学部より講師招聘,1月24日-大原学園より講師招聘,1月27日-理工学部より講師招聘して実施した(達成度:A)
- 事業計画:研究授業
事業概要:新採用教員研修研究授業
進捗状況:理科教員1名。平成25年11月30日2時限目を実施(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:授業参観
事業概要:1学期
進捗状況:5月29日実施(達成度:A)

○豊山女子中学校

【教育研究】

- 事業計画:習熟度別学習の充実
事業概要:習熟度別学習の充実
進捗状況:数学-中1(週5時限のうち5時限),中3(週5時限のうち5時限),英語-中1・2(週5時限のうち1時限),中3(週5時限のうち5時限)。1クラスを2つに分割して習熟度別授業を実施した(達成度:A)
- 事業計画:校外学習
事業概要:校外学習を年間5回実施
進捗状況:5月1日(1年-上野動物園,2年-国立博物館,3年-国立博物館),6月21日(1年-科学技術館,2年-生物資源科学部,3年-鎌倉),9月27日(1年-ちひろ美術館,2年-東京駅周辺,3年-理工学部(船橋)),10月18日(全学年-映画鑑賞(文京ｼﾞｯｸﾞﾎｰﾙ)),11月14日(1年-葛西臨海水族園,2年-浅草)(達成度:A)
- 事業計画:芸術鑑賞
事業概要:ミュージカル鑑賞
進捗状況:5月24日ミュージカル「マイ・フェア・レディ」(日生劇場)(達成度:A)
- 事業計画:講習会・講話
事業概要:防犯講演会,保健講話,進路についての講話,ｸﾞｰﾀｲ安全教室
進捗状況:4月9日-防犯講演会(中学1年生対象),5月8日-進学ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(中学3年生対象),6月中「思春期の人間関係」(中学1年生対象),「中2ｸﾗｲｽ!?!」(中学2年生対象),「ｱｰﾀﾞｲﾌﾞ・ｺﾓｳﾞｴｰｼｮﾝについて」(中学3年生対象),7月16日-租税教室(中学3年生対象)(達成度:A)
- 事業計画:林間学校
事業概要:7月下旬に2泊3日で実施(中学1年生対象)

- 進捗状況:7月25日～27日-志賀高原(達成度:A)
- 事業計画:修学旅行(中3)
 - 事業概要:京都・奈良での歴史・文化学習(3泊4日)
 - 進捗状況:11月12日～15日-京都・奈良(達成度:A)
 - 事業計画:英語スピーチコンテスト
 - 事業概要:英語スピーチコンテストを1月下旬に実施
 - 進捗状況:1月23日に実施した(全学年参加)(達成度:A)
 - 事業計画:書初め展
 - 事業概要:書初め展を1月下旬～2月に実施
 - 進捗状況:1月25日から展示した(達成度:A)
 - 事業計画:かるた大会
 - 事業概要:かるた大会を1月下旬に実施
 - 進捗状況:1月25日に実施した(全学年参加)(達成度:A)
 - 事業計画:研究授業
 - 事業概要:新採用教員研修研究授業
 - 進捗状況:英語教員1名。平成25年11月26日1時限目
に実施。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:環境美化
 - 事業概要:清掃活動及び情操教育
 - 進捗状況:週1回の全員清掃,毎日の当番清掃,学期ごとの全校一斉の大掃除の実施,週1回の教室での花活け(達成度:A)
- 事業計画:授業参観
 - 事業概要:1学期及び2学期
 - 進捗状況:5月29日及び11月2日に実施(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:PCルーム機器更新
 - 事業概要:WindowsXPサポート終了に伴い,Windows7への機器更新を行った。
 - 進捗状況:8月に更新完了した。(達成度:A)

○三島高等学校,三島中学校共通

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:ボランティア活動
 - 事業概要:①日本赤十字献血への協力,②銀杏並木清掃
 - 進捗状況:①高校3年生の希望者を対象に,平成26年2月に学内にて献血を実施し,62名が協力した。(達成度:A),②11～12月にかけて定期的に学校前の通りの落ち葉拾いや清掃作業を行った。(達成度:A)
- 事業計画:地域社会との連携
 - 事業概要:三島夏祭りへの参加
 - 進捗状況:地域貢献の一環として,生徒会が中心となり三島の夏祭りへ協力し,応援部・女子ソフトボール部・男子サッカー部が三島サバに参加した。(達成度:A)
- 事業計画:環境問題への取組
 - 事業概要:①省エネ・節電,②ゴミの分別及び古紙等資源再利用・エコキャップ運動への参加
 - 進捗状況:①昼間の校舎内の共有スペース・廊下等をこまめに消灯し,19時には空調・換気を一斉に止めた。(達成度:A),②日常の清掃時からの分別回収の徹底。生徒会が中心となりペットボトルのフタを分別回収し,ボラのワゴンとして提供した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:生徒募集の強化
 - 事業概要:多様な学校説明会及び学校訪問
 - 進捗状況:4月～12月に,教員による小学校・中学校進学塾訪問を実施。また,8月の学校説明会は3,300名の来場

- 者があり,地区別説明会(伊豆・小田原・御殿場・静岡)は,199名の来場者があった。(達成度:A)
- 事業計画:教員の計画的採用
 - 事業概要:定年退職者及び生徒数等を中長期的に勘案し専任及び兼任教員を採用
 - 進捗状況:専任教員は,教科間の年齢構成,生徒数の推移・クラス数を考慮し,5名を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:総合体育館新築工事
 - 事業概要:体育館3棟と食堂・講堂棟に替わり,これら機能を集約した総合体育館を新築
 - 進捗状況:総合体育館建設委員会を5回・ワーキンググループ会議を5回開催。平成25年10月に基本設計が承認され,その後実施設計に着手し,平成28年2月竣工の予定で事業を進めていく。(達成度:B)

○三島高等学校

【教育研究】

- 事業計画:学則の変更
 - 事業概要:学習指導要領の改訂に伴う教育課程を変更
 - 進捗状況:新指導要領の実施に伴い,教育課程を変更の上,着実に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:国際化教育の推進
 - 事業概要:①国際クラス生徒の海外留学及びオーストラリア留学生の受入れ,②海外語学研修の実施,③国際関係学部との高大連携教育の推進
 - 進捗状況:①国際クラス2年生10名が約1年間のオーストラリアでの留学を終え,平成25年12月に帰国。平成26年1月には国際クラス1年生10名が留学のため出発。また,平成25年4月に,約3週間の日程でオーストラリアから4名の留学生を受け入れ,国際交流を図った。(達成度:A),②国際クラスの海外留学の事前研修として,夏季休暇中に約1か月のオーストラリア語学研修を実施,10名が参加した。また別プログラムとして,夏季休暇中に3週間のオーストラリア語学研修を実施し,希望者55名が参加した。(達成度:A),③締結した覚書に基づき,国際関係学部への進学を希望する生徒24名が大学の授業を受講し,国際関係学部入学後に単位認定を行った。(達成度:A)
- 事業計画:進路指導の充実
 - 事業概要:日本大学各学部・国立大・他大学進路ガイダンスの実施
 - 進捗状況:3月に2年生を対象とした日本大学各学部の模擬授業を行い,3年生を対象とした学部説明会を6～7月にかけて行った。(達成度:A)
- 事業計画:奨学金制度の充実
 - 事業概要:現行の後援会奨学金に加えて新規に同窓会奨学金制度を制定
 - 進捗状況:学力優秀者及びスポーツ能力の高い者や生活困窮者に対して後援会が支援し,111名に奨学金を給付した。同窓会奨学金制度は未実施。(達成度:A)

○三島中学校

【教育研究】

- 事業計画:外国語教育の充実
 - 事業概要:①英検取得推進・英語教育国内合宿,②欧州修学旅行
 - 進捗状況:①英検の取得を奨励した結果,2級3名,準2級42名,3級71名,4級41名となった。また,中学2・3年生の希望者を対象者に,2泊3日で福島県の語学研修

施設、ブリティッシュヒルズで語学研修を実施。2年生35名が参加した。(達成度:A) ②ロンドンでは現地の語学学校のイギリス人とともに班別行動で観光をしながら英語で交流を図り、パリでは事前学習を入念に行い、文化の違いを体験できた。(達成度:A)

○事業計画:きめ細かな学習指導の実践

事業概要:①学習到達度別補習・補講の実施、②少人数クラスによる英語・数学の授業

進捗状況:①英語は英会話クラスを2つに分け、ネイティブと日本人教員の2名が週3~4コマの授業を担当した。また、数学は習熟度別に2クラスに分け同時展開で授業を実施した。(達成度:A) ②英語は英検の受験クラスに分けて補習を実施。また、数学においては成績下位者を対象に放課後に特別補習を実施した。(達成度:A)

○明誠高等学校

【教育研究】

○事業計画:教員の質的向上・教科指導の充実化、学習支援体制の確立

事業概要:学校自己点検・評価、生徒の授業評価の実施による教員の自己努力、授業改善を図る。

進捗状況:生徒による授業評価は年度を追うごとに向上しており、平成25年度は「学習事項の定着努力」、「校則・マナー遵守」に一層の伸長が見られた。また、シラバスの活用、補習授業等を実施し、学習支援体制の確立に努めた。(達成度:B)

○事業計画:漢字検定及びTOEIC Bridgeの実施

事業概要:国語力・英語力向上のため、1年生全員に漢字検定、1・2年生全員にTOEIC Bridgeを受検させる。

進捗状況:英語は将来を考慮してTOEIC Bridgeを採用しているが、実用英語技能検定の受検も奨励している。全員受検体制は定着しているため、結果の活用が課題である。(達成度:B)

○事業計画:魅力ある学校づくりと社会的評価の向上

事業概要:特進コースの土曜日授業の実施。特進コースの授業の充実と国公立をはじめ有名私立大学への進学率の向上。

進捗状況:特進コースは、特進コース主任の下で指導体制も徐々に整いつつある。また、特進・普通コース1・2年生に対して、2・3年次を見据えた補習を行った。平成25年度は、日本大学200名(59.2%)、他大学103名(30.5%)の進学実績を達成した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:吹奏楽部の地元主催音楽祭等参加

事業概要:社会に貢献するための発表会を実施する。

進捗状況:例年、吹奏楽部は地元主催音楽祭「上野原吹奏楽祭」「北都留支部音楽祭」に参加し高い評価を得ているが、今年度「北都留支部音楽祭」は大雪のため中止となった。(達成度:B)

○事業計画:学校施設の開放

事業概要:学校施設の地域住民への開放

進捗状況:グラウンドは地域の少年野球やサッカーチーム、体育館は空手道大会などに貸し出している。(達成度:A)

○事業計画:生徒会募金活動による天災被災地への支援

事業概要:社会に貢献するための義援活動

進捗状況:文化祭時の寄付金を「N.募金」に寄付した。(達成度:A)

○事業計画:カービズの実施や冷暖房の温度抑制など、CO2排出削減に努める。

事業概要:地球温暖化防止対策活動

進捗状況:夏期における軽装の実施、エアコン温度の控えめな設定、照明設備・電気機器の節電などを実施し、合わせて、教職員・生徒へ省エネに関する周知活動から省エネ意識の定着化を図った。(達成度:A)

○事業計画:「クリーンキャンペーン(校内外美化活動)」の実施と環境保護の指導徹底

事業概要:生徒のモラルや環境に対する意識向上に繋げる。

進捗状況:学校内はもとより、最寄り駅までの通学路を中心に、年間を通して美化運動を実施した。(達成度:A)

○事業計画:生徒会によるペットボトルキャップ回収活動の実施

事業概要:資源の大切さやリサイクル意識向上になるとともに、回収キャップをNPO法人を通じてワチン活動に役立てる。

進捗状況:生徒会を中心に、年間を通じペットボトルキャップ回収を実施、発展途上国のワチン接種の一環として寄与した。(達成度:A)

○事業計画:学校周辺及び市内通学路の除雪作業

事業概要:降雪量により通学路の除雪作業を、生徒及び教職員で実施する。

進捗状況:記録的な大雪となった平成25年度は、市の実施する除雪作業に協力し、上野原市及び市民から感謝された。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:健全な経営基盤確立のため、募集定員以上の確保

事業概要:学校の財政基盤安定と施設設備充実を図る。

進捗状況:募集定員以上の確保を目指し、年間を通じ全教職員が努力した結果、募集人員以上の入学確定を得た。(達成度:A)

○事業計画:広報活動の充実

事業概要:学校案内及び学校紹介DVDの制作、学校ホームページの充実。本校の知名度アップや学習環境の良さなどをアピールする。

進捗状況:毎年度、学校案内や学校紹介DVDを充実しており、的確な学校情報の伝達を図っている。学校の出来事を毎日ホームページ内で更新することで、保護者及び中学生等へのアピールができています。(達成度:A)

○事業計画:教育システムのプログラム修正

事業概要:平成25年度から始まった新しいカリキュラムへ対応する。

進捗状況:新しいカリキュラムへの教育システムのプログラム修正を行った。(達成度:A)

○事業計画:教育内容に影響を及ぼさない範囲でコスト管理を徹底する

事業概要:徹底した経費節減を図る。

進捗状況:収支改善を目指し、教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)

○事業計画:教員採用長期計画

事業概要:若手教員の採用を行い、将来の年齢構成並びに財政負担の適正化を図る。専任教員4名(数学科1名、理科1名、英語科1名、養護1名)を採用

進捗状況:計画どおりの採用を実施した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:グラウンド再生人工芝整備計画

事業概要:グラウンドの人工芝化により授業や部活動が計画的に実施され、生徒の安全を図ることができる。また、外観が美しくなり、施設充実により受験生確保への効果も期待できる。

進捗状況:当初の再生人工芝から新品人工芝へ品質も向上させ、平成25年5~8月に工事を実施した。完成した9月以降は、人工芝グラウンド内での怪我等も激減した上、訪問した中学生への印象も向上し、来年度入学生は募集定員を上回るようになった。(達成度:A)

- 事業計画:バドミントンコート整備工事
事業概要:平成24年度の法面崩落による未整備地の整備。
進捗状況:平成25年4月に計画どおり工事を実施し、完了した。同場が整備されたことで、カリキュラム計画の中に組み入れられ、授業や部活動が可能となった。(達成度:A)
- 事業計画:野球場外周フェンス改修工事
事業概要:本校の野球部員はもちろん、本校へ練習試合で来校した生徒の怪我等を減らすことが可能になり、安心安全の学校管理運営が期待できる。
進捗状況:平成26年度に事業を延期した。(達成度:C)
- 事業計画:視聴覚棟屋上防水改修工事
事業概要:特注ステンレス製笠木でカバーする工法を採用入れ、防水効果を図る。
進捗状況:平成25年8月に計画どおり改修を実施し、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:第3駐車場ボール飛来対策ネット交換工事
事業概要:野球場奥にある第3駐車場で飛来対策ネットの傷みが激しく、ネットを交換する。
進捗状況:平成25年8月に計画どおり改修を実施し、完了した。(達成度:A)
- 事業計画:校舎等建替え基本計画コンサルタント委託契約
事業概要:校舎等建設検討委員会と重要整備計画の立案に当たり、コンサルタント業者との契約により、マスタープランを作成する。
進捗状況:コンサルタント契約を締結、平成26年度に完成図書が納入される予定。(達成度:B)
- 事業計画:非構造部材の点検対策
事業概要:耐震構造体以外の落下・転倒・脱落危険物等の対策として、文部科学省のマニュアルに基づいた点検を実施。
進捗状況:平成26年度以降に事業を延期した。(達成度:C)
- 事業計画:PCB含有安定器の処分準備
事業概要:平成24年度にPCB含有安定器の処分のための予備登録を済ませ、平成25年度は処理業者から指定されたドラム缶に密封、指定工場へ搬入する荷姿作業を実施。最終処分は平成26年度を予定。
進捗状況:指定された荷姿作業を平成26年1月に完了した。最終処分は平成27年度に延期した。(達成度:B)
- 事業計画:図書館管理棟1階・2階空調設備改修工事
事業概要:校内の主要施設でもある図書館管理棟の空調機器は、今後ますます故障・修理が増え、交換基盤・部品の手配が難しくなることから、更新することにより故障や修理が発生しても管理しやすくなり、節電効果も期待できる。
進捗状況:平成26年度に事業を延期した。(達成度:C)
- 事業計画:教員用パソコンの整備
事業概要:教員用の一部のパソコンが陳腐化し動作遅延が発生して業務に支障があるため、該当するパソコンを入れ替える。
進捗状況:平成25年4月に計画どおり入替えを実施した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:予算計上の案件についても、執行時に再検討を行い、優先順位に基づく執行を図る

事業概要:収支改善のため予算執行時の経費節約意識を定着させる。

進捗状況:全教職員の努力により、募集定員確保を達成し、収入の安定に寄与できた。さらに教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)

- 事業計画:入学者確保による財政基盤の安定を図る
事業概要:志願者増加を図るため、ホームページの効果的な活用や学校案内・学校紹介DVDの充実、中学校訪問・入試説明会・進学塾説明会を一層充実させ、受験生が入学したくなる高校になるよう工夫する。
進捗状況:ホームページをほぼ毎日更新しており、アクセスは増加の一途である。(達成度:A)
- 事業計画:新校舎及び多目的使用宿泊施設建設資金の積立て
事業概要:学校の財政基盤安定並びに施設設備充実を図る。
進捗状況:収入増及び経費節減に努めた結果、当初の予算どおり蓄財できることになった。(達成度:A)

○山形高等学校,山形中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:生徒支援の推進
事業概要:各種奨学金制度(日本大学山形高等学校・中学校奨学金、コ・ラー育英奨学金等)
進捗状況:学業成績優良で運動能力及び人物が優れた健康な生徒で、他の奨学金の支給、学費の免除を受けていない生徒を対象に奨学金を支給した。(達成度:A)

○山形高等学校

【教育研究】

- 事業計画:教育課程の改定
事業概要:文部科学省が高等学校学習指導要領を改定したことに伴い、教育課程を改定する。
進捗状況:平成24年度入学生からは数学及び理科の各科目、平成25年度入学生からは国語、外国語等の各科目について教育課程を改定した。(達成度:A)
- 事業計画:収容定員の変更
事業概要:村山教育事務所管内に在学する中学3年生の10%を確保するように力を入れ、入学後の学力向上に努める。
進捗状況:平成25年度入試から収容定員を550名から450名に変更し、学年進行中である。(達成度:B)
- 事業計画:教員の資質向上の推進
事業概要:各種セミナー・研究・国内外研修会への参加、校内研修会の実施。
進捗状況:各機関の研修・セミナーに参加し、企画能力並びに問題意識・解決能力を高めつつ、生涯教育・国際化への対応、情報化社会等の問題について自己を再点検するとともに、これからの学校運営や教育活動に役立てることができた。(達成度:A)
- 事業計画:きめ細やかな学習指導の推進
事業概要:習熟度別・少人数授業、補習、各種模擬試験、新入生オリエンテーション。
進捗状況:各種模擬試験を受験させて学力診断を実施した。また、教育情報データベースを利用し、大学の入試情報データベースを入手して研究検討した上で、生徒及び保護者面談等に活用している。(達成度:A)
- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:本学出張授業・学部説明会、遠隔授業による高大連携教育。

進捗状況:生産工学部との遠隔授業による高大連携教育を実施し、理解を深めるとともに進学意識を高揚できた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地域社会・同窓会・校友会との連携
事業概要:町内会、警察署との情報交換、校友会各支部総会への参加、各地区保護者総会への参加。
進捗状況:本校の教育活動をPRすることによって、地域社会からの理解が得られた。また保護者の質問に対応することによって協力体制を築くことができた。(達成度:A)
- 事業計画:ボランティア活動の推進
事業概要:献血協力、あしなが学生街頭募金、盲導犬育成募金、赤い羽根共同募金、社会福祉施設体験学習、高齢者福祉施設催行手伝い等。
進捗状況:地域社会への無償の奉仕活動は、地域社会への報恩感謝の具体的表現で地域の人々に理解される。ボランティア活動に対する生徒の理解と関心が高く、善意を寄せ合う心の大切さを学ぶとともに社会へ奉仕することができた。(達成度:A)
- 事業計画:環境への取組等
事業概要:ゴミ拾い運動、花植え付け・除草作業。
進捗状況:生徒会と環境整備委員及び本校職員(管財係)の協力により事業を推進することができた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:学校説明会及び入試相談会の推進
事業概要:年5回開催、県内中学校へ訪問、各中学校主催学校説明会への参加。広報誌発行。
進捗状況:学校説明会を実施することにより、本校を希望する生徒や保護者との距離が縮まる。本校の教育内容及び入試情報などを広報し、志願者の増加を図る。(達成度:A)
- 事業計画:ホームページのリニューアル
事業概要:中学校の募集停止に伴い刷新する。
進捗状況:法人全体のホームページの本校掲載ページも含め、リニューアル作業中である。(達成度:B)
- 事業計画:生徒の希望進路実現の推進
事業概要:各学年に応じた適切な進路指導計画を立案し実行する。
進捗状況:生徒や卒業生への各種教育情報データベース等を利用し、進路、進学説明会、職業講話、就職指導(企業訪問・模擬面接・公務員受験講座等)を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:新規教員の採用等
事業概要:定年退職による教員の減に伴い、採用計画を立てる。
進捗状況:将来の各教科の教員構成、校務分掌等も考慮し収入とのバランスを図ることにより、人件費の削減が見込まれる。平成25年度の8名の退職に対し、平成26年度は2名を新規採用予定である。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:収入増加の推進
事業概要:補助金の獲得を積極的に推進する。
進捗状況:平成25年度山形県私立学校一般補助金において、前年と比較すると若干減額であったが、特色加算において増額となり、結果として僅かな減額であった。(達成度:A)
- 事業計画:財政基盤の確立

事業概要:教職員の学校経営に対する意識改革の徹底。
進捗状況:慣例となっている契約等について見直しを図り、優先順位を決めて経費節減を実施した。(達成度:A)

○山形中学校

【教育研究】

- 事業計画:教員の資質向上の推進
事業概要:各種セミナー・研究・研修会への参加、校内研修会の実施。
進捗状況:教科・運営・教育活動に役立てるべく県及び市の研究会や各種研修に参加。(達成度:B)
- 事業計画:国際化教育の推進
事業概要:ブリティッシュヒルズ[®]研修、海外修学旅行。
進捗状況:ブリティッシュヒルズ[®]研修、海外修学旅行では英語力・会話力・情操・国際感覚を身に付ける。(達成度:A)
- 事業計画:きめ細やかな学習指導の推進
事業概要:TT授業、少人数授業、補習、各種模擬試験・検定試験の実施。
進捗状況:英語及び数学、理科のTT授業による習熟度・少人数学習。各教科の居残り学習・3年生の受験に向けた補習学習及び成績不良者に対する補充学習など、落ちこぼれを出さない指導を心がける。また各種模擬試験・検定試験を実施し、目標を持たせる指導をした。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:ボランティア活動の推進
事業概要:カーネーション募金、赤い羽根募金、緑の羽募金、被災地(赤十字)募金等。
進捗状況:生徒会を中心に、学校全体として取り組んだ。(達成度:A)
- 事業計画:環境への取組等
事業概要:ゴミ拾い運動。
進捗状況:常に環境を考え意識した生活を身に付ける。ゴミ分別・ロッカーの整理整頓・清掃の徹底を実施した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:閉校への準備
事業概要:平成26年3月末の閉校に向け、準備を進める。
進捗状況:平成26年2月14日付けにて山形県より廃止認可の通知があり、3月15日には閉校式を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:高校との授業兼務
事業概要:1・2年生の授業停止に伴い、高校の授業を兼務する。
進捗状況:持ちコマ数の調整により、人件費を抑制することが出来た。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:中学校校舎の再利用
事業概要:募集停止に伴い、利用しない教室を高校で利用する。
進捗状況:計画どおり改修工事を実施している。(達成度:B)

○習志野高等学校

【教育研究】

- 事業計画:CST・GA・NP各コースの設置
事業概要:平成18年度入学生から従来の文系・理系に加えて、CST(日本大学理工学部進学)コース、GA(総合進学)コー

ス、NP(国公立進学)コースを設置した。更にコースの特色を生かした授業を展開する
進捗状況:CST コースでは理工学部進学者増加及び高大連携教育の推進,GA・NP コースでは従来より更に各コースの特色を生かした授業の展開を図った(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:ボランティア等奉仕活動及び地域交流の推進
事業概要:ボランティア等奉仕活動及び地域交流に積極的に取り組むことで、社会貢献に寄与する
進捗状況:①献血協力,N.募金,被災地募金,日本赤十字募金の実施,②チャリティング部の地元自治会,小中学校との交流(達成度:A)
- 事業計画:ゴミの減量対策啓蒙運動
事業概要:学校行事及び生徒会活動の中で生徒にゴミの減量・資源の再利用について啓蒙活動を行っており,平成25年度についても同様に啓蒙活動を行う
進捗状況:生徒会によるペットボトルキャップの回収活動の実施(達成度:A)
- 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:カービズ,ウォームビズの導入,冷房温度28℃以上,暖房温度20℃以下の温度設定管理の励行
進捗状況:熱・電気等のエネルギー使用量の削減を図った。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:効率的予算編成
事業概要:予算編成基本方針及び予算編成留意事項に基づき,コストパランスのとれた財政の実現を目指し予算編成を行う
進捗状況:効率的予算編成による教育環境の充実を図った(達成度:A)
- 事業計画:広報活動等の活発化
事業概要:志願者を増やすため更に積極的に広報活動を行う
進捗状況:千葉県内で実施される進学相談会への参加だけでなく,学習塾や中学校にも積極的に接触し,併せて,理工学部と同時開催の本校オープンキャンパスを充実させ志願者の確保を図った(達成度:A)
- 事業計画:教員の新規採用
事業概要:若手教員の採用を促進し,教員の年齢構成のバランスをとり効率的に人件費を抑制し円滑な学校運営を行う
進捗状況:若手教員の採用を促進し,教員の年齢構成のバランスをとり効率的な人件費の抑制及び学校運営の円滑化を図った(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:習志野高等学校グラウンド改修工事
事業概要:グラウンドに高密度人工芝を敷設することにより水はけを良くし,強風時に砂等が舞い上がることを防ぎグラウンド使用における利便性を向上させる
進捗状況:体育授業,部活動及び学校行事の充実を図った(達成度:A)
- 事業計画:習志野高等学校校舎新築工事及びその他工事(専用陸橋ほか)
事業概要:新校舎に隣接する体育館等(飛び地)へ専用陸橋を設置することにより利便性の向上と移動時の安全性を確保する
進捗状況:実施設計,建築確認申請等を行った(達成度:A)

- 事業計画:船橋校地の建築基準法に基づく敷地分割
事業概要:敷地境界確定及び建築基準法に基づく敷地分割の確定
進捗状況:検証作業中(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:予算の効率的執行・運用
事業概要:限られた財源を考慮して高校運営に当たるため,従来にも増して予算制度の基本に立ち,経費全体の徹底した見直しを図った上で,コストパランスを重視し,効果的かつ実行確実性のある予算編成に努める
進捗状況:無駄のない予算の執行による教育環境の効果的充実及び各種教育サービスの充実を図った。(達成度:A)
- 事業計画:寄付金の募集
事業概要:習志野高等学校創設80周年記念事業募金
進捗状況:経常的経費及び校舎新築資金の一部確保を図った(達成度:A)

○東北高等学校

【教育研究】

- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:高大連携教育の一貫で工学部の基礎講座を受講させる。
進捗状況:工学部の協力を得て,2年生を対象として,7月から12月にかけてオープン講座(基礎講座)を実施した。また,1月に3年生の工学部進学予定者を対象に,進学科ごとの特別授業を実施し,工学分野への理解を深めた。(達成度:A)
- 事業計画:東北高校独自の奨学金制度の充実
事業概要:東北高校の奨学金制度を充実させる。
進捗状況:学業優秀者に対する奨学金の基金目標額は既に達しているが,スポーツに秀でる者に対する奨学金の基金は目標額に達しておらず,毎年基金への組入れを行い,充実を図っている。運用利率の低下に伴い,基金の有高増が望まれる。(達成度:B)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)被災生徒に対する学費減免特別措置の実施
事業概要:被災した生徒に対する学費の減免措置を実施し,経済的支援を行う。
進捗状況:申請のあった153名の生徒に対し,42,659,175円の学費免除を行い,生徒が安心して学べる環境を確保した。(達成度:A)
- 事業計画:防災備品の充実
事業概要:万が一の災害に備え,防災備品を用意する。
進捗状況:災害発生時の救助用器具やヘルメットを購入し,それらを保管するための防災ロッカーを併せて設置した。また,3か年計画にて非常食の備蓄を開始した。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:入試広報の充実
事業概要:テレビCM等入試広報を積極的に展開し,生徒数の確保に努める。
進捗状況:平成25年6月から8月までの3ヵ月間に「ふくしまFM」で,平成25年7月3日から3ヵ月間TUFテレビでそれぞれCMを流し,これまで以上に積極的に生徒の確保に努めた。(達成度:B)

【施設設備】

- 事業計画:新校舎建設に向けた取組

事業概要:校舎群の老朽化により、機能を集約したシボリックな校舎を新たに建設する。

進捗状況:校舎建設検討委員会委員数名により他の付属高校校舎を見学し、本校における校舎建設において参考とすべき点を積極的に取り入れた上で検討を行うことができた。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:財政基盤の持続的安定化と資金の効率的運用
事業概要:冗費節減に努め、資金の効率的運用を図る。
進捗状況:冗費節減に努めた結果、平成25年度は1億円を繰り入れることができたことから、引当資産の合計は、平成25年度末で8億円になった。(達成度:B)

○日本大学幼稚園

【教育研究】

- 事業計画:幼児の発達上の困難と課題への対応の重要性から専門家を交えた「幼児教育と発達」に関する研修実施と実践の充実を図る。
事業概要:幼児教育と発達に関する知識と関心を深め実践力を維持向上できるように専門家を迎え研修会を実施。
進捗状況:発達上の困難さや課題について全教員の共通認識や連携を保ち、実践向上に向け取り組むことができ、保育のあり方を考える貴重な場となった。(達成度:A)
- 事業計画:運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を感覚統合教育の視点から深める。
事業概要:運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を通じて、幼児の心身のバランスのとれた発育を促し、自己コントロールする力を育む。
進捗状況:幼児の全身の感覚と機能の統合力の育ちが興奮機能と抑制機能に程よいバランスを生む上で有効となることが実践を通じて確かなものとなってきた。(達成度:A)
- 事業計画:幼児が保育者とともに畑づくりを手掛け、季節毎の野菜等を栽培し育てることで、収穫の楽しみや喜びを友達や周囲の大人と分かち合う。
事業概要:野菜等栽培は幼児の自然への興味や関心を引き出し、探究心を沸き立たせ豊かな感性と人間関係を育み、ひいては表現活動にもつなげていく。
進捗状況:クラスの友達や異年齢間で交流しながら畑づくりを手がけることで、野菜等栽培への興味や関心が深まり育てること・収穫することの楽しさや喜びを友達や周囲の大人とともに味わったり、更には表現活動につなげることができた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地域防災計画への参画
事業概要:災害時の近隣地域における本園の役割の明確化と地域貢献並びに災害ボランティア活動参加による社会貢献。
進捗状況:震災救護所運営連絡会(年6回)に積極的に参加し、近隣地域との密着した関係が継続できた。(達成度:B)
- 事業計画:各種子育て支援(日常における各種相談・アドバイス)の実施、専門家による定期講演の開催、通常保育後の預かり保育の実施
事業概要:子育てに関わる多様で難しい課題への一助と社会貢献。
進捗状況:教職員の連携を活かし、日常の各種相談を積極的に行ったことで、さらに保護者からの信頼を得ることができた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:保育後3時間の預かり保育の実施。
事業概要:長時間保育を望む保護者の傾向への対応と志願者増加を図る。
進捗状況:保護者の要望にでき得る限り応えることができた。(達成度:A)
- 事業計画:夏季休暇期間中の預かり保育の実施
事業概要:志願者・在園者の父母の要望への対応により志願者増加と子育て支援の一環としての貢献を図る。
進捗状況:保護者から在園者への子育て支援の場が広がることで信頼を得ることができ、志願者の関心は高まった。(達成度:A)
- 事業計画:人件費削減を目指した教職員採用計画の見直し
事業概要:教員採用計画の見直し、給食室調理要員の減員、事務職員の定期的な異動。
進捗状況:教員採用計画は専任教諭の採用を見送り、併せて給食室調理要員の減員を行った。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:教員室の園舎空スペースへの移設に伴う保育室の増設。
事業概要:預かり保育充実に伴う専用部屋の確保により、狭い園舎の有効活用と増収を図る。
進捗状況:第1園舎2階の教員室を第2園舎3階に移設し、空きスペースを預かり室に転用した。(達成度:A)
- 事業計画:園庭内木製遊具等設備の老朽化に伴う修繕。
事業概要:園庭内木製遊具等設備について風雨等の影響による腐食に対する補修工事。
進捗状況:園児が安全に遊べることを念頭に置き、補修工事は優先順位をつけることで費用を抑えた。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:預かり保育実施に伴う収入源の確保と補助金獲得
事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況:預かり保育を夏季(19日間)実施し、補助金を獲得することができた。(達成度:B)
- 事業計画:3歳児クラスのチーム保育実施に伴う補助金獲得
事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況:3歳児クラスのチーム保育実施により補助金を獲得することができた。(達成度:A)
- 事業計画:園内の安全対応能力向上の取組実施による補助金獲得
事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況:学校安全マニュアル・防犯マニュアルの策定と防犯訓練、日常の園全体での避難訓練等安全対応能力向上への取組により補助金を獲得することができた。(達成度:A)
- 事業計画:園内の事故対応能力向上の取組実施による補助金獲得
事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況:近隣の消防署に依頼して教職員に対するAED並びに心肺蘇生法実技講習会の実施により補助金を獲得することができた。(達成度:A)

- 事業計画:近隣地域中学生の保育職場体験受入れに伴う補助金獲得
事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況:天沼中学校 5 名の保育職場体験受入れにより補助金を獲得することができた。(達成度:A)

- 事業計画:私立幼稚園特別支援教育事業補助金獲得
事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。
進捗状況:発達上の問題を抱える子どもにより丁寧な援助をし、人員的な環境を整えたことにより補助金を獲得することができた。(達成度:A)

病院等

○医学部付属板橋病院

【教育研究】

- 事業計画:専修医・研修医制度の充実。
事業概要:専修医・専修指導医の増員
進捗状況:専修医・専修指導医の随時採用を行うよう医学部とともに対応をとっている。(達成度:A)
- 事業計画:充実した初期臨床研修プログラムの提供。
事業概要:臨床研修医の能力向上と人材確保を図る
進捗状況:魅力のあるプログラムを提供するために、本学部学生との意見交換の場を設け、要望を取り入れ、研修医の選択自由枠の大きいプログラムを作成している。(達成度:A)
- 事業計画:看護に求められる臨床研修の推進。
事業概要:看護部門の体制を充実させるとともに看護部職員の能力の向上を図る。
進捗状況:勉強会の開催や、様々な研修会及び認定看護師の資格認定への参加を行っている。さらに、海外短期留学・研修制度を設けている。(達成度:A)
- 事業計画:臨床検査技師の研修の充実。
事業概要:①東京都臨床検査技師会研修会、②国公立大学検査技師研修会、③私立大学病院検査技師長会教育センター、④日本臨床検査技師会医学検査学会、⑤日本細胞診学会、⑥日本超音波学会への参加。臨床検査部門の体制を充実させるとともに、臨床検査部技師の能力の向上を図る
進捗状況:様々な研修会、学会への積極的参加及び発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得ができるよう支援を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤師の研修の充実並びにがん専門薬剤師、救急認定薬剤師等の育成。
事業概要:薬剤師部門の体制を充実させるとともに、薬剤師の能力の向上を図る
進捗状況:研修会、学会への参加及び発表を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:がん診療拠点病院の充実
事業概要:がん診療拠点病院の充実
進捗状況:地域の医療機関との医療連携の促進。(達成度:A)
- 事業計画:二次救急医療の充実、救急室の ER センター化
事業概要:二次救急医療のさらなる充実による外来入院患者数の増加
進捗状況:ER 化のための看護師配置数を得ることができず、ER 化による 2 次救急医療の充実計画は次年度持ち越しとなった。(達成度:C)
- 事業計画:医療安全管理の充実
事業概要:医療安全管理の充実
進捗状況:医療安全管理は年々充実してきており、関東信越厚生局の立入検査でも欠点部分を指摘されることはほとんどなくなっている。平成 26 年 1 月から稼働した

電子カルテによりさらに良好な管理が行えている。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:大学病院の地域貢献。
事業概要:特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、こども救命センター(都内4施設のひとつ)、スーパー周産期センター(都内4施設のひとつ)、緊急大動脈重点病院(都内11施設のひとつ)、脳卒中急性期指定病院の特性を活かした地域社会への貢献を図る。
進捗状況:これら全ての認定を得ている病院は東京都内で本院のみであり、大きな社会貢献を達成している。(達成度:A)
- 事業計画:医療安全の充実、院内感染対策の体制強化。
事業概要:「一般社団法人日本臨床医学リスクマネジメント学会」の事務局を当院に置く。特定機能病院の役割、社会的責務の履行を図る。医療安全管理の学術的貢献も行う。
進捗状況:学術的にも医療安全管理について社会貢献を行っている。年 1 回の学術総会をはじめ、各種の医療安全セミナーを開催し医療安全管理向上に寄与している。(達成度:A)
- 事業計画:がん拠点病院認定に伴う公開講座の開設。
事業概要:紹介患者等の増加を目指し、医療収入の増加を図る
進捗状況:公開講座に対する区民の関心も高く、評判も良い。(達成度:A)
- 事業計画:医師による国際学会における発表の推進とその支援。
事業概要:病院における医療の最新化、教育・研究の促進とともに医学・医療情報の地域還元を図る
進捗状況:がん医療、救急医療をはじめ、多くの分野で先端化を図っている。DPC 制度において、実質的な医療の機能と実績を評価する「機能評価係数 II」は本年も東京都内において第一位であった。これらの医療機能を地域に還元している。(達成度:A)
- 事業計画:JICA などを介して海外医療従事者の研修の受入れ。
事業概要:地域医療の充実と貢献を図る
進捗状況:JICA 研修生をはじめ、国外の医学研修生の受入れを積極的に行っている。本年はドイツからの研修生(留学生)の申込みが増加した。(達成度:A)
- 事業計画:国内における講習会、治験説明、啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣。
事業概要:国内における講習会、治験説明、啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣を行う
進捗状況:治験講習会、臨床研究説明会等を開催し教職員の意識向上を図っている。また、多くの招聘を受け、職員を派遣している。(達成度:A)
- 事業計画:国際競争力のある治験及び臨床研究環境の整備・充実を図り、厚生労働省が新たに策定した「臨床研究中核病院」への参入を目指す。

事業概要:国際水準の臨床研究,医師主導治験の中心的な役割を担うことのできる病院を目指し,将来的に我が国における臨床研究の中核を成す医療機関への参入を図る

進捗状況:厚生労働省の評価及び指摘に基づき臨床研究,治験の充実のための院内組織構築を図っている。(達成度:B)

- 事業計画:地域医療機関,医師会と本病院において外来化学療法の実施と地域連携バス(各種がん,脳卒中,糖尿病等)への取組の連携を図る。臍帯血バンクの継続運用。

事業概要:地域医療連携の推進,紹介患者の増加。

進捗状況:東京臍帯血バンクの細胞処理保存施設は現在,当院のみであり,公開総数,供給総数は全国第一位である。このような先進的医療におけるステータス維持とともに,白血病,悪性リンパ腫等の血液病患者の治療に貢献し,また,将来的には再生医療(血管,心筋,脊椎等),細胞治療(がん治療用等)への応用も期待されている臍帯血バンクは行政の方針により中止することとなった。(達成度:B)

- 事業計画:省エネ対策の強化。

事業概要:節水,節電等による照明器具等の高効率化を図れる

進捗状況:エレベーターの数台の夜間停止や空調機器の高効率化を図っている。(達成度:A)

- 事業計画:廃棄物分別の徹底。

事業概要:再利用化の促進を図れる

進捗状況:分別処理,シュレッダーの活用で廃棄物処理経費の削減が図れている。前年度から引き続き医療安全講習会の中でも廃棄物の分別,減量化について啓蒙する講義を行っている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:電子カルテシステムの導入

事業概要:診療情報を一元管理することにより医療の質の向上が図れ,安定した病院機能を維持することができる

進捗状況:平成26年1月から電子カルテが稼働し病床利用率の向上,効率化,薬剤・医療材料,物流管理の効率化,地域医療連携システム構築,医療安全管理の高度化,患者サービス向上を図っている。(達成度:A)

- 事業計画:二次救急医療の強化。救急車で搬送される二次救急患者の受入れを強化する

事業概要:救急医療の受入体制を構築し,二次救急患者を積極的に受け入れ入院及び外来患者数の増加を図る。

進捗状況:本年度でER化を達成することはできなかったが,医療連携医制度を立ち上げ,医療連携センター構築とともに,二次救急患者の受入態勢が大幅に向上した。(達成度:B)

- 事業計画:経費の削減。消耗品,医療材料費等の削減を図る

事業概要:薬事委員会による継続的な後発医薬品(ジェネリック)への切替え。

進捗状況:従来ジェネリック採用率は24%程度であったが,現在60%超を目指し切替えを行っている。(達成度:A)

- 事業計画:7対1看護体制の維持

事業概要:看護師の安定的採用により,7対1看護体制を維持する

進捗状況:7対1看護体制維持は継続中である。(達成度:A)

- 事業計画:患者未収入金回収事業

事業概要:弁護士事務所による患者未収入金回収事業

進捗状況:上記により,従来に比べ未収入金はかなり減少した。(達成度:B)

- 事業計画:患者用電動ベッドの購入

事業概要:老朽化したベッドを毎年度更新

進捗状況:平成25年度は20台購入。(達成度:A)

- 事業計画:特定機能病院の特徴を生かした高度先進医療への取組。

事業概要:効率化,高質化のなご一層の推進を図る

進捗状況:現在先進医療については1つのみであるため,更なる充実を図るべく努力していきたい。(達成度:B)

- 事業計画:専門診療体制への取組。

事業概要:新たな特化した専門診療科を設置して付加価値を高める

進捗状況:従来の緩和ケア機能とペインクリニックを統合しさらに高度な患者の痛み全般に対応する「痛みセンター」の設置を行った。(達成度:A)

- 事業計画:セクトレニオン制度への対応

事業概要:患者の権利と安全確保を目指す

進捗状況:セクトレニオン依頼に対し迅速に対応している。(達成度:A)

- 事業計画:診療環境の改善。

事業概要:適正病床数と環境療養の改善を検討。ボランティア活動の受入れ推進を図る。

進捗状況:患者の権利と安全確保のために依頼があればカー開示の対応を行っている。ボランティアを積極的に受け入れている。(達成度:A)

- 事業計画:地域医療機関との連携の充実・強化。

事業概要:特定機能病院の役割,社会的責務の履行を図る

進捗状況:従来の医療連携室を大幅に強化し,専任の医師,看護師を配置した「医療連携センター」を新たに設置した。(達成度:A)

- 事業計画:ホームページの充実。

事業概要:外部に対する情報提供可能な施設を目指す

進捗状況:ホームページは常に新しく改善を続けており,かなり見やすいものとなっている。(達成度:A)

- 事業計画:地域への情報発信。

事業概要:地域医療の充実を図る

進捗状況:ホームページによる情報発信以外に「日大板橋病院だより」も発行し,近隣医療機関等に情報提供を行っている。(達成度:A)

- 事業計画:国の医療政策として挙げられている5疾病(がん,脳卒中,急性心臓疾患,糖尿病,精神疾患)及び5事業(小児医療,救急医療,災害医療,周産期医療等)の各基幹あるいは中核病院認定に向けた院内整備。

事業概要:5疾病5事業のうち「へき地医療」を除くすべての項目について高度の医療を可能とする院内整備を行い,行政の求める医療体制を実現する。

進捗状況:上記5疾病4事業について高度の医療体制を達成している。地域がん診療連携拠点病院,3次救急医療,こども救命センター,スーパー総合周産期センター,地域災害拠点病院,脳卒中急性期病院の認定を受け,急性心筋梗塞についてはCCUネットワークでの中心的存在である。(達成度:A)

- 事業計画:変革する医療制度への対応

事業概要:①患者治療後の退院時調整のための二次医療圏内の医療機関との更なる連携を図るべく,医療連携室の充実を図る。また,地域移行支援センターの新設及び退院支援ナースの配置。②医療機関としての機能・役割に関する情報管理。③地域がん診療連携拠点病院として「医療機

関に対する研修制度」,「がん等の治療成績情報の管理」,「緩和ケアの充実」,「患者相談の対応」等の更なる充実を図る。④災害拠点病院としての機器の整備を図る。⑤院内通信設備(PHSの充実)による7対1看護体制の下,情報伝達の向上と医療安全の向上を図る。
進捗状況:PHS10台を新規に増設し,情報伝達の向上と医療安全の更なる充実を図った。(達成度:A)

○医学部付属駿河台病院

【経営・人事】

○事業計画:医療収入の増加

事業概要:①医療連携を強化し,紹介患者の増加を図る。②病床利用率を高め入院収入の増加を図る。③看護師の大幅な増員なしに7対1看護体制を維持する。④後発医薬品を積極的に採用し,更なる経費の削減を図る。⑤包括医療制度導入に係り,投薬や検査の更なる見直しを図る。
進捗状況:①,②,③,④においては概ね達成しており,⑤に関しては更に検討する余地がある。(達成度:A)

○歯学部付属歯科病院

【経営・人事】

○事業計画:医療収入の増収

事業概要:入院・外来患者数の増により医療収入増を図る
進捗状況:入院における口腔外科手術件数の増により大幅な収入増となったが,外来においては若干の患者増に止まった。(達成度:B)
○事業計画:病院経費の削減と業務の効率化
事業概要:中央材料室での医療材料の一元管理により,不良在庫の減少と購入単価を下げる。

進捗状況:病院で使用する医療材料の購入単価が下がり,在庫管理が適正に行われている。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:歯学部新校舎建設工事

事業概要:老朽化した歯科病院(昭和39年取得)及び1号館(昭和31年取得)を,歯学部創設100周年事業として建て替える。建替場所は駿河台日本大学病院跡地と現2号館跡地。
進捗状況:平成26年1月16日に基本設計が承認され,現在は実施設計中である。ほぼ計画どおり進行している。(達成度:B)

○事業計画:2号館空気圧縮機(コンプレッサ)用台数制御盤更新工事

事業概要:老朽化した制御盤を交換することにより,安全性が向上し,耐用年数が延びる。
進捗状況:工事は平成26年3月6日に着工し,平成26年3月17日に完成。(達成度:A)

○事業計画:医療コンピュータシステム開発

事業概要:①電子カルテシステムプログラムの強化,②老朽化端末,サーバの更新,③USBメモリセキュリティの導入
進捗状況:年次計画により,電子カルテシステムのプログラム並びに老朽化端末,サーバの更新を完了した。(達成度:A)

○松戸歯科付属病院

【施設設備】

○事業計画:廃水処理施設改修工事

事業概要:竣工後30年近くが経過し,老朽化が著しいため改修工事を実施する。
進捗状況:本事業は平成25年度から27年度までの中期計画であり,本年度は設計のみ行う。(達成度:B)

本部

【教育研究】

○事業計画:新学部の開設

事業概要:「社会の安全」と「ひとの健康」をデザインし「安心社会」の形成に寄与する新学部開設の推進
進捗状況:新学部開設に関して,学部名称及び学科構成案を検討した結果,「危機管理学部」と「競技スポーツ学部」の2学部を1キャンパスに設置することとした。今後は各学部における教育課程等の具体的な検討を進める。(達成度:B)

○事業計画:全学共通教育を核とする「日本大学版教育スタンダード」の段階的实施

事業概要:①全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎」の導入に向けた具体的な検討及び学内外への浸透策の展開②全学共通教育プログラム(仮称)の構築に向けた検討
進捗状況:①平成25年6月開催の教学戦略委員会で授業科目名を「自主創造の基礎1」「自主創造の基礎2」として決定した後,具体的な検討については学務委員会内に設置した全学共通初年次教育検討ワーキンググループに移行した。全学部対象に実施したヒアリングにより各学部の実情及び要望等を把握して具体的な検討を行い,平成26年3月開催の学務委員会において「日本大学全学共通初年次教育科目設置要項」を決定した。また,特に学内教職員への浸透及び情報共有などを目的とし,平成25年12月21日に全学共通初年次教育セミナーを開催し,先行学部からの

事例報告及び教員・職員合同によるグループセッションなどを展開した。(達成度:A)②「自主創造型パートナー」の育成という一貫した概念の下,真に総合大学としてのスケールメリットを教育面で生かすことなどを目的とし,「全学共通教育プログラム」(仮称)の構築に向け,教学戦略委員会内に設置した教育支援プログラム検討ワーキンググループで検討を進めている。(達成度:B)

○事業計画:FD活動の全学的・組織的推進

事業概要:①日本大学におけるファカルティ・ディベロップメント(FDer)の在り方の検討②学生参画型FD活動の整備・強化③FDを広義に捉えた「高等教育開発センター」(仮称)としての活動に向けた諸事業の持続的な展開④『日本大学FDガイドブック』(2014年度版:学生編・教職員編)発行に向けた企画・編集⑤「日本大学FD NEWSLETTER」(第4号・第5号)の企画・編集⑥『日本大学FD研究』(第2号)の編集・刊行⑦FD等教育開発・改善活動に関する調査の実施,ほか
進捗状況:①「大学教育における課題の解決に向けて-教育能力の開発を企画・運営できる人材の育成-」をメインテーマとして,本学初の開催である「全学FDワークショップ」を平成25年12月25日・26日に開催した。医歯薬系学部の教員をタスクフォースとし,全学共通初年次教育をテーマとしたワークショップが系統立って展開された。(達成度:B)②「学生が変える日本大学」をメインテーマとして,本学初の全学的な学生FDイベントである「日本大学 学生FD CHAmmit」を開催し,全学

から学生・教員・職員 167 名の参加者を得た。企画・運営は学部等から推薦された学生メンバー 20 名により進められ、学生・教員・職員が三位一体となり授業について自由に話し合えるような雰囲気作りを意識し展開した。(達成度:B)③平成 24 年度に全国の国公立大学を対象にして実施した「FD 等教育開発推進関連組織に関する調査」結果を基に更に分析を進めた。同調査結果の分析内容等についてまとめた論文及び研究ノートを『日本大学 FD 研究』(第 2 号)に投稿し学内外に公表した。また、FD を広義に捉えた「高等教育開発センター」(仮称)としての展開については、「FD 等教育開発推進関連組織に係る調査研究(中間報告)」としてまとめ学内に公表した。(達成度:B)④『日本大学 FD ガイドブック 2014』の発行に向け、大幅に改訂した。各学部等からの意見等を参考にして、本文の可読化に加え、内容もより一層充実させた。また、『Learning Guide』については学生の作品を表紙デザインに採用するなど、FD 推進センター基本計画(中期計画)を意識しながら全体的な見直しを図った。(達成度:A)⑤「日本大学 FD NEWSLETTER」(第 4 号)に係る企画・編集を行い、同号を平成 25 年 9 月に発行した。さらに、「第 5 号」に係る企画・編集を平成 26 年 4 月の発行に向けて行った。いずれの号も全学的あるいは学部等における FD 活動等の共有を図る内容としている。(達成度:A)⑥平成 26 年 3 月の『日本大学 FD 研究』(第 2 号)の発行に向け、投稿原稿の募集及び編集等を行った。特に今号から査読者を学内のみならず学外の研究者にも依頼し、質の担保に努めた。また、過去 2 か年の経験から、「投稿要項」、「執筆要領」及び「査読要領」を改正し、FD 推進センター基本計画(中期計画)に鑑みて、投稿資格に学生を加えるといった措置を講じた。(達成度:A)⑦毎年、全学部・研究科を対象に実施している「FD 等教育開発・改善活動に関する調査」を平成 25 年度も実施した。平成 25 年度は、例年の質問項目の一部見直しを図るとともに、FD 推進センター基本計画の内容を意識した質問項目及び FD 委員会委員長等を対象にした意識調査を新設した。同調査結果については、「平成 25 年度 FD 等教育開発・改善活動に関する調査報告書」としてまとめ、学内外に公表した。(達成度:A)

○事業計画:短期海外研修の実施

事業概要:夏期・春期休暇期間を利用して、英国ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ、米国エリザベスタウン・カレッジ及び豪州ボンド大学において短期海外研修を実施し、国際人として求められる思考力、異文化間交流能力及び英語力の向上を目指す。

進捗状況:平成 25 年度に実施した短期海外研修は、計 115 名の学生が参加した。事後アンケートによれば、平均学習理解度が 80%を超えたこと、また TOEFL®-ITP500 点を超えた学生が平成 25 年 10 月の試験で 17 名(研修参加総受験者数 31 名)を数えたことから、短期間ながらも、高い学習効果を得ることができたといえる。(達成度:A)

○事業計画:留学生受入れ環境整備の充実並びに広報活動の強化

事業概要:①交換留学先拡大のため、大学間協定の新規締結を進める②各種教育コンベンション等で本学を PR し、受入れ学生数の増加を図る

進捗状況:①平成 25 年度、米国ワシントン州セント州立大学との新規協定を締結した。また国立アイルランド大学メイヌース校、デンマーク・オフス大学との協定に基づく交換留学生の送り出し・受入れを開始した。(達成度:A)②北米・欧州・アジアでの高等教育博覧会での本学ブースの展示とともに、平成 25 年 10 月下旬にアラブ首長国連邦アブダビ首長国で行われた

Najah フェアに参加した。同フェアでは、経済産業省、日本国際協力センター(JICE)らが中心となって国内 15 大学を選抜、ジャパンパビリオンを出展し、本学ではマイカ・ロボットを用いて本学の研究力の高さを PR する一方、当該地域の高等教育機関に関する情報収集を行った。さらに、同フェアでの反応・対応等が高く評価されたことから、JICE から要請があり、平成 26 年 3 月に同地で再度 PR 活動を行った。(達成度:B)

○事業計画:日本大学付属高校生サミットの実施

事業概要:全付属高等学校等 25 校の代表生徒が一同に集い、共通認識を深め、付属校統一企画の実施を目指す。進捗状況:平成 25 年 8 月 1 日～3 日の 3 日間、塩原研修所に 25 校の代表生徒が一同に集い、「理想の学校にするために今私たちができること」をテーマに討議し、共同取り組みテーマを決定した。(達成度:A)

○事業計画:基礎学力到達度テストの実施

事業概要:基礎的な知識の修得を目的に、全付属高等学校等 25 校共通問題で高校 3 年間に 4 回のテストを実施する。進捗状況:平成 25 年度の 1 年入学生を対象に平成 25 年 4 月 18 日に基礎学力到達度テストを実施した。試験結果を分析した報告書を各付属校に配布し、今後の教育の参考とした。(達成度:A)

○事業計画:卒業前教育の実施

事業概要:卒業生の質の保証を目的に、付属推薦制度により日本大学へ進学する生徒を対象に、全付属高等学校等 25 校共通テストによる卒業前教育を実施する。進捗状況:国語、英語、数学(文系・理系)の共通テストを使用し、卒業前教育を実施した。付属推薦制度で日本大学へ進学する生徒を含む約 5,400 名の生徒が受講した。(達成度:A)

○事業計画:日本大学全学文化行事(NU 祭)

事業概要:学生・付属高校生との間に文化的事業による交流の場を設けることによって、学部間、学部・付属高校間で各々の部科校の独自性を再認識し、日本大学学生としての帰属意識を育む。

進捗状況:統一テーマの下、全部科校の学生・生徒が人的・知的財産を結集し、総合閉会式において全学的文化行事としての成果を結実させた。全学による募金活動では、国連難民高等弁務官事務所から感謝状を授与された。(達成度:A)

○事業計画:日本大学体育大会

事業概要:大学(短期大学部を含む)、附属専門学校、付属高等学校及び付属中学校の参加による体育大会。高校、大学、教職員の部において団体優勝を競う。

進捗状況:生徒、学生及び教職員の健康管理、体力向上へ意識を高めるとともに、普段は交流の少ない部科校間の交流を行うことができ、帰属意識を高めることができた。(達成度:A)

○事業計画:日本大学本部所属学生団体活動

事業概要:本部学生支援部に所属する文化団体連合会 13 団体、体育団体連合会 6 団体の活動。正課教育以外の学術・文化、体育活動の充実を図ることを目的とする。

進捗状況:学生の充実した課外活動の場であり、行事等の円滑な運営が図られている。本部の団体のため、各学部から学生が集まることにより、学部の枠を越えた交流ができています。(達成度:A)

○事業計画:学生に対するメンタルヘルス支援

事業概要:学生へのメンタルヘルス調査の実施と結果返却面接により、学生に精神健康の自己管理を促すとともに、大

学のメンタルヘルス支援体制の周知を図る。また、支援が必要な学生への早めの的確な対応を可能とする。

進捗状況:メンタルヘルス調査を実施希望があった2大学院・9学部・2短期大学部・1専攻科・4専門学校の各年次に対して実施した。また、学生の自己理解が深まるようにかんせつが結果返却面接を行った。特に注意が必要な者及び相談希望者には相談室から連絡をとり早めの支援を行った。(達成度:A)

- 事業計画:学生・生徒に対するメンタルヘルス支援充実のための教職員への啓発

事業概要:①学内教職員研修用の発達障がい学生支援DVDを新たに作成し、発達障がいを持つ学生・生徒への理解と支援の充実を図る。②教職員へ学生相談研修会、インター認定者研修会を実施。学生・生徒に対する日常の相談及び教育に必要な態度や考え方を修得した教職員を増やし、メンタルヘルス支援環境の充実を図る。

進捗状況:①学内教職員研修用のDVD「発達障害のある学生へのサポート」を新たに作成し、部科校学生相談室へ配布及び教職員専用ポータルサイトに動画を公開。また、部科校で教職員への研修を行った。(達成度:A)②教職員に対して学生相談研修会及びインター認定者研修会を年1回ずつ開催し、学生・生徒に対する支援向上を図った。(達成度:A)

- 事業計画:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置(授業料等減免)

事業内容:東日本大震災(東京電力福島第一原子力発電所事故による災害を含む)により被災し、経済的に修学困難になった学生に入学金免除及び授業料等の減免を行った。

進捗状況:本学に在学する被災学生に経済的支援をすることができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学古田奨学金

事業内容:大学院生のうち人物、学業成績の優れている者に20万円を給付する。

進捗状況:各研究科1名、計21の研究科(博士前後期・博士課程)に在籍する大学院生の中から学業成績・人物が優れている者を選考し、給付することにより、当該大学院生の学術・研究を支援することができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学ポルト・F・ケリー奨学金

事業内容:大学院生のうち人物、学業成績の優れている者に20万円を給付する。

進捗状況:各研究科1名、計21の研究科(博士前後期・博士課程)に在籍する大学院生の中から学業成績・人物が優れている者を選考し、給付することにより、当該大学院生の学術・研究を支援することができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学創立100周年記念外国人留学生奨学金

事業概要:所属する学部・大学院の私費外国人留学生に授業料相当額を支給

進捗状況:受給者は所属長からの推薦に基づいて奨学生を決定している。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学小澤奨学金

事業内容:法、経済、商学部学生のうち国家試験の受験を志す者に12万円給付する。

進捗状況:国家試験(司法試験、公認会計士、税理士試験等)の受験を志す学生に対し、対象学部各3名(計9名)を選考の上、給付し、当該学生の国家試験対策を支援することができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学リゾナ設計奨学金

事業内容:理工、生産工、工学部の学生のうち国家公務員採用試験の受験を志す者に20万円を給付する。

進捗状況:国家公務員採用試験総合職の受験を志す学生に対し、対象学部各2名(計6名)を選考の上、給付し、当該学生の国家公務員試験対策をすることができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学付属高等学校奨学金

事業内容:付属高校生徒のうち、本学進学志望者で家計困窮者に24万円を給付する。

進捗状況:本学に進学を志す本学付属高等学校の生徒で家庭困窮など学業の継続が困難である生徒に対して経済的支援をすることができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学N. (エドワード) 奨学金

事業内容:入学時の成績が優秀で人物が優れている学部1年次生(外国人留学生を除く)に36万円を給付する。

進捗状況:各学部の判断により各入学試験成績優秀者で、人物が優れている新入生に対し奨学金を給付することができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学桜樹奨学金

事業内容:東京都(島しょ部を除く)、神奈川県、埼玉県、千葉県以外の出身、国際関係学部は静岡県以外、工学部は福島県以外の出身で、入学時の成績が優秀でかつ経済的支援が必要と認められる学部1年次生に36万円を給付する。

進捗状況:各学部の判断により地方出身者で自宅外通学をしなければならない新入生に対し奨学金を給付する事ができた。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学アスリート奨学金

事業内容:保健体育審議会に入会予定の者又は所属している学生で、第一種は入学前の競技成績が特に優れた学部1年次生、第二種は同等の競技成績を残した2年次生以上を対象とした奨学金。

進捗状況:第一種奨学生4名、第二種奨学生16名にそれぞれ入学金・授業料・施設設備資金相当額及び図書費を給付(達成度:A)

- 事業計画:日本大学の傷害及び死亡事故等に関する給付金

事業内容:本学に在籍する学生の正課・課外教育中に発生した事故等に対して給付を行う。

進捗状況:本大学院、学部、通信教育部、短期大学部、専攻科及び専門学校に在籍する学生が治療費給付金を受給できた。(達成度:A)

- 事業計画:所蔵資料目録の整備・公開

事業概要:学内外に対して、本学所蔵の資料を分かりやすく伝えるための冊子の刊行。

進捗状況:萩博物館で開催予定の山田顕義展に際して、所蔵資料を解説した『展示図録』を刊行済。(達成度:A)

- 事業計画:学外研究の獲得支援、共同研究組織構築の推進

事業概要:本学の総合性を生かした共同研究組織をサポートし、学部間との連携した共同研究への発展並びに学外研究費の獲得へつなげる。

進捗状況:学外研究費の獲得支援として科研費説明会、共同研究の創生として2回の学部連携ポスターセッションを開催した。更なる研究者とのマッチングの機会を提供し、学外研究費の獲得に向けて共同研究組織を推進する。(達成度:B)

- 事業計画:学術研究助成金の実施

事業概要:外部研究資金獲得のため、学内の競争的研究資金である研究助成を行うことで、研究者に対し研究に

に対する意識付けを行い、その成果により共同研究の実現を目指す機会を供する。

進捗状況:当該研究課題に対し外部研究資金への申請・獲得状況の調査を実施し、多くの研究課題が、外部研究資金を獲得していた。更なる外部研究資金獲得に向け、施策を引き続き検討していく。(達成度:A)

○事業計画:学術研究戦略プロジェクトの実施

事業概要:日本大学・学術研究戦略の目標実現のため、平成 21 年度より日本大学学術研究戦略プロジェクト(N. 研究プロジェクト)を実施し、平成 25 年度は 5 年計画の最終年度として研究を実施した。

進捗状況:平成 21 年度より実施された N. 研究プロジェクトは、理工学部を中心とした学部間連携に基づき、ナノ技術をコアとして情報・エネルギー・医療と多岐に亘る分野において研究成果が着実に社会的評価を得ている。若い研究者の発表受賞等も多く、若手育成にも貢献しており、高校生へ向けたシンポジウムの実施等広く社会へ成果を発信する試みも行われている。(達成度:A)

○事業計画:理事長特別研究・学長特別研究の実施

事業概要:理事長特別研究においては、本学の研究成果を広く社会に還元するとともに、本学の教育研究及び運営にも積極的に利用できる研究を推進する。学長特別研究においては、学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに継続して学術研究を推進しているが、学長が社会や本学の状況を鑑み、本学が、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進する。

進捗状況:各プロジェクトにおいては研究成果を発表するシンポジウムが行われる等、順調に研究が進み外部研究助成等への申請も積極的に行われている。(達成度:A)

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実施

事業概要:国の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の助成を受け、研究基盤の整備及び研究機能の高度化を図る。

進捗状況:平成 25 年度の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実績として、6 件申請のうち、3 件が選定された。上記の新規選定事業を併せて 11 事業が国からの助成を受け、総合大学としての特性を活かした様々な最先端の研究を推進した。(達成度:A)

○事業計画:研究力の広報活動推進の実施

事業概要:本学の研究成果を広く社会に公開し、強力な研究力を効果的かつ積極的にアピールする。

進捗状況:平成 25 年 12 月 21 日開催の学術研究戦略プロジェクト(N. 研究プロジェクト)最終シンポジウムにおいて、高校生を対象とした研究成果をわかりやすく説明するパネルディスカッションを実施した。今後は、文部科学省主催のサイエンスフェアなどアウトリーチ活動への積極的な参加を通じ、研究成果の PR に努めたい。(達成度:B)

○事業計画:日大 WAN(広域ネットワーク)運用・管理

事業概要:部科校内の情報基盤(ネットワーク)の強化・拡充を図り、教育研究及び事務業務等に必要な電子情報を迅速に提供する。また、安全で安定したネットワークを維持管理する。

進捗状況:平成 24 年度に引き続き、高速ネットワーク網の安定した運用ができた。(達成度:A)

○事業計画:統一認証システムの運用・管理

事業概要:認証システムを統一することにより、各システムの連携を可能とし、学習・教育・研究活動の利便性を向上させ、セキュリティ管理の徹底を図る。

進捗状況:平成 24 年度に負荷分散機能を二重化したことにより、平成 25 年度はシステム障害のない運用を行うことができた。(達成度:A)

○事業計画:遠隔授業の実施

事業概要:日大 WAN とテレビ会議システムを利用した同時双方向通信システムにより遠隔地を結び、学生がキャンパス間を移動せずに受講可能な授業を配信する。

進捗状況:平成 25 年度は、9 学部 12 キャンパスが参加し、前期は芸術学部、後期は商学部の授業を配信した。(達成度:A)

○事業計画:全学共通図書館システムの開発

事業概要:全学の図書館システムを統一化し、利用者サービスの向上と教育研究環境の整備拡充を実現する。

進捗状況:平成 26 年度次期システム導入を目途に、ワーキンググループを設置し、システム機能要件等を検討し、理事会にて購入が承認された。(達成度:A)

○事業計画:電子ジャーナルデータベース及び電子ブックの導入・有効活用

事業概要:全学図書館での利用講習会の実施、学部学生へのリテラシー教育等を通じて利用促進を図り、スケールメリットを生かした大学一括契約と競争入札等で経費節減を実現する。

進捗状況:契約では、国公立大学から成るコンソーシアムに参加し、有利な条件での契約締結・積極的な見積合わせを実施し、大学一括契約による経費削減を図った。(達成度:A)

○事業計画:教育研究成果オープンアクセス化のための機関リポジトリの立上げ・開発

事業概要:文部科学省より平成 25 年度から博士論文等のインターネット公表が義務化された。学位授与大学の機関リポジトリから博士論文等を公表することが求められた。

進捗状況:総合学術情報センターで「教育研究成果オープンアクセス化のための機関リポジトリ開発プロジェクト」を立ち上げ、学務部及び博士論文担当教員等と検討し、平成 25 年 10 月 1 日付で機関リポジトリを立ち上げ、博士論文等を掲載し公表した。(達成度:A)

○事業計画:「スポーツ日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実

事業概要:学生が学生生活と部活動の両方に全力で取り組めるように活動環境の整備を進める。当該年度はレスリング部学生寮の新築工事の着工、陸上競技場、アメリカンフットボール場の改修工事を行った。

進捗状況:学生寮は今年度も継続事業、練習場の改修工事は完了。(達成度:A)

○事業計画以外:「スポーツ日大」の広報誌の発行

事業概要:東京オリンピックへの選手派遣とメダル獲得を目指した選手勧誘と各競技部の魅力を広く社会へ伝えるなどの目的

進捗状況:進学ガイドへの折込み、全国の各競技部顧問宛への郵送、大学及び付属高校の在校生への配布を実施(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:人権啓発ポスターコンクールの開催

事業概要:学内に掲示する人権啓発ポスター作成のためのデザインコンクールを通じて、役教職員及び学生・生徒等の人権に対する意識向上及び快適な就業・就学環境の維持向上を図る。

進捗状況:大学生、高校生、中学生から幅広く応募があり、過去最多の応募点数となった。作成された人権啓発ポスターは、学内の各キャンパス各所に掲示している。(達成度:A)

- 事業計画:日本大学軽井沢テニススクール
事業概要:大学と地域社会の交流として、保健体育審議会テニス部の協力の下、近隣の高校生、研修所周辺住民を対象にテニスを通じて交流を図る。
進捗状況:研修所周辺の住民や高校生が参加し、地域に貢献している。初心者、中級者、上級者とレベルに合った指導をしており、好評を得ている。(達成度:A)
- 事業計画:明治期の法律学校展の開催
事業概要:神田地域で創立の大学と共同した展示、普及活動。
進捗状況:開催済み。(達成度:A)
- 事業計画:学部が所在する地域における産官学連携の促進による地域社会への貢献
事業概要:各学部がその所在する地域において行う地域連携活動と技術移転・事業化計画を組み合わせることにより、本学の総合力を生かした地域連携による社会貢献を推進する。
進捗状況:工学部・ふくしま郡山地域における地域関係機関との連携活動である「NUBIC 相談窓口」の継続実施、本学の4学部が所在する千葉地域にて産学官連携フォーラムの共催及び生物資源科学部・藤沢地域において学内研究者等を対象とした NUBIC 相談窓口を新規に開設し、研究者のニーズやシーズを吸い上げることで、当該地域も含め、産官学連携の促進に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:研究推進や技術移転への活用可能性を重視した研究成果の権利化及び権利の維持管理による効率的・効果的な知的財産活動の推進
事業概要:研究推進や技術移転可能性を重視した厳格な審査による産業財産権の取得、産業財産権の維持管理に係る外部資金の積極的活用、活用可能性を重視した、保有する権利の厳選・精選等を行うことにより、維持経費が軽減されるとともに、効率的・効果的な知的財産活動を推進する。
進捗状況:知的財産の活用可能性をより重視した知的財産管理を行うべく、案件評価等の基準を設け、特許性、活用可能性等のほか、案件に関する技術移転状況等を加味した審議を行うことにより効率的・効果的な知的財産の維持・管理を行った。(達成度:A)
- 事業計画:学内における研究・産官学連携に関する啓発活動の実施
事業概要:学部の研究者を対象に研究費獲得に向けたサポート及び産官学連携・知的財産活動の啓発活動を実施することにより、研究を推進し、その成果の社会還元を推進する。
進捗状況:研究・産官学連携を進める上で、課題となる生物遺伝資源へのアクセス問題に関する学内セミナーの開催や、学部間の連携による研究の推進、企業への研究シーズの照会による共同研究等を目途としたイベントに本学所属の産官学連携コーディネーターを派遣するなどして、啓発活動に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:学内における産学連携活動に係る利益相反マネジメントの適正な運用
事業概要:学内における適切な利益相反マネジメントにより、安心・安全に研究活動に注力できる環境を整備し、産官学連携研究による研究成果の社会還元の促進及び社会への説明責任を果たすことを通じて本学の社会貢献を促進する。
進捗状況:諸規程等は整備され運用しているが、更なる運用改善を図るべく、学外のシンポジウムや講演会での情報収集結果を踏まえ、学内での検討を進めた。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:認証評価・外部評価等の積極的な実施と活用
事業概要:①平成25年度受審の法科大学院認証評価の円滑実施と評価結果の活用を図る。②平成26年度認証評価受審に向け、短期大学部及び知的財産研究科の点検・評価システムの見直しと強化を図る。特に短期大学部については外部評価を実施して一層の活性化を図る。
進捗状況:①公益財団法人大学基準協会の法科大学院認証評価を受審し、提出資料に基づく書面評価を経て実地調査が行われ、同協会から「適合」判定を受けることができた。(達成度:A)②短期大学部各校舎及び知的財産研究科と検討を重ねた結果、認証評価申請用「点検・評価報告書」の充実を図ることができた。また、短期大学部を対象とした外部評価を実施し、その結果を各校舎の改善改革に活用している。(達成度:A)
- 事業計画:会計業務の効率化
事業概要:新しい会計システムの導入検討及び積極的な情報提供による、会計業務の効率化と全学的統一を行う。
進捗状況:学校法人会計基準の改正を見据えて、効率的な会計システムへの更新の検討を行うとともに、経理事務研修会、担当者勉強会などで積極的な情報提供を行った。(達成度:A)
- 事業計画:ホームページでの理解しやすい財務情報の公開
事業概要:グラフ・図表の活用などによる、社会への説明責任を果たす「開かれた大学」としての認知の浸透を図る。
進捗状況:収支計算書、貸借対照表の理解を深めるため、企業会計との違いや、勘定科目の説明を加えた。また、グラフの立体化及び図表のカバー化など資料の見やすさを一層工夫した。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学合同企業研究会・就職セミナーによる就職支援
事業概要:次年度就職希望者に対し、多様な業界の企業・団体の人事担当者から面談や企業説明を受けることで学生の就職意識の向上を図り、ひいては内定に繋がる機会を提供する。
進捗状況:本年度は、2月13日(木)に東京国際フォーラムで実施し、245の企業及び団体の参加協力のもと、延べ11,000名の学生が参加した。(達成度:A)
- 事業計画:創立130周年に向けた大学ブランドイメージのアップ
事業概要:新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等の媒体を通じて広報展開し、本学の理念と教育・研究活動を広く社会にPRすることにより本学のブランド価値を高める。
進捗状況:費用対効果を重点に広告戦略を展開。(達成度:A)
- 事業計画:冊子「学校法人案内」の新規作成
事業概要:本学の全てのステークホルダー(利害関係者)を配布対象に、本学の概要を簡潔にまとめた冊子の作成を行う。
進捗状況:同僚私立大の状況を調査し、見直しを図っている。(達成度:C)
- 事業計画:日本大学公式ホームページコンテンツ最適化かつ充実化
事業概要:ホームページのユーザビリティ(使いやすさ、利用者の満足度の度合い)の向上や改善、コンテンツの充実などに取り組む。
進捗状況:入試及びスポーツのサイトをリニューアルし、スマートフォンでも閲覧できるように更新した。(達成度:A)
- 事業計画:「日大テレビ」の番組制作・配信及び学内視聴環境整備

事業概要:学生、校友、教職員向けに各部科校のイベントや校友紹介等の番組を制作・ネット配信し、大学の広報活動を推進する。また、学内の視聴環境向上を目指す。
進捗状況:4月の入学式ライブに始まり、計14回の番組配信を行った。また、視聴用プラスメディアディスプレイを桜門会館、第二別館に設置した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:日本大学病院の建設
事業概要:新病院の建設
進捗状況:新築工事を発注し、平成26年度完成に向けて工事遂行中である。(達成度:B)
- 事業計画:通信教育部新校舎の建設
事業概要:新校舎の建設
進捗状況:新築工事を発注し、平成26年度完成に向けて工事遂行中である。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:消費収支均衡の実現
事業概要:法人の総合的施策などを実現するための盤石な財政基盤を確立するため、次の目標値達成を目指す。
①長期的な目標値:学校法人の永続的な維持を鑑み、消費収支比率が100%を超えない。②短期的な目標値:消費支出比率が継続的に95%以内とする。
進捗状況:①消費収支比率は予算の114.46%から、6.03%改善し108.43%となった。(達成度:B)②消費支出比率は予算の98.61%から、予算執行段階での再検証などにより、予算時より0.44%改善し98.17%となった。(達成度:B)
- 事業計画:過去の決算の検証に基づく効率的な予算配分の徹底
事業概要:経営資源の有効活用により教育研究活動の充実を実現する。
進捗状況:財務関係諸会議などにおいて、ゼロベース予算方式、予決算差異の解消を徹底するなど、効率的な予算配分に向けた指導・助言を随時行った。(達成度:A)
- 事業計画:幅広い収支改善策の実行
事業概要:経営戦略委員会から答申された「経営改革策」を含む収支改善策の実行により、消費収支均衡を実現する。
進捗状況:経営改革策を順次実行するとともに、財務関係諸会議などにおいて、経常的な支出の削減・収入の増加に向けた指導・助言を随時行った。(達成度:A)
- 事業計画:受配者指定寄付金制度や税制控除制度の周知による募金活動の積極的な推進
事業概要:寄付者が法人税、所得税について税法上の優遇措置を受けることができる受配者指定寄付金制度と、税額控除制度を全学的に周知することで、更なる募金活動の積極的な推進を図る。
進捗状況:平成25年度特別寄付金収入は、22億6,886万円となり、そのうち受配者指定寄付金収入は、5億7,869万円であった。(達成度:A)
- 事業計画:補助金等競争的資金の積極的獲得
事業概要:諸活動に際し、文部科学省、厚生労働省、日本私立学校振興・共済事業団など国庫補助金及び東京都、神奈川県、千葉県など地方公共団体補助金の積極的な申請を行う。
進捗状況:文科省補助金の補助要件緩和に伴い、申請件数は前年度の3倍を数え、経常費補助金においても改革総合支援事業に係る支援対象者に選定されるなど、積極的な申請を行った結果、平成25年度補助金収入は176億3,166万円となった。(達成度:A)
- 事業計画:資金の効率的運用に資する総合運用資金制度の積極的活用
事業概要:部科校が管理・保管する1年以上使用予定のない諸引当資産を、理事長が直接管理し、効率的な運用を行う。
進捗状況:部科校保有の諸引当資産のうち76%を総合運用資金制度にて運用することができた。(達成度:A)
- 事業計画:本部の収支改善へ向けた効率的な予算配分の徹底
事業概要:収支安定の指標である消費支出比率は、法人が示す95%を実現するため、部局単位で、教育研究及び管理経費支出の平成24年度予算比マイナス5%の目標とする。
進捗状況:各部局との予算折衝で、過去の予算決算の比較検証、更なる冗費の節減とゼロベース予算方式を徹底し、また、全学的事業に係る費用は、部科校による負担協力を依頼し、消費収支の均衡に努めた。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学創立130周年記念事業募金
事業概要:日本大学創立130周年記念事業募金の募金活動を実施。
進捗状況:平成34年度まで募金活動実施中である。平成25年度までの寄付金受入累計額は14億円となった。(達成度:B)

Ⅲ 事業の概要 (データ編)

1 一般入学試験志願者数

学部第一部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	720	9,679	8,917	108.5
文理学部	961	15,945	16,346	97.5
経済学部	665	10,130	10,465	96.8
商学部	625	9,499	10,898	87.2
芸術学部	431	2,129	2,261	94.2
国際関係学部	375	1,527	1,501	101.7
理工学部	832	19,225	15,393	124.9
生産工学部	667	7,917	7,066	112.0
工学部	615	2,964	2,585	114.7
医学部	102	4,071	4,132	98.5
歯学部	83	476	382	124.6
松戸歯学部	63	442	335	131.9
生物資源科学部	685	10,254	9,764	105.0
薬学部	115	2,301	2,134	107.8
合 計	6,939	96,559	92,179	104.8

学部第二部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	170	280	329	85.1
合 計	170	280	329	85.1

短期大学部

学科名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
ビジネス教養学科	25	48	43	111.6
食物栄養学科	25	60	71	84.5
建築・生活デザイン学科	38	206	128	160.9
ものづくり・サイエンス総合学科	31	174	99	175.8
生命・物質化学科	24	139	107	129.9
生物資源学科	60	147	175	84.0
合 計	203	774	623	124.2

合 計

学部・短期大学部 合計	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
	7,312	97,613	93,131	104.8

2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数

※（ ）内は9月修了者数。グローバル・ビジネス研究科は8月，2月修了含む

修了者数

大学院研究科

研究科	博士前期・ 修士課程	博士後期・ 博士課程	専門職学位課程	合計
総合科学	—	(1)	—	0 (1)
法学	38 (1)	—	—	38 (1)
新聞学	10	—	—	10 (0)
文学	61	6	—	67 (0)
総合基礎科学	44	1	—	45 (0)
経済学	38	—	—	38 (0)
商学	35	—	—	35 (0)
芸術学	59	4	—	63 (0)
国際関係	5	—	—	5 (0)
理工学	433 (4)	18 (1)	—	451 (5)
生産工学	113	8	—	121 (0)
工学	94	1	—	95 (0)
医学	—	21	—	21 (0)
歯学	—	33	—	33 (0)
松戸歯学	—	15 (1)	—	15 (1)
生物資源科学	113	9	—	122 (0)
獣医学	—	10	—	10 (0)
薬学	—	7	—	7 (0)
グローバル・ビジネス	23 (8)	—	—	23 (8)
総合社会情報	38 (1)	5	—	43 (1)
法務	—	—	30 (13)	30 (13)
知的財産	—	—	18	18 (0)
計	1,104 (14)	138 (3)	48 (13)	1,290 (30)

卒業者数

学部

学部	卒業者数
法	1,709 (23)
文理	1,886 (44)
経済	1,493 (53)
商	1,207 (58)
芸術	926 (8)
国際関係	713 (30)
理工	2,006 (77)
生産工	1,467 (9)
工	978 (24)
医	106
歯	127
松戸歯	101
生物資源科	1,689 (10)
薬	183 (20)
(小計)	14,591 (356)
法(第二部)	253 (7)
経済(第二部)	17 (1)
(小計)	270 (8)
合計	14,861 (364)

通信教育部

学部	卒業者数
法	73 (25)
文理	158 (45)
経済	35 (15)
商	79 (27)
計	345 (112)

短期大学部

学科	卒業者数
商経	83 (4)
食物栄養	94
建設	70 (1)
基礎工	52 (1)
応用化	38 (1)
生物資源	153
計	490 (7)

短期大学部専攻科

専攻	修了者数
食物栄養	19

幼稚園

学校	卒園者数
日本大学	53

高等学校

学校	卒業生数
日本大学	575
櫻丘	464
鶴ヶ丘	414
藤沢	374
豊山	481
豊山女子	235
三島	648
明誠	338
山形	433
習志野	427
東北	481
計	4,870

専修学校

学校	卒業生数
医学部附属看護専門学校	87
歯学部附属歯科技工専門学校	16
歯学部附属歯科衛生専門学校	39
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	45
計	187

中学校

学校	卒業生数
日本大学	310
藤沢	134
豊山	228
豊山女子	161
三島	17
山形	65
計	915

博士学位授与者数

専攻分野の名称	論文博士		課程博士		合計
	25年度授与者数	累計(A)	25年度授与者数	累計(B)	(A) + (B)
環境科学	0	0	0	1	1
生命科学	0	0	1	6	6
法学	0	16	0	5	21
政治学	0	2	0	3	5
文学	1	103	4	30	133
社会学	0	1	0	9	10
教育学	1	12	1	13	25
心理学	0	11	1	46	57
経済学	0	37	0	13	50
商学	0	21	0	26	47
芸術学	2	12	4	84	96
国際関係	1	35	0	33	68
工学	12	938	25	645	1,583
理学	1	117	4	207	324
医学	13	2,945	21	1,494	4,439
歯学	21	2,395	49	1,838	4,233
生物資源科学	1	59	9	96	155
農学	0	162	0	91	253
獣医学	1	149	10	107	256
薬学	5	48	7	51	99
総合社会文化学	0	6	5	52	58
学術	1	11	0	5	16
計	60	7,080	141	4,855	11,935

3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数

海外学術交流提携校

※平成26年3月31日現在

学 部 等	提 携 校	国・地域名	提携の形
大 学	マッコーリ大学	オーストラリア	協定
	クィーンズランド大学	オーストラリア	協定
	サンパウロ大学	ブラジル	協定
	トロント大学	カナダ	協定
	成都大熊猫繁育研究基地	中国	協定
	中国管理科学学会	中国	協定
	中国伝媒大学	中国	協定
	福建師範大学	中国	協定
	福建富閩基金会及び福建省対外友好協会	中国	協定
	遼寧大学	中国	協定
	遼寧省人民政府	中国	協定
	北京大学	中国	協定
	山東大学	中国	協定
	新疆医科大学	中国	協定
	鄭州大学	中国	協定
	オーフス大学	デンマーク	協定
	ラッペンランタ大学	フィンランド	協定
	アヴィニョン大学	フランス	協定
	ガーナ大学	ガーナ	協定
	ベルリン自由大学	ドイツ	協定
	ヨハネス・ゲーテンベルク大学	ドイツ	協定
	アイルランド国立大学メイヌース校	アイルランド	協定
	高麗大学校	韓国	協定
	慶熙大学校	韓国	協定
	延世大学校	韓国	協定
	モスクワ国立国際関係大学	ロシア連邦	協定
	ロシア科学アカデミー	ロシア連邦	協定
	マドリード・コンプルテンセ大学	スペイン	協定
	バリャドリード大学	スペイン	協定
	ストックホルム大学	スウェーデン	協定
	国立中興大学	台湾	協定
	国立台湾大学	台湾	協定
	ケンブリッジ大学	英国	協定
	エリザベスタウン・カレッジ	アメリカ合衆国	協定
	ジョージ・メイソン大学	アメリカ合衆国	協定
	ケント州立大学	アメリカ合衆国	協定
	アラバマ大学バーミングハム	アメリカ合衆国	協定
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	アメリカ合衆国	協定
	ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	協定
	オレゴン大学	アメリカ合衆国	協定
	ワシントン州立大学	アメリカ合衆国	協定
ウェスタンミシガン大学	アメリカ合衆国	協定	
法	北京大学国際関係学院	中国	覚書
	アヴィニョン大学	フランス	覚書
	ヨハネス・ゲーテンベルク大学	ドイツ	覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
法	新羅大学校 カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校 カリフォルニア大学ヘイスティングス校 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	韓国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 及びカナダ	覚書 覚書 覚書 覚書
文 理	華東師範大学 北京大学 高麗大学校文科大学 新羅大学校 モンゴル国立大学 国立台湾師範大学 トラキア大学 ケント大学 カンザス大学 ワシントン大学文理学部	中国 中国 韓国 韓国 モンゴル 台湾 トルコ 英国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
経 済	復旦大学日本研究センター 対外経済貿易大学 フランス経済商科大学 スケマビジネススクール ボーフム大学経済学部及び東アジア学部 ブダペスト・コルビヌス大学 高麗大学校政治経済学部 西江大学校経済学部 マッセイ大学 フィリピン大学ディリマン校経済学部 コルドバ大学法経営経済学部 マドリード・コンプルテンセ大学経済・経営学部 タマサト大学経済学部 ケンブリッジ大学 ノッティンガム大学経済学部 オーバン大学経営学部	中国 中国 フランス フランス ドイツ ハンガリー 韓国 韓国 ニュージーランド フィリピン スペイン スペイン タイ 英国 英国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
商	オデンシアグループ フロリダ州立大学	フランス アメリカ合衆国	覚書 覚書
芸 術	グリフィス大学 中国伝媒大学	オーストラリア 中国	覚書 覚書
国 際 関 係	マッコリー大学 北京大学国際関係学院 ノルテ大学 フランス経済商科大学 西カトリック大学 ヨハネス・ゲーテンベルク大学 ゴア大学 インドネシア教育大学 慶熙大学校国際・経営学部 デ・ラ・サール大学（マニラ校）教養学部 バリャドリード大学 アサンプション大学 フェリシアン大学 モンタナ州立大学 ペンシルヴェニア州立大学 セント・ノーバート・カレッジ	オーストラリア 中国 コロンビア フランス フランス ドイツ インド インドネシア 韓国 フィリピン スペイン タイ アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
	ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 カリフォルニア大学サンタバーバラ校	アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書
国際関係 短期 大学部 (三島)	ウェスタン・インスティテュート・オブ・テクノロ ジー・アット・タラナキ	ニュージーランド	覚書
理 工	西安建築科技大学	中国	覚書
	西安理工大学	中国	覚書
	ダルムシュタット工科大学	ドイツ	覚書
	全北大学校工科大学	韓国	覚書
	韓国海洋大学校海洋科学技術大学・工科大学	韓国	覚書
	フィリピン工科大学 ミネソタ大学理工学部	フィリピン アメリカ合衆国	覚書 覚書
生 産 工	全南大学校工科大学	韓国	覚書
	慶尚大学校工科大学	韓国	覚書
	中国科技大学規劃與設計學院・管理學院・資訊学院	台湾	覚書
	ケント州立大学	アメリカ合衆国	覚書
工	ウメヲ大学理工学部	スウェーデン	覚書
	テキサス大学オースチン校工学部	アメリカ合衆国	覚書
医	中国医科大学	中国	覚書
	中国医学科学院心血管病研究所・阜外医院	中国	覚書
	華中科技大学同済医学院	中国	覚書
	清華大学医学院	中国	覚書
	ボーフム大学附属ノルトラインウェストファーレン州立 バートユーンハウゼン心臓病センター	ドイツ	覚書
	ヨルダン大学医学部	ヨルダン	覚書
	嘉泉医科大学	韓国	覚書
	ハワイ大学医学部	アメリカ合衆国	覚書
歯	山東大学歯学部	中国	覚書
	慶北大学校歯学部	韓国	覚書
	ヘルスサイエンス大学	ラオス	覚書
松 戸 歯	マギル大学歯学部	カナダ	覚書
	天津医科大学口腔医学院	中国	覚書
	武漢大学口腔医学院	中国	覚書
	台北医学大学口腔医学院	台湾	覚書
	タマサト大学歯学部	タイ	覚書
生 物 資 源 科	海南大学海洋学院・生命科学農学院	中国	覚書
	大韓民国農村振興庁普及支援研究部	韓国	覚書
	ビコール大学農林学部	フィリピン	覚書
	メチヨー大学農学部	タイ	覚書
	ワシントン大学森林資源学部	アメリカ合衆国	覚書
	カントー大学農学部	ベトナム	覚書
大 学 院 総 合 基 礎 科 学 研 究 科	国立ストラスブール高等物理学院 (ルイ・パスツール大 学)	フランス	覚書
	マーストリヒト大学大学院統治管理研究科及び経済・経 営管理学部	オランダ	覚書
法 務 研 究 科	全北大学校法学部	韓国	覚書
計	136大学等	29か国1地域	

*協定：大学（全体）単位での提携

覚書：学部等単位での提携

*太字は平成25年度新規提携校

*大学等の合計は、重複する提携先機関を各々1校として数えた。

外国人留学生数

※平成25年5月1日現在

大学院研究科

研 究 科	博士前期・修士・専門職学位課程				博士後期・博士課程						合 計
	1年次	2年次	3年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計	
総合科学	—	—	—	—							
法学	4	1	—	5	1	1		—	—	2	7
新聞学	5	10	—	15				—	—		15
文学	4	4	—	8			2	—	—	2	10
総合基礎科学	1		—	1				—	—		1
経済学	2	6	—	8				—	—		8
商学	30	34	—	64	3			—	—	3	67
芸術学	6	12	—	18	2	1	1	—	—	4	22
国際関係	3	3	—	6		1	2	—	—	3	9
理工学	10	11	—	21	2	2	7	—	—	11	32
生産工学	2	4	—	6		1		—	—	1	7
工学	1	1	—	2				—	—		2
医学	—	—	—	—					—		
歯学	—	—	—	—					—		
松戸歯学	—	—	—	—				1	—	1	1
生物資源科学	2	5	—	7			5		—	5	12
獣医学	—	—	—	—			1		—	1	1
薬学			—	—	1				—	1	1
グローバル・ビジネス		20	—	20	—	—	—	—	—	—	20
法務					—	—	—	—	—	—	
知的財産	2	4	—	6	—	—	—	—	—	—	6
計	70	111		187	9	6	18	1		34	221

学部

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	16	20	14	25	—	—	75
文理	36	35	40	22	—	—	133
経済	50	45	48	42	—	—	185
商	30	33	24	37	—	—	124
芸術	24	28	29	30	—	—	111
国際関係	6	14	20	62	—	—	102
理工	60	72	53	61	—	—	246
生産工	7	12	6	7	—	—	32
工	1		6	2	—	—	9
医歯							
松戸歯		1	1				2
生物資源科	5	5	4	2	—	—	16
薬							
計	235	265	245	290			1,035

短期大学部

学科	1年次	2年次	計
商経	1	2	3
食物栄養			
建設			
基礎工	1		1
応用化			
生活環境			
計	2	2	4

地域別外国人留学生数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

地域	アジア	北米	計
人数	159	2	161

大学院研究科（博士後期・博士課程）

地域	アジア	アフリカ	北米	計
人数	52	1	1	54

大学院研究科（専門職学位課程）

地域	アジア
人数	6

学部

地域	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	南米	ヨーロッパ
人数	1015	2	3	6	2	2	5

短期大学部

地域	アジア
人数	4

（参考）

アジア	タイ, マレーシア, シンガポール, インドネシア, 香港, 韓国, モンゴル, ベトナム, 中国, カンボジア, ラオス, 台湾, ネパール, スリランカ
中近東	トルコ, アラブ首長国連邦
アフリカ	ケニア, カメルーン
オセアニア	オーストラリア, ニュージーランド, トンガ
北米	カナダ, アメリカ
南米	コロンビア, メキシコ
ヨーロッパ	フィンランド, イギリス, ドイツ, フランス, スイス, ロシア, ウズベキスタン

4 学内奨学金制度

大学院研究科・学部

種 別	年 額			人 数	給付総額(円)
古 田 奨 学 金	20万円			21	4,200,000
ロバート・F・ケネディ奨学金	20万円			21	4,200,000
エヌドット奨学金 (東日本大震災被災者に対する特別対応を含む)	36万円ほか			100	36,000,000
桜 樹 奨 学 金 (東日本大震災被災者に対する特別対応を含む)	36万円ほか			147	52,920,000
アスリート奨学金	入学金, 授業料及び施設設備資金			20	41,850,000
大 学 院 法 務 研 究 科 奨 学 金	第1種	既修	98万円	5	4,900,000
		未修		2	1,960,000
	第2種	既修	50万円	10	5,000,000
		未修		2	1,000,000
	第3種	既修	98万円	0	0
		未修		0	0
	第4種	既修	50万円	0	0
		未修		0	0
小 澤 奨 学 金	12万円			9	1,080,000
オ リ ジ ナ ル 設 計 奨 学 金	20万円			5	1,000,000
創立100周年記念外国人留学生奨学金	授業料相当額			32	22,885,000
法 学 部 永 田 奨 学 金	12万円			15	1,800,000
法 学 部 奨 学 金	第1種	30万円		22	6,600,000
	第2種	授業料1年分を上限とする		3	2,590,000
	第3種	往復航空運賃+留学先授業料1年分相当額を上限とする		3	398,000
法 学 部 山 岡 奨 学 金	12万円			12	1,440,000
法 学 部 校 友 会 奨 学 金	半期授業料相当額			1	330,000
文 理 学 部 奨 学 金	第1種	学 部	24万円・12万円	51	12,120,000
		大学院	40万円	4	1,600,000
	第2種	学 部	24万円	2	480,000
		大学院	40万円	1	400,000
第3種	学費相当額を限度とする		0	0	
文 理 学 部 後 援 会 奨 学 金	学費支弁の困難な者		24万円	50	12,000,000
文 理 学 部 大 学 院 特 別 奨 学 金	授業料相当額			4	2,600,000
経 済 学 部 奨 学 金	第1種	36万円		2	720,000
	第2種	24万円		4	960,000
	第3種	24万円		13	3,120,000
12万円(後期採用者)		0	0		
経 済 学 部 後 援 会 奨 学 金	第1種	24万円		31	7,440,000
		12万円(後期採用者)		0	0
	第2種	36万円		0	0
経 済 学 部 校 友 会 奨 学 金	12万円			10	2,040,000
経 済 学 部 特 別 研 究 生 奨 学 金	授業料相当額+図書費+施設設備資金相当額(大学院)			2	2,440,000
商 学 部 後 援 会 奨 学 金	授業料の半額			25	8,125,000
商 学 部 校 友 会 奨 学 金	授業料の半額			5	1,625,000
校 友 会 準 会 員 商 学 部 奨 学 金	授業料の半額			31	10,075,000
商 学 部 菅 奨 励 金	30万円			2	600,000
商 学 部 奨 学 金	第1種	授業料相当額		12	7,800,000
	第2種	授業料相当額		18	11,700,000
	第3種	授業料の半額		30	9,750,000

種 別	年 額		人 数	給付総額(円)
芸 術 学 部 奨 学 金	第1種	学部 授業料相当額	4	4,080,000
	第2種	学部 50万円	1	500,000
		学部 30万円	1	300,000
		大学院 50万円	0	0
		大学院 30万円	1	300,000
芸術学部ジェームス&道子・ダン奨学金	10万円		2	200,000
国 際 関 係 学 部 奨 学 金	第1種	大学院 授業料1年分の半額相当	0	0
		学部 授業料1年分の半額相当	3	1,140,000
		短大 授業料1年分の半額相当	0	0
	第2種	大学院 授業料1年分の半額相当	0	0
		学部 授業料1年分の半額相当	0	0
		短大 授業料1年分の半額相当	0	0
	第3種	大学院 授業料1年分の半額相当	0	0
		学部 授業料1年分の半額相当	1	380,000
		短大 授業料1年分の半額相当	0	0
国際関係学部柳川海外交流奨学金	第1種	50万円	1	500,000
	第2種	50万円 (大学院)	0	0
三 島 後 援 会 特 別 奨 学 金	下宿補助	大学院 12万円	0	0
		学部 12万円	133	15,960,000
		短大 12万円	19	2,280,000
	新幹線通学補助	大学院 12万円	0	0
		学部 12万円	43	5,160,000
		短大 12万円	1	120,000
	静岡駅利用者	大学院 8万円	0	0
		学部 8万円	4	320,000
		短大 8万円	2	160,000
国 際 関 係 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種	学部 25万円	15	3,750,000
		短大 25万円	2	500,000
	第2種	学部 25万円	15	3,750,000
		短大 25万円	2	500,000
日 本 大 学 三 島 同 窓 会 奨 学 金	スポーツ (個人競技)	学部 5万円	2	100,000
		短大 5万円	0	0
理 工 学 部 奨 学 金	第1種	学 部 40万円	30	12,000,000
		短 大 40万円	2	800,000
		大学院 50万円	90	45,000,000
	第2種 (留学生)	学 部 40万円	2	800,000
		短 大 40万円	0	0
大学院 50万円	5	2,500,000		
理工学部後援会奨学金	50万円		40	20,000,000
理工学部校友会奨学金	12万円		10	1,200,000
生 産 工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円	9	5,400,000
	第2種	前 期 30万円	5	1,500,000
		後 期 30万円	4	1,200,000
	第3種 (留学生)	60万円	2	1,200,000
生産工学部校友会奨学金	30万円, 20万円, 10万円から経済的困窮度に応じ		17	4,200,000
工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円 (大学院)	12	7,200,000
	第2種	授業料相当額 (学部)	4	3,600,000
	第3種	授業料の20%相当額 (留学生)	2	360,000
	第4種	36万円 (学部)	18	6,480,000
工学部父母会奨学金	半期25万円		8	2,000,000
工学部五十嵐奨学金	10万円		12	1,200,000
医学部土岐奨学金	20万円		3	600,000
医学部永澤奨学金	20万円		2	400,000
医学部同窓会60周年記念医学奨励金	40万円		3	1,200,000
医学部特定医療奨学金	60万円		2	1,200,000

種 別	年 額		人 数	給付総額(円)	
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	第1種	20万円	5	1,000,000	
		10万円	28	2,800,000	
	第2種	10万円	5	500,000	
	第3種	海外50万円以内	13	2,077,000	
歯 学 部 同 窓 会 奨 学 金	学部	10万円	5	500,000	
	大学院	5万円	6	300,000	
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	第1種	10万円	39	3,900,000	
	海外研修	20万円	0	0	
	第2種	海外	50万円以内	7	1,137,940
		国内	5万円以内	31	1,205,500
生 物 資 源 科 学 部 奨 学 金	授業料・施設設備資金相当額		11	12,290,000	
生 物 資 源 科 学 部 大 森 奨 学 金	20万円		11	2,200,000	
生 物 資 源 科 学 部 特 別 研 究 生 奨 学 金	大学院	授業料相当額	15	10,150,000	
生 物 資 源 科 学 部 後 援 会 奨 学 金	25万円以上55万円以内		45	18,150,000	
生 物 資 源 科 学 部 校 友 会 奨 学 金	20万円		25	5,000,000	
薬 学 部 奨 学 金	第1種	大学院博士後期課程 50万円	2	1,000,000	
	第2種	30万円	6	1,800,000	
	第3種(留学生)	30万円	0	0	
薬 学 部 校 友 会 奨 学 金	20万円		2	400,000	
薬 学 部 校 友 会 準 会 員 奨 学 金	30万円		6	1,800,000	
薬 学 部 校 友 会 (桜 薬 会) 奨 学 金	20万円		2	400,000	
通 信 教 育 部 奨 学 金	授業料相当額		6	540,000	
通 信 教 育 部 坂 東 奨 学 金	授業料相当額		1	90,000	
大学院総合社会情報研究科坂東奨学金	20万円		3	600,000	
計			1,535	513,628,440	

本学独自の奨学金（貸与）大学院研究科・学部

種 別	年 額	人 数	貸与総額(円)
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	授業料相当額を限度	1	3,000,000
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	〃	0	0
計		1	3,000,000

高等学校

学 校	名 称	年 額 (円)	人数	給付総額 (円)
付 属 1 1 校	日本大学附属高等学校奨学金	240,000	55	13,200,000
日 本 大 学	日本大学高等学校奨学金	第1種	8	1,600,000
		第2種	2	400,000
		第3種	2	200,000
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000	7	350,000
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	12	1,200,000
		第2種	3	300,000
日本大学高等学校・中学校同窓会奨学金	第1種	3	300,000	
	第2種	2	200,000	
櫻 丘	櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学金	100,000	7	700,000
	櫻丘高等学校後援会奨学金	第1種	8	800,000
		第2種	1	100,000
鶴 ケ 丘	鶴ヶ丘高等学校奨学金	第1種	8	3,360,000
		第2種	6	2,520,000
	鶴ヶ丘高等学校英明奨学金	第1種	12	1,800,000
藤 沢	藤沢高等学校奨学金	第1種	20	2,000,000
		第2種	4	400,000
		第3種	4	400,000
	藤沢高等学校スポーツ奨学生	第1種1号	5	4,165,000
		第1種2号	2	833,000
	藤沢高等学校特待生	学力A特待生	6	2,628,000
		学力B特待生	8	1,314,000
技能B特待生	219,000	8	1,752,000	
	豊 山	第1種	150,000	5
120,000			5	600,000
90,000			1	90,000
70,000			1	70,000
第2種		295,200	1	295,200
		73,800	2	147,600
第3種		564,000	10	5,640,000
		150,000	6	900,000
豊 山 女 子		豊山女子高等学校・中学校奨学金	第1種	8
	第2種		8	800,000
三 島	三島高等学校・中学校奨学金	第1種	14	6,720,000
		第2種	18	4,320,000
	三島後援会奨学金	第3種	16	2,560,000
		第4種	58	6,960,000
		120,000	10	1,200,000
明 誠	明誠高等学校奨学金	120,000	10	1,200,000
	明誠高等学校永田奨学金	100,000	14	1,400,000
山 形	山形高等学校スポーツ奨学金	第1種	32	11,520,000
		第2種	54	9,720,000
		第3種	4	360,000
習 志 野	山形高等学校・中学校奨学金	第1種	12	1,440,000
		石川奨学金	6	2,088,000
	習志野高等学校後援会奨学金	第1種	15	1,500,000
第4種		5	500,000	
東 北	東北高等学校奨学金	第1種	10	3,240,000
		第2種	4	1,296,000
	東北高等学校スポーツ奨学金	324,000	1	324,000
	東北高等学校桜蕾会奨学金	324,000	21	6,804,000
	200,000	5	1,000,000	
計			537	113,566,800

中学校

学 校	名 称	年 額 (円)	人数	給付総額 (円)
日 本 大 学	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	4	400,000
		第2種	3	300,000
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000	1	50,000
藤 沢	藤沢高等学校奨学金	第1種	3	300,000
		学力A特待生	2	876,000
	藤沢高等学校特待生	学力B特待生	2	438,000
豊 山	豊山高等学校育友奨学金	150,000	2	300,000
		120,000	2	240,000
		90,000	1	90,000
		70,000	1	70,000
豊 山 女 子	豊山女子高等学校・中学校奨学金	第1種	4	400,000
三 島	三島高等学校・中学校奨学金	第2種	1	120,000
		三島後援会奨学金	5	600,000
山 形	山形高等学校・中学校奨学金	第1種	1	120,000
計			32	4,304,000

5 就職状況

※平成26年5月9日現在

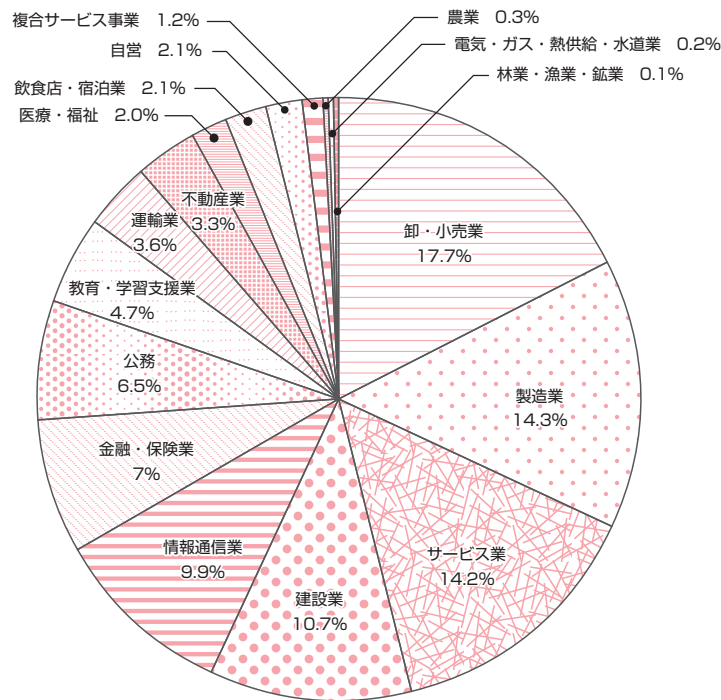
就職率

学部名	卒業者数	就職者数 ①	就職活動中 ②	就職希望者 (①+②=③)	就職率 ①/③
法学部	1,709	1,147	75	1,222	93.86%
文理学部	1,886	1,426	70	1,496	95.32%
経済学部	1,493	1,196	110	1,306	91.58%
商学部	1,207	947	48	995	95.18%
芸術学部	926	614	161	775	79.23%
国際関係学部	713	519	52	571	90.89%
理工学部	2,006	1,354	71	1,425	95.02%
生産工学部	1,467	1,075	65	1,140	94.30%
工学部	978	802	27	829	96.74%
生物資源科学部	1,689	1,273	115	1,388	91.71%
薬学部	183	181	0	181	100.00%
合計	14,257	10,534	794	11,328	92.99%

※ 法学部と経済学部は第一部のみ

※ 9月卒業生は含まない

業種別就職状況



主な就職先

大成建設(株), 清水建設(株), (株)安藤・間, (株)大林組, (株)一条工務店, 積水ハウス(株), 大和ハウス工業(株), 東京セキスイハイム(株), 大東建託(株), 三井住友建設(株), 山崎製パン(株), (株)東芝, トヨタ自動車(株), スズキ(株), 東京瓦斯(株), 日本放送協会, (株)マイナビ, 全日本空輸(株), 東日本旅客鉄道(株), (株)エイチ・アイ・エス, (株)大塚商会, (株)セブン-イレブン・ジャパン, (株)ファミリーマート, (株)カインズ, (株)ノジマ, (株)ヨドバシカメラ, (株)くすりの福太郎, (株)クリエイトエス・ディー, (株)アインファーマシーズ, (株)三菱東京UFJ銀行, (株)みずほフィナンシャルグループ, (株)三井住友銀行, (株)千葉興業銀行, (株)京葉銀行, (株)武蔵野銀行, イオンフィナンシャルサービス(株), 城北信用金庫, 城南信用金庫, 野村證券(株), SMBC日興証券(株), SMBCフレンド証券(株), 岡三証券(株), 日本生命保険(相), 第一生命保険(株), 明治安田生命保険(相), あいおいニッセイ同和損害保険(株), 三井不動産リアルティ(株), 住友不動産販売(株), (株)レオパレス21, 日本郵便(株), 総合警備保障(株), (株)メイテック, 国土交通省, 防衛省, 国税庁, 福島県庁, さいたま市役所, 千葉県庁, 東京都庁, 埼玉県警察本部, 千葉県警察本部, 警視庁, 東京消防庁, 神奈川県警察本部, 各都県教育委員会

6 保健体育審議会所属競技部の主な成績

団体優勝部

競技部名	大 会	
陸上競技部	日本学生対校選手権大会(男子総合・多種目・トラック・フィールド) 関東学生対校選手権大会(男子総合・多種目・トラック・フィールド)	
ボート部	全日本大学選手権大会(総合団体・エイト・舵手無ペア・クォドルプル・ダブルスカル) 全日本選手権大会(舵手無ペア・舵手無フォア・クォドルプル)	
相撲部	全日本大学選抜金沢大会 全国学生女子選手権大会 東日本学生選手権大会	全国選抜大学・実業団刈谷大会 全日本女子郡上大会 東日本学生リーグ戦
弓道部	全日本学生選手権大会 全関東学生選手権大会	全国大学選抜大会
馬術部	全日本学生三大大会(総合団体・賞典馬場競技・賞典総合競技) 関東学生三大大会(総合団体・賞典馬場競技・賞典総合競技) 関東学生争覇戦 関東女子自馬大会(総合団体・障害飛越競技・馬場競技) 東都トーナメント 東都学生大会(総合団体・馬場馬術競技・女子障害飛越競技)	
自転車部	全日本大学対抗選手権大会(トラック)	
空手部	和道全国大会(男子団体・女子団体)	
射撃部	全日本学生選手権大会(男女総合団体・女子総合団体・10mS60M・50m3×20W) 日本学生選抜選手権大会(50mP60M・10mS40W) 春季関東学生選手権大会(女子総合団体・50m3×20W・10mS40W) 秋季関東学生選手権大会(女子総合団体・10mS60M・10mS40M)	
重量挙げ部	全日本大学対抗選手権大会 東日本大学対抗選手権大会	
スケート部	関東学生選手権大会(女子フィギュア)	
ヨット部	全日本女子選手権大会(スナイブ級) 東日本選手権大会(スナイブ級) 関東学生女子春季選手権大会(スナイブ級)	全日本学生女子選手権大会(総合団体・スナイブ級) 関東学生秋季選手権大会(総合団体・470級・スナイブ級) 関東学生女子秋季選手権大会(スナイブ級)
アメリカンフットボール部	東日本代表決定戦	関東大学選手権大会
フェンシング部	全日本学生王座決定戦(男子エペ・男子サーブル) 関東学生選手権大会(男子フルール・男子エペ・男子サーブル・女子サーブル)	関東学生リーグ戦(男子エペ・女子総合団体・女子フルール)
ゴルフ部	信夫杯争奪日本大学対抗戦	全国大学対抗戦
バドミントン部	全日本学生選手権大会 関東大学春季リーグ戦	東日本学生選手権大会

個人優勝者

競技部名	氏 名	大 会	種 目
陸上競技部	川元 奨	日本選手権大会	800m
	山崎 謙吾	日本学生対校選手権大会	400m
	ダニエル・ムイバキトニー	日本学生対校選手権大会	5000m・10000m
水泳部	小堀 勇氣	日本学生選手権大会	200m自由形
ボート部	大塚 圭宏	全日本大学選手権大会	シングルスカル
柔道部	レイズ カヨル	全日本学生体重別選手権大会	100kg級
相撲部	川端 翔伍	全日本選手権大会	
	上田 幸佳	全日本女子選手権大会	
	岩本 幸奈	ワールドゲームズ競技大会	中量級
	谷内 明日実	国際女子堺大会	重量級
	梅野 勝満	全国学生個人体重別選手権大会	115kg未満級
バーサンスレン・トゥルボルド	全国学生個人体重別選手権大会	無差別級	
馬術部	柿澤 小夜子	全日本学生選手権大会	
自転車部	末木 浩二	全日本大学対抗選手権大会	ケイリン
射撃部	湯浅 菜月	全日本学生選手権大会	50mS×20
	小林 郁弥	全日本学生選手権大会	10mS60
重量挙げ部	糸数 陽一	全日本大学対抗選手権大会	69kg
	井筒 泰平	全日本大学対抗選手権大会	77kg
スキー部	杉山 茜	全日本学生チャンピオン大会	女子10km
	渡部 弘晃	全日本学生選手権大会	スペシャルジャンプ
スケート部	長谷川 翼	JAPAN CUP	500m
	久保 涉吾	JAPAN CUP	3000m
	中村 健斗	全日本学生選手権大会	スプリント1000m
レスリング部	村田 夏南子	全日本選手権大会	55kg級
	山本 康稀	全日本学生選手権大会	96kg級
	矢後 佑華	ゴールデンGP決勝大会	48kg級
	阿部 梨乃	世界ジュニア選手権大会	72kg級
ヨット部	持田 由美子	全日本女子選手権大会	スナイブ級
	稲垣 美穂	全日本女子選手権大会	スナイブ級
フェンシング部	山田 あゆみ	全日本学生個人選手権大会	エペ

7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業

校友数

校友数 1,097,062名 (正会員9,351名)

※ 平成26年3月現在

校友会組織

日本大学校友会 (校友会本部事務局)

都道府県支部 (65支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・十勝・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一:千代田・中央・港・新宿・文京・台東), (東京都第二:品川・大田)
(東京都第三:目黒・世田谷), (東京都第四:渋谷・中野・杉並)
(東京都第五:豊島・北・板橋・練馬), (東京都第六:墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川)
(東京都第七:23区以外全域)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会 (16部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信教育部

職域別部会 (4部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会 (77団体)

鴻池組桜門会桜鴻会, 八丁堀警備桜門会, ライフ桜門会, 町田桜門会, フジバスク(株)世田谷桜門会, 土浦桜門会, 日本大学櫻門三崎倶楽部, 日本大学相撲桜門会, 日本大学全国相撲桜門会, 柔道桜門会, フェニックス桜門会, 関電工桜門会, 桜門六会会, 日大テニス桜門会, 日本大学応援団本部(桜応会), 日本大学剣道部桜門会, 日本大学弓道桜門会, 日本大学準硬式野球部桜門会, 体操桜門会, 重量挙げ桜門会, 山岳部桜門会, スキー部桜門会, 日本大学スケート部桜門会, 日本大学バスケットボール桜門会, レスリング桜門会, 八幡山サッカー桜門会, ヨットクラブ桜門会, 日本大学フェンシング部桜門会, ハンドボール桜門会, 木内建設(株)桜門会, 飛鳥桜門会, 射撃部桜門会, 桜門・報道クラブ, 六興電気(株)桜門会, 日本大学湘南桜門会, ホクシング部桜門会, 日本大学自動車部桜門会, 不動産・建設桜門会, 成田桜門会, TSUCHIYA桜門会, 日本大学合唱団桜門会, 全国社会保険労務士桜門会, (株)アビーズみちのく桜門会, 新生テイクス桜門会, NBS桜門会, (株)ライクス桜門会, ニッタン桜門会, レディース桜門会, 沼津桜門会, 日本大学櫻下桜門会, 日本大学スカウト桜門会, 日本大学拳法部桜門会, 桜門建築連合会, 日本大学空手部桜門会, 佐藤工業桜門会, 行政書士桜門会, ラグビー桜門会, 日本大学税理士桜門会, 日本大学バレーボール部桜門会, 村本建設桜門会, (株)加賀田組桜門会桜友会, 日本大学自転車部桜門会, ゴルフ部桜門会, 大林組桜門会, 東京美装興業桜門会, ホート部桜門会, 池田建設桜門会, 桜門会N.L.C.21, 宮崎日本大学学園桜門会, 高砂桜門会, 桜門社長会, アインク桜門会, 国際ラント桜門会, 日本電設工業桜門会, 坂田桂三ゼミ桜門会, しんきん桜門会, 桜門工業クラブ桜友会

海外特別支部 (8支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア

校友会関係行事

地 区	行 事	実 施 日 (場 所)
校友会本部	全国校友大会	11/11(東京ドームホテル)
	校友会役員総会	7/5(東京ドームホテル)
	校友会常任委員会(2回)	6/21, 12/13(日本大学桜門会館)
	校友会会長・副会長会(3回)	6/21, 12/13, 26/3/14(日本大学会館他)
	校友会常任会(8回)	4/5, 5/10, 6/7, 10/11, 11/1, 12/6, 26/2/7, 26/3/7(日本大学桜門会館)
	総務委員会(8回)	4/10, 5/8, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11, 26/2/12, 26/3/12(日本大学桜門会館)
	財務委員会(3回)	5/30, 12/12, 26/2/5(日本大学桜門会館)
	企画委員会(1回)	10/23(日本大学桜門会館)
	広報委員会(2回)	6/11, 26/2/12(日本大学桜門会館)
	組織委員会(3回)	4/25, 9/27, 26/1/23(日本大学桜門会館)
	桜門会館運営委員会(1回)	11/29(日本大学桜門会館)
スポーツ振興特別委員会(2回)	5/24, 26/2/14(日本大学会館他)	
北 海 道	札幌支部総会	7/3(札幌パークホテル)
	旭川支部総会	7/18(ロワジュールホテル旭川)
	小樽支部総会(支部創立80周年記念)	10/26(ホテルノルド小樽)
	苫小牧支部総会	26/2/28(グランドホテルニュー王子)
	釧路支部総会	10/20(ANAクラウンプラザ釧路)
東 北	青森県支部総会	6/2(ラ・プラス青い森)
	岩手県支部総会	9/21(ホテルメトロポリタン盛岡本館)
	宮城県支部総会	7/22(ホテルメトロポリタン仙台)
	秋田県支部総会	10/12(秋田キャッスルホテル)
	山形県支部総会	7/12(山形グランドホテル)
	福島県支部総会	8/24(郡山ビューホテルアネックス)
関 東	茨城県支部総会	5/10(水戸京成ホテル)
	栃木県支部総会	6/28(二荒山会館)
	群馬県支部総会	8/4(前橋テルサ)
	埼玉県支部総会	26/3/21(ラフォーレ清水園)
	千葉県支部総会	10/26(京成ホテルミラマーレ)
	神奈川県支部総会	7/26(ローズホテル横浜)
	川崎支部総会	7/18(川崎日航ホテル)
	山梨県支部総会	26/1/30(ベルクラシック甲府)
東 京	東京都第一支部総会	9/18(アルカディア市ヶ谷)
	東京都第二支部総会	10/16(銀座アスター蒲田賓館)
	東京都第三支部総会	12/3(新宿ワシントンホテル)
	東京都第四支部総会	6/13(日本大学桜門会館)
	東京都第五支部総会	9/27(池袋東武百貨店)
	東京都第六支部総会	6/12(浅草ビューホテル)
	東京都第七支部総会	6/29(八王子エルシイ)
東 海	岐阜県支部総会	9/29(ロワジュールホテル大垣)
	静岡県支部総会	26/2/8(クーポール会館)
	愛知県支部総会	11/18(名鉄ニューグランドホテル)
	三重県支部総会	26/2/9(神宮会館)
北 信 越	新潟県支部総会	6/30(大観荘せなみの湯)
	富山県支部役員総会	8/4(ホテルニューオータニ高岡)
	石川県支部役員会	7/13(ホテル金沢)
	福井県支部総会	10/12(ユアーズホテルフクイ)
	長野県支部総会	7/20(松本ホテル花月)
	長野県北信支部総会	26/3/15(長野ホテル犀北館)
近 畿	滋賀県支部総会	6/8(延暦寺会館)
	京都支部総会	10/5(レストラン菊水)
	大阪支部総会	11/9(ウェスティンホテル大阪)
	兵庫県支部総会	6/15(神戸外国倶楽部)
	奈良県支部総会	6/30(薬師寺)
	和歌山県支部総会	7/13(ホテルグランヴィア和歌山)
中 国	鳥取県支部総会	7/26(ホテルセントパレス倉吉)
	島根県支部総会	6/30(松江ニューアーバンホテル)
	岡山県支部総会	10/19(岡山ロイヤルホテル)
	広島県支部総会	8/31(メルパルク広島)
	山口県支部総会	11/23(ホテルニュータナカ)

地 区	行 事	実 施 日 (場 所)
四 国	徳島県支部総会	6/29(阿波観光ホテル)
	香川県支部総会	10/5(ホテルクレメント高松)
	愛媛県支部総会	11/16(松山全日空ホテル)
	高知県支部総会	26/3/15(ホテル日航高知旭ロイヤル)
九 州	福岡県支部総会	10/12(平和楼天神本店)
	北九州支部総会	11/22(ステーションホテル小倉)
	佐賀県支部総会	11/23(旅館あけぼの)
	長崎支部総会	8/24(京華園)
	佐世保支部総会	8/23(JAさせぼホール)
	熊本県支部総会	8/24(熊本交通センターホテル)
	大分県支部総会	7/27(トキハ会館)
	宮崎県支部総会	26/1/25(宮崎観光ホテル)
	鹿児島支部総会	9/13(山形屋)
	沖縄県支部総会	8/23(ホテルロイヤルオリオン)
学部別部会	本部・大学院校友会役員会	6/25(日本大学桜門会館)
	法学部校友会総会	9/14(日本大学会館)
	経済学部校友会役員総会	5/28(日本大学桜門会館)
	商学部校友会総会	6/14(ハイアットリージェンシー東京)
	芸術学部校友会総会	6/29(芸術学部)
	国際関係学部校友会総会	7/20(国際関係学部)
	理工学部校友会総会	6/28(東京ガーデンパレス)
	生産工学部校友会総会	6/15(市川グランドホテル)
	工学部校友会総会	4/20(日本大学桜門会館)
	医学部同窓会総会	4/14(駿河台日本大学病院)
	歯学部同窓会総会	5/26(歯学部)
	松戸歯学部同窓会総会	6/16(日本大学桜門会館)
	生物資源科学部校友会総会	7/13(生物資源科学部)
	薬学部校友会総会	6/22(薬学部)
通信教育部校友会総会	5/25(日本大学桜門会館)	
職域別部会	全国桜師会総会・研修会	7/26(日本大学桜門会館)
	日本大学法曹会総会	5/24(日本大学桜門会館)
	桜門会計人会総会	7/9(日本大学桜門会館)
	全国桜門スポーツ部会総会	6/5(日本大学会館)
桜 門 会	町田桜門会総会	4/13(ホテルラポール千寿閣)
	櫻門三崎倶楽部総会	6/15(日本大学桜門会館)
	成田桜門会総会	5/18(成田ビューホテル)
	湘南桜門会総会 (平成24年度延期分)	7/6(グランドホテル湘南)
	湘南桜門会総会	26/3/8(グランドホテル湘南)
	全国社会保険労務士桜門会総会	6/26(日本大学桜門会館)
	沼津桜門会総会	10/18(ホテル沼津キャッスル)
税理士桜門会総会	6/14(日本大学桜門会館)	
海外特別支部	台湾特別支部創立10周年記念式典	11/9(台北アンバサダーホテル)

校友会事業

会報

会報誌名	配布対象	発行回数	発行部数
k i z u n a	校友	年1回	55万部
桜 縁	正会員・準会員	年2回	各15万部

校友会正会員事業

- 1 校友子女入試の推進
- 2 全国校友大会の開催
- 3 箱根駅伝を含む日大スポーツの振興と推進

校友会準会員事業

- 1 スポーツ優勝者表彰
- 2 スポーツに対する奨励金交付
- 3 全学文化事業(NU祭)支援
- 4 校友会(準会員)の診療費助成
- 5 校友会独自の奨学制度
- 6 校友子女入試における特別優待生制度の拡大
- 7 就職活動への支援

8 公開講座

名 称	テ ー マ
第36回日本大学軽井沢公開講座 後援：軽井沢町 軽井沢町教育委員会	「学祖山田顕義と日本の近代化」 「部分入れ歯の話」
文理学部公開講座 統一テーマ： 「社会福祉を拓く －社会福祉学科解説記念－」	子どもの育ちの権利：子どもの権利 社会福祉の構造とその課題について考える 地域と共にあるケア：介護保険制度のゆくえ 障がい者が働くということ 地域の福祉力を高めよう いのちをささえる脳：しあわせ脳を育むには 生活に困ったら：貧困問題と生活保護制度 知っていますか？ 高齢者虐待
商学部公開講演会 「“知識”と“暮らし”の融合9」 後援：世田谷区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	アジア・アフリカと今後の日本
芸術学部江古田校舎公開講座 「西洋芸術探訪」 主催：芸術学部・練馬区共催	図像学入門～西洋絵画の見方・楽しみ方 魂のありか～ヨーロッパの人魚たちが求めるもの 竜のイメージ
芸術学部所沢校舎公開講座 「文化の見方・見え方」	ユダヤ人と大衆文化－ハリウッド・ブロードウェイ・ホットドッグ ケルト神話と日本神話をむすぶもの 英国人が見た日本のスポーツ文化
国際関係学部 上期市民公開講座 統一テーマ：「世界の文学と『世界文学』」 後援：三島市、三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 協賛：日本大学総合生涯学習センター (しずおか県民カレッジ連携講座)	世界文学と翻訳文学 音楽の都の文学－オーストリア文学紹介－ シャンソンの歌詩文学について－アダモ『雪が降る』の白と黒の心象詩－ 近代中国の文学者と日本 シェイクスピアの魅力
下期市民公開講座 統一テーマ：「豊かな社会を考える」 後援：三島市、三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 協賛：日本大学生涯学習センター (しずおか県民カレッジ連携講座)	「21世紀の日本の課題」－ゼロ金利とネット革命の衝撃－ 地域再生とホスピタリティ 「Web社会は人々を幸福にするのだろうか？ Yes, you can.」 「南アジアの社会開発とジェンダー」－ネパールの事例研究から－ 環境に配慮した暮らしと社会
理工学部 第52回公開市民大学講座 「理工学部ものづくり最先端技術」 後援：千葉県・船橋市・習志野 市・鎌ヶ谷市・八千代市 教育委員会 東葉高速鉄道株式会社	宇宙につながるエレベーター～人類最大の構造物を創る理由～ パソコン教室 (Excel初級編) 超小型人工衛星による宇宙利用 テニス教室 自動車の安全性向上技術～予防安全を中心に～ 初心者向けゴルフ教室 (雨天のため中止)
生産工学部 公開講座(前期) 協力：習志野市	公開講座Ⅰ 防災講座2013
生産工学部 公開セミナー	公開セミナーⅠ 暮らしに活用！パソコン入門講座～調べて、まとめる～ 公開セミナーⅡ 生涯スポーツ(ゴルフ) 公開セミナーⅢ ロボットで遊ぼう 公開セミナーⅣ 生涯スポーツ(水泳)～泳げるようになろう・楽に泳ごう～
生産工学部 公開講座(後期)	公開講座Ⅰ 高齢期の健康と体力 公開講座Ⅱ ボランティア体験記－ボランティア活動の可能性－
生産工学部公開セミナー	公開セミナーⅠ 少年野球教室
工学部 教養講座 総合テーマ「新たな力を求めて」	あなたのための簡単レポート術 ドラマ制作のA to Z～「おしん」から「八重の桜」まで～ 人々を笑わせ、そして考えさせるものを創る リアリティ×イマジネーション＝∞
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	根の治療でも手術が必要？～歯を残すための最新の外科的治療法～

名 称	テ ー マ
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	歯科医師がする肩こり健康法
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(14)」	要介護高齢者に対する食事支援～かかりつけ歯科医院でおこなうケアとリハビリテーション～
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(15)」	がん患者の口腔ケアと医療連携 その1 口腔がんの早期診断ー予防と治療ー
松戸歯学部 公開講座 後援：松戸市教育委員会、 千葉県歯科医師会 松戸歯科医師会	再生医療を用いた歯科治療 インプラント治療の疑問に答えます！ ～インプラントの良い点と不安な点～
生物資源科学部 科学技術公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	エピソードでたどる科学の歴史
生物資源科学部 市民講座 統一テーマ：「細胞の“はたらき”をあやつる ～生命科学から再生医療への展開～」 共催：藤沢市教育委員会	iPS細胞はなぜ注目されるのか 脂肪細胞から骨や筋肉をつくる 肝臓の働きを知る、肝臓の細胞を創る、肝臓の機能を操る 細胞を使って病気を治す 動物医療における再生医療の現状
生物資源科学部 秋季特別公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	「深海における動物と微生物の共生関係：温泉につかっているだけでお腹いっぱい！」 「ウナギの科学とうな井の未来 ～大海原にウナギを追って～」
生物資源科学部 日本大学短期大学部(湘南)・六会公民館共催講座 テーマ：「ブルーベリーの育て方とジャムづくり」	「ブルーベリー栽培の基礎知識」ー持ち帰り用苗の鉢への植えかえー 「栽培管理法」ーさし木繁殖(緑枝ざし)ー 「栽培管理法」ー収穫、ジャムづくりー 「栽培管理法」ーさし木苗の鉢上げー 「栽培管理法」ー剪定ー
生物資源科学部 全国農村サミット2013 全体テーマ： 「地域資源の活用による地域活性化と大学の役割」 後援：藤沢市	基調講演：「TPPの影響と地域活性化」 報告：「ツシマヤマネコと地域活性化」 報告：「コウノトリと地域活性化」
生物資源科学部 全国農村サミット in 富士宮市 全体テーマ： 「地域資源の活用による地域活性化と大学の役割」 後援：富士宮市	「ニジマス魚醤の開発」 「シカ資源の活用」 「協働による地域づくり」
薬学部 公開講座 協賛：(公社)日本薬学会 後援：(一社)千葉県薬剤師会	講演会 「いきいき健康な人生をめざして ～骨・脳・腸の老化防止、病気予防の食事～」 施設公開 薬用植物園
第16回薬学部薬草教室	講演会 「身近な遺伝子組換え食品」 薬用植物園ガイド
第17回薬学部薬草教室	講演会 「貝原益軒にまなぶ江戸養生法」 薬用植物園ガイド
大学院総合社会情報研究科 公開講座	日米経済の行方 ードル・円相場を占うー 地域社会の共生に向けて ーハイブリッド文化という考え方ー 宇宙の環境と身体の変化 企業と市民社会
日本大学総合生涯学習センター 春期公開講座	日本の政治意識を考えよう ・政党支持の構造と変遷を見ていこう ・内閣支持率の構造と変遷を見ていこう ・政治意識とメディアの関係を見ていこう ・選挙を政治意識から見ていこう ・政治意識を高める方法を考えてみましょう 江戸時代史ー松平定信の登場と寛政の改革 ・農村復興策-旧里帰農令・困米の制 ・商業・流通策-棄損令 ・人足寄場の設置 ・文教政策-寛政異学の禁 ・上杉治憲(鷹山)-米沢藩の藩政改革 新古今和歌集の世界(七) ・巻十六 雑歌上 ・巻十七 雑歌中 ・巻十八 雑歌下

名 称	テ ー マ
	<ul style="list-style-type: none"> ・卷十九 神祇歌 ・卷二十 釈教
	<p>日本史の「謎」に迫る ～天下統一の思想と反逆の思想～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『天下』思想の導入と展開 ・奈良・平安時代の『反逆』者 ・天下草創と源頼朝～中世はいかに誕生したか ・公武闘争と承久の乱～幕府分裂の危機をどう乗り切ったか ・織田信長の『天下布武』と自己神格化
	<p>天人と天使</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有翼人 キリスト教以前 ・キリスト教の天使 313年から1000年まで ・11世紀から現代までの天使、『受胎告知』 ・東洋の天人 ・日本の飛天
	<p>21世紀世界への視角</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G8, G20, そしてG2?-米中覇権時代は来るのか ・ギリシャ金融危機がもたらす世界経済への波紋 ・アラブの春が教えてくれるもの ・動き出すアフリカ大陸-世界の光と影が交差する現実 ・21世紀世界と日本
	<p>ものの見方と考え方(2)～東洋と西洋の比較～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンサム功利主義 ・カントの人格主義 ・ニーチェのニヒリズム ・西田幾多郎の行為的直観 ・和辻哲郎と「間柄」の倫理
	<p>実践小説創作塾 ～文学賞に挑戦～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文体について ・小説は人間を書く ・書くことの禁じ手 ・短編小説と長編小説の書き方 ・推敲について
	<p>人の心の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期 ・幼児期 ・児童期(学童期) ・青年期 ・成人・老人期
	<p>グローバル社会を生きる～国連と市民社会の視点から～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争地域・自然災害地域での食糧支援-東日本大震災にも- ・環境問題について、国際NGOは市民社会といかにコミュニケーションするか ・国連のジェンダーの取り組み ・国旗で読む世界地図 ・ミャンマーにおける日本企業進出
	<p>落語でもっと識る江戸の暮らし～江戸っ子たちの文化的生活～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『落嚙六儀』で識る江戸の面白い話 ・怪談嚙で識る江戸の怖い話 ・『時そば』『まんじゅうこわい』で識る江戸の食文化 ・旅嚙で識る江戸の旅事情 ・艶嚙, 廓嚙で識る, 江戸の男と女, 男と男……?
	<p>「老後の笑顔」は自分でつくる!～今からできる5つの準備～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来を設計してみよう ・不動産を自分年金にする方法を考える ・ライフプランから考える介護 ・成年後見制度と遺言 ・年金制度と老後資金の準備
日本大学総合生涯学習センター 秋期公開講座	<p>江戸時代史-海防と探検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラクスマンの来航と露使対策 ・江戸湾防備計画と東蝦夷地の直轄 ・レザノフ長崎来航 ・間宮海峡の発見 ・フェートン号事件
	<p>日本史の「謎」に迫る～「鎌倉とは何か」～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『鎌倉』を考える ・鎌倉の怨霊たち-敗者たちの言い分- ・鎌倉を掘る-地下からの証言- ・鎌倉幕府論-武士と御家人- ・蒙古襲来と鎌倉幕府の滅亡
	<p>三十六歌仙を読む～公任撰の三十六歌仙の名歌を鑑賞する～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿本人麿, 紀貫之, 躬恒 ・伊勢, 家持, 赤人 ・業平, 遍昭, 友則 ・猿丸, 小野小町, 謙輔, 朝忠 ・敦忠, 高光, 公忠, 忠峯

名 称	テ ー マ
	藤原時代の美術 10世紀～12世紀 ・彫刻:前期(10世紀)と盛期(11世紀)の彫刻 ・彫刻:後期(12世紀) ・建築 ・絵画:仏教絵画と絵巻物 ・絵画
	ものの見方と考え方(3)～東洋と西洋の比較～ ・デカルトの「我思う、ゆえに我あり」 ・カントの認識理論 ・スピノザの汎神論 ・西田幾多郎の純粹経験説 ・鈴木大拙の即非の論理
	笑いの発達と心理 ・笑いとは何か ・子どもの笑い・笑いについての歴史 ・笑いの種類と心理的な背景 ・笑いとうちの関係 ・他の動物の笑い・まとめ
	最近の選挙と選挙報道 ・選挙制度を考えよう ・今夏の参院選と今後の政局 ・選挙報道と政治状況 ・選挙報道の考査と政党CM ・ネット選挙とこれからの選挙
	落語と語り芸の歴史 ・落語の発生と江戸の文化人たち ・落語と歌舞伎の妖しい関係 ・講談って何？ ・浪曲と近代メディア史 ・古典落語と新作落語
	歯科医師にできる肩こり健康法 ・噛む癖？日中の歯牙接触癖(TCH:tooth contacting habit)とはなんだろう ・頭を支える筋肉とその役割 ・行動変容療法による是正法 ・顎関節症とはなんだろう！ ・歯科でおこなわれている予防法の最前線！
	地球規模の課題を考える ・正解のない時代の生き方 ・人口問題は解決したのか？ ・薬物と人の関わり ・自然資源の少ない日本 ・男と女の関係
	K-POP文化で学ぶ韓国語 ・K-POP文化と韓国語(1) ・K-POP文化と韓国語(2) ・K-POP文化と韓国語(3) ・K-POP文化と韓国語(4) ・K-POP文化と韓国語(5)

9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産

学外研究費採択状況

文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業—科研費—

学部	採択(新規)		採択(新規・継続)				
	件数	交付額(千円)	件数	直接経費	間接経費	交付額(千円)	
大学	法	3	4,030	9	18,500	5,550	24,050
	文理	18	58,180	57	91,100	26,280	117,380
	経済	13	30,670	26	53,100	14,880	67,980
	商	5	9,490	22	33,800	10,140	43,940
	芸術	5	4,810	9	8,300	2,490	10,790
	国際関係	4	5,880	6	7,400	1,860	9,260
	理工	30	65,140	74	97,500	28,290	125,790
	生産工	13	22,100	32	30,600	9,180	39,780
	工	15	33,670	39	54,700	16,410	71,110
	医	32	54,990	89	119,940	35,982	155,922
	歯	22	47,320	70	92,950	27,885	120,835
	松戸歯	26	42,640	55	59,700	17,910	77,610
	生物資源	26	73,000	69	125,350	35,595	160,945
	薬	4	7,540	18	20,600	6,180	26,780
	通信教育	1	1,040	2	1,300	390	1,690
	本部	3	17,160	13	24,700	7,410	32,110
	小計	220	477,660	590	839,540	246,432	1,085,972
短期 大学部	三島	1	2,470	1	1,900	570	2,470
	船橋	2	16,900	3	13,500	4,050	17,550
	湘南	0	0	1	500	150	650
	小計	3	19,370	5	15,900	4,770	20,670
合計	223	497,030	595	855,440	251,202	1,106,642	

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況

採択年度	学部	研究組織	事業の別	研究課題	事業費(千円)
25年度	理工学部	理工学研究所	研究拠点を形成する研究	超短時間光・物質相互作用の理解・制御が切り開く新材料・物性・デバイス探索と創生	497,800
25年度	歯学部	大学院歯学研究科	研究拠点を形成する研究	細胞移植による口腔感覚機能回復を目指した基礎研究の拠点形成	134,940
25年度	生物資源科学部	生物資源科学部	研究拠点を形成する研究	被災農地を活用した再生可能エネルギー産業創生のための生物系—工学系連携拠点の構築	120,000

大学教育・学生支援関係プログラム等の取組状況

プログラム等名称	申請学部等	取組名称等	期間
大学間連携共同教育推進事業	工学部 ※1	ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラム	平成24年度～平成28年度
	生物資源科学部 ※2	グローバル社会を担う次世代型獣医学系大学教育機構の構築	平成24年度～平成28年度

※1 福島大学ほか14の大学・短大・高等専門学校と共同

※2 東京大学, 日本獣医生命科学大学, 麻布大学と共同

日本大学理事長特別研究・学長特別研究

日本大学理事長特別研究は、本学の研究成果を広く社会に還元すると共に、本学の教育研究及び運営にも積極的に活用できる研究を推進するため、組織運営、危機管理、人事管理、広報管理、教育方法、教育支援、研究支援等の本学の教育研究活動及び運営に対して、直接的または間接的に活かすことができるプロジェクトとして、教員・職員が共同してプロジェクトを組織する新たな研究プロジェクト組織を構築して実施された。併せて学長特別研究は、日本大学学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに継続して学術研究を推進している中、学長が社会や本学の状況を鑑み、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進するため、研究テーマを『日本大学のもつ学問領域の幅広さを活かし、未来の地球環境、ヒトの生命、生活のために求められる、あるいは新たに提案する総合的・統合的な研究課題を求める。』とし、①アジアを中心とした国際社会における日本のあり方及び、「安心・安全」な国際システムを構築する視点からの研究、②第一次産業再生のための先端的・国際的研究、③グリーン・イノベーションに立脚する環境・エネルギー・資源確保等の次世代ライフの質向上に資する総合的研究、④ライフイノベーションに立脚する高度医療、介護、高齢者対策等、法的・経済的支援を含む総合的視点から、『人を守る』ことを基軸とした研究、⑤21世紀における強靱な政治・経済両面にわたる社会的基盤形成の複合的研究に関する研究プロジェクトを学内で募集し、ネットワークを用いて教職員の投票を行い審査の基礎とする等、本学が一体となって推進するプロジェクトとして、平成24年度より実施され、平成25年度からは新たに1課題が追加された。

理事長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
電力削減と教育環境整備の両立を目指した省エネルギー型キャンパスの創成に関する総合研究	教授 鈴木 正彦	教員：文理学部, 理工学部, 工学部 職員：文理学部, 理工学部, 工学部, 本部管財部	63,830
日本大学の自校史教育における教育担当者養成の実践的研究 -建学の精神の実現をめざして-	教授 加藤 直人	教員：文理学部, 医学部, 生物資源科学部 職員：医学部	7,075
キャリアウェイ～理系女子学生のキャリア教育と活躍促進のための環境整備に関する研究	教授 落合 豊子	教員：医学部, 文理学部, 理工学部, 工学部, 生産工学部, 歯学部, 松戸歯学部, 薬学部, 生物資源科学部, 短期大学部, 豊山女子高校 職員：生産工学部, 校友会本部事務局	40,000
日本大学におけるeラーニングの戦略的活用の研究 -高大連携, 入学前教育, 学部教育そして大学院教育等におけるeラーニング導入の必要性とパイロットプログラムによる実証的研究-	教授 福田 弥夫	教員：通信教育部, 法学部, 文理学部, 商学部, 理工学部, 松戸歯学部, 大学院総合社会情報研究科, 日大高校, 櫻丘高校, 山形高校, 豊山女子高校, 明誠高校 職員：商学部, 通信教育部, 本部学務部, 本部管財部, 総合学術情報センター情報事務局	42,600

学長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
高齢化社会におけるインフルエンザ感染および重症化対策の総合的研究	教授 橋本 修	医学部, 理工学部, 歯学部, 松戸歯学部	75,000
遠隔医療システムを活用したアジア基盤型EBM研究の構築	教授 中島 一郎	歯学部, 医学部, 生物資源科学部	29,523
【新規課題】 N. (エヌドット)国際救助隊による災害復興, 教育支援のための学生「絆」プロジェクト	教授 木村 政司	芸術学部, 理工学部, 工学部, 生産工学部, 医学部, 歯学部, 生物資源科学部, 短期大学部, 習志野高校	40,000

日本大学学術研究戦略プロジェクト

本学の総合性を活かし、日本大学発イノベーションの具現化を図ることに努め、健やかな未来の創造に寄与すること、また、社会に活力を与える人材を育成することを目的に、平成21年度より学内資金による大型研究プロジェクトとしてスタートしたものであり、平成25年度は5年計画の最終年度となる。

研究課題	研究分野構成	事業費（千円）
ナノ物質を基盤とした光・量子技術の極限追求	極限追求系 情報班（超高密度・超高速記録）、エネルギー班（太陽・水素エネルギー）、医療班（DNA医療、光、X線診断、治療法） ナノ基盤系 超分子・自己組織班、ナノ物質・ナノデバイス班、量子理論・計算班	120,000/年 プロジェクト総額 600,000

初年度の平成21年には、情報分野で超高速記録に関連した研究がアメリカ物理学会のPhysicsに紹介され、医療分野の遺伝子ネットワークの解析がNatureに掲載されるなどの成果があった。平成22年は、情報分野で量子情報に関連した研究が、Nature Photonicsに掲載され、外部資金として総務省の戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）の採択につながった。平成23年度にも、情報分野の研究がさらに大きく進展し、量子通信実験でいくつか世界新記録が達成され、また、超高速記録に関する論文がNatureに掲載された。ボーズ粒子に関する論文がJ. Phys. B誌のHighlight of 2011に選ばれた。平成24年度には、熱のみで磁化反転がおこるプロセスが発見されNature Communicationに掲載されるなど、情報分野の研究では大きな成果があがった。医療分野では、PIポリアミドに関する論文が、日本薬学会誌平成24年優秀論文に選出された。理論分野でも、量子力学の基本的な謎をひとつ解明した論文が、英国物理学会のIOPセレクトに選出され、欧州物理学会のEurophysics Newsに取り上げられた。平成25年度では、情報分野で超高速記録のナノ領域の振る舞いが明らかになり、Nature Materialsに掲載された。医療分野では脂肪細胞の分化機構が明らかとなり、Nature Communicationsに掲載が決定した。これら平成25年度の成果は、128報の査読付き論文、著書17件、特許出願3件、招待講演68件、学会発表391件。メンバーが研究代表者として獲得した平成25年度の外部資金は30件、68,172千円（日本大学からの助成及び私立大学基盤形成支援事業は除く。複数年度資金の場合は平成25年分のみ）。上記のうち、メンバー共著による成果は、論文18報、学会発表104件、外部資金7件で、このうち複数学部にまたがる成果は、論文11件、学会発表29件、外部資金5件である。

発明・技術移転

※平成26年3月31日現在

発明関係

発明届出件数	特許出願件数		計	(単年度)
	国内	国外		
78	66	45	111	

情報開示件数

946

保有特許件数

国内	外国	〔 情報開示件数及び保有特許件数は、いずれも累計数 〕
383	105	

技術移転関係

技術移転件数	ロイヤルティー		(単年度)
	延べ件数	入金額（円）	
25	107	100,313,294	

10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数

主な工事

部 科 校 名	工 事 内 容
本 部	新学部開設事業に伴う世田谷（下馬）校地本館等解体工事 松戸学生寮（仮称）新築工事 鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 3,259.89㎡ 赤堤及び宮坂学生寮（仮称）新築工事 赤堤：鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積 1,497.53㎡ 宮坂：鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 1,025.56㎡
	町田学生寮（仮称）新築工事 鉄骨造 3階建 延床面積 3,944.48㎡
	日本大学会館空調設備改修工事
	保健体育審議会アメリカンフットボール部練習場人工芝改修工事
	保健体育審議会陸上競技場走路改修工事
	6号館新築工事 鉄筋コンクリート造 地下2階 地上6階建 延床面積 1,999.82㎡
法 学 部	船橋校舎10・11号館耐震補強工事
理 工 学 部	津田沼校舎新学科棟（仮称）新築工事 鉄骨造 地下1階 地上7階建 延床面積 9,570.05㎡
生 産 工 学 部	製図棟耐震補強工事
工 学 部	農場本館棟付属研修施設（仮称）新築工事 鉄骨造 平家建 延床面積 420.96㎡
生 物 資 源 科 学 部	グラウンド改修工事
習 志 野 高 等 学 校	グラウンド新設その他工事 構築物(グラウンド)：サッカー、ラグビーコート、400mトラック、走り幅跳用走路、走り高跳用走路他 建物：①スタンド棟(スエッジ、観覧席、放送室、管理室) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建 延床面積 518.08㎡ ②施設棟(男子・女子・多目的便所、器具庫) 鉄骨造 2階建 延床面積 426.32㎡

土地・建物延面積

部 科 校 名	土地(実測面積) (㎡)	建物(公簿延面積) (㎡)
本部	906,993.64	117,174.62
法学部	183,063.25	70,900.62
文理学部	137,378.68	112,645.50
経済学部	125,824.85	41,899.18
商学部	124,034.81	49,064.48
芸術学部	147,547.75	93,241.53
国際関係学部	215,108.17	79,068.01
理工学部	638,705.30	184,966.72
生産工学部	224,674.07	135,983.14
工学部	402,364.47	131,675.71
医学部	56,082.58	43,881.57
総合健診センター	386.54	2,877.63
板橋病院	0	55,767.82
駿河台病院	0	15,362.60
歯学部	29,647.38	20,727.65
歯科病院	0	6,222.48
松戸歯学部	47,964.37	41,263.78
松戸歯科病院	2,830.71	9,638.17
生物資源科学部	27,685,169.51	189,202.49
薬学部	52,065.83	31,844.43
通信教育部	887.71	6,129.02
横浜学園	37,984.93	29,242.87
豊山学園	50,883.34	10,775.64
豊山女子学園	36,497.96	17,338.03
明誠高等学校	103,800.91	13,383.53
山形学園	75,035.99	23,383.51
幼稚園	1,902.57	1,650.33
計	31,286,835.32	1,535,311.06

土地購入

購入せず

蔵書数

※平成26年3月31日現在

部科校名	種類	一般教育図書（冊）	専門図書（冊）	学術雑誌・その他（冊）	合計（冊）
本	部	1	200,204	78,688	278,893
法	学部	96,008	224,833	164,631	485,472
文	理学部	347,895	359,407	246,314	953,616
経	経済学部	65,340	212,006	156,906	434,252
商	学部	94,121	263,335	111,343	468,799
芸	術学部	108,607	263,718	60,982	433,307
国	際関係学部	179,950	229,462	57,415	466,827
(国	際関係学部)	(30,350)	(162,473)	(27,008)	(219,831)
(短	期大学部(三島))	(109,881)	(66,989)	(26,589)	(203,459)
(三	島高等学校)	(38,677)	(0)	(3,746)	(42,423)
(三	島中学校)	(1,042)	(0)	(72)	(1,114)
理	工学部	118,959	289,277	204,934	613,170
(理	工学部)	(70,490)	(256,265)	(184,555)	(511,310)
(短	期大学部(船橋))	(17,101)	(33,012)	(18,596)	(68,709)
(習	志野高等学校)	(31,368)	(0)	(1,783)	(33,151)
生	産工学部	46,856	84,826	105,005	236,687
工	学部	163,143	95,827	110,830	369,800
(工	学部)	(132,696)	(95,827)	(108,933)	(337,456)
(東	北高等学校)	(30,447)	(0)	(1,897)	(32,344)
医	学部	11,542	39,764	154,573	205,879
総	合健診センター	0	0	0	0
板	橋病院	0	0	0	0
駿	河台病院	0	0	0	0
歯	学部	47,259	29,229	81,008	157,496
歯	科病院	0	0	0	0
松	戸歯学部	29,285	37,305	66,274	132,864
松	戸歯科病院	0	0	0	0
生	物資源科学部	113,250	120,497	112,306	346,053
(生	物資源科学部)	(57,148)	(106,845)	(109,159)	(273,152)
(短	期大学部(湘南))	(9,083)	(13,652)	(3,097)	(25,832)
(鶴	ヶ丘高等学校)	(26,205)	(0)	(50)	(26,255)
(藤	沢高等学校)	(20,814)	(0)	(0)	(20,814)
薬	学部	12,821	25,685	30,525	69,031
通	信教育部	0	6,533	177	6,710
横	浜学園	18,034	0	902	18,936
(日	本大学高等学校・中学校)				
豊	山学園	13,606	0	0	13,606
(豊	山高等学校・中学校)				
豊	山女子学園	37,461	0	0	37,461
(豊	山女子高等学校・中学校)				
明	誠高等学校	4,882	0	0	4,882
山	形学園	17,431	0	0	17,431
(山	形高等学校・中学校)				
日	本大学幼稚園	719	0	0	719
計		1,527,170	2,481,908	1,742,813	5,751,891

IV 財務の概要

(注)

備考：「IV 財務の概要」を構成する次の計算書類は、東陽監査法人の監査を受けて承認された計算書類を基に作成したものである。

- 1 平成25年度資金収支計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
- 2 平成25年度消費収支計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
- 3 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)
- 4 財産目録 (平成26年3月31日現在)

1 平成25年度資金収支計算書

〔平成25年4月1日から〕
〔平成26年3月31日まで〕

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金収入	103,632,910,000	102,847,268,162	785,641,838
手数料収入	3,585,410,000	3,836,221,109	△ 250,811,109
寄付金収入	4,174,600,000	4,329,823,752	△ 155,223,752
補助金収入	17,949,000,000	17,631,661,019	317,338,981
資産運用収入	2,745,390,000	2,518,304,219	227,085,781
資産売却収入	0	6,247,370	△ 6,247,370
事業収入	2,681,420,000	3,018,923,570	△ 337,503,570
医療収入	47,009,860,000	45,729,862,735	1,279,997,265
雑収入	5,024,340,000	4,580,214,672	444,125,328
借入金等収入	2,000,000,000	2,000,000,000	0
前受金収入	18,573,470,000	18,797,079,640	△ 223,609,640
その他の収入	38,494,100,000	36,879,741,127	1,614,358,873
資金収入調整勘定	△ 28,422,400,000	△ 29,822,759,835	1,400,359,835
当年度収入合計	217,448,100,000	212,352,587,540	5,095,512,460
前年度繰越支払資金	40,201,900,000	41,565,951,521	△ 1,364,051,521
収入の部合計	257,650,000,000	253,918,539,061	3,731,460,939

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費支出	103,909,130,000	101,318,498,269	2,590,631,731
教育研究経費支出	1,000,000,000 55,758,460,000	57,010,472,513	△ 252,012,513
(教育研究経費支出)	670,180,000 (42,524,810,000)	(43,194,981,448)	(8,552)
(医療経費支出)	329,820,000 (13,233,650,000)	(13,815,491,065)	(△ 252,021,065)
管理経費支出	7,861,260,000	6,936,971,398	924,288,602
借入金等利息支出	78,650,000	77,890,546	759,454
借入金等返済支出	1,040,200,000	1,040,000,000	200,000
施設関係支出	23,785,200,000	19,595,710,703	4,189,489,297
設備関係支出	6,218,690,000	6,727,096,634	△ 508,406,634
資産運用支出	21,422,830,000	20,403,090,040	1,019,739,960
その他の支出	12,448,260,000	12,327,464,515	120,795,485
予備費	(1,000,000,000) 0		0
資金支出調整勘定	△ 11,829,830,000	△ 9,826,688,442	△ 2,003,141,558
当年度支出合計	221,692,850,000	215,610,506,176	6,082,343,824
次年度繰越支払資金	35,957,150,000	38,308,032,885	△ 2,350,882,885
支出の部合計	257,650,000,000	253,918,539,061	3,731,460,939

(注) 予算額の上段数字は予備費の使用額を示す。

2 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他諸活動に対応するすべての収支内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにするものである。

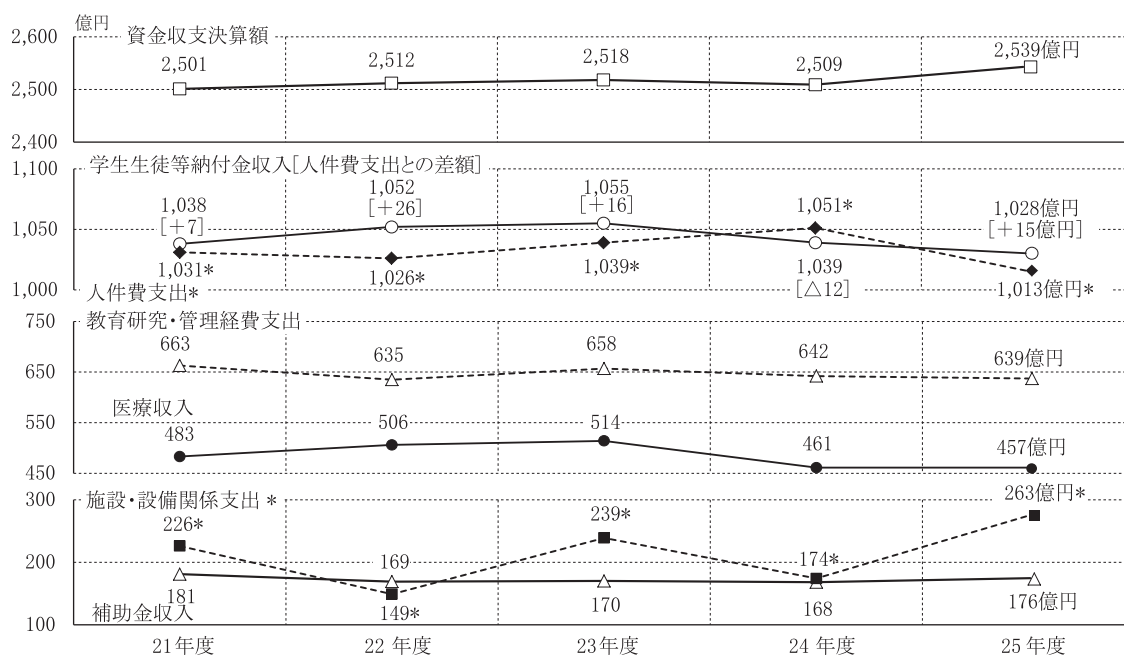
平成 25 年度の資金収支決算総額は、2,539 億 1,853 万 9,061 円になり、予算対比で 37 億円の減少になった。

予算対比での主な増減額・増減事由を見ると、収入の部では、学校法人の収入の根幹を成すべき学生生徒等納付金収入が 8 億円の減収、医療収入が 13 億円の減収になっ

たが、事業収入が受託研究の増加により 3 億円の増収になった。

支出の部では、人件費支出が教職員数の減少により 26 億円の支出減、管理経費支出が新学部校舎建設に係る既存校舎解体工事の計画変更により 9 億円の支出減、施設関係支出が校舎建設工事での入札効果などにより 42 億円の支出減になったが、教育研究経費支出が工学部での表土除染工事などにより 13 億円の支出増になった。

平成 21 年度～平成 25 年度 資金収支決算の推移



— 活動区分別キャッシュ・フロー計算書について —

キャッシュ・フロー計算書は、資金収支計算書を、活動区分別に分類したものである。すなわち、学校法人の諸活動を①教育研究活動、②施設等整備活動、③財務活動に区分し、それぞれの活動区分に対応するキャッシュ・フロー（資金の増減）と、事業キャッシュ・フロー（① + ②）及び当年度キャッシュ・フロー（① + ② + ③）の状況を明らかにしている。

平成 25 年度決算では、教育研究活動の 168 億円の収入超過と、施設等整備活動の 233 億円の支出超過を合計した後の事業キャッシュ・フローは 65 億円の支出超過になった。

また、財務活動は 32 億円の収入超過、当年度キャッシュ・フローは、33 億円の支出超過になった。

平成 25 年度 活動区分別キャッシュ・フロー計算書

1 教育研究活動によるキャッシュ・フロー

(単位:円)

教育研究活動による支出	金 額	教育研究活動による収入	金 額
人 件 費 支 出	101,318,498,269	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	102,847,268,162
教 育 研 究 経 費 支 出 (教 育 研 究 経 費 支 出)	57,010,472,513 (43,194,981,448)	手 数 料 収 入	3,836,221,109
(医 療 経 費 支 出)	(13,815,491,065)	寄 付 金 収 入 (1)	4,186,897,755
管 理 経 費 支 出	6,936,971,398	補 助 金 収 入 (2)	15,535,154,019
借 入 金 等 利 息 支 出	77,890,546	資 産 運 用 収 入	2,518,304,219
そ の 他 の 支 出 (5)	11,994,562,371	事 業 収 入	3,018,923,570
資 金 支 出 調 整 勘 定 (6)	△ 8,110,046,976	医 療 収 入	45,729,862,735
		雑 収 入	4,580,214,672
		前 受 金 収 入	18,797,079,640
		そ の 他 の 収 入 (3)	13,034,174,522
		資 金 収 入 調 整 勘 定 (4)	△ 28,014,772,335
小 計 (イ)	169,228,348,121	小 計 (ア)	186,069,328,068
教 育 研 究 活 動 に よ る キャッシュ・フロー [(ア)-(イ)=①]	16,840,979,947		

2 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー

施設等整備活動による支出	金 額	施設等整備活動による収入	金 額
施 設 関 係 支 出	19,595,710,703	特 別 寄 付 金 収 入 (1: 施 設 等 整 備)	33,195,997
設 備 関 係 支 出	6,727,096,634	補 助 金 収 入 (2: 施 設 等 整 備)	2,096,507,000
そ の 他 の 支 出 (5: 施 設 等 整 備)	332,902,144	資 産 売 却 収 入	6,247,370
資 金 支 出 調 整 勘 定 (6: 施 設 等 整 備)	△ 1,716,641,466	そ の 他 の 収 入 (3: 施 設 等 整 備)	1,303,312,000
		資 金 収 入 調 整 勘 定 (4: 施 設 等 整 備)	△ 1,807,987,500
小 計 (B)	24,939,068,015	小 計 (A)	1,631,274,867
施 設 等 整 備 活 動 に よ る キャッシュ・フロー [(A)-(B)=②]	△ 23,307,793,148		
事 業 キャッシュ・フロー [① + ②]	△ 6,466,813,201		

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による支出	金 額	財務活動による収入	金 額
借 入 金 等 返 済 支 出	1,040,000,000	特 別 寄 付 金 収 入 (1: 基 金 設 定)	109,730,000
資 産 運 用 支 出	20,403,090,040	借 入 金 等 収 入	2,000,000,000
		各 種 引 当 資 産 か ら の 繰 入 収 入 (3)	22,542,254,605
小 計 (b)	21,443,090,040	小 計 (a)	24,651,984,605
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー [(a)-(b)=③]	3,208,894,565		
当 年 度 キャッシュ・フロー [① + ② + ③]	△ 3,257,918,636		

前 年 度 繰 越 支 払 資 金	41,565,951,521
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	38,308,032,885

(注) (1) 施設等整備と基金設定に相当する特別寄付金額は、寄付金収入から控除し、施設等整備活動と財務活動に計上している。

(2) 施設等整備に相当する補助金額は、補助金収入から控除し、施設等整備活動に計上している。

(3) 施設等整備に相当する前期末未収入金収入額と各種引当資産からの繰入収入額は、その他の収入から控除し、施設等整備活動と財務活動に計上している。

(4) 施設等整備に相当する期末未収入金額は、資金収入調整勘定から控除し、施設等整備活動に計上している。

(5) 施設等整備に相当する前期末未払金支払支出額は、その他の支出から控除し、施設等整備活動に計上している。

(6) 施設等整備に相当する期末未払金額は、資金支出調整勘定から控除し、施設等整備活動に計上している。

3 平成25年度消費収支計算書

〔平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで〕

消費収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金	103,632,910,000	102,847,268,162	785,641,838
手数料	3,585,410,000	3,836,221,109	△ 250,811,109
寄付金	4,371,670,000	4,574,744,664	△ 203,074,664
補助金	17,949,000,000	17,631,661,019	317,338,981
資産運用収入	2,745,390,000	2,518,304,219	227,085,781
資産売却差額	0	2,745,129	△ 2,745,129
事業収入	2,681,420,000	3,018,923,570	△ 337,503,570
医療収入	47,009,860,000	45,729,862,735	1,279,997,265
雑収入	5,024,340,000	4,591,505,143	432,834,857
帰属収入合計	187,000,000,000	184,751,235,750	2,248,764,250
基本金組入額合計	△ 25,900,000,000	△ 17,472,239,750	△ 8,427,760,250
消費収入の部合計	161,100,000,000	167,278,996,000	△ 6,178,996,000

消費支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費	100,706,460,000	98,190,739,819	2,515,720,181
教育研究経費	814,090,000 72,817,570,000	73,631,655,509	4,491
(教育研究経費)	231,740,000 (59,583,920,000)	(59,815,664,444)	(△) 4,444)
(医療経費)	582,350,000 (13,233,650,000)	(13,815,991,065)	(8,935)
管理経費	8,472,990,000	7,689,555,306	783,434,694
借入金等利息	78,650,000	77,890,546	759,454
資産処分差額	1,259,540,000	1,714,675,927	△ 455,135,927
徴収不能引当金繰入額	64,790,000	46,339,150	18,450,850
徴収不能額	0	22,066,160	△ 22,066,160
予備費	(814,090,000) 185,910,000		185,910,000
消費支出の部合計	184,400,000,000	181,372,922,417	3,027,077,583
当年度消費収入 (△支出)超過額	△ 23,300,000,000	△ 14,093,926,417	
前年度繰越消費収入 (△支出)超過額	△ 267,047,430,000	△ 267,047,453,833	
翌年度繰越消費収入 (△支出)超過額	△ 290,347,430,000	△ 281,141,380,250	

(注) 予算額の上段数字は予備費の使用額を示す。

4 消費収支計算書の概要

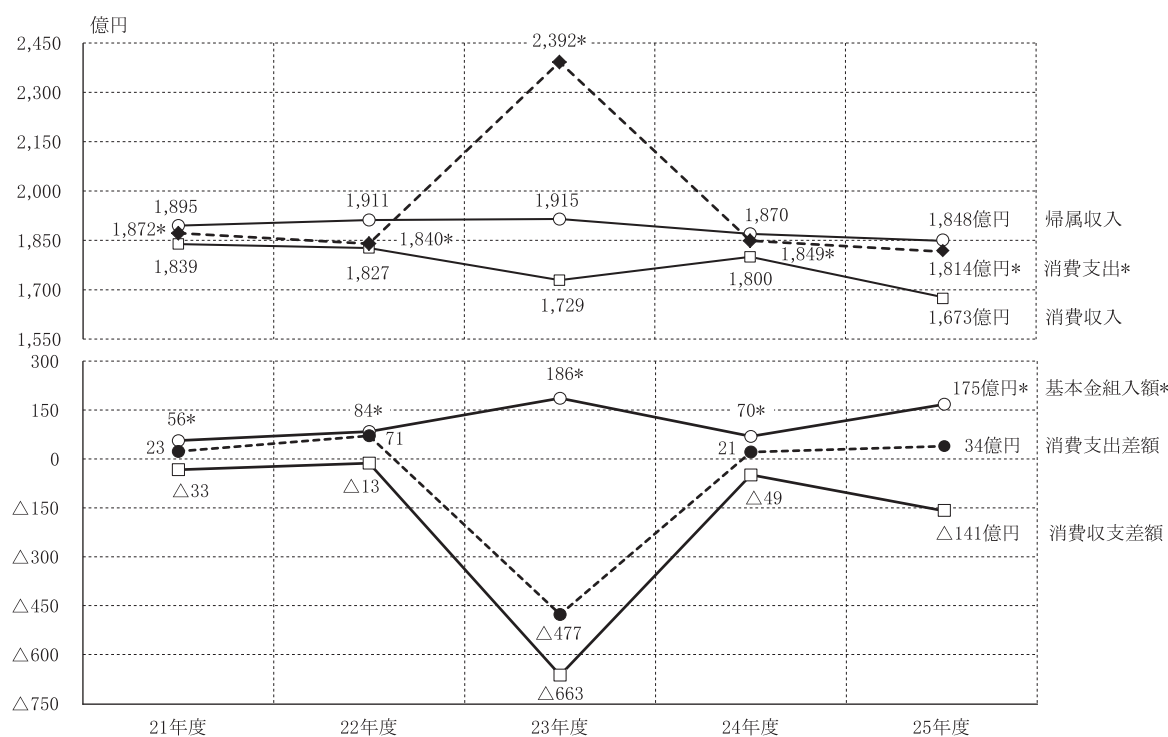
消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものである。

平成 25 年度の消費収支決算額は、帰属収入が予算対比で 22 億円減少の 1,848 億円になり、帰属収入から基本金組入額 175 億円を控除して算出した消費収入は 1,673 億円になった。また、消費

支出は、予算対比で 30 億円減少の 1,814 億円になった。

当該会計年度の経営状況を表す、帰属収入と消費支出を対照した消費支出差額は、34 億円の収入超過になり、予算対比で収入超過額が 8 億円増加した。

平成 21 年度～平成 25 年度 消費収支決算の推移



(注) 平成 23 年度の消費支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれており、消費支出差額及び消費収支差額についても、特別繰入額を含み計算されている。

5 貸借対照表（平成26年3月31日現在）

資 産 の 部

（単位：円）

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
固 定 資 産	671,383,469,650	666,086,713,076	5,296,756,574
有 形 固 定 資 産	422,356,076,993	414,804,599,928	7,551,477,065
土 地	128,175,593,084	128,196,304,186	△ 20,711,102
建 物	194,931,340,715	201,162,647,920	△ 6,231,307,205
構 築 物	12,636,377,288	11,988,443,583	647,933,705
教育研究用機器備品	20,470,587,755	19,513,310,568	957,277,187
その他の機器備品	711,271,219	766,894,565	△ 55,623,346
図 書	50,547,008,069	50,449,839,838	97,168,231
建設仮勘定	14,748,018,081	2,622,336,658	12,125,681,423
そ の 他	135,880,782	104,822,610	31,058,172
その他の固定資産	249,027,392,657	251,282,113,148	△ 2,254,720,491
借 地 権	2,381,672,678	2,381,672,678	0
施設利用権	458,045,076	467,895,307	△ 9,850,231
教育研究用ソフトウェア	683,614,212	676,857,767	6,756,445
その他のソフトウェア	163,597,074	137,551,415	26,045,659
敷 金 ・ 保 証 金	5,290,985,771	5,278,104,071	12,881,700
長 期 貸 付 金	632,537,850	775,065,336	△ 142,527,486
退職給与引当資産	43,544,262,446	44,951,753,750	△ 1,407,491,304
施設設備拡充引当資産	6,410,000,000	5,910,000,000	500,000,000
第3号基本金引当資産	93,860,720,000	93,431,520,000	429,200,000
その他の引当資産	95,267,744,189	96,928,617,450	△ 1,660,873,261
そ の 他	334,213,361	343,075,374	△ 8,862,013
流 動 資 産	52,066,311,770	56,967,516,494	△ 4,901,204,724
現 金 預 金	38,308,032,885	41,565,951,521	△ 3,257,918,636
未 収 入 金	12,217,083,688	14,057,706,920	△ 1,840,623,232
短 期 貸 付 金	335,453,000	339,802,000	△ 4,349,000
棚 卸 資 産	505,870,045	408,311,775	97,558,270
前 払 金	638,620,781	543,070,979	95,549,802
仮 払 金	61,251,371	52,673,299	8,578,072
資 産 の 部 合 計	723,449,781,420	723,054,229,570	395,551,850

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
固定負債	117,539,235,946	118,822,086,709	△ 1,282,850,763
長期借入金	6,680,000,000	6,020,000,000	660,000,000
退職給与引当金	96,765,027,660	99,892,786,110	△ 3,127,758,450
その他	14,094,208,286	12,909,300,599	1,184,907,687
流動負債	33,659,688,793	35,359,599,513	△ 1,699,910,720
短期借入金	1,340,000,000	1,040,000,000	300,000,000
未払金	7,859,591,978	10,955,072,925	△ 3,095,480,947
前受金	18,820,351,493	18,226,441,139	593,910,354
その他	5,639,745,322	5,138,085,449	501,659,873
負債の部合計	151,198,924,739	154,181,686,222	△ 2,982,761,483

基本金の部

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
第1号基本金	741,377,516,931	724,834,477,181	16,543,039,750
第2号基本金	6,410,000,000	5,910,000,000	500,000,000
第3号基本金	93,860,720,000	93,431,520,000	429,200,000
第4号基本金	11,744,000,000	11,744,000,000	0
基本金の部合計	853,392,236,931	835,919,997,181	17,472,239,750

消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
翌年度繰越消費支出超過額	281,141,380,250	267,047,453,833	14,093,926,417
消費収支差額の部合計	△ 281,141,380,250	△ 267,047,453,833	△ 14,093,926,417

科目	本年度末	前年度末	増減(△)
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	723,449,781,420	723,054,229,570	395,551,850

6 貸借対照表の概要

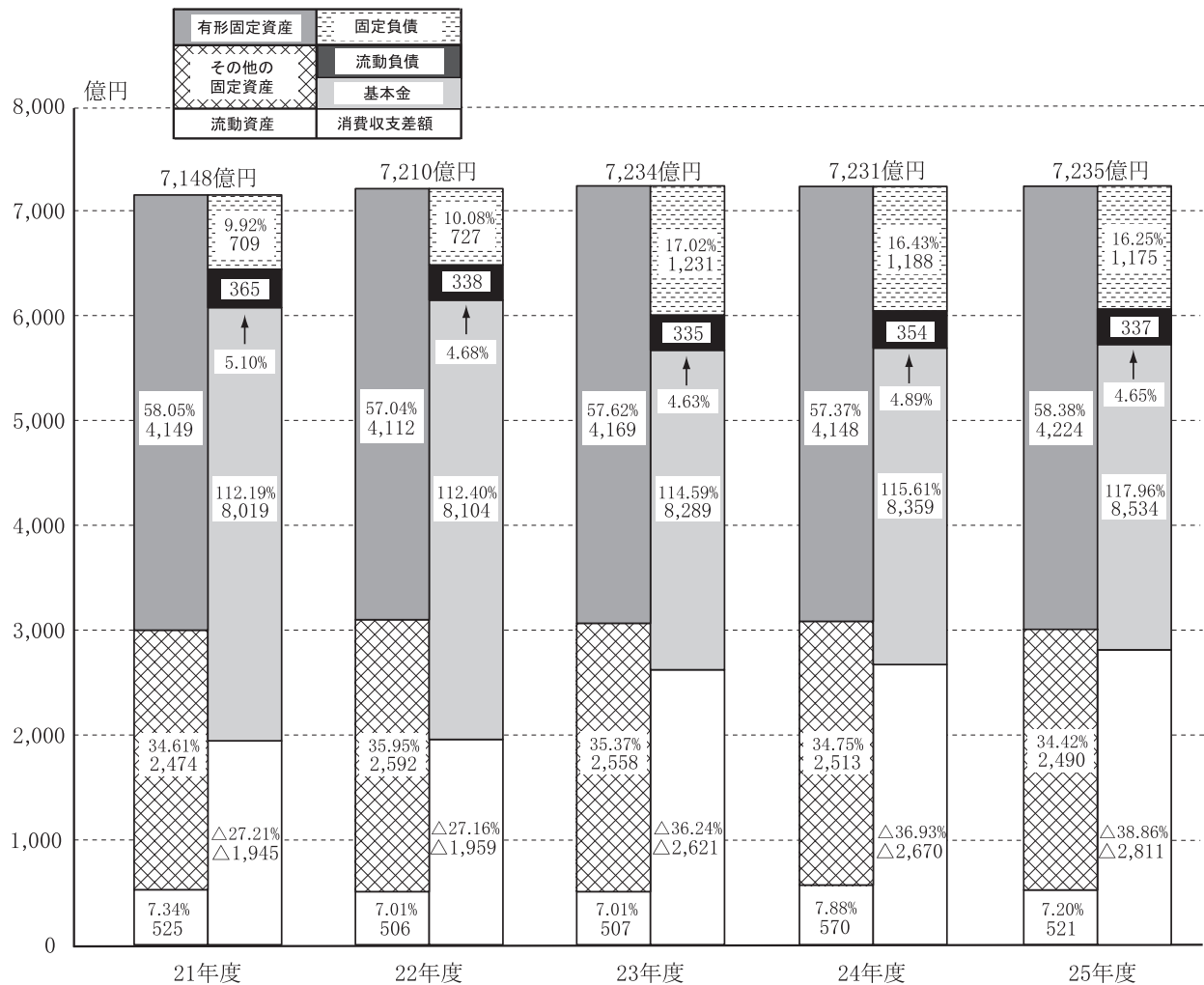
貸借対照表は、平成26年3月31日現在の財政状態を示している。

本年度末の資産総額は7,235億円で、前年度末に比較して4億円増加した。負債総額は1,512億円で、前年度末に比較して30億円減少した。この結果、資産総額から負債総額を差し引いた純資

産額は5,723億円で、前年度末に比較して34億円増加した。

また、基本金は8,534億円で、前年度末に比較して175億円の増加、翌年度へ繰り越す消費収支差額は、消費支出超過額が前年度末より141億円増加し2,811億円になった。

平成21年度～平成25年度 貸借対照表構成比率の推移



7 財産目録（平成26年3月31日現在）

財産目録は、平成26年3月31日現在の基本財産、運用財産、負債額を示している。

I 資産総額	723,449,781,420 円
内 基本財産	437,843,631,075 円
運用財産	285,606,150,345 円
II 負債総額	151,198,924,739 円
III 純資産	572,250,856,681 円

科 目	数 量	年 度 末
(一) 基 本 財 産	—	437,843,631,075 円
1 土 地	31,161,505.68 m ²	128,175,593,084 円
2 建 物	1,535,311.06 m ²	194,931,340,715 円
(1) 校 舎	1,135,004.46 m ²	144,736,601,906 円
(2) 図 書 館	72,464.28 m ²	9,838,781,838 円
(3) 講 堂 ・ 体 育 館	111,850.30 m ²	11,041,617,353 円
(4) そ の 他	215,992.02 m ²	29,314,339,618 円
3 図 書	5,751,891 冊	50,547,008,069 円
4 教 具 ・ 校 具 ・ 備 品	310,359 点	21,181,858,974 円
5 構 築 物	6,096 件	12,636,377,288 円
6 そ の 他	—	30,371,452,945 円

科 目	年 度 末
(二) 運 用 財 産	285,606,150,345 円
1 現 金 預 金	38,308,032,885 円
2 積 立 金	138,812,006,635 円
3 第 3 号 基 本 金 引 当 資 産	93,860,720,000 円
4 有 価 証 券	234,574,090 円
5 貸 付 金	967,990,850 円
6 未 収 入 金	12,217,083,688 円
7 そ の 他	1,205,742,197 円

科 目	年 度 末
(三) 負 債 額	151,198,924,739 円
1 固 定 負 債	117,539,235,946 円
(1) 長 期 借 入 金	6,680,000,000 円
(2) 退 職 給 与 引 当 金	96,765,027,660 円
(3) 預 り 金	12,256,164,678 円
(4) そ の 他	1,838,043,608 円
2 流 動 負 債	33,659,688,793 円
(1) 短 期 借 入 金	1,340,000,000 円
(2) 未 払 金	7,859,591,978 円
(3) 前 受 金	18,820,351,493 円
(4) 預 り 金	5,603,353,075 円
(5) そ の 他	36,392,247 円

科 目	年 度 末
(四) 基 本 財 産 + 運 用 財 産	723,449,781,420 円
(五) 純 資 産 (四 - 三)	572,250,856,681 円

8 参考資料

① 平成21年度～平成25年度 財務比率の推移

消費収支計算書 財務比率の推移						
名称	算式	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
(1) 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	53.9	53.2	80.9	54.0	53.1
(2) 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}} \times 100$	98.4	96.6	146.8	97.2	95.5
(3) 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}} \times 100$	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
(4) 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	40.4	38.7	39.5	39.6	39.9
(5) 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}} \times 100$	3.7	3.6	3.8	4.0	4.2
(6) 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}} \times 100$	9.6	8.8	8.9	9.0	9.5
(7) 消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}} \times 100$	101.8	100.7	138.4	102.7	108.4
(8) 消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}} \times 100$	98.8	96.3	124.9	98.9	98.2
貸借対照表 財務比率の推移						
(9) 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}} \times 100$	109.0	109.1	118.7	117.1	117.3
(10) 固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}} \times 100$	97.6	97.6	97.5	96.9	97.3
(11) 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	143.9	149.7	151.2	161.1	154.7
(12) 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} \times 100$	15.0	14.8	21.6	21.3	20.9
(13) 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}} \times 100$	17.7	17.3	27.6	27.1	26.4
(14) 消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}} \times 100$	△ 27.2	△ 27.2	△ 36.2	△ 36.9	△ 38.9

(注) 平成23年度の人件費及び消費支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

② 平成21年度～平成25年度 資金収支決算の推移

(単位：千円)

区分	科目	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
		決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)
収入	1 学生生徒等納付金収入	103,768,869	41.49	105,218,167	41.89	105,489,768	41.90	103,858,846	41.40	102,847,268	40.50
	2 手数料収入	3,912,540	1.56	3,822,208	1.52	3,507,907	1.39	3,752,262	1.50	3,836,221	1.51
	3 寄付金収入	4,083,031	1.63	3,692,089	1.47	3,774,770	1.50	4,109,183	1.64	4,329,824	1.71
	4 補助金収入	18,114,953	7.24	16,851,047	6.71	17,000,172	6.75	16,818,013	6.70	17,631,661	6.94
	5 資産運用収入	3,899,625	1.56	3,143,387	1.25	2,732,190	1.09	2,516,451	1.00	2,518,304	0.99
	6 資産売却収入	117,991	0.05	3,638	0.00	1,597	0.00	416,878	0.17	6,247	0.00
	7 事業収入	2,693,113	1.08	2,882,670	1.15	2,915,756	1.16	3,041,831	1.21	3,018,923	1.19
	8 医療収入	48,275,908	19.30	50,625,251	20.16	51,350,933	20.40	46,095,619	18.37	45,729,863	18.01
	9 雑収入	4,425,600	1.77	4,462,512	1.79	4,355,556	1.72	6,332,633	2.53	4,580,215	1.82
	10 借入金等収入	4,500,800	1.80	3,200,000	1.27	0	0.00	1,500,000	0.60	2,000,000	0.79
	11 前受金収入	19,118,577	7.64	18,529,965	7.38	17,940,973	7.13	18,196,220	7.25	18,797,080	7.40
	12 その他の収入	30,689,378	12.27	31,480,053	12.53	37,134,471	14.75	39,984,356	15.94	36,879,741	14.52
	13 資金収入調整勘定	△ 31,641,734	△ 12.65	△ 31,357,163	△ 12.49	△ 31,431,057	△ 12.48	△ 31,956,164	△ 12.74	△ 29,822,760	△ 11.75
当年度収入合計	211,958,651	84.74	212,553,824	84.63	214,773,036	85.31	214,666,128	85.57	212,352,587	83.63	
14 前年度繰越支払資金	38,173,742	15.26	38,603,173	15.37	36,983,227	14.69	36,198,849	14.43	41,565,952	16.37	
収入の部合計	250,132,393	100.00	251,156,997	100.00	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	
支出	1 人件費支出	103,063,318	41.20	102,644,359	40.87	103,911,760	41.27	105,052,045	41.88	101,318,498	39.90
	2 教育研究経費支出	59,912,605	23.97	57,302,174	22.82	59,064,087	23.47	57,378,477	22.88	57,010,472	22.45
	(1) (教育研究経費支出)	44,870,990	17.96	42,712,812	17.01	44,433,617	17.66	43,702,244	17.43	43,194,981	17.01
	(2) (医療経費支出)	15,041,615	6.01	14,589,362	5.81	14,630,470	5.81	13,676,233	5.45	13,815,491	5.44
	3 管理経費支出	6,362,114	2.54	6,179,374	2.46	6,669,238	2.65	6,831,164	2.72	6,936,971	2.73
	4 借入金等利息支出	24,152	0.01	74,695	0.03	98,974	0.04	84,482	0.03	77,891	0.03
	5 借入金等返済支出	483,010	0.19	783,810	0.31	1,101,400	0.44	1,040,800	0.41	1,040,000	0.41
	6 施設関係支出	14,810,130	5.92	10,080,890	4.01	18,411,994	7.31	13,087,660	5.22	19,595,711	7.72
	7 設備関係支出	7,831,367	3.13	4,777,938	1.90	5,450,206	2.16	4,297,719	1.71	6,727,097	2.65
	8 資産運用支出	20,592,532	8.23	29,447,535	11.72	20,929,763	8.31	22,152,489	8.83	20,403,090	8.04
	9 その他の支出	9,683,176	3.87	11,750,177	4.68	10,925,748	4.34	11,246,041	4.48	12,327,464	4.85
10 資金支出調整勘定	△ 11,233,184	△ 4.49	△ 8,867,182	△ 3.53	△ 11,005,756	△ 4.37	△ 11,871,852	△ 4.73	△ 9,826,688	△ 3.87	
当年度支出合計	211,529,220	84.57	214,173,770	85.27	215,557,414	85.62	209,299,025	83.43	215,610,506	84.91	
11 次年度繰越支払資金	38,603,173	15.43	36,983,227	14.73	36,198,849	14.38	41,565,952	16.57	38,308,033	15.09	
支出の部合計	250,132,393	100.00	251,156,997	100.00	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	

③ 平成21年度～平成25年度 消費収支決算の推移

(単位：千円)

区分	科目	21年度				22年度				23年度				24年度				25年度			
		決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	消費支出比(%)	決算額	帰属収入比(%)	消費支出比(%)	消費支出比(%)
消費収入の部	1 学生生徒等納付金	103,768,869	54.76		105,218,167	55.04		105,489,768	55.09		103,858,846	55.54		102,847,268	55.67						
	2 手数料	3,912,540	2.06		3,822,208	2.00		3,507,907	1.83		3,752,262	2.01		3,836,221	2.08						
	3 寄付金	4,322,432	2.28		3,948,405	2.07		4,058,591	2.12		4,370,419	2.34		4,574,745	2.48						
	4 補助金	18,114,953	9.56		16,851,047	8.81		17,000,172	8.88		16,818,013	8.99		17,631,661	9.54						
	5 資産運用収入	3,899,625	2.06		3,143,387	1.64		2,732,190	1.43		2,516,451	1.35		2,518,304	1.36						
	6 資産売却差額	90,654	0.05		2,379	0.00		30	0.00		195,872	0.10		2,745	0.00						
	7 事業収入	2,693,113	1.42		2,882,670	1.51		2,915,756	1.52		3,041,831	1.63		3,018,924	1.63						
	8 医療収入	48,275,908	25.47		50,625,251	26.48		51,350,933	26.82		46,095,619	24.65		45,729,863	24.75						
	9 雑収入	4,436,165	2.34		4,672,340	2.45		4,422,142	2.31		6,349,727	3.39		4,591,505	2.49						
帰属収入合計	189,514,259	100.00		191,165,854	100.00		191,477,489	100.00		186,999,040	100.00		184,751,236	100.00							
10 基本金組入額合計	△ 5,581,748	△2.95		△ 8,433,243	△4.41		△ 18,599,877	△9.71		△ 6,950,004	△3.72		△ 17,472,240	△ 9.46							
消費収入の部合計	183,932,511	97.05		182,732,611	95.59		172,877,612	90.29		180,049,036	96.28		167,278,996	90.54							
消費支出の部	1 人件費	102,087,563	53.87	54.53	101,655,879	53.18	55.24	154,842,718	80.87	64.73	100,970,983	54.00	54.60	98,190,740	53.15	54.14					
	2 教育研究経費	76,475,586	40.36	40.86	74,069,161	38.74	40.24	75,567,957	39.47	31.59	74,078,975	39.60	40.05	73,631,655	39.85	40.59					
	(1) (教育研究経費)	61,433,758	32.42	32.83	59,479,799	31.11	32.31	60,937,272	31.83	25.47	60,402,697	32.29	32.66	59,815,664	32.37	32.97					
	(2) (医療経費)	15,041,828	7.94	8.03	14,589,362	7.63	7.93	14,630,685	7.64	6.12	13,676,278	7.31	7.39	13,815,991	7.48	7.62					
	3 管理経費	7,075,990	3.73	3.78	6,877,502	3.60	3.74	7,358,600	3.84	3.08	7,492,709	4.01	4.05	7,689,555	4.16	4.24					
	4 借入金等利息	24,152	0.01	0.01	74,695	0.04	0.04	98,974	0.05	0.04	84,482	0.05	0.05	77,891	0.04	0.04					
	5 資産処分差額	1,474,192	0.78	0.79	1,281,813	0.67	0.70	1,243,894	0.65	0.52	2,301,712	1.23	1.24	1,714,676	0.93	0.95					
6 徴収不能引当金繰入額	63,362	0.03	0.03	79,190	0.04	0.04	70,236	0.04	0.03	10,727	0.01	0.01	46,339	0.03	0.03						
7 徴収不能額	3,288	0.00	0.00	2,443	0.00	0.00	22,018	0.01	0.01	4,168	0.00	0.00	22,066	0.01	0.01						
消費支出の部合計	187,204,133	98.78	100.00	184,040,683	96.27	100.00	239,204,397	124.93	100.00	184,943,756	98.90	100.00	181,372,922	98.17	100.00						
当年消費収入(△支出)超過額	△ 3,271,622			△ 1,308,072			△ 66,326,785			△ 4,894,720			△ 14,093,926								
前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 191,246,255			△ 194,517,877			△ 195,825,949			△ 262,152,734			△ 267,047,454								
翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 194,517,877			△ 195,825,949			△ 262,152,734			△ 267,047,454			△ 281,141,380								

(注) 平成23年度の人件費には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

④ 平成21年度～平成25年度 貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目	21年 度		22年 度		23年 度		24年 度		25年 度	
	決 算 額	構 成 比 (%)	決 算 額	構 成 比 (%)	決 算 額	構 成 比 (%)	決 算 額	構 成 比 (%)	決 算 額	構 成 比 (%)
固 定 資 産	662,309,948	92.66	670,440,922	92.99	672,748,608	92.99	666,086,713	92.12	671,383,469	92.80
有 形 固 定 資 産	414,940,521	58.05	411,225,763	57.04	416,874,631	57.62	414,804,600	57.37	422,356,077	58.38
そ の 他 の 固 定 資 産	247,369,427	34.61	259,215,159	35.95	255,873,977	35.37	251,282,113	34.75	249,027,392	34.42
退 職 給 与 引 当 資 産	48,628,234	6.80	47,738,602	6.62	46,788,231	6.47	44,951,754	6.22	43,544,262	6.02
そ の 他 の 引 当 資 産	188,299,917	26.34	200,907,822	27.87	198,557,477	27.45	196,270,137	27.14	195,538,464	27.03
そ の 他 の 固 定 資 産	10,441,276	1.47	10,568,735	1.46	10,528,269	1.45	10,060,222	1.39	9,944,666	1.37
流 動 資 産	52,501,280	7.34	50,551,418	7.01	50,686,871	7.01	56,967,517	7.88	52,066,312	7.20
現 金 預 金	38,603,173	5.40	36,983,227	5.13	36,198,849	5.00	41,565,952	5.75	38,308,033	5.30
そ の 他 の 流 動 資 産	13,898,107	1.94	13,568,191	1.88	14,488,022	2.01	15,401,565	2.13	13,758,279	1.90
資 産 の 部 合 計	714,811,228	100.00	720,992,340	100.00	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00

固 定 負 債	70,901,304	9.92	72,683,262	10.08	123,096,477	17.02	118,822,087	16.43	117,539,236	16.25
長 期 借 入 金	4,502,200	0.63	6,600,800	0.92	5,560,000	0.77	6,020,000	0.83	6,680,000	0.92
退 職 給 与 引 当 金	54,031,371	7.56	53,042,891	7.36	103,973,848	14.37	99,892,786	13.82	96,765,028	13.38
そ の 他 の 固 定 負 債	12,367,733	1.73	13,039,571	1.80	13,562,629	1.88	12,909,301	1.78	14,094,208	1.95
流 動 負 債	36,490,928	5.10	33,764,911	4.68	33,521,743	4.63	35,359,600	4.89	33,659,688	4.65
短 期 借 入 金	783,810	0.11	1,101,400	0.15	1,040,800	0.14	1,040,000	0.14	1,340,000	0.19
前 受 金	19,118,841	2.67	18,564,729	2.57	17,960,647	2.48	18,226,441	2.52	18,820,351	2.60
そ の 他 の 流 動 負 債	16,588,277	2.32	14,098,782	1.96	14,520,296	2.01	16,093,159	2.23	13,499,337	1.86
負 債 の 部 合 計	107,392,232	15.02	106,448,173	14.76	156,618,220	21.65	154,181,687	21.32	151,198,924	20.90
第 1 号 基 本 金	690,608,278	96.61	700,140,446	97.11	717,836,823	99.23	724,834,477	100.25	741,377,517	102.48
第 2 号 基 本 金	7,710,000	1.08	6,010,000	0.83	6,410,000	0.89	5,910,000	0.82	6,410,000	0.89
第 3 号 基 本 金	91,874,595	12.85	92,475,670	12.83	92,979,170	12.85	93,431,520	12.92	93,860,720	12.97
第 4 号 基 本 金	11,744,000	1.65	11,744,000	1.63	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62
基 本 金 の 部 合 計	801,936,873	112.19	810,370,116	112.40	828,969,993	114.59	835,919,997	115.61	853,392,237	117.96
消 費 収 支 差 額 の 部	△ 194,517,877	27.21	△ 195,825,949	27.16	△ 262,152,734	36.24	△ 267,047,454	36.93	△ 281,141,380	38.86
負 債 ・ 基 本 金 ・ 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	714,811,228	100.00	720,992,340	100.00	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00

大学施設等所在地一覧(平成 26 年 3 月 31 日現在)

<学部(含本部)>

- 本部(日本学生会館)
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 同(日本学生会館第二別館)
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 法学部
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 文理学部
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 経済学部
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 商学部
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 芸術学部
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 同 所沢校舎
〒359-8525 所沢市中富南 4-21
- 国際関係学部, 短期大学部
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 理工学部
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 同 船橋校舎, 短期大学部
〒274-8501 船橋市習志野台 7-24-1
- 生産工学部
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 同 実叅校舎
〒275-8576 習志野市新栄 2-11-1
- 工学部
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 医学部
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 歯学部
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部, 短期大学部
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 薬学部
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1
- 通信教育部
〒101-8354 千代田区三崎町 2-2-3

<大学院>

- 大学院グローバル・ビジネス研究科
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 大学院総合科学研究科
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 大学院法務研究科
〒110-0062 千代田区神田駿河台 1-6
- 大学院総合社会情報研究科
〒359-0003 所沢市中富南 4-25
- 大学院法学研究科
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 大学院文学研究科
- 大学院総合基礎科学研究科
- 大学院理工学研究科(地理学)
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 大学院経済学研究科
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 大学院商学研究科
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 大学院芸術学研究科
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 大学院国際関係研究科
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 大学院理工学研究科
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 大学院生産工学研究科
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 大学院工学研究科
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 大学院医学研究科
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 大学院歯学研究科
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 大学院松戸歯学研究科
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 大学院生物資源科学研究科
- 大学院獣医学研究科
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 大学院薬学研究科
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1

<付属高等学校・中学校・幼稚園>

- 日本大学高等学校・中学校
〒223-8566 横浜市港北区箕輪町 2-9-1
- 櫻丘高等学校
〒156-0045 世田谷区桜上水 3-24-22
- 鶴ヶ丘高等学校
〒168-0063 杉並区和泉 2-26-12
- 藤沢高等学校・中学校
〒252-8505 藤沢市亀井野 1866
- 豊山高等学校・中学校
〒112-0012 文京区大塚 5-40-10
- 豊山女子高等学校・中学校
〒174-0064 板橋区中台 3-15-1
- 三島高等学校・中学校
〒411-0033 三島市文教町 2-31-145
- 明誠高等学校
〒409-0195 上野原市上野原 3200
- 山形高等学校・中学校
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘 4-55
- 習志野高等学校
〒274-8504 船橋市習志野台 8-35-1
- 東北高等学校
〒963-1165 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 幼稚園
〒167-0032 杉並区天沼 1-31-14

<専修学校>

- 医学部附属看護専門学校
〒173-0032 板橋区大谷口上町 71-12
- 歯学部附属歯科技工専門学校, 歯科衛生専門学校
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1

<付属病院>

- 医学部付属板橋病院
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 医学部付属駿河台病院
〒101-8309 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 医学部付属総合健診センター
〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-7-3
- 歯学部付属歯科病院
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部付属病院
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部付属家畜病院
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866

<関連施設>

- 日本大学総合学術情報センター
〒359-0003 所沢市中富南 4-25

<関連組織>

- 株式会社日本大学事業部
〒156-0044 世田谷区赤堤 5-36-20

<学生寮・セミナーハウス・厚生施設等>

- 武蔵俊英学寮
〒180-0014 東京都武蔵野市関前 3-1-18
- 軽井沢研究所(本部)
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1052-1
- 塩原研修所(本部)
〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原 198
- 蓼科高原セミナーハウス(法学部)
〒384-2309 長野県北佐久郡立科町大字
芦田八ヶ野字屋敷幅 1140
- 山中湖セミナーハウス(文理学部)
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村
平野字向切詰 506-296
- 菅平研修所(経済学部)
〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-467
- 館山セミナーハウス(芸術学部)
〒294-0306 千葉県館山市加賀名 97
- 八海山セミナーハウス(理工学部)
〒949-7121 新潟県南魚沼市山口 1666
- 横芝セミナーハウス(生産工学部)
〒289-1735 千葉県山武郡横芝光町屋形東雲 5348-10
- 演習林水上実習所(生物資源科学部)
〒379-1727 群馬県利根郡みなかみ町大穴 171-1
- 下田臨海実験所(生物資源科学部)
〒415-0014 静岡県下田市須崎池ノ段 1237-1
- 富士自然教育センター(生物資源科学部)
〒418-0107 静岡県富士宮市佐折字狂入 632-3